
伊予市
子育て支援に関するアンケート調査
報告書

令和6年7月

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査の実施について	1
3	有効回答件数及び回答率	1
4	留意点	1
II	未就学児童保護者調査の結果	2
1	あて名のお子さんご家族の状況について	2
2	子どもの育ちをめぐる環境について	5
3	あて名のお子さんの保護者の就労状況について	8
4	育児休業や短時間勤務制度について	22
5	平日の定期的な教育・保育事業※ ¹ の利用状況について	33
6	病気の際の対応について（平日の定期的な教育・保育事業を利用している方のみ）	42
7	土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	51
8	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	55
9	地域子育て支援拠点事業の利用状況について	70
10	小学校就学後の放課後の過ごし方について（あて名のお子さんが5歳以上の方のみ）	77
11	その他の家庭状況などについて	90
12	子どもの発育・発達について	100
13	子ども食堂※ ¹ について	102
14	児童虐待について	103
III	小学生児童保護者調査の結果	106
1	あて名のお子さんご家族の状況について	106
2	子どもの育ちをめぐる環境について	109
3	あて名のお子さんの保護者の就労状況について	113
4	病気の際の対応について	125
5	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	137
6	放課後の過ごし方について	151
7	その他の家庭状況などについて	170
8	子ども食堂※ ¹ について	182
9	児童虐待について	184

I 調査の概要

1 調査目的

本市では、子どもの育成や子育て支援に関する様々な取組を進めていくにあたり、「第2期伊予市子ども・子育て支援事業計画」の見直しを行います。

本調査では、市民の生活状況や子どもたちのこと、求められている子育て支援施策などを把握することを目的としました。

2 調査の実施について

調査名	対象者	実施期間	実施方法
子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童の保護者用）	市内の就学前児童が属する世帯の保護者	令和6年 2月29日（木） ～	郵送配布、郵送回収
子育て支援に関するニーズ調査（小学生児童の保護者用）	市内の小学生児童が属する世帯の保護者	令和6年 3月22日（金）	

3 有効回答件数及び回答率

	配布数	回収数	有効回答率
子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童の保護者用）	1,509 件	679 件	45.0%
子育て支援に関するニーズ調査（小学生児童の保護者用）	1,840 件	746 件	40.5%

4 留意点

分析結果をみる際の留意点は以下の通りとなっています。

- 「N」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- 単数回答の場合、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝3つまで）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
- 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしています。

Ⅱ 未就学児童保護者調査の結果

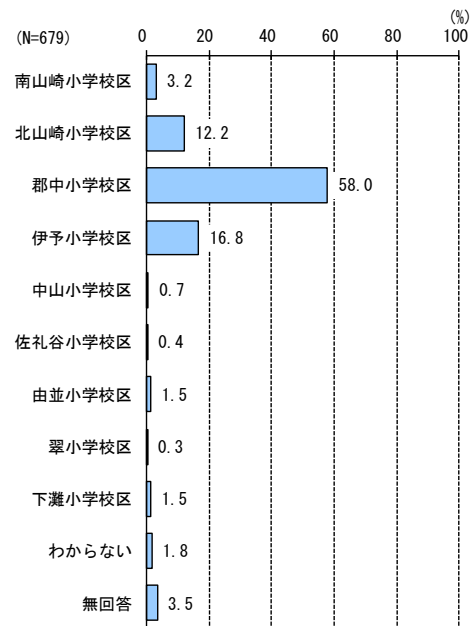
1 あて名のお子さんご家族の状況について

問1 お住まいの小学校区名をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 小学校区について、「郡中小学校区」が58.0%で最も多く、次いで「伊予小学校区」が16.8%、「北山崎小学校区」が12.2%となっています。

【小学校区】

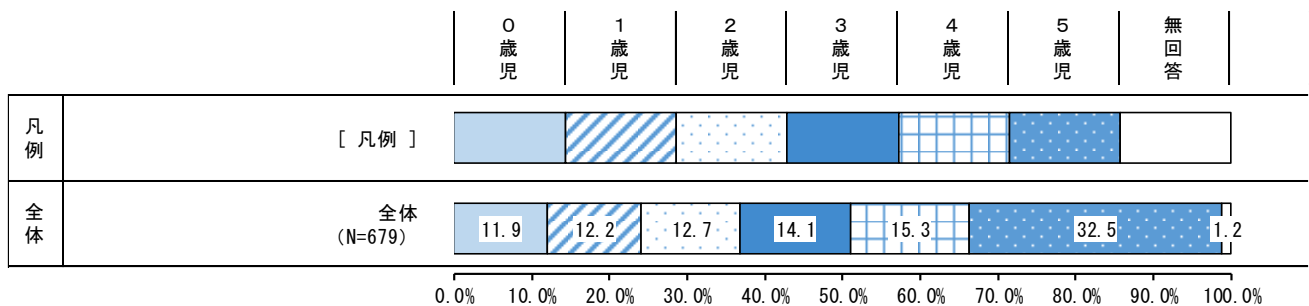


問2 あて名のお子さんの年齢

【全体】

- 子どもの年齢について、「5歳児」が32.5%で最も多く、次いで「4歳児」が15.3%、「3歳児」が14.1%となっています。

【子どもの年齢】



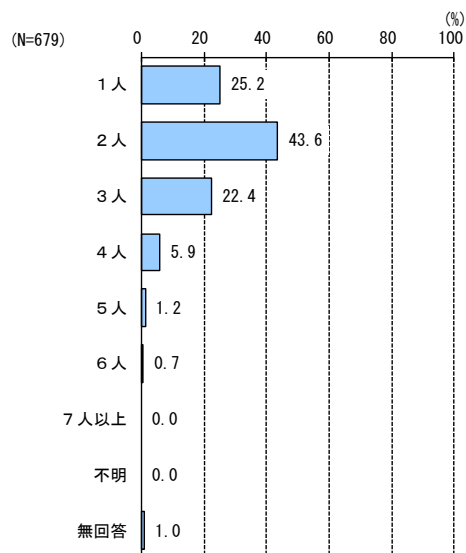
問3 あて名のお子さんのきょうだい数（あて名のお子さんを含む。）をご記入ください。また、あて名のお子さんはきょうだいの中で何番目のお子さんですか。

（1）きょうだい数

【全体】

- きょうだい数について、「2人」が43.6%で最も多く、次いで「1人」が25.2%、「3人」が22.4%となっています。

【きょうだい数】

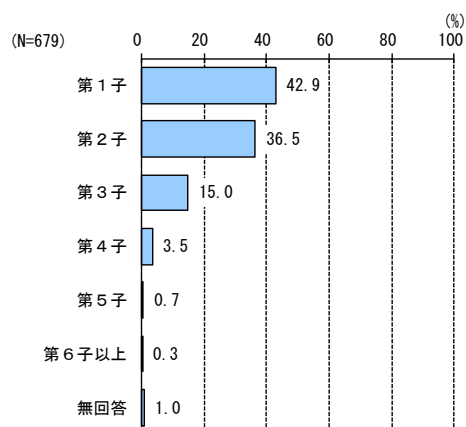


（2）何番目の子どもか

【全体】

- 何番目の子どもかについて、「第1子」が42.9%で最も多く、次いで「第2子」が36.5%、「第3子」が15.0%となっています。

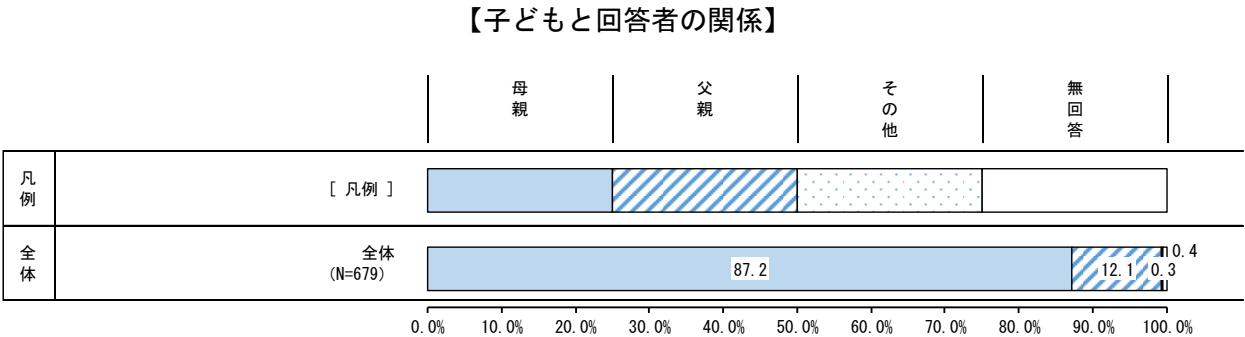
【何番目の子どもか】



問 4 この調査票をご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。（あてはまる番号 1 つに○）

【全体】

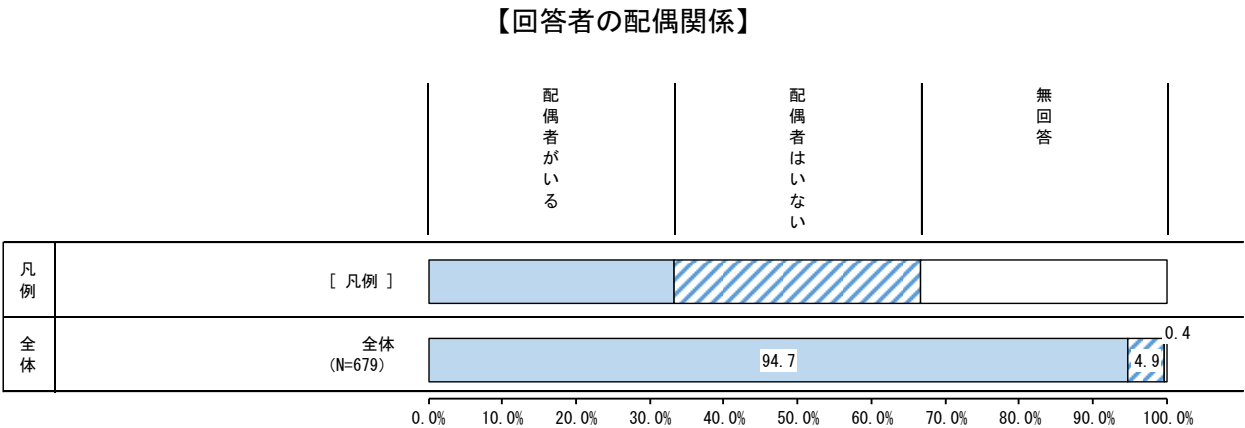
○ 子どもと回答者の関係について、「母親」が 87.2%で最も多く、次いで「父親」が 12.1%、「その他」が 0.3%となっています。



問 5 この調査票をご回答いただいている方の配偶関係をご記入ください。（あてはまる番号 1 つに○）

【全体】

○ 回答者の配偶関係について、「配偶者がいる」が 94.7%、「配偶者はいない」が 4.9%となっています。



2 子どもの育ちをめぐる環境について

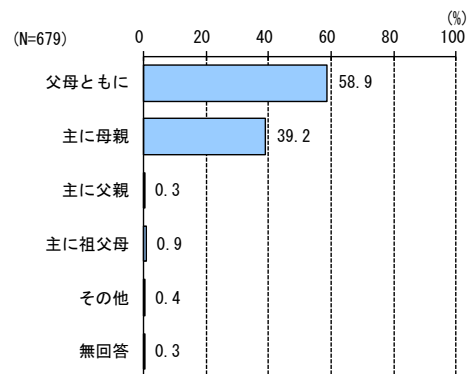
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む。）を主に行っているのはどなたですか。

あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 子育てを主に行っている人について、「父母ともに」が 58.9%で最も多く、次いで「主に母親」が 39.2%、「主に祖父母」が 0.9%となっています。

【子育てを主に行っている人】

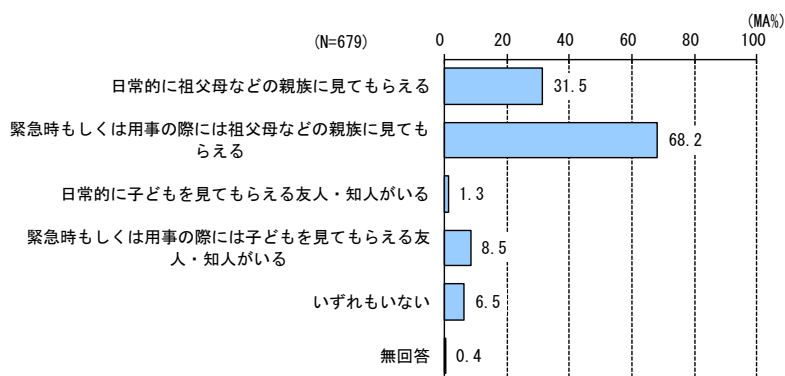


問7 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

- 日頃、子どもの面倒を見てもらえる親族・知人について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に見てもらえる」が 68.2%で最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親族に見てもらえる」が 31.5%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が 8.5%となっています。

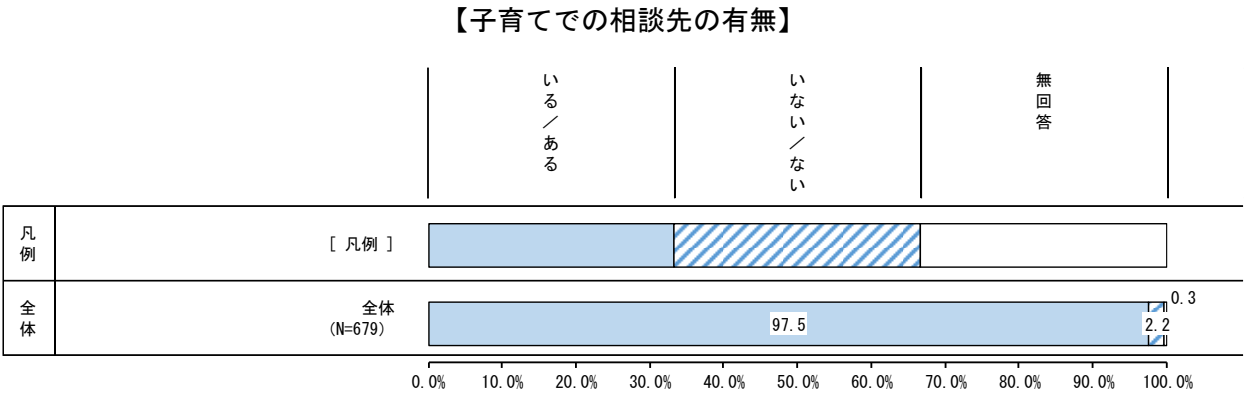
【日頃、子どもの面倒を見てもらえる親族・知人】



問 8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む。）をする上で、気軽に相談できる先（人・場所など）はありますか。（あてはまる番号 1 つに○）

【全体】

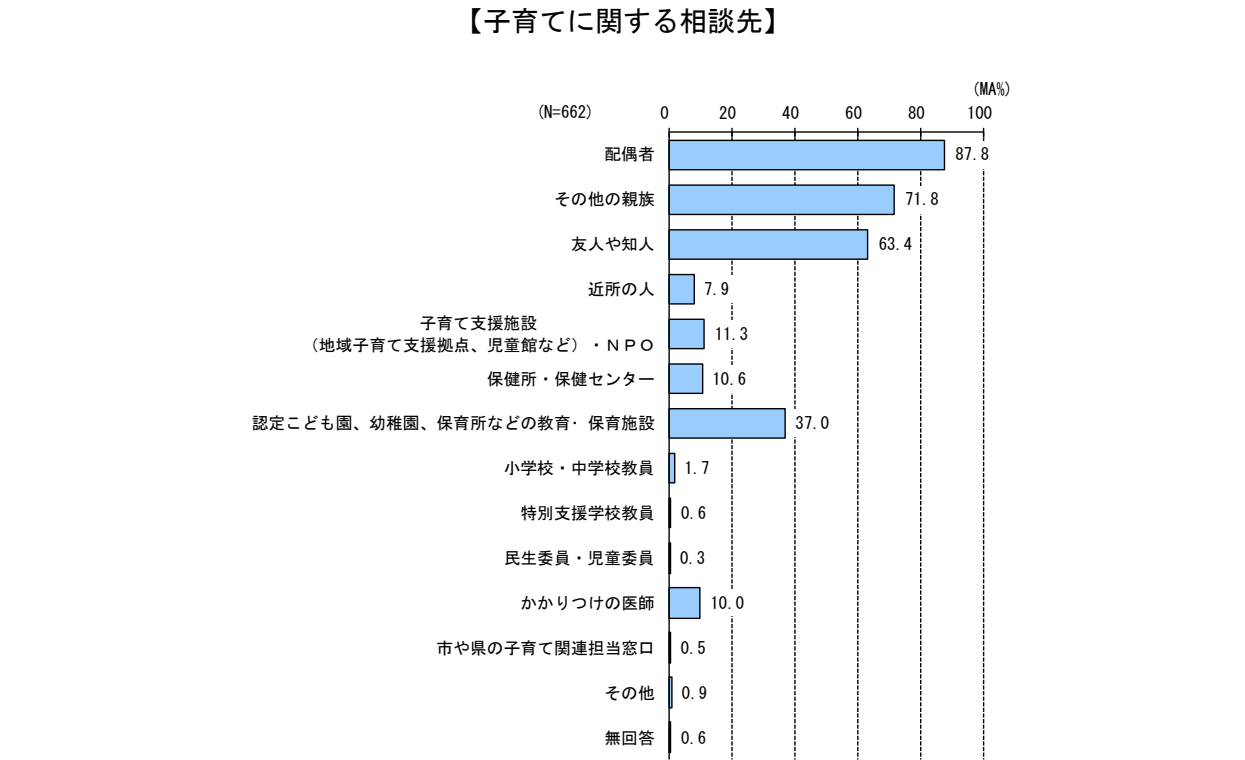
○ 子育てでの相談先の有無について、「いる／ある」が 97.5%、「いない／ない」が 2.2%となっています。



★問 8 「子育てでの相談先の有無」について、「いる／ある」に○をつけた方のみ
問 8-1 あて名のお子さんの子育て（教育を含む。）に関する相談先をご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

○ 子育てに関する相談先について、「配偶者」が 87.8%で最も多く、次いで「その他の親族」が 71.8%、「友人や知人」が 63.4%となっています。



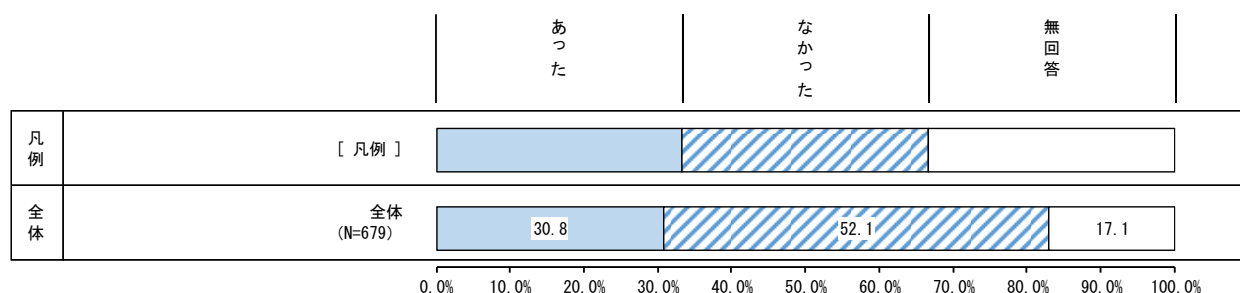
問9 あなたご自身に子どもができる前に、親族・ご近所などの赤ちゃんの世話※¹をした経験がありましたか。(あてはまる番号1つに○)

※1 ここで言う「赤ちゃんの世話」とは、おむつかえ、授乳・食事の世話、入浴、泣いている赤ちゃんをあやすことなど

【全体】

○ 乳児の世話をした経験の有無について、「あった」が 30.8%、「なかった」が 52.1%となっています。

【乳児の世話をした経験の有無】

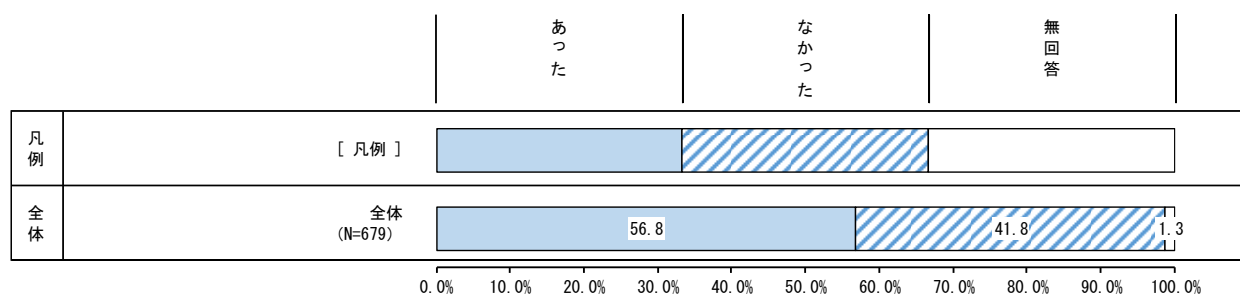


問10 あなたご自身に子どもができる前に、育児に関する知識を得る機会がありましたか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

○ 育児の知識を得る機会の有無について、「あった」が 56.8%、「なかった」が 41.8%となっています。

【育児の知識を得る機会の有無】



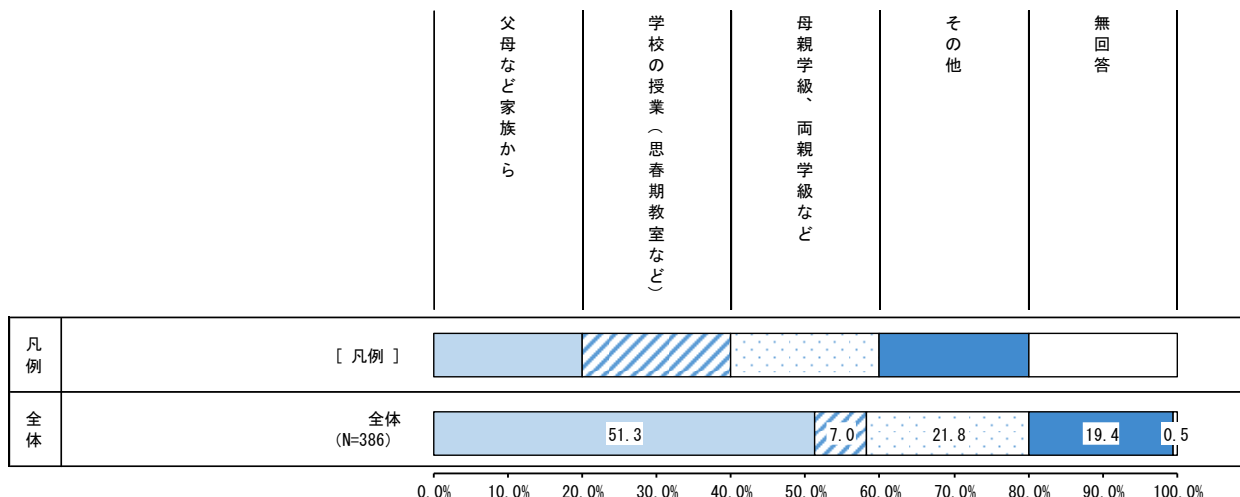
★問10「育児の知識を得る機会の有無」について、「あった」に○をつけた方のみ

問10-1 それはどのような機会でしたか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 育児の知識を得た機会について、「父母など家族から」が 51.3%で最も多く、次いで「母親学級、両親学級など」が 21.8%、「その他」が 19.4%となっています。

【育児の知識を得た機会】



3 あて名のお子さんの保護者の就労状況について

問11 現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む。）をご記入ください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

※「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の就労を指す。

※「パート・アルバイトなど」とは、「フルタイム」以外の就労を指す。

（1）母親

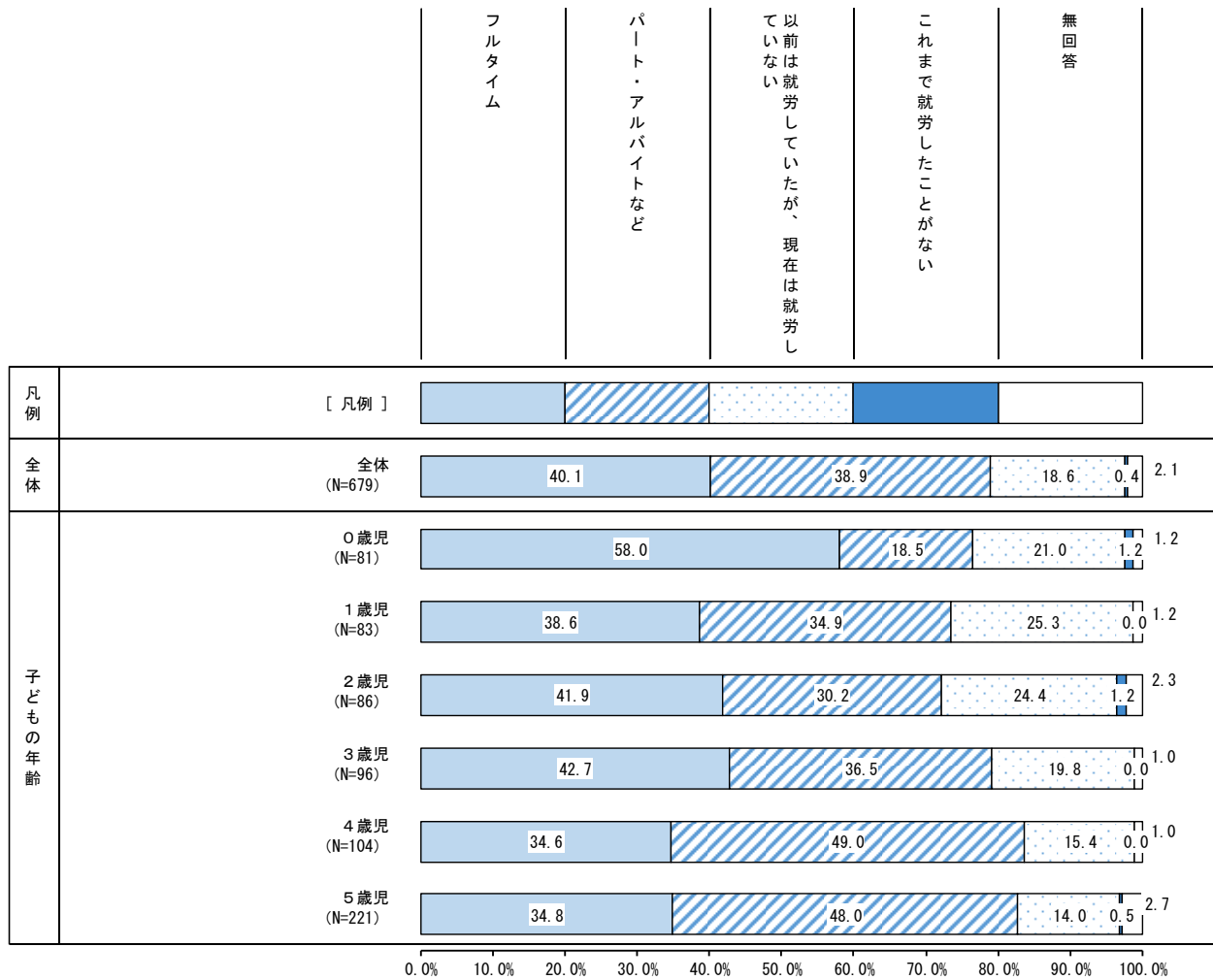
【全体】

- 母親の現在の就労状況について、「フルタイム」が 40.1%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなど」が 38.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 18.6%となっています。

【子どもの年齢】

- 0歳児・1歳児・2歳児・3歳児では「フルタイム」、4歳児・5歳児では「パート・アルバイトなど」が最も多くなっています。

【現在の就労状況（母親）】

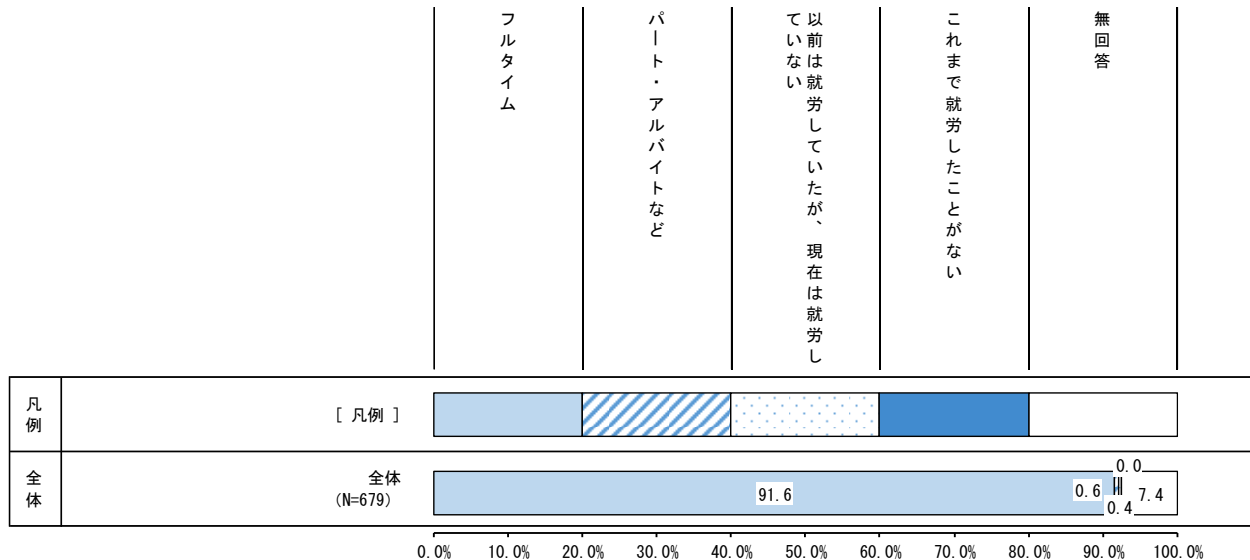


(2) 父親

【全体】

- 父親の現在の就労状況について、「フルタイム」が91.6%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなど」が0.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.4%となっています。

【現在の就労状況（父親）】



★問11「現在の就労状況」について、「フルタイム」または「パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

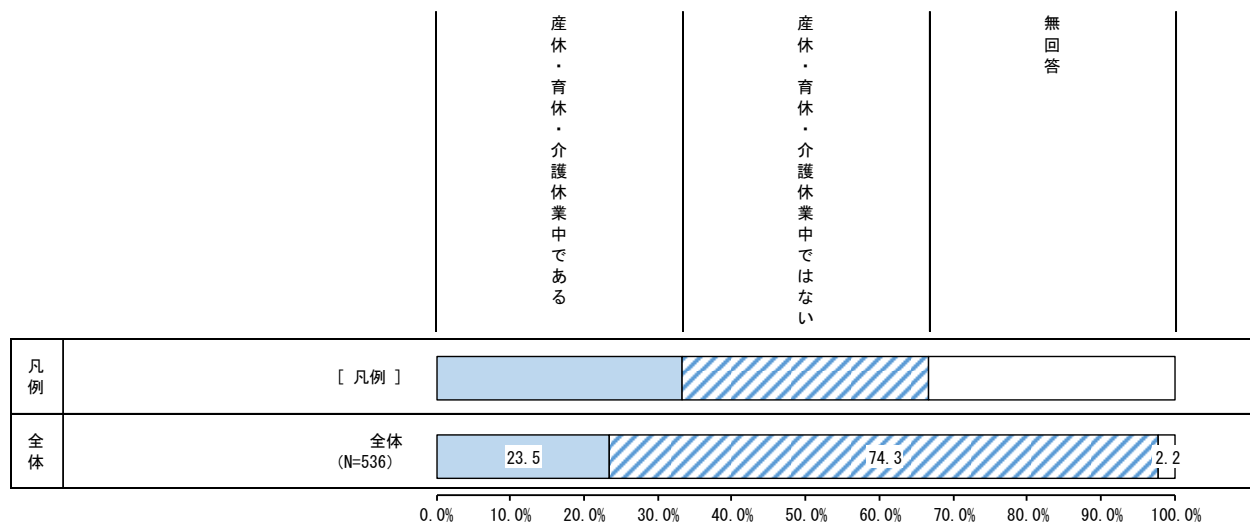
問11-1 就労している方は、現在、産休・育休・介護休業中ですか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

【全体】

- 母親が産休・育休・介護休業中かについて、「産休・育休・介護休業中である」が23.5%、「産休・育休・介護休業中ではない」が74.3%となっています。

【産休・育休・介護休業の状況（母親）】

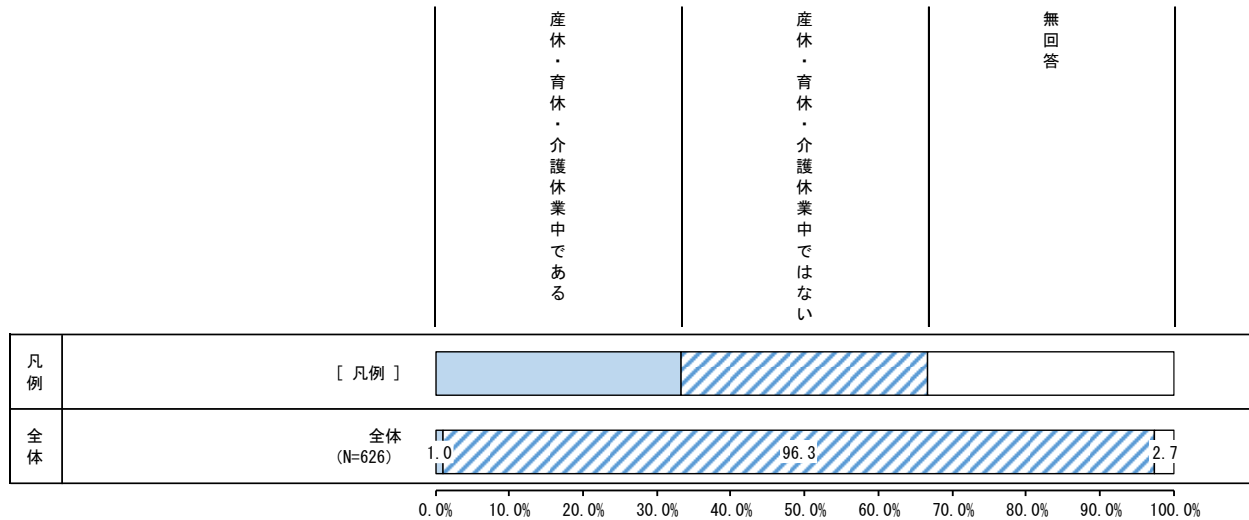


(2) 父親

【全体】

- 父親が産休・育休・介護休業中かについて、「産休・育休・介護休業中である」が 1.0%、「産休・育休・介護休業中ではない」が 96.3%となっています。

【産休・育休・介護休業の状況（父親）】



★問11「現在の就労状況」について、「フルタイム」または「パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

問11-2 ①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間（残業時間を含む。）」、③家を出る時間、④帰宅時間をすべてご記入ください※1、2。

※1 日数・時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを記入

※2 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況を記入

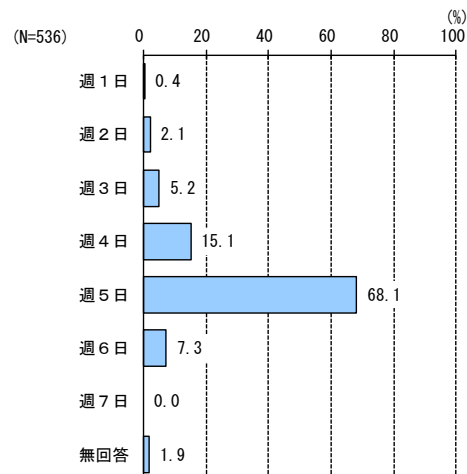
(1) 母親

ア 1週あたり就労日数

【全体】

- 母親の1週あたり就労日数について、「週5日」が 68.1%で最も多く、次いで「週4日」が 15.1%、「週6日」が 7.3%となっています。

【1週あたり就労日数（母親）】

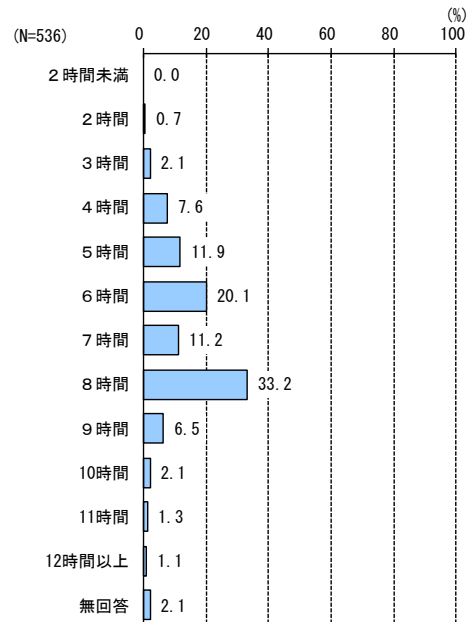


イ 1日あたり就労時間

【全体】

- 母親の1日あたり就労時間について、「8時間」が33.2%で最も多く、次いで「6時間」が20.1%、「5時間」が11.9%となっています。

【1日あたり就労時間（母親）】

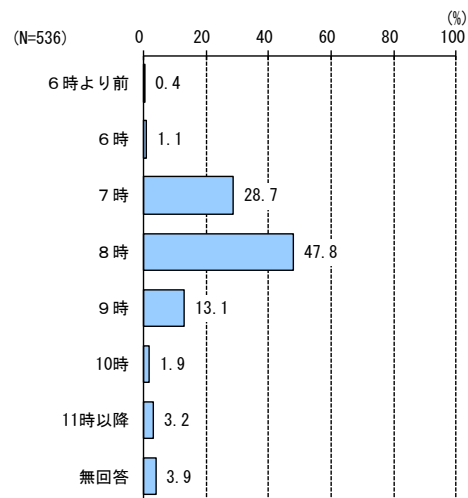


ウ 家を出る時間

【全体】

- 母親の家を出る時間について、「8時」が47.8%で最も多く、次いで「7時」が28.7%、「9時」が13.1%となっています。

【家を出る時間（母親）】

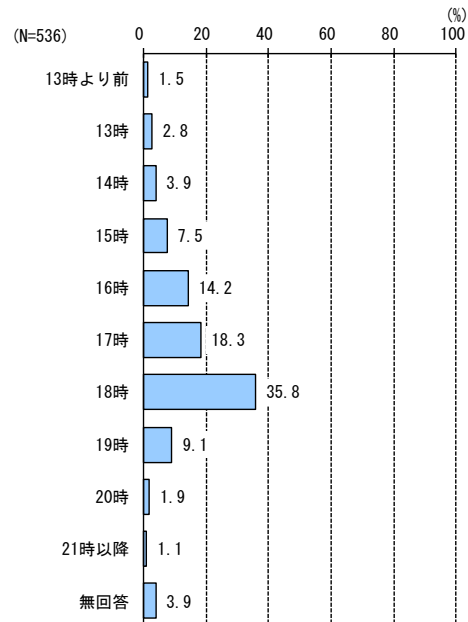


エ 帰宅時間

【全体】

- 母親の帰宅時間について、「18 時」が 35.8%で最も多く、次いで「17 時」が 18.3%、「16 時」が 14.2%となっています。

【帰宅時間（母親）】



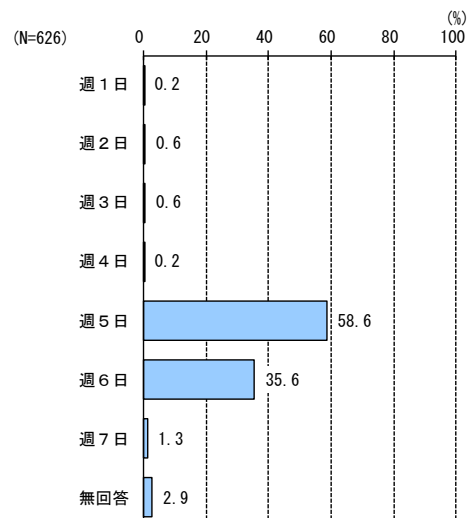
(2) 父親

ア 1 週あたり就労日数

【全体】

- 父親の1 週あたり就労日数について、「週 5 日」が 58.6%で最も多く、次いで「週 6 日」が 35.6%、「週 7 日」が 1.3%となっています。

【1 週あたり就労日数（父親）】

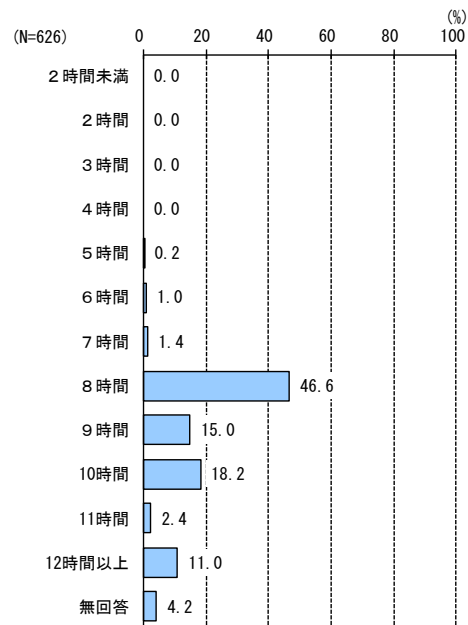


イ 1日あたり就労時間

【全体】

- 父親の1日あたり就労時間について、「8時間」が46.6%で最も多く、次いで「10時間」が18.2%、「9時間」が15.0%となっています。

【1日あたり就労時間（父親）】

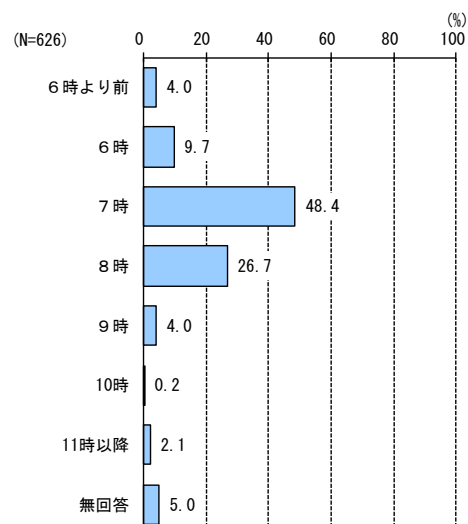


ウ 家を出る時間

【全体】

- 父親の家を出る時間について、「7時」が48.4%で最も多く、次いで「8時」が26.7%、「6時」が9.7%となっています。

【家を出る時間（父親）】

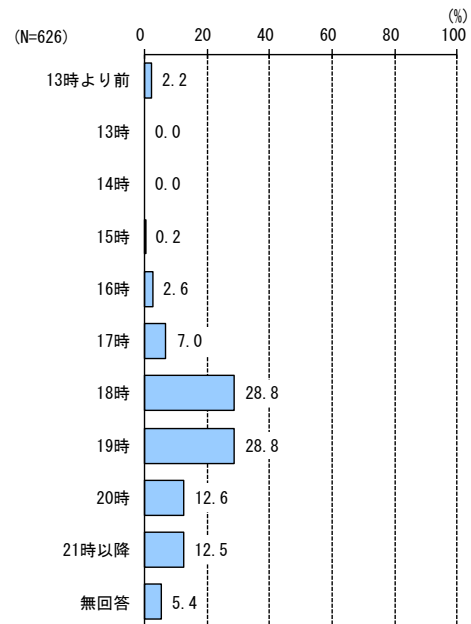


エ 帰宅時間

【全体】

- 父親の帰宅時間について、「18 時」「19 時」が 28.8%で最も多く、次いで「20 時」が 12.6%、「21 時以降」が 12.5%となっています。

【帰宅時間（父親）】



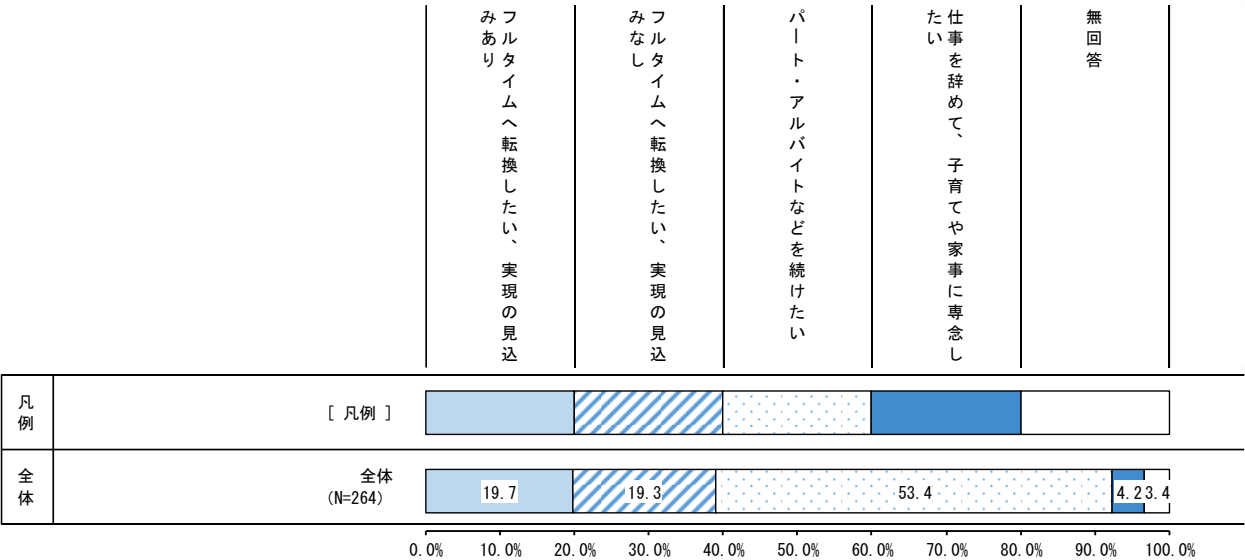
★問11「現在の就労状況」について、「パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ
 問11-3 パート・アルバイトなどからフルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

【全体】

- 母親のフルタイムへの転換希望について、「パート・アルバイトなどを続けたい」が53.4%で最も多く、次いで「フルタイムへ転換したい、実現の見込みあり」が19.7%、「フルタイムへ転換したい、実現の見込みなし」が19.3%となっています。

【フルタイムへの転換希望（母親）】

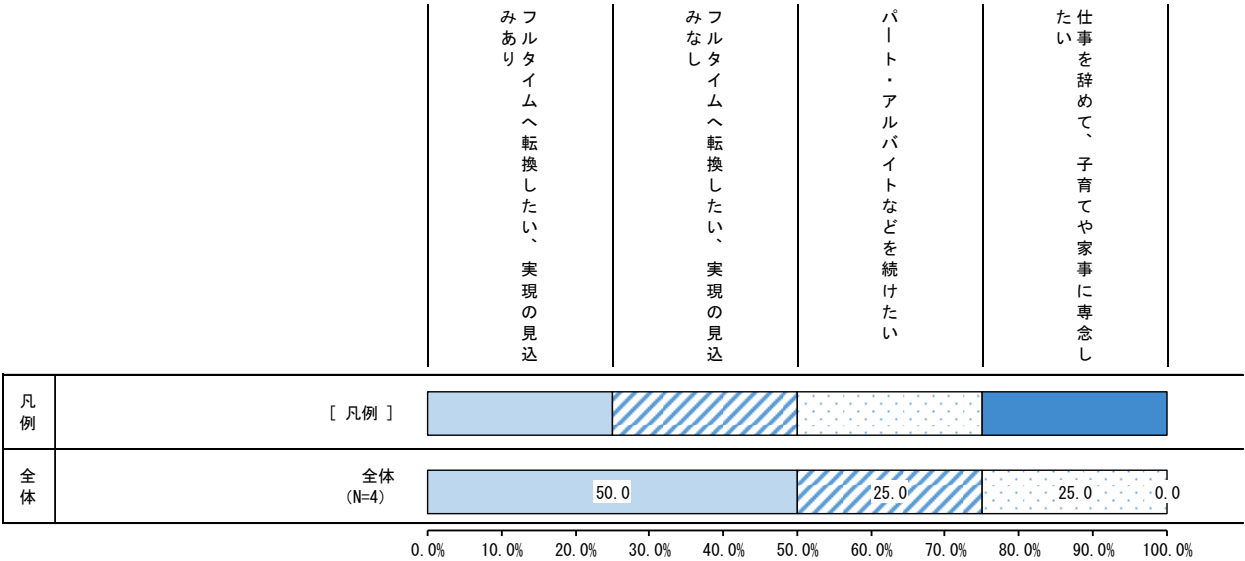


(2) 父親

【全体】

- 父親のフルタイムへの転換希望について、「フルタイムへ転換したい、実現の見込みあり」が50.0%で最も多く、次いで「フルタイムへ転換したい、実現の見込みなし」「パート・アルバイトなどを続けたい」が25.0%となっています。

【フルタイムへの転換希望（父親）】



★問11「現在の就労状況」について、「以前は就労していたが、現在は就労していない」
または「これまで就労したことがない」に○をつけた方のみ

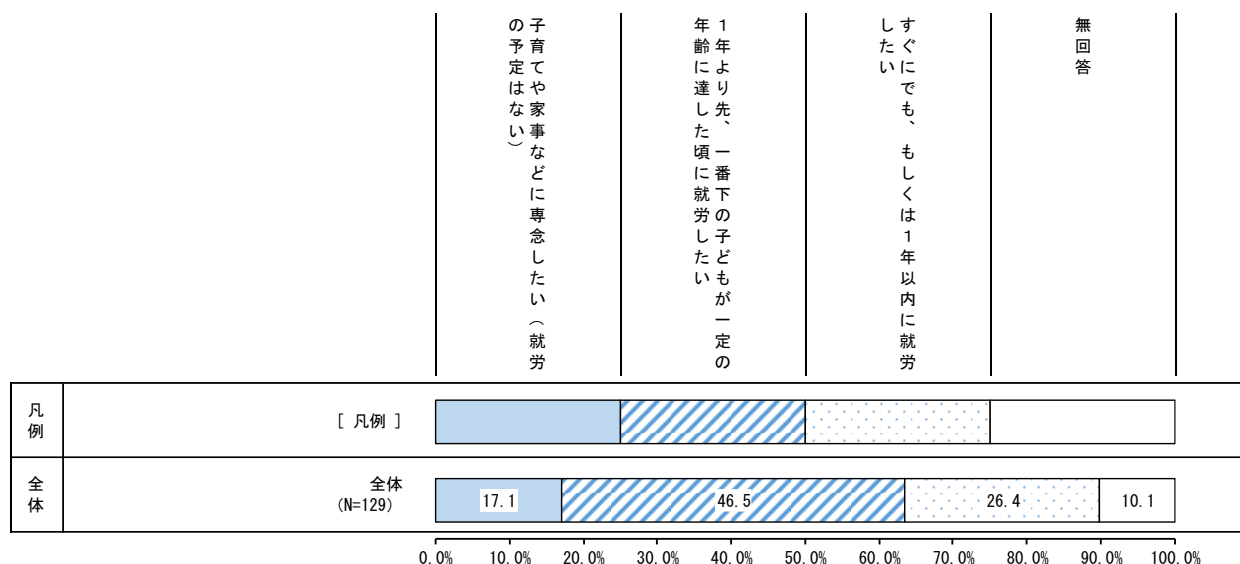
問12 就労したいという希望はありますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

【全体】

- 母親の就労希望について、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」が46.5%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が26.4%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が17.1%となっています。

【就労希望（母親）】

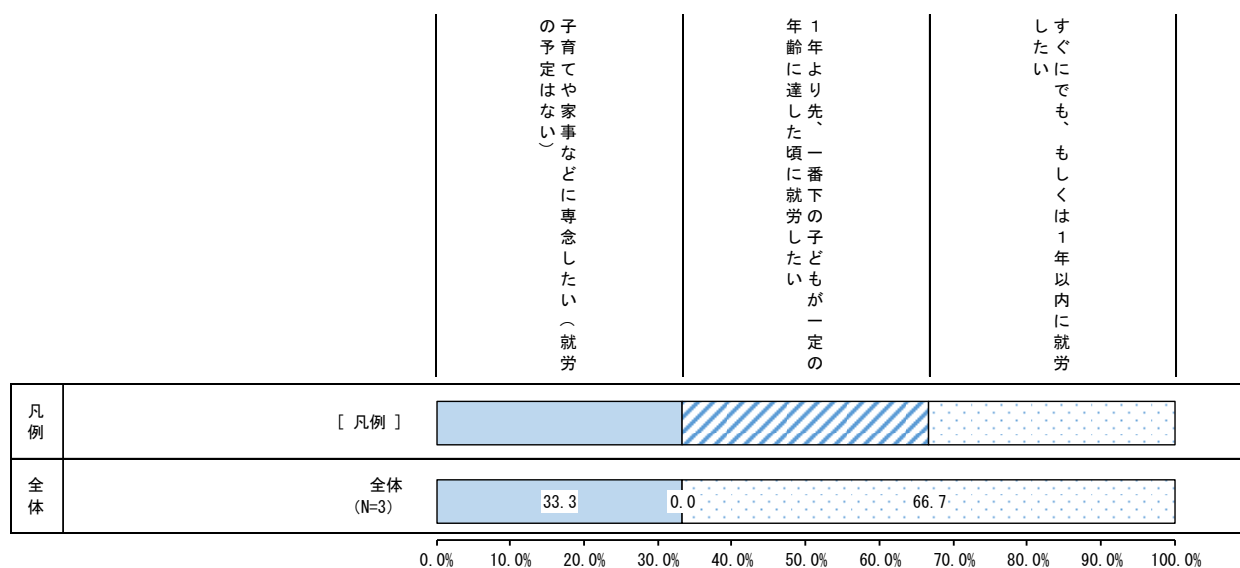


(2) 父親

【全体】

- 父親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が66.7%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が33.3%となっています。

【就労希望（父親）】



★問12「就労希望」について、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」に○をつけた方のみ

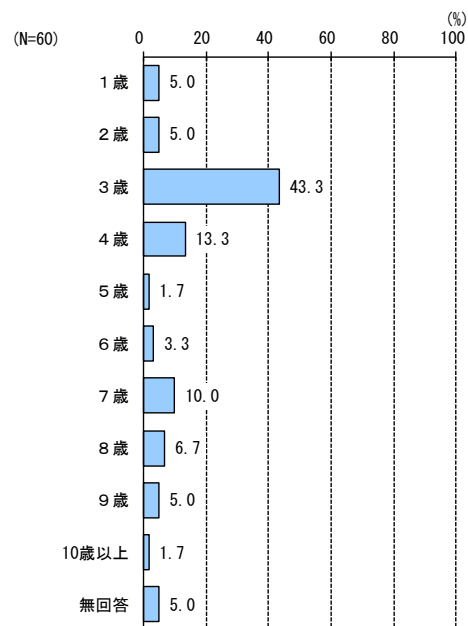
問12-1 一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいですか。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字）

（1）母親

【全体】

- 母親が就労したいと考える子どもの年齢について、「3歳」が43.3%で最も多く、次いで「4歳」が13.3%、「7歳」が10.0%となっています。

【就労したいと考える子どもの年齢（母親）】



（2）父親

【該当者なし】

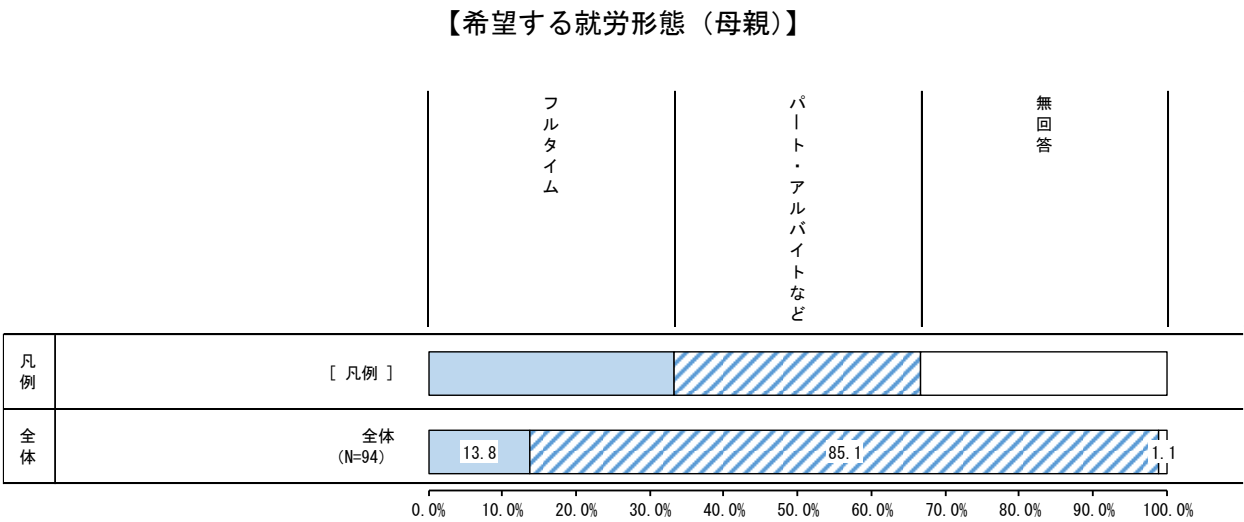
★問12「就労希望」について、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方のみ

問12-2 希望する就労形態はどれですか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

（1）母親

【全体】

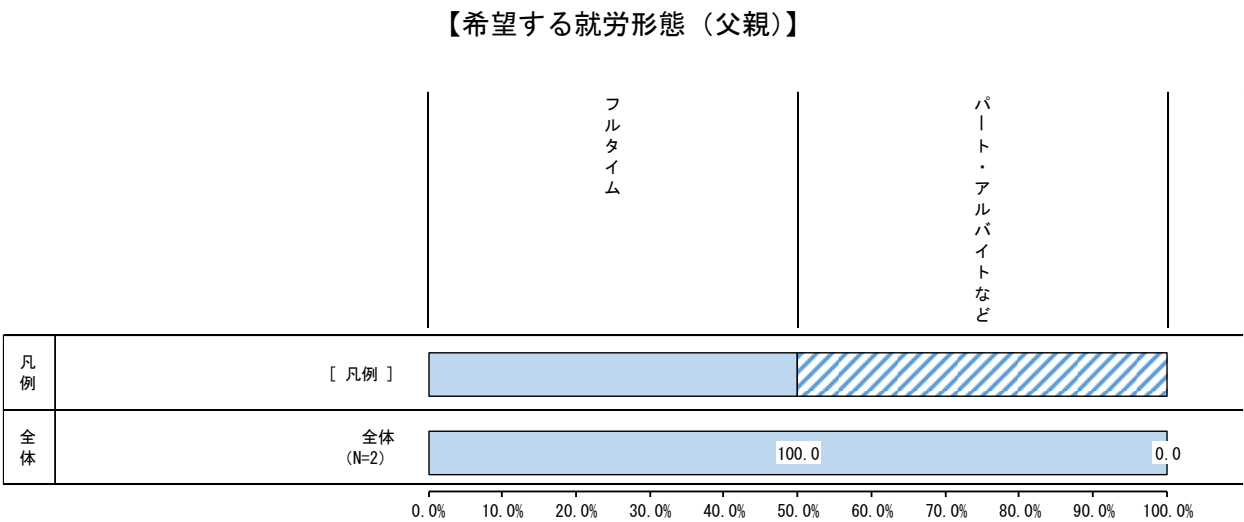
○ 母親が希望する就労形態について、「フルタイム」が 13.8%、「パート・アルバイトなど」が 85.1%となっています。



（2）父親

【全体】

○ 父親が希望する就労形態について、「フルタイム」が 100.0%となっています。



問12-3 希望する就労形態について、①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間」をすべてご記入ください。

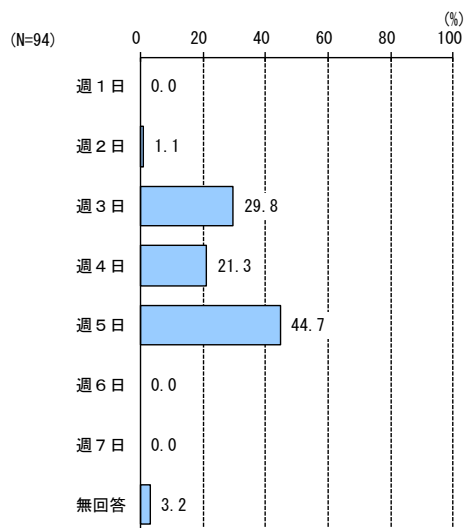
(1) 母親

ア 1週あたり就労日数

【全体】

- 母親が希望する1週あたり就労日数について、「週5日」が44.7%で最も多く、次いで「週3日」が29.8%、「週4日」が21.3%となっています。

【希望する1週あたり就労日数（母親）】

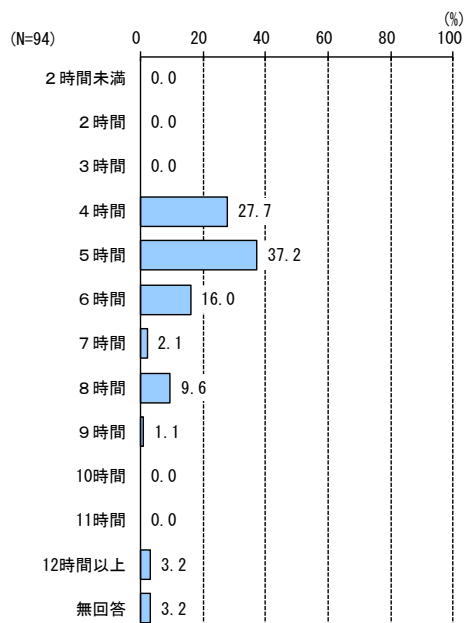


イ 1日あたり就労時間

【全体】

- 母親が希望する1日あたり就労時間について、「5時間」が37.2%で最も多く、次いで「4時間」が27.7%、「6時間」が16.0%となっています。

【希望する1日あたり就労時間（母親）】



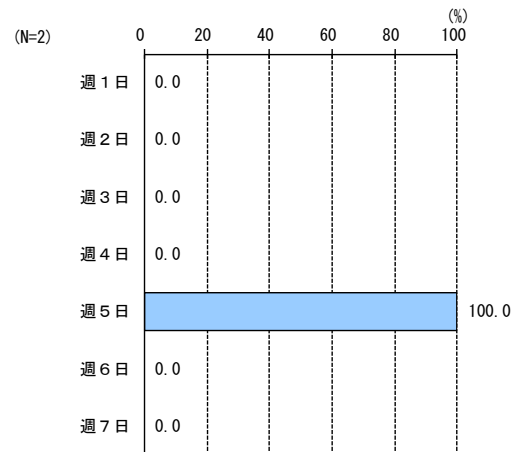
(2) 父親

ア 1週あたり就労日数

【全体】

- 父親が希望する1週あたり就労日数について、「週5日」が100.0%で最も多くなっています。

【希望する1週あたり就労日数（父親）】

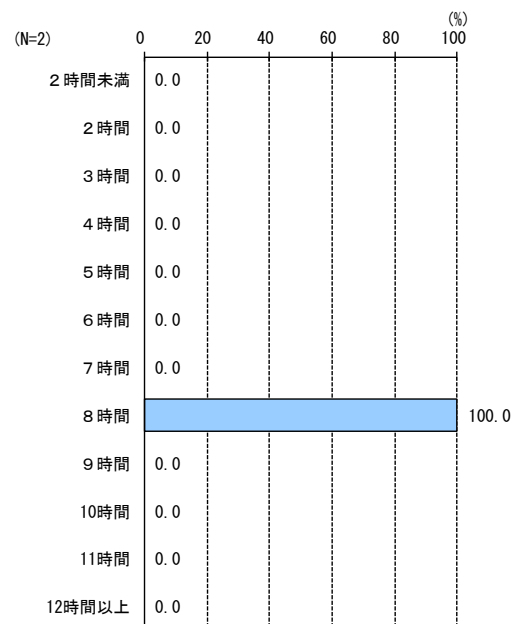


イ 1日あたり就労時間

【全体】

- 父親が希望する1日あたり就労時間について、「8時間」が100.0%で最も多くなっています。

【希望する1日あたり就労時間（父親）】



4 育児休業や短時間勤務制度について

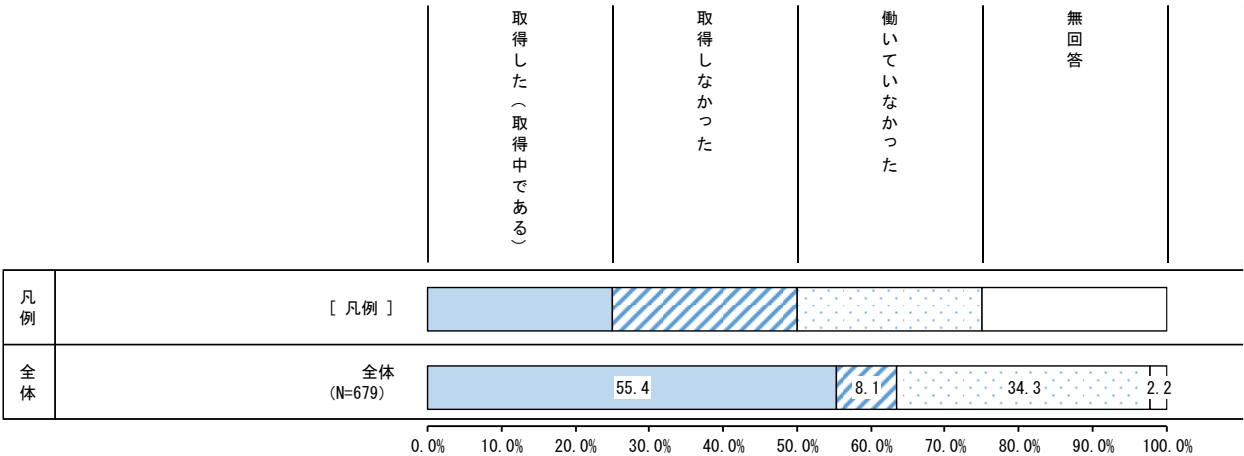
問13 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

【全体】

○ 母親の育児休業の取得状況について、「取得した（取得中である）」が 55.4%で最も多く、次いで「働いていなかった」が 34.3%、「取得しなかった」が 8.1%となっています。

【育児休業の取得状況（母親）】

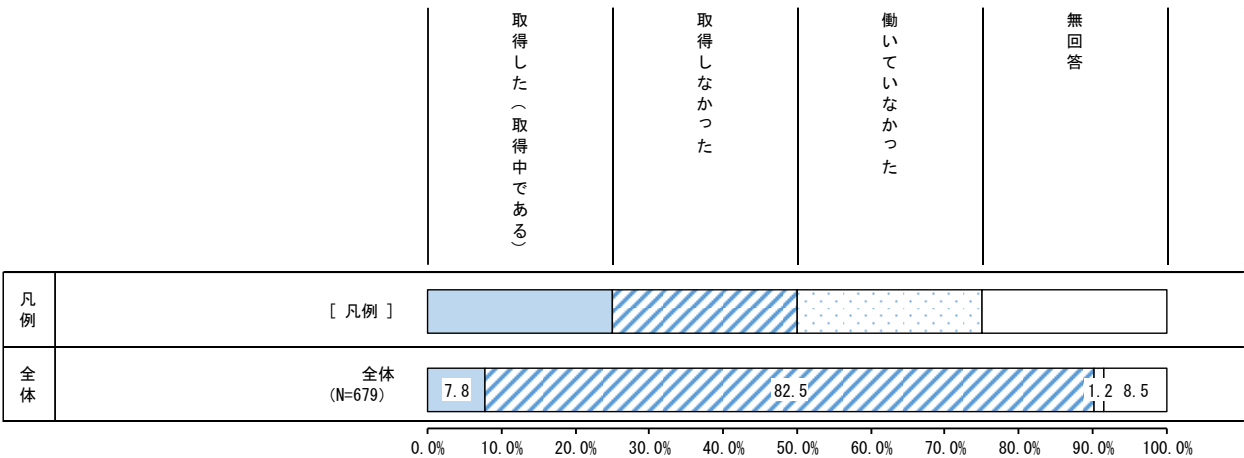


(2) 父親

【全体】

○ 父親の育児休業の取得状況について、「取得しなかった」が 82.5%で最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が 7.8%、「働いていなかった」が 1.2%となっています。

【育児休業の取得状況（父親）】



★問13「育児休業の取得状況」について、「取得した（取得中である）」に○をつけた方のみ

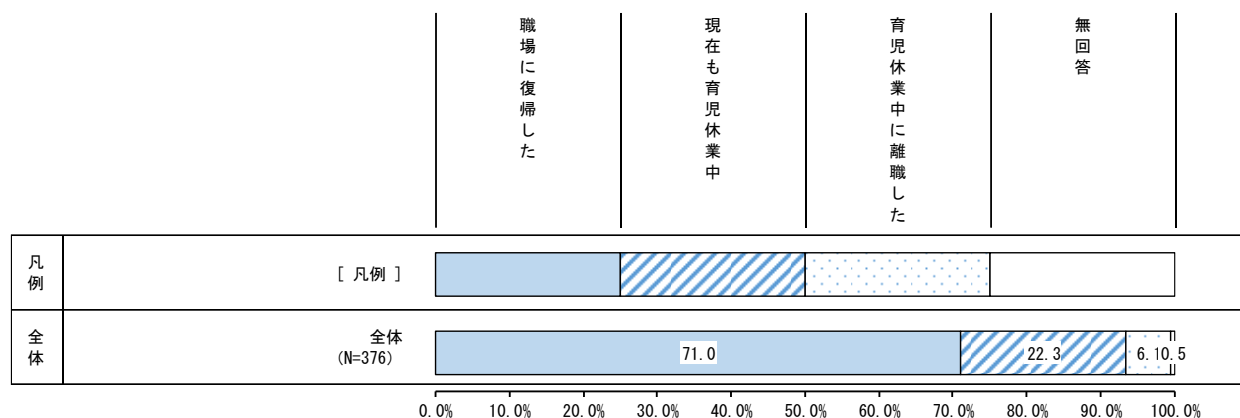
問14 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

（1）母親

【全体】

- 母親の育児休業後の復帰状況について、「職場に復帰した」が71.0%で最も多く、次いで「現在も育児休業中」が22.3%、「育児休業中に離職した」が6.1%となっています。

【育児休業後の復帰状況（母親）】

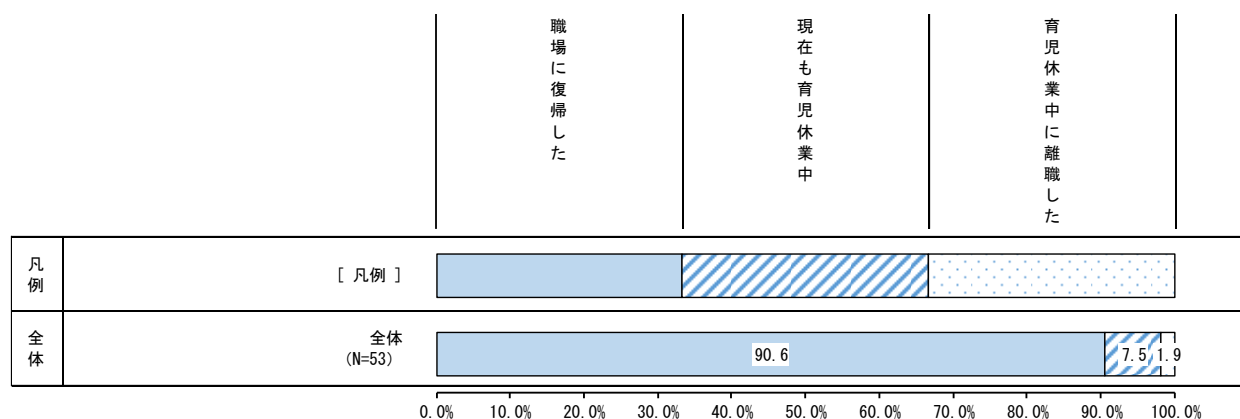


（2）父親

【全体】

- 父親の育児休業後の復帰状況について、「職場に復帰した」が90.6%で最も多く、次いで「現在も育児休業中」が7.5%、「育児休業中に離職した」が1.9%となっています。

【育児休業後の復帰状況（父親）】



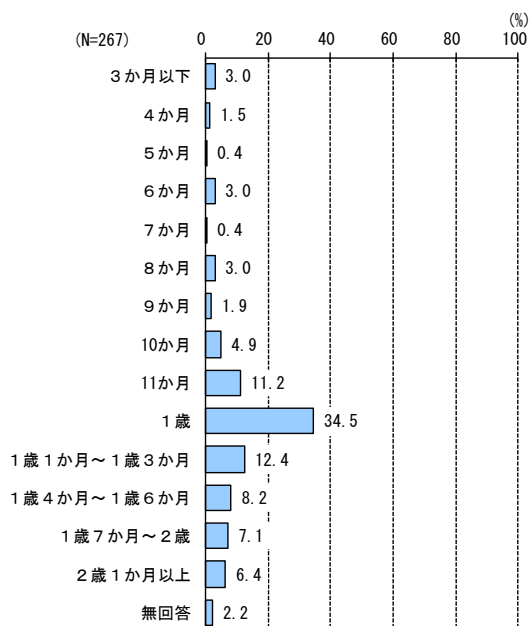
問14-1 お子さんが何歳何か月のときに育児休業から職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで休暇を取りたかったですか。

(1) 母親 復帰時の子どもの年齢（実際）

【全体】

- 母親が実際に復帰時の子の年齢について、「1歳」が34.5%で最も多く、次いで「1歳1か月～1歳3か月」が12.4%、「11か月」が11.2%となっています。

【母親の復帰時の子の年齢（実際）】

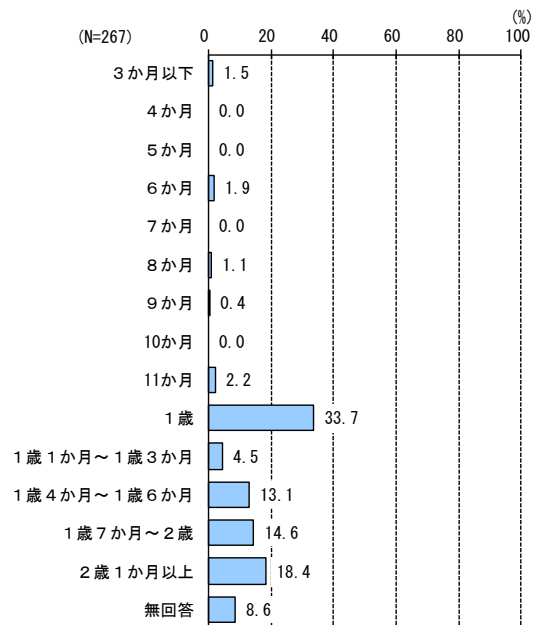


(1) 母親 復帰時の子どもの年齢（希望）

【全体】

- 母親が希望していた復帰時の子の年齢について、「1歳」が33.7%で最も多く、次いで「2歳1か月以上」が18.4%、「1歳7か月～2歳」が14.6%となっています。

【母親の復帰時の子の年齢（希望）】

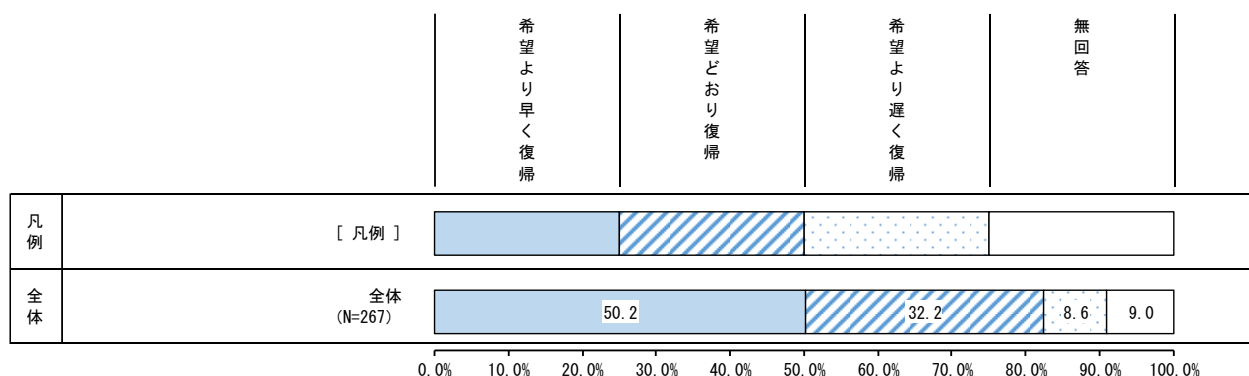


(1) 母親の復帰状況

【全体】

- 母親の復帰時期の差異について、「希望より早く復帰」が50.2%で最も多く、次いで「希望どおり復帰」が32.2%、「希望より遅く復帰」が8.6%となっています。

【復帰時期の差異（母親）】

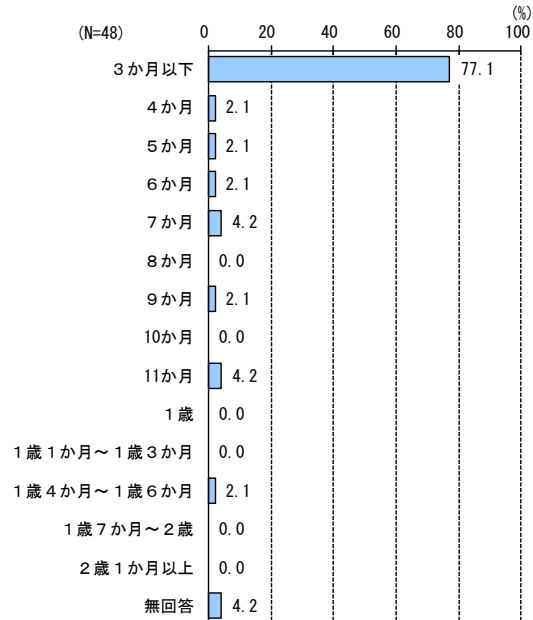


(2) 父親 復帰時の子どもの年齢（実際）

【全体】

- 父親が実際に復帰時の子の年齢について、「3か月以下」が77.1%で最も多く、次いで「7か月」「11か月」が4.2%、「4か月」「5か月」「6か月」「9か月」「1歳4か月～1歳6か月」が2.1%となっています。

【父親の復帰時の子の年齢（実際）】

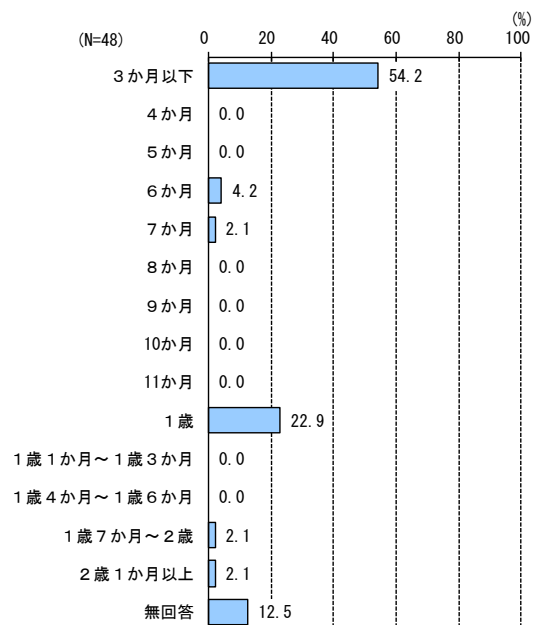


(2) 父親 復帰時の子どもの年齢（希望）

【全体】

- 父親が希望していた復帰時の子の年齢について、「3か月以下」が54.2%で最も多く、次いで「1歳」が22.9%、「6か月」が4.2%となっています。

【父親の復帰時の子の年齢（希望）】

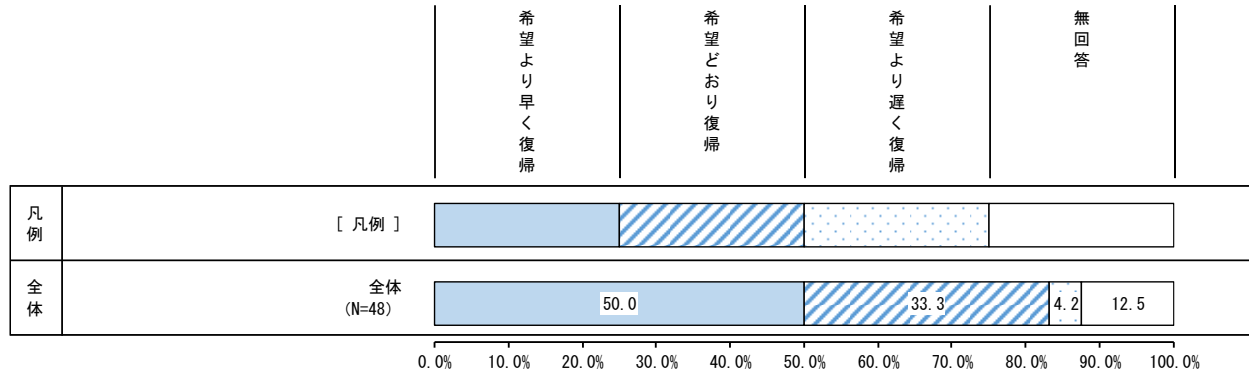


(2) 父親の復帰状況

【全体】

- 父親の復帰時期の差異について、「希望より早く復帰」が50.0%で最も多く、次いで「希望どおり復帰」が33.3%、「希望より遅く復帰」が4.2%となっています。

【復帰時期の差異（父親）】



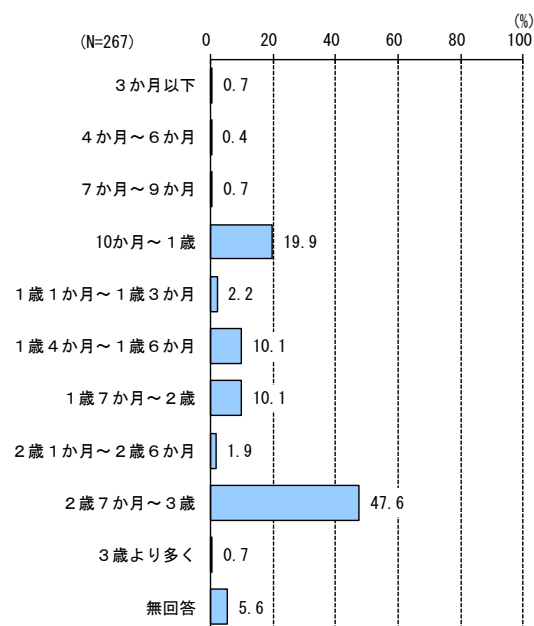
問14-2 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、何歳何か月のときまで休暇を取りたかったですか。

(1) 希望取得期間（母親）

【全体】

- 母親が3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望する取得期間について、「2歳7か月～3歳」が47.6%で最も多く、次いで「10か月～1歳」が19.9%、「1歳4か月～1歳6か月」「1歳7か月～2歳」が10.1%となっています。

【希望取得期間（母親）】

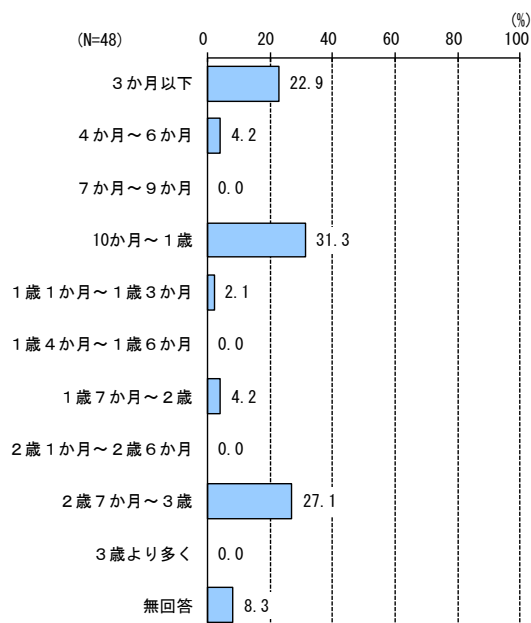


(2) 希望取得期間（父親）

【全体】

- 父親が3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望する取得期間について、「10 か月～1 歳」が 31.3%で最も多く、次いで「2 歳 7 か月～3 歳」が 27.1%、「3 か月以下」が 22.9%となっています。

【希望取得期間（父親）】



★問14-1で、「実際の取得期間」と「希望の取得期間」が異なる方のみ

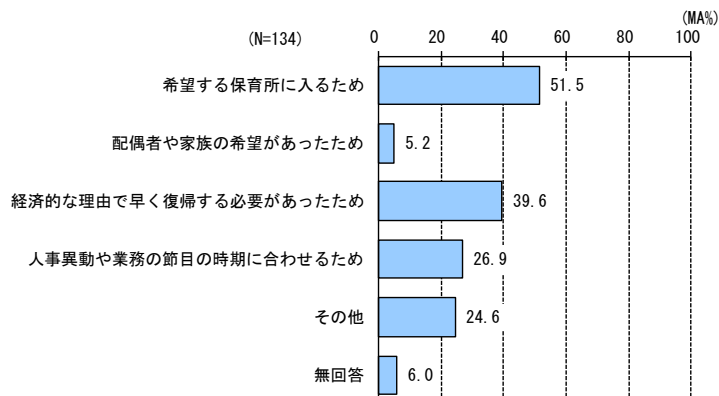
問15 希望の時期に職場復帰しなかった理由を、以下の選択肢からご記入ください。（それぞれ、あてはまる番号すべてを記入）「希望の取得期間」より早く復帰した方
「希望の取得期間」より遅く復帰した方

(1) 母親「希望の取得期間」より早く復帰した方

【全体】

- 母親が「希望の取得期間」より早く復帰した理由について、「希望する保育所に入るため」が 51.5%で最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 39.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 26.9%となっています。

【「希望の取得期間」より早く復帰した方（母親）】

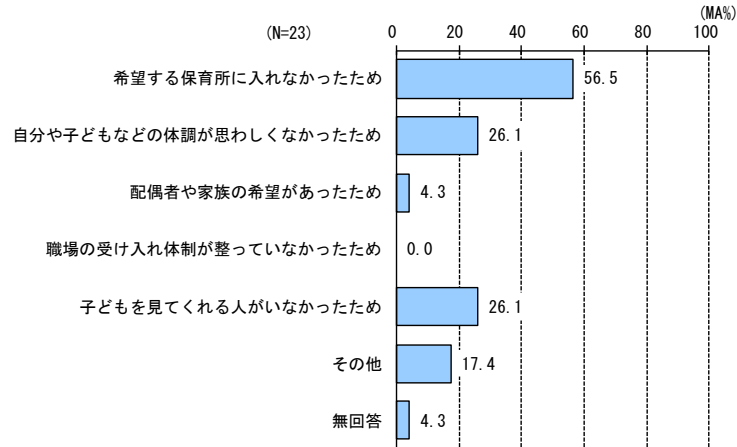


(1) 母親「希望の取得期間」より遅く復帰した方

【全体】

- 母親が「希望の取得期間」より遅く復帰した理由について、「希望する保育所に入れなかったため」が 56.5%で最も多く、次いで「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」「子どもを見てくれる人がいなかったため」が26.1%、「その他」が17.4%となっています。

【「希望の取得期間」より遅く復帰した方（母親）】

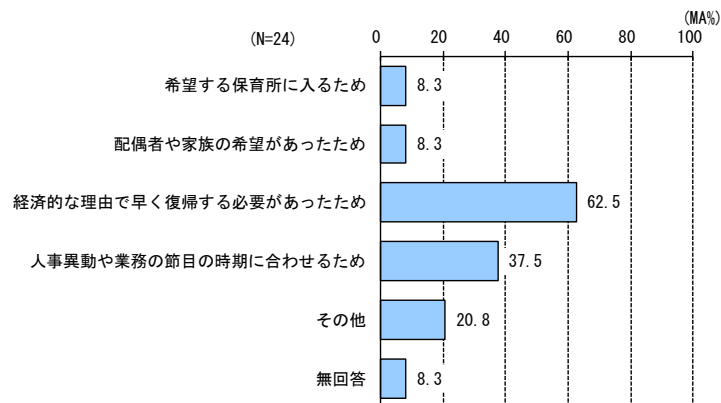


(2) 父親「希望の取得期間」より早く復帰した方

【全体】

- 父親が「希望の取得期間」より早く復帰した理由について、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 62.5%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が37.5%、「その他」が20.8%となっています。

【「希望の取得期間」より早く復帰した方（父親）】

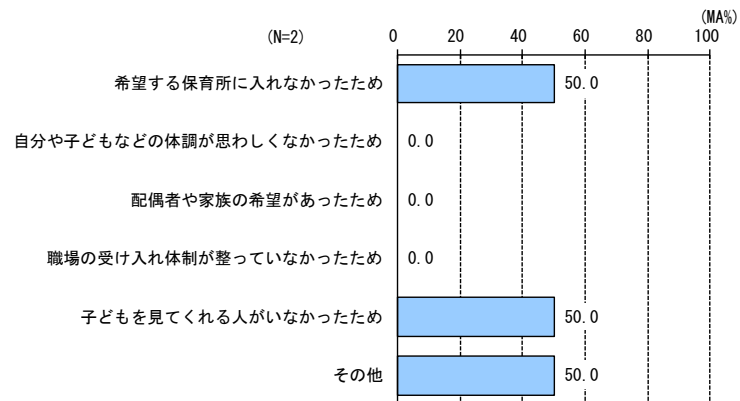


(2) 父親「希望の取得期間」より遅く復帰した方

【全体】

- 父親が「希望の取得期間」より遅く復帰した理由について、「希望する保育所に入れなかったため」「子どもを見てくれる人がいなかったため」「その他」が 50.0%で最も多くなっています。

【「希望の取得期間」より遅く復帰した方（父親）】



★問13「育児休業の取得状況」について、「取得しなかった」に○をつけた方のみ

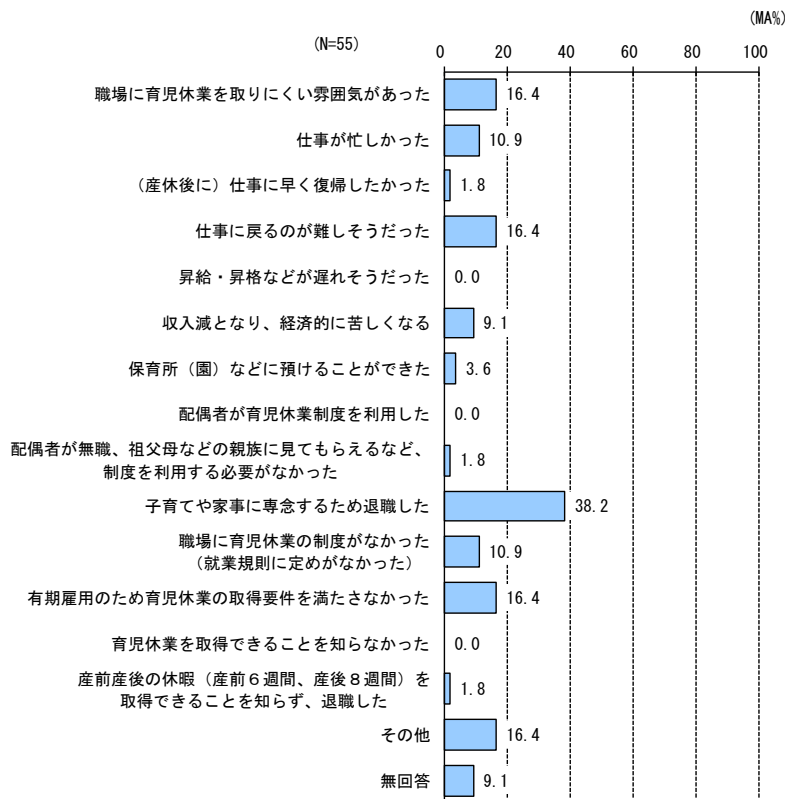
問16 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しなかった理由を、以下の選択肢からご記入ください。（それぞれ、あてはまる番号すべてを、以下の記入欄に記入）

(1) 母親 育児休業を取得しなかった理由

【全体】

- 母親が育児休業を取得しなかった理由について、「子育てや家事に専念するため退職した」が38.2%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事に戻るのが難しそうだった」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」「その他」が16.4%、「仕事が忙しかった」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が10.9%となっています。

【育児休業を取得しなかった理由（母親）】

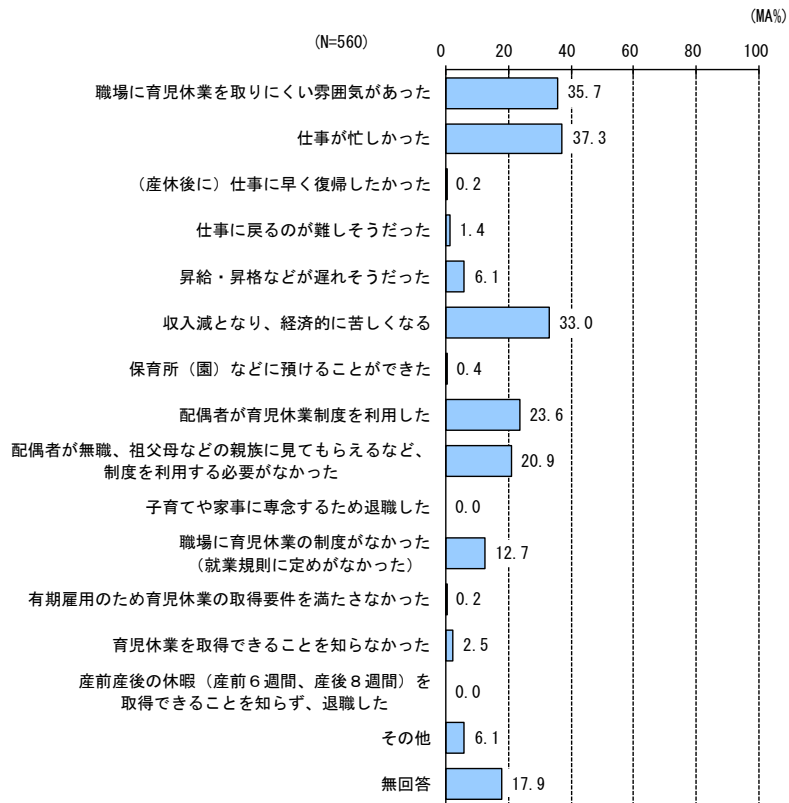


(2) 父親 育児休業を取得しなかった理由

【全体】

- 父親が育児休業を取得しなかった理由について、「仕事が忙しかった」が 37.3%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 35.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 33.0%となっています。

【育児休業を取得しなかった理由（父親）】



5 平日の定期的な教育・保育事業※1の利用状況について

※1 親族・知人による預かりなどを除いた、月単位で定期的に利用している幼稚園、保育所、認定こども園などを指す。

問17 あて名のお子さんは、平日に認定こども園、幼稚園、保育所などの定期的な教育・保育事業を利用していますか。（あてはまる番号1つに○）

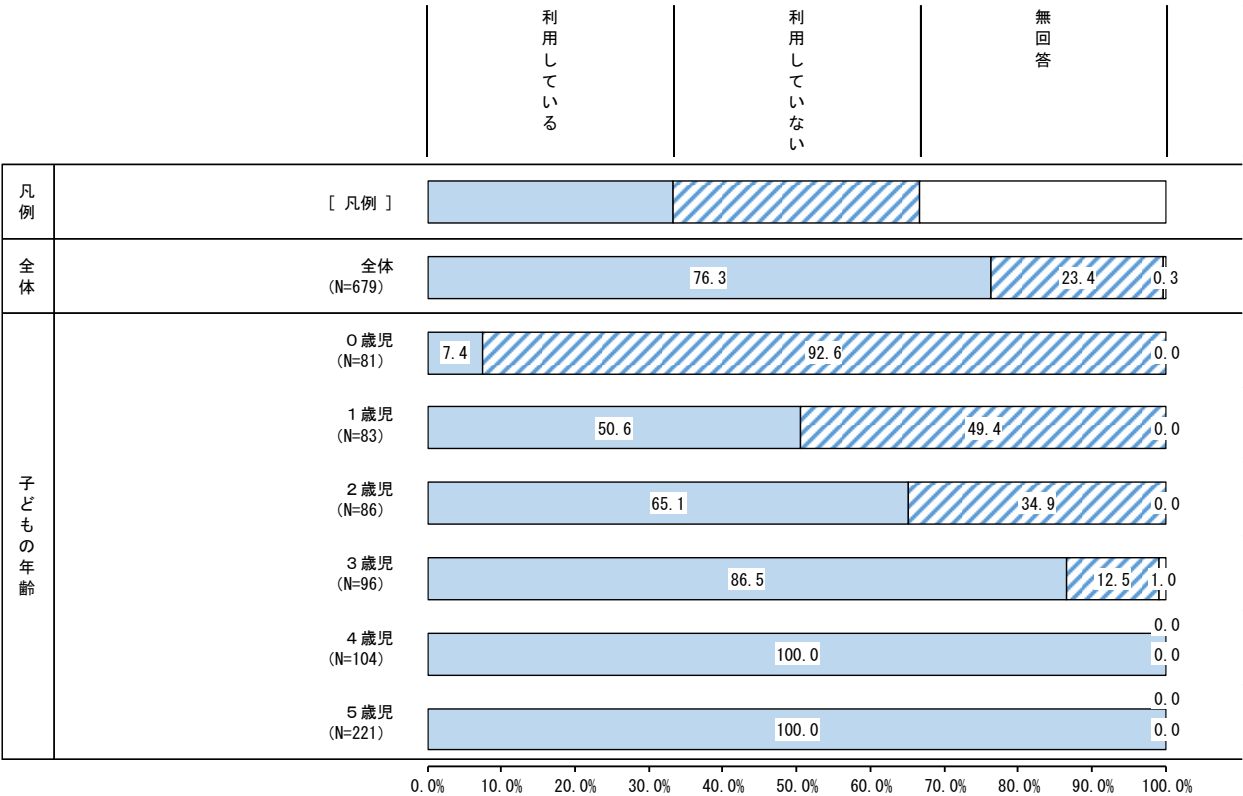
【全体】

○ 平日の定期的な教育・保育事業の利用について、「利用している」が76.3%、「利用していない」が23.4%となっています。

【子どもの年齢】

○ 0歳児では7.4%、1歳児では50.6%、2歳児では65.1%、3歳児では86.5%、4歳児・5歳児では100.0%が「利用している」となっています。

【平日の定期的な教育・保育事業の利用】



★問17「平日の定期的な教育・保育事業の利用」について、「利用している」に○をつけた方のみ

問17-1 あて名のお子さんは、平日にどのような事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

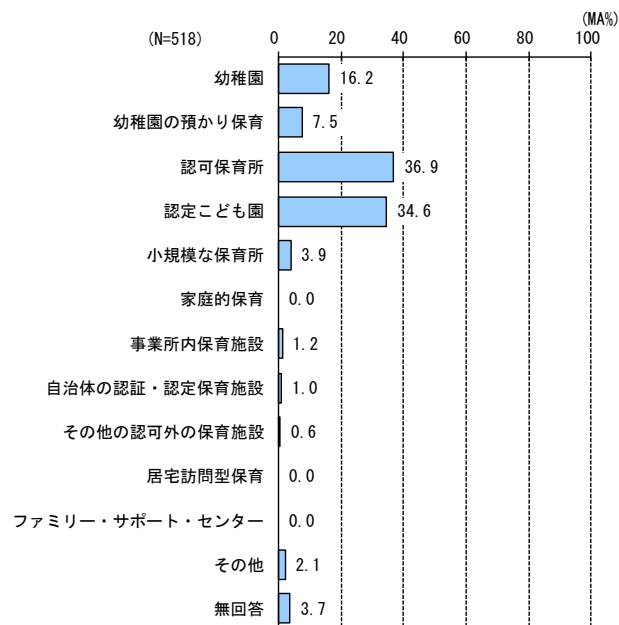
【全体】

○ 年間を通じて平日に利用している事業について、「認可保育所」が 36.9%で最も多く、次いで「認定こども園」が 34.6%、「幼稚園」が 16.2%となっています。

【子どもの年齢】

○ 0歳児・3歳児では「認定こども園」、1歳児・2歳児・4歳児・5歳児では「認可保育所」が最も多くなっています。

【平日に利用している事業】



単位：％

		母数 (N)	年間を通じて平日に利用している事業						
			幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育所	家庭的保育	事業所内保育施設
全体		518	16.2	7.5	36.9	34.6	3.9	—	1.2
子どもの年齢	0歳児	6	—	—	16.7	50.0	16.7	—	16.7
	1歳児	42	2.4	2.4	40.5	33.3	9.5	—	2.4
	2歳児	56	5.4	1.8	42.9	32.1	7.1	—	5.4
	3歳児	83	13.3	8.4	32.5	41.0	4.8	—	1.2
	4歳児	104	18.3	9.6	39.4	30.8	1.9	—	—
	5歳児	221	21.7	9.0	35.7	34.8	2.3	—	—

単位：％

		母数 (N)	年間を通じて平日に利用している事業					
			自治体の認証・認定保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体		518	1.0	0.6	—	—	2.1	3.7
子どもの年齢	0歳児	6	—	—	—	—	—	—
	1歳児	42	2.4	2.4	—	—	—	7.1
	2歳児	56	1.8	—	—	—	1.8	3.6
	3歳児	83	1.2	1.2	—	—	—	2.4
	4歳児	104	—	1.0	—	—	5.8	3.8
	5歳児	221	0.9	—	—	—	1.8	3.2

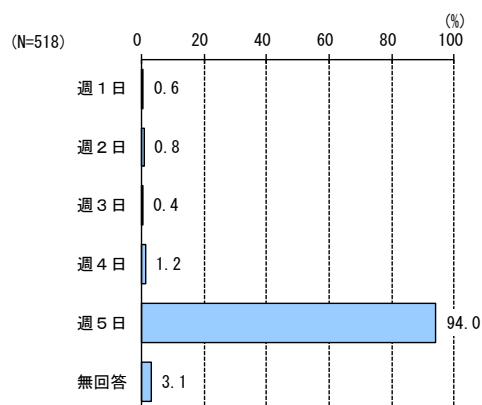
問17-2 平日に利用している事業について、(1) 現在及び(2) 希望の、① 1週あたりの利用日数、② 1日あたりの利用時間をすべてご記入ください。

(1) 現在 平日の定期的な教育・保育事業の利用日数

【全体】

- 現在、平日の定期的な教育・保育事業の利用日数について、「週5日」が94.0%で最も多く、次いで「週4日」が1.2%、「週2日」が0.8%となっています。

【平日の利用日数（現在）】

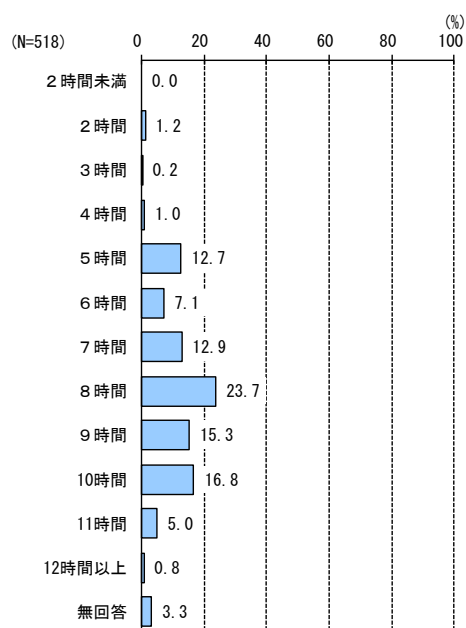


(1) 現在 平日の定期的な教育・保育事業の利用時間

【全体】

- 現在、平日の定期的な教育・保育事業の利用時間について、「8時間」が23.7%で最も多く、次いで「10時間」が16.8%、「9時間」が15.3%となっています。

【平日の利用時間（現在）】

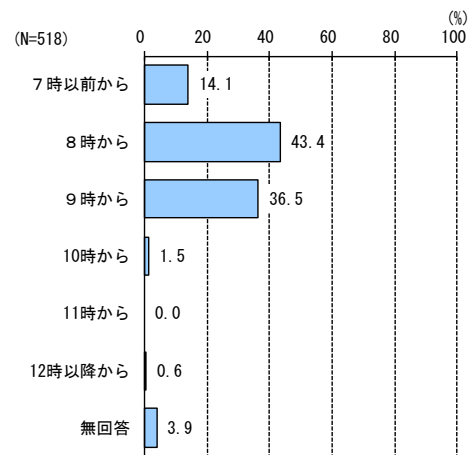


(1) 現在 平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間帯

【全体】

- 現在、平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間帯について、「8時から」が43.4%で最も多く、次いで「9時から」が36.5%、「7時以前から」が14.1%となっています。

【平日の利用開始時間帯（現在）】

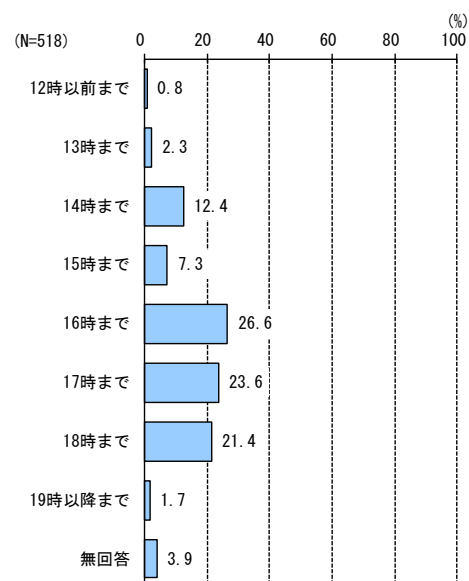


(1) 現在 平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時間帯

【全体】

- 現在、平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時間帯について、「16時まで」が26.6%で最も多く、次いで「17時まで」が23.6%、「18時まで」が21.4%となっています。

【平日の利用終了時間帯（現在）】

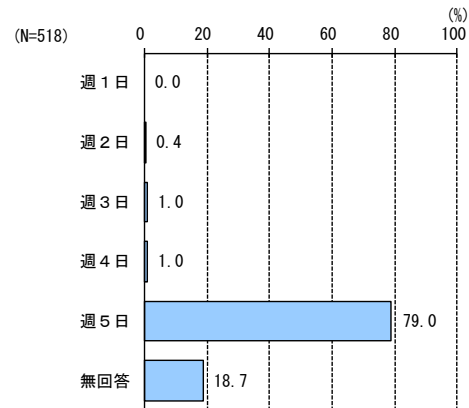


(2) 希望 平日の定期的な教育・保育事業の利用日数

【全体】

- 希望する平日の定期的な教育・保育事業の利用日数について、「週5日」が79.0%で最も多く、次いで「週3日」「週4日」が1.0%、「週2日」が0.4%となっています。

【平日の利用日数（希望）】

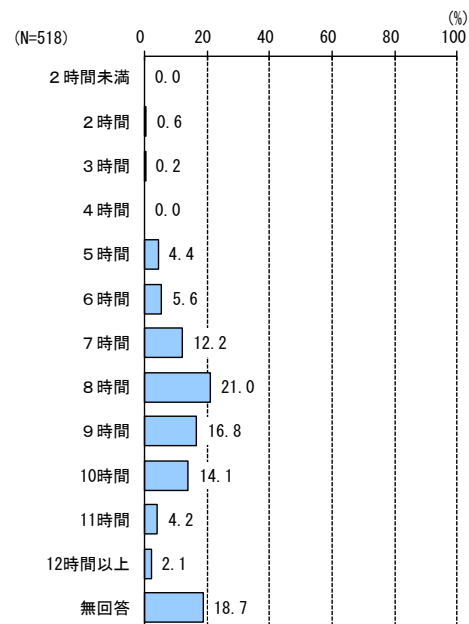


(2) 希望 平日の定期的な教育・保育事業の利用時間

【全体】

- 希望する平日の定期的な教育・保育事業の利用時間について、「8時間」が21.0%で最も多く、次いで「9時間」が16.8%、「10時間」が14.1%となっています。

【平日の利用時間（希望）】

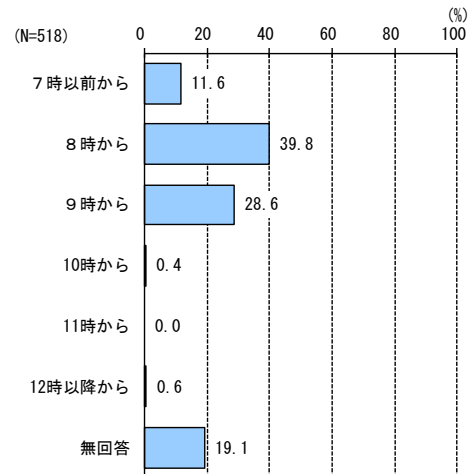


(2) 希望 平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間帯

【全体】

- 希望する平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時間帯について、「8時から」が39.8%で最も多く、次いで「9時から」が28.6%、「7時以前から」が11.6%となっています。

【平日の利用開始時間帯（希望）】

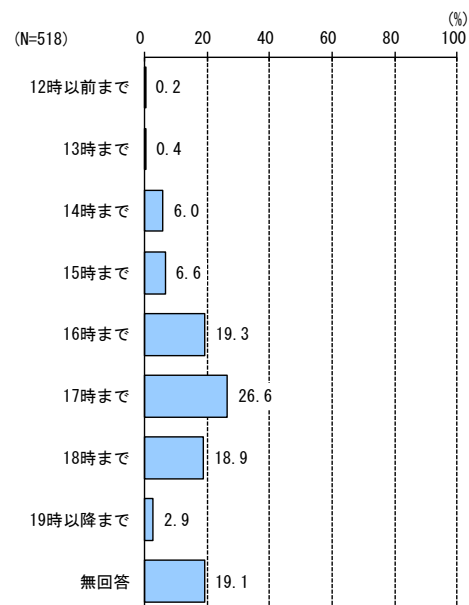


(2) 希望 平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時間帯

【全体】

- 希望する平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時間帯について、「17時まで」が26.6%で最も多く、次いで「16時まで」が19.3%、「18時まで」が18.9%となっています。

【平日の利用終了時間帯（希望）】

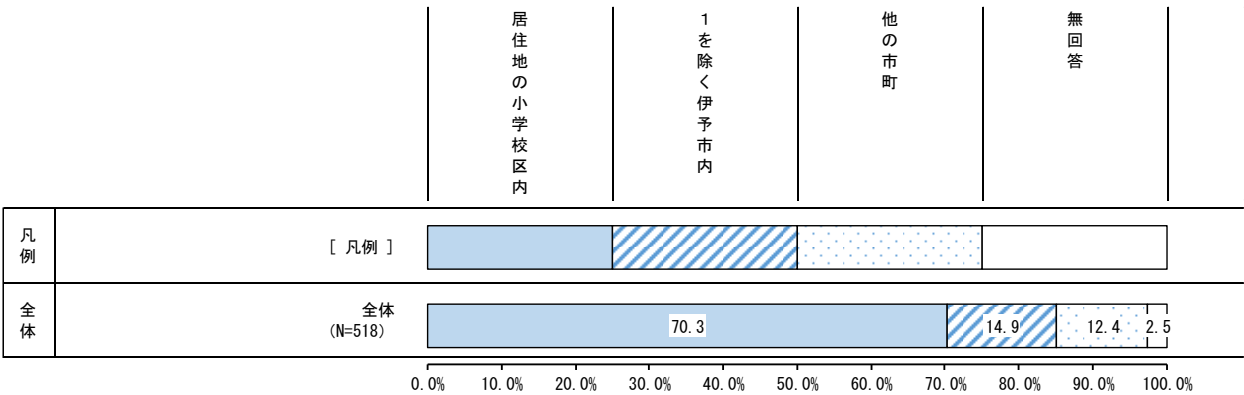


問17-3 現在、利用している事業の実施場所はどこですか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 現在、利用している事業の実施場所について、「居住地の小学校区内」が 70.3%で最も多く、次いで「1を除く伊予市内」が 14.9%、「他の市町」が 12.4%となっています。

【利用事業の実施場所】



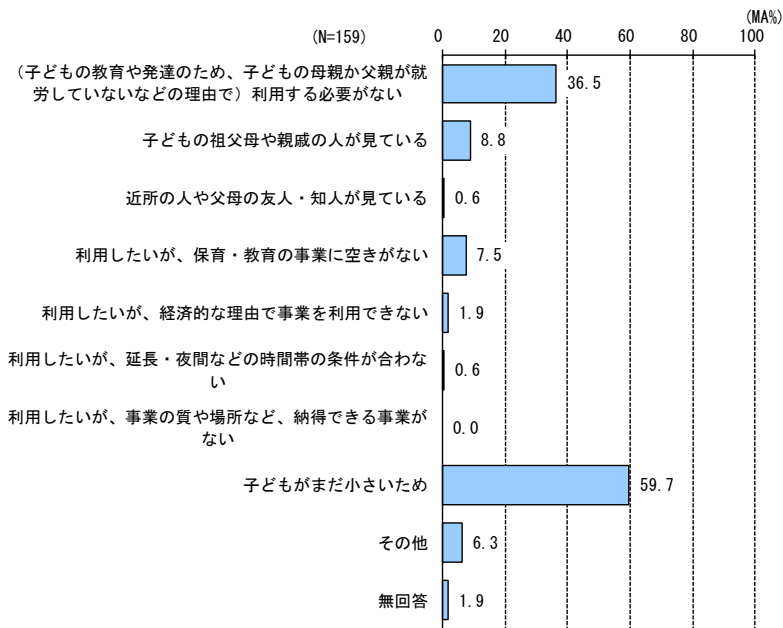
★問17「平日の定期的な教育・保育事業の利用」について、「利用していない」に○をつけた方のみ

問18 平日に定期的に事業を利用していない理由をご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

○ 平日に定期的に事業を利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため」が 59.7%で最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が 36.5%、「子どもの祖父母や親戚の人が見ている」が 8.8%となっています。

【平日に定期的に事業を利用していない理由】



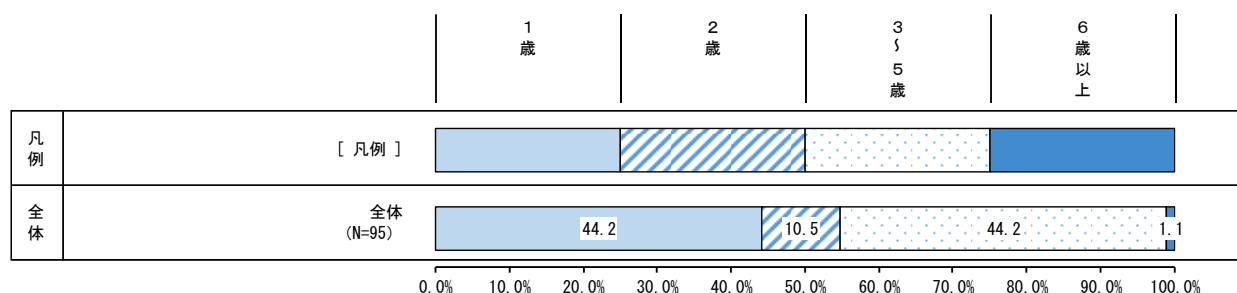
★問18「平日に定期的に事業を利用していない理由」について、「子どもがまだ小さいため」に○をつけた方のみ

問18-1 子どもが何歳になった頃に利用したいですか。

【全体】

○ 利用を始めたい子どもの年齢について、「1歳」「3～5歳」が44.2%で最も多く、次いで「2歳」が10.5%、「6歳以上」が1.1%となっています。

【利用を始めたい子どもの年齢】



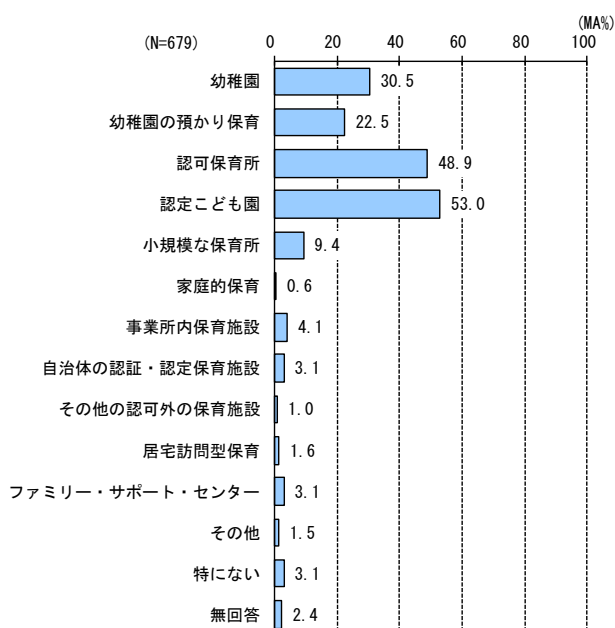
問19 現在の利用の有無にかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業をご記入ください※1。(あてはまる番号すべてに○)

※1 これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

【全体】

○ 今後、平日、定期的に利用したい教育・保育事業について、「認定こども園」が53.0%で最も多く、次いで「認可保育所」が48.9%、「幼稚園」が30.5%となっています。

【今後、平日、定期的に利用したい教育・保育事業】



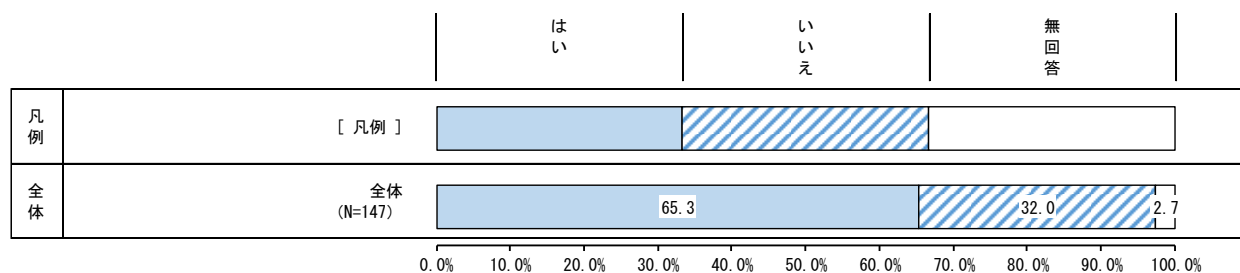
★問19「定期的に利用したい教育・保育事業」で、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」
「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」とそれ以外の「認可保育所」等の両方に○をつけた方のみ

問19-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を併せて利用する場合を含む。）の利用を強く希望しますか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 幼稚園の利用を強く希望しているかについて、「はい」が 65.3%、「いいえ」が 32.0%となっています。

【幼稚園の利用を強く希望しているか】



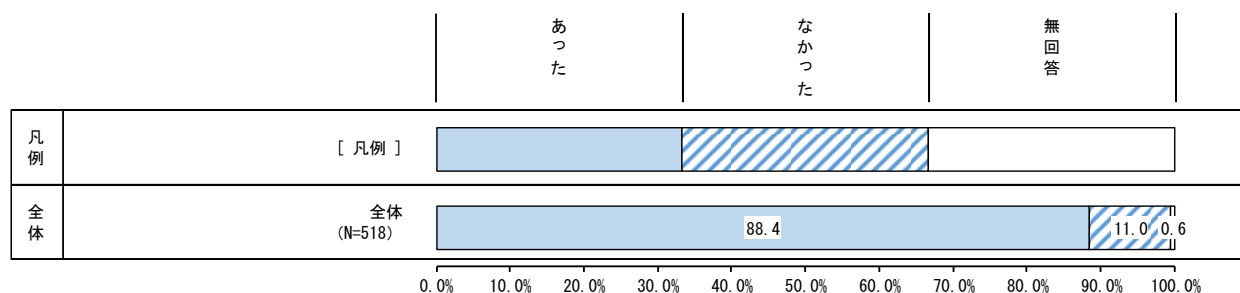
6 病気の際の対応について（平日の定期的な教育・保育事業を利用している方のみ）

問20 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、通常の教育・保育事業を利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 傷病で通常の教育・保育事業を利用できなかった経験の有無について、「あった」が 88.4%、「なかった」が 11.0%となっています。

【傷病で通常の教育・保育事業を利用できなかった経験の有無】



★問20「傷病で通常の教育・保育事業を利用できなかった経験の有無」について、「あった」に○をつけた方のみ

問20-1 通常の教育・保育事業が利用できなかった時に、①実際に取った対処法と、②対処した際の日数（年間）をすべてご記入ください※¹。

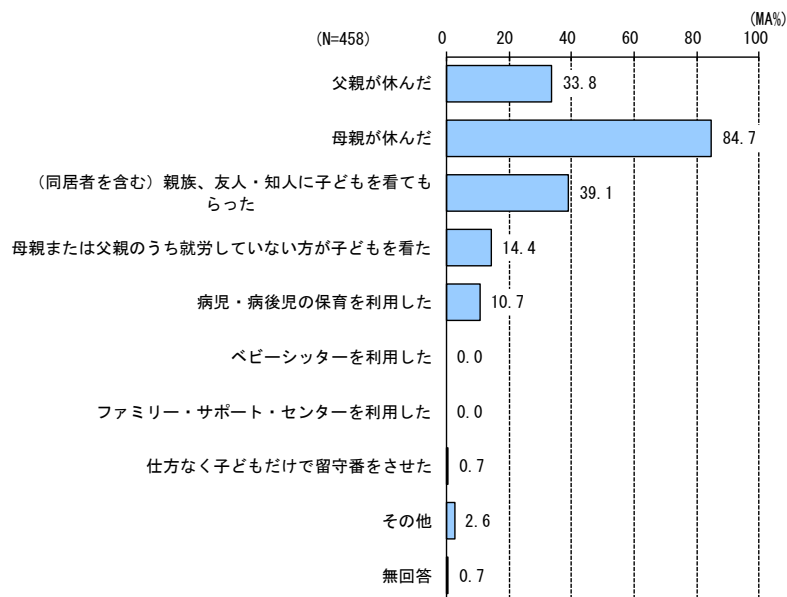
※¹ 半日程度の対応の場合も、1日と数えて記入

(1) 実際に取った対処法

【全体】

- 実際に取った対処法について、「母親が休んだ」が 84.7%で最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族、友人・知人に子どもを看てもらった」が 39.1%、「父親が休んだ」が 33.8%となっています。

【実際に取った対処法】

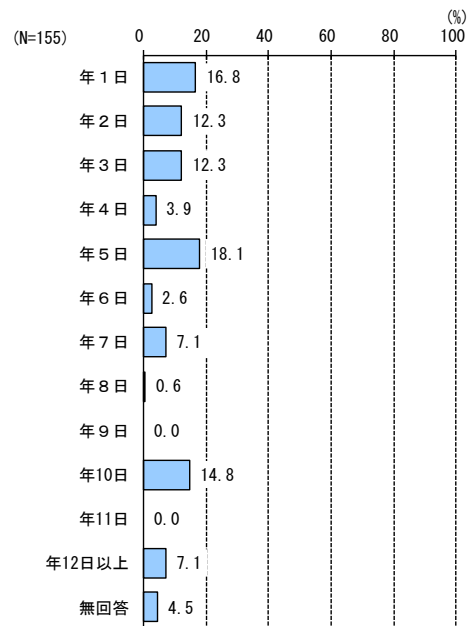


(2) 父親が休んだ日数 (年間)

【全体】

- 父親が休んだ日数 (年間) について、「年 5 日」が 18.1%で最も多く、次いで「年 1 日」が 16.8%、「年 10 日」が 14.8%となっています。

【父親が休んだ日数 (年間)】

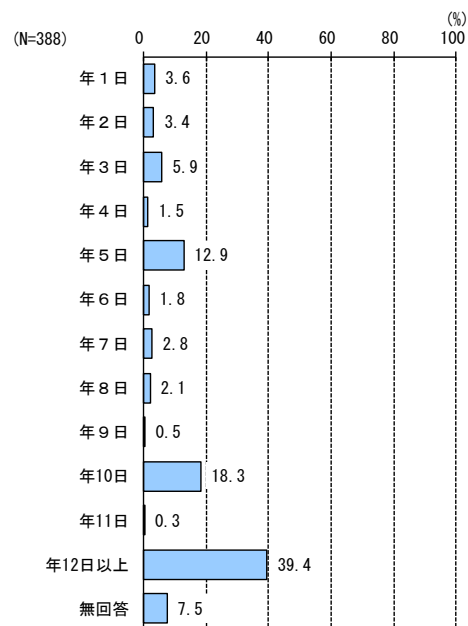


(2) 母親が休んだ日数 (年間)

【全体】

- 母親が休んだ日数 (年間) について、「年 12 日以上」が 39.4%で最も多く、次いで「年 10 日」が 18.3%、「年 5 日」が 12.9%となっています。

【母親が休んだ日数 (年間)】

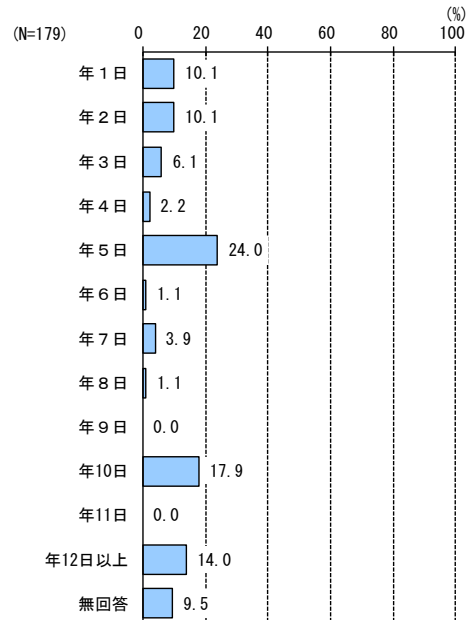


(2) (同居者を含む) 親族、友人・知人に子どもを看てもらった日数 (年間)

【全体】

- (同居者を含む) 親族、友人・知人に看てもらった日数 (年間) について、「年 5 日」が 24.0%で最も多く、次いで「年 10 日」が 17.9%、「年 12 日以上」が 14.0%となっています。

【(同居者を含む) 親族、友人・知人に看てもらった日数 (年間)】

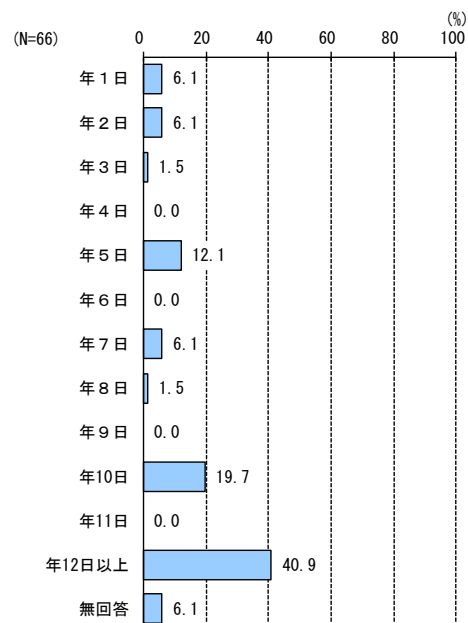


(2) 母親または父親のうち就労していない方が子どもを看た日数 (年間)

【全体】

- 母親または父親のうち就労していない方がみた日数 (年間) について、「年 12 日以上」が 40.9%で最も多く、次いで「年 10 日」が 19.7%、「年 5 日」が 12.1%となっています。

【母親または父親のうち就労していない方が見た日数 (年間)】

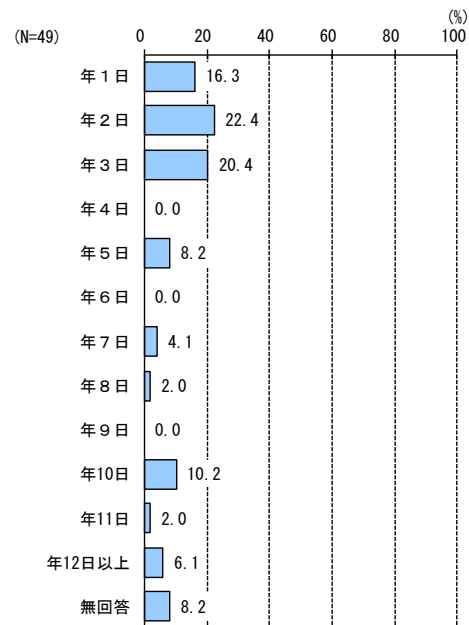


(2) 病児・病後児の保育を利用した日数（年間）

【全体】

- 病児・病後児保育の利用日数（年間）について、「年2日」が22.4%で最も多く、次いで「年3日」が20.4%、「年1日」が16.3%となっています。

【病児・病後児保育の利用日数（年間）】



(2) ベビーシッターを利用した日数（年間）

【該当者なし】

(2) ファミリー・サポート・センター※²を利用した日数（年間）

【該当者なし】

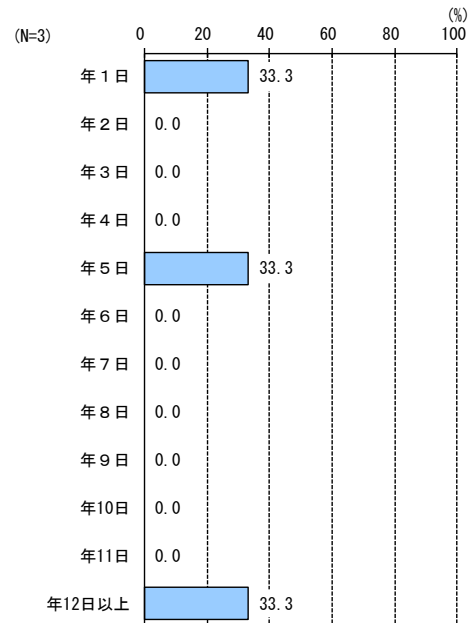
※² 「ファミリー・サポート・センター」は「病児・緊急対応強化事業」による利用も含む。

(2) 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数（年間）

【全体】

- 子どもだけでの留守番日数（年間）について、「年1日」「年5日」「年12日以上」が33.3%で最も多くなっています。

【子どもだけでの留守番日数（年間）】

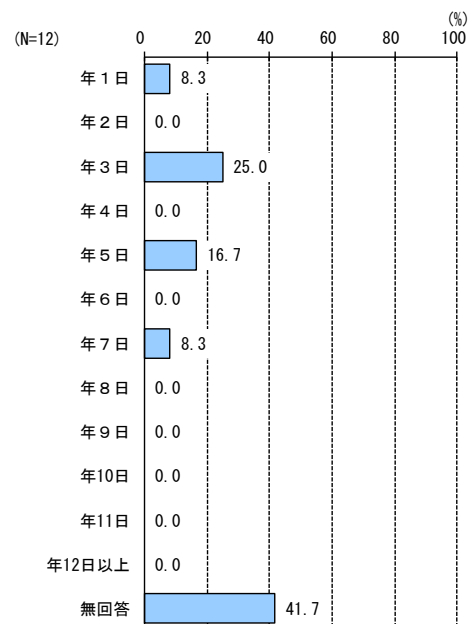


(2) その他日数（年間）

【全体】

- その他日数（年間）について、「年3日」が25.0%で最も多く、次いで「年5日」が16.7%、「年1日」「年7日」が8.3%となっています。

【その他日数（年間）】



★問20-1 「通常の教育・保育事業が利用できなかった時」について、「母親が休んだ」または「父親が休んだ」に○をつけた方のみ

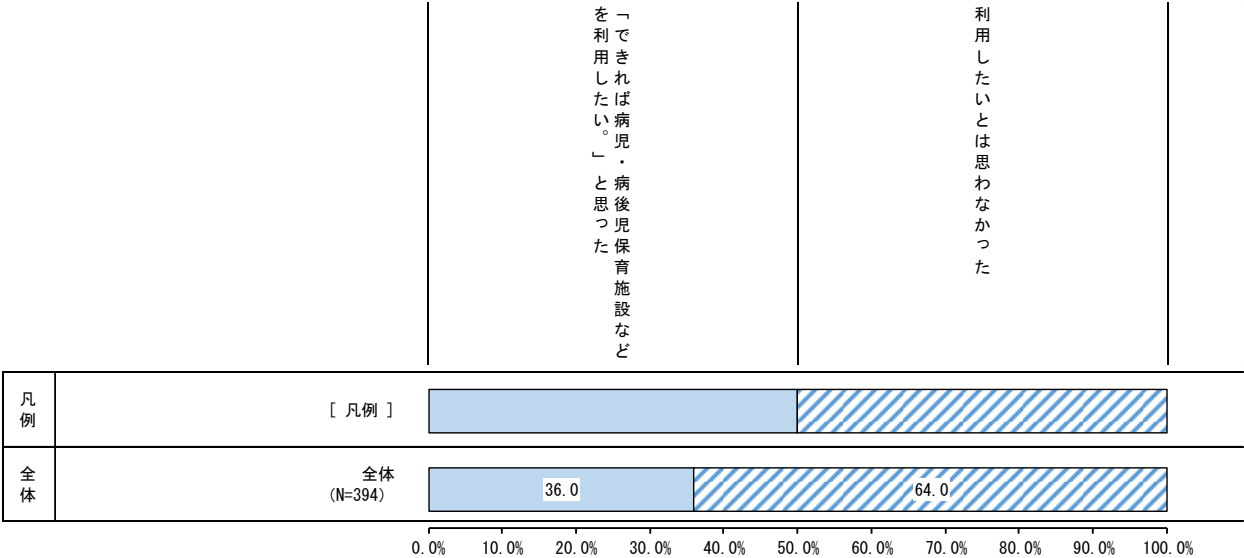
問21 母親または父親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい。」と思いましたか※1。（あてはまる番号1つに○）

※1 事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります、また、利用前にかかりつけ医の受診が必要となる。

【全体】

○ 母親または父親が休んだ際の病児・病後児保育施設の利用意向について、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい。」と思った」が 36.0%、「利用したいとは思わなかった」が 64.0%となっています。

【母親または父親が休んだ際の病児・病後児保育施設の利用意向】



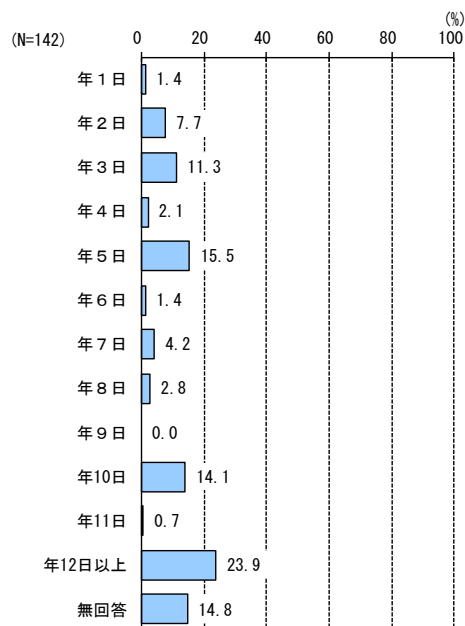
★問21「母親または父親が休んだ際の病児・病後児保育施設の利用意向」について、
「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい。」と思った」に○をつけた
方のみ

問21-1 病児・病後児のための保育施設などを何日間利用したいと思いましたか。

【全体】

○ 病児・病後児の保育施設を利用したい日数について、「年12日以上」が23.9%で最も多く、次いで「年5日」が15.5%、「年10日」が14.1%となっています。

【希望利用日数】

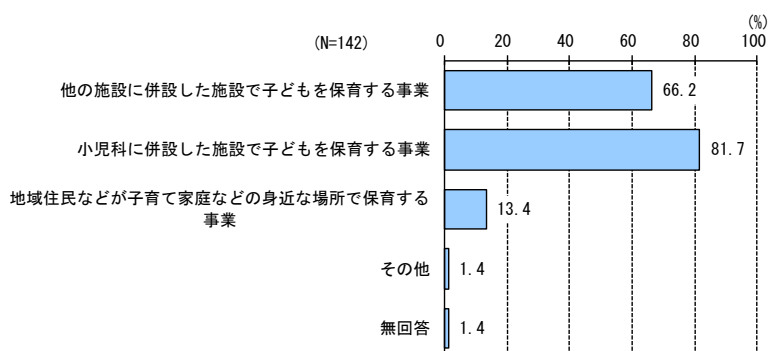


問21-2 あて名のお子さんが病気やケガで、通常の教育・保育事業を利用できない時に、病児・病後児のための保育施設などへ預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

○ 病児・病後児の保育施設に預ける際の望ましい事業形態について、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が81.7%で最も多く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が66.2%、「地域住民などが子育て家庭などの身近な場所で保育する事業」が13.4%となっています。

【病児・病後児の保育施設に預ける際の望ましい事業形態】



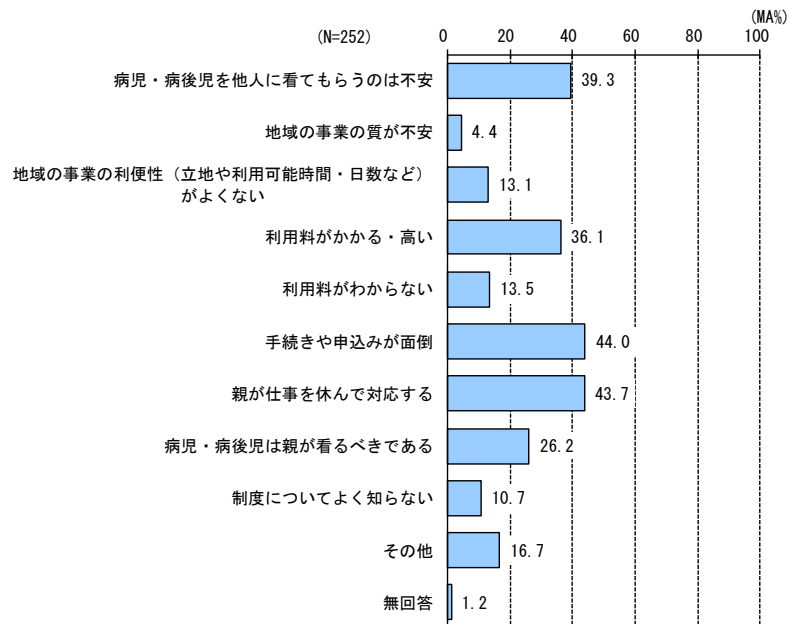
★問21「母親または父親が休んだ際の病児・病後児保育施設の利用意向」について、「利用したいとは思わなかった」に○をつけた方のみ

問 21-3 病児・病後児のための保育施設などを利用したいとは思わなかった理由をご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

- 病児・病後児の保育施設を利用したいとは思わなかった理由について、「手続きや申込みが面倒」が 44.0%で最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が 43.7%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 39.3%となっています。

【病児・病後児の保育施設を利用したいとは思わなかった理由】



7 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

問22 あて名のお子さんについて、(1) 土曜日と(2) 日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業を利用したいですか※¹。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

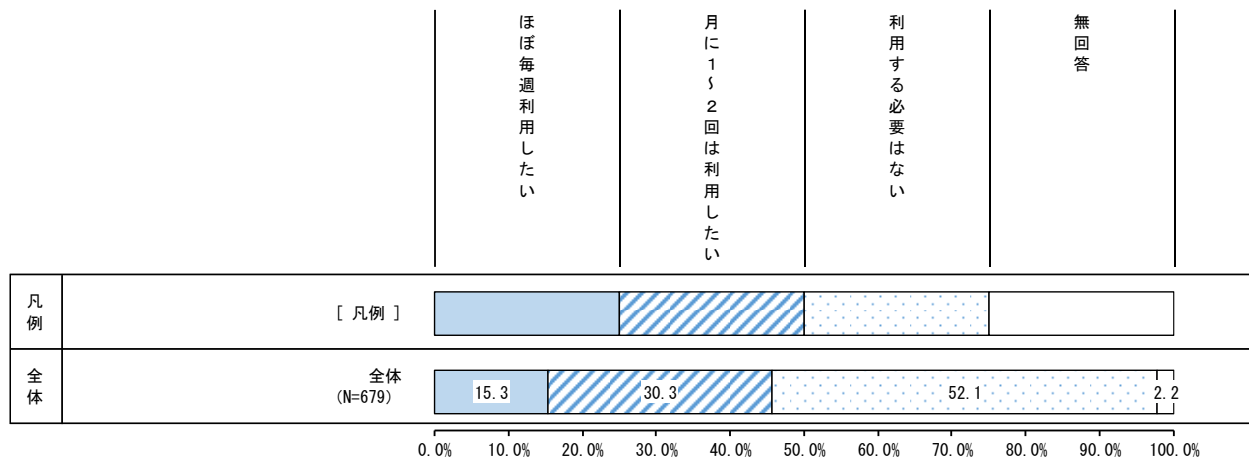
※¹ これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合がある。

(1) 土曜日

【全体】

- 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向について、「利用する必要はない」が52.1%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が30.3%、「ほぼ毎週利用したい」が15.3%となっています。

【土曜日の定期的な教育・保育事業の利用意向】

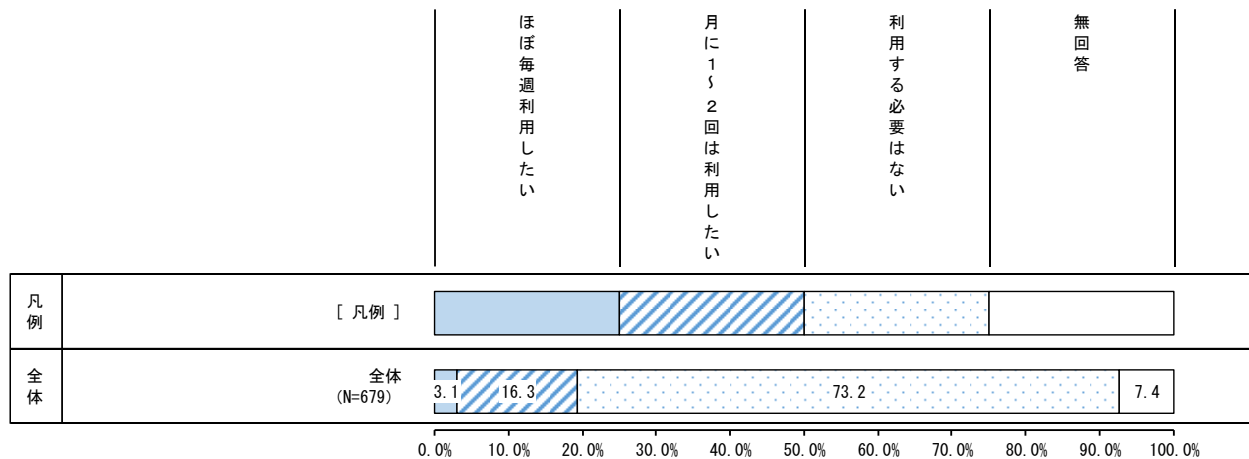


(2) 日曜日・祝日

【全体】

- 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向について、「利用する必要はない」が73.2%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が16.3%、「ほぼ毎週利用したい」が3.1%となっています。

【日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向】



★問22「土曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用意向」について、「ほぼ毎週利用したい」または「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方のみ

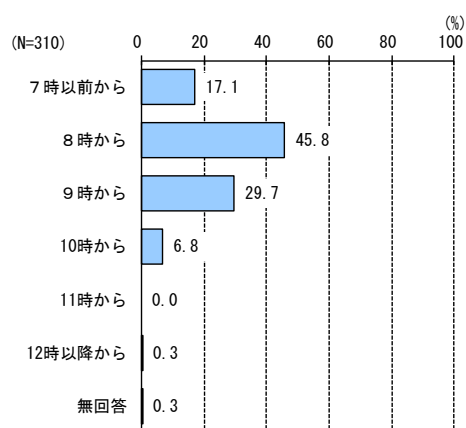
問22-1 (1) 土曜日と(2)日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業を利用したい時間帯をご記入ください。

(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の希望時間帯（開始時刻）

【全体】

- 土曜日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯（開始時刻）について、「8時から」が45.8%で最も多く、次いで「9時から」が29.7%、「7時以前から」が17.1%となっています。

【土曜日の定期的な教育・保育事業の希望時間帯（開始時刻）】

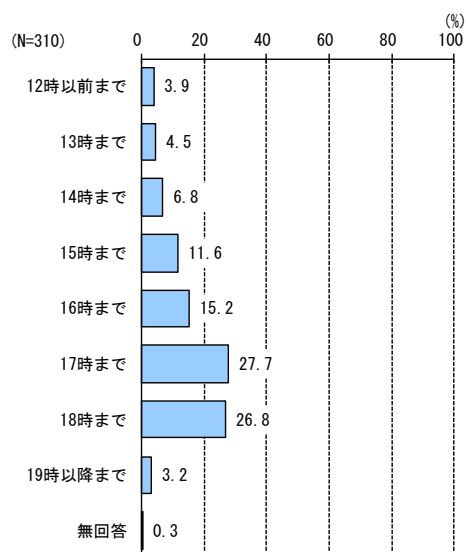


(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の希望時間帯（終了時刻）

【全体】

- 土曜日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯について、「17時まで」が27.7%で最も多く、次いで「18時まで」が26.8%、「16時まで」が15.2%となっています。

【土曜日の定期的な教育・保育事業の希望時間帯（終了時刻）】

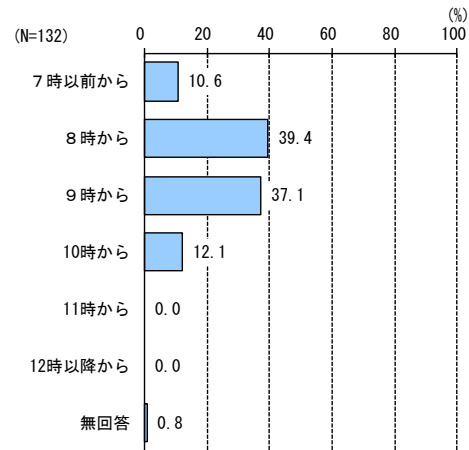


(2) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望時間帯（開始時刻）

【全体】

- 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯について、「8時から」が39.4%で最も多く、次いで「9時から」が37.1%、「10時から」が12.1%となっています。

【日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望時間帯（開始時刻）】

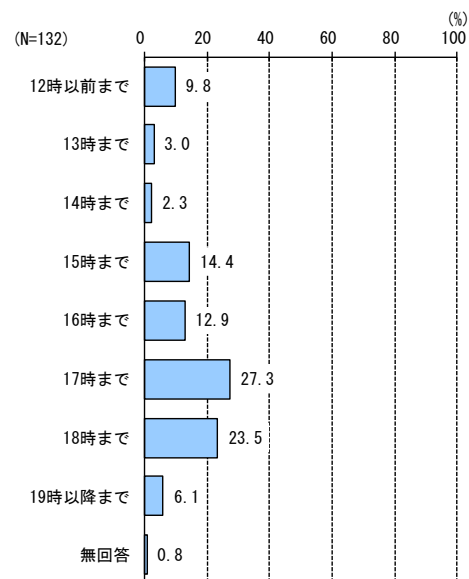


(2) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望時間帯（終了時刻）

【全体】

- 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯について、「17時まで」が27.3%で最も多く、次いで「18時まで」が23.5%、「15時まで」が14.4%となっています。

【日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の希望時間帯（終了時刻）】



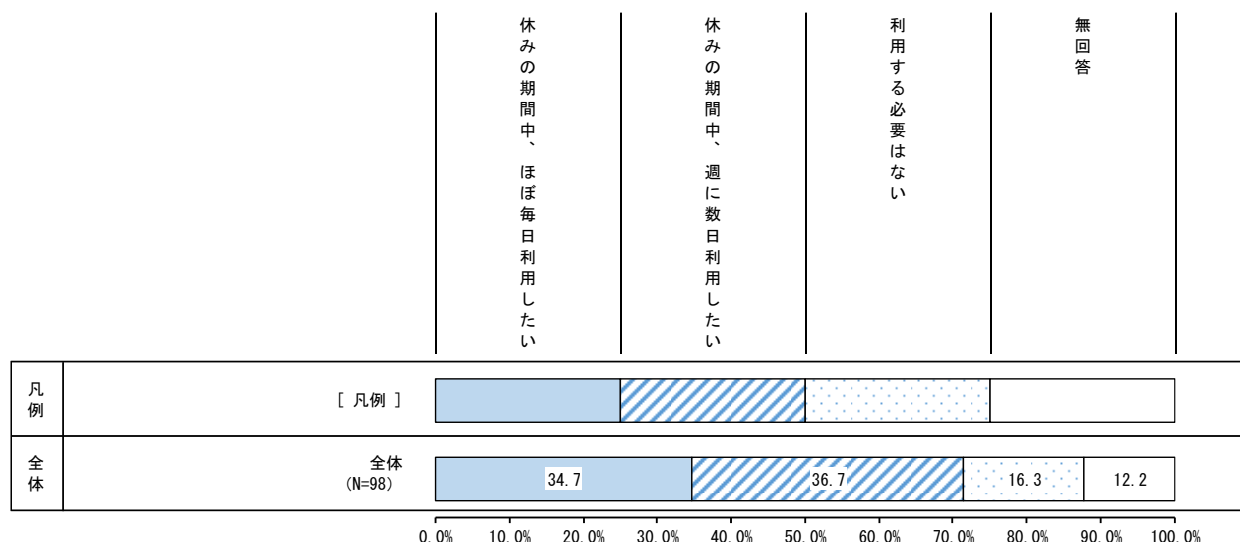
★現在、「幼稚園」を利用されている方のみ

問23 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、定期的な教育・保育事業を利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用意向について、「休みの期間中、週に数日利用したい」が36.7%で最も多く、次いで「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が34.7%、「利用する必要はない」が16.3%となっています。

【長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用意向】



★問23「長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用意向」について、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方のみ

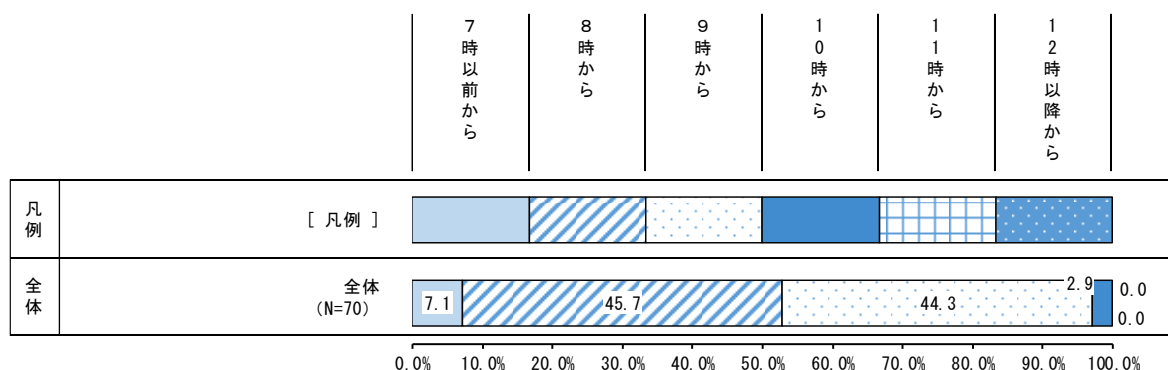
問23-1 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に、定期的な教育・保育事業を利用したい時間帯をご記入ください。

（1）長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の希望時間帯（開始時刻）

【全体】

- 長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の希望開始時間帯について、「8時から」が45.7%で最も多く、次いで「9時から」が44.3%、「7時以前から」が7.1%となっています。

【長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の希望時間帯（開始時刻）】

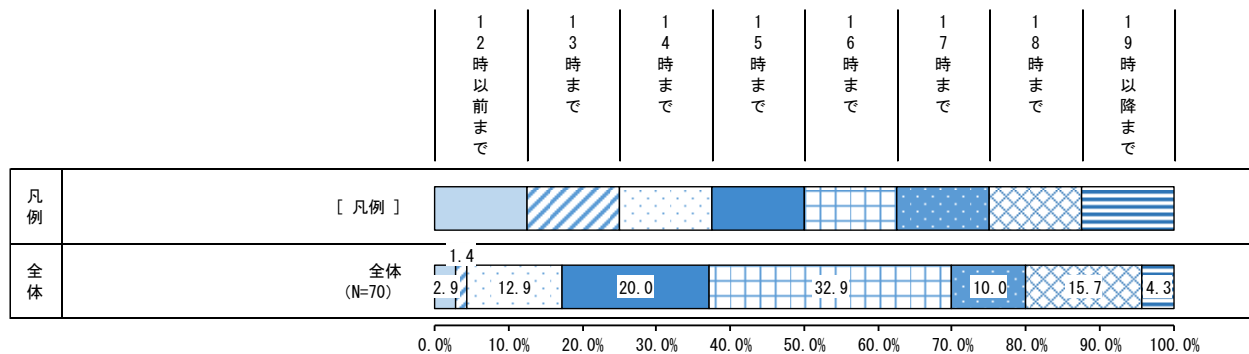


(2) 長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の希望時間帯（終了時刻）

【全体】

- 長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の希望終了時間帯について、「16 時まで」が 32.9%で最も多く、次いで「15 時まで」が 20.0%、「18 時まで」が 15.7%となっています。

【長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の希望時間帯（終了時刻）】



8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

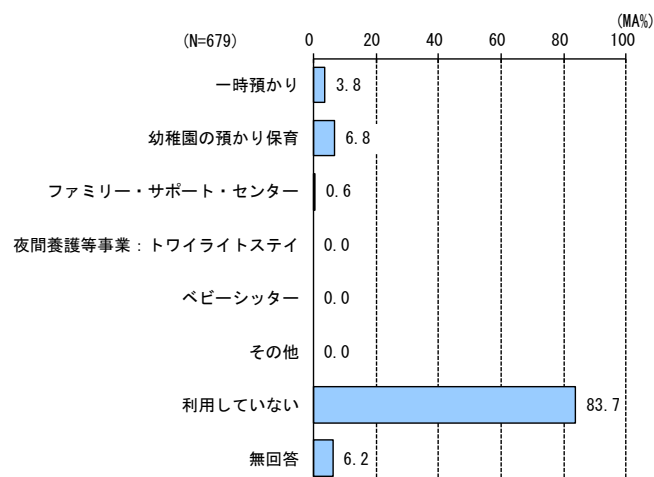
問24 あて名のお子さんについて、この1年間で、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、①不定期に利用している教育・保育事業と、②利用している日数（年間）をすべてご記入ください。

(1) 不定期に利用している教育・保育事業

【全体】

- 不定期に利用している教育・保育事業について、「利用していない」が 83.7%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 6.8%、「一時預かり」が 3.8%となっています。

【不定期に利用している教育・保育事業】

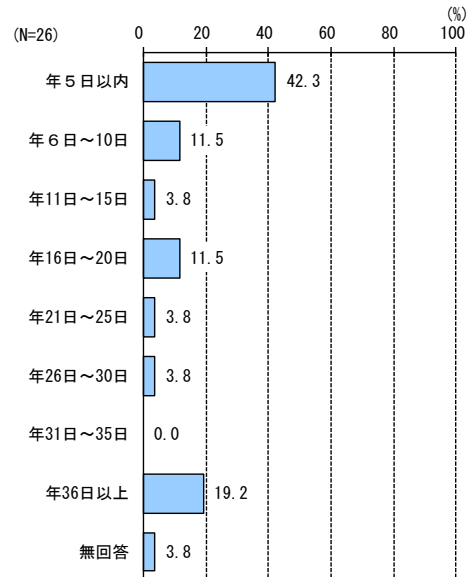


(2) 利用している日数（年間）「一時預かり※¹」

【全体】

- 一時預かりの日数（年間）について、「年5日以内」が42.3%で最も多く、次いで「年36日以上」が19.2%、「年6日～10日」「年16日～20日」が11.5%となっています。

【一時預かりの日数（年間）】



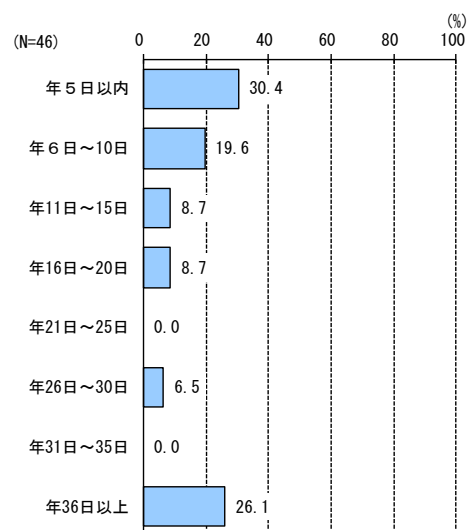
※1 私用など理由を問わずに、保育所などで一時的に子どもを保育する事業

(2) 利用している日数（年間）「幼稚園の預かり保育※²」

【全体】

- 幼稚園の預かり保育の日数（年間）について、「年5日以内」が30.4%で最も多く、次いで「年36日以上」が26.1%、「年6日～10日」が19.6%となっています。

【幼稚園の預かり保育の日数（年間）】



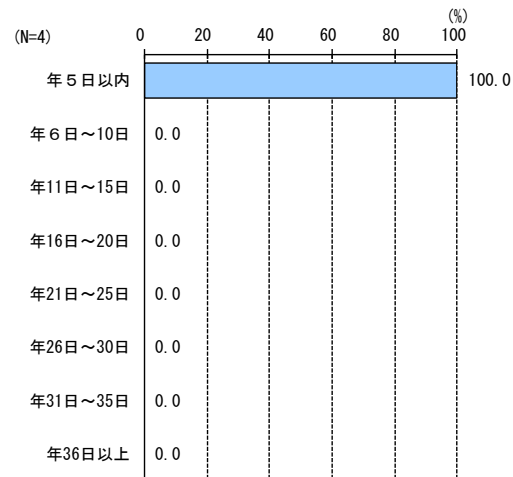
※2 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合を指す。

(2) 利用している日数（年間）「ファミリー・サポート・センター※³」

【全体】

- ファミリー・サポート・センターの日数（年間）について、「年5日以内」が100.0%で最も多くなっています。

【ファミリー・サポート・センターの日数（年間）】



※3 地域住民が子どもを預かる事業

(2) 利用している日数（年間）「夜間養護等事業：トワイライトステイ※⁴」

【該当者なし】

※4 児童養護施設などで休日・夜間、子どもを保護する事業

(2) 利用している日数（年間）「ベビーシッター」

【該当者なし】

(2) 利用している日数（年間）「その他」

【該当者なし】

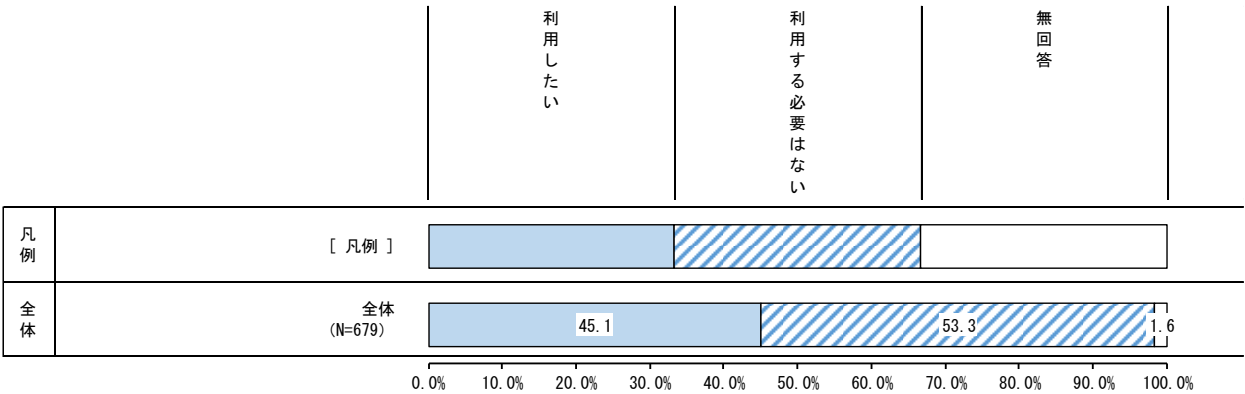
問25 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、一時的に教育・保育事業を利用したいと思いますか※5。（あてはまる番号1つに○）

※5 これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

【全体】

○ 一時的な教育・保育事業の利用意向について、「利用したい」が45.1%、「利用する必要はない」が53.3%となっています。

【一時的な教育・保育事業の利用意向】



★問25 「一時的な教育・保育事業の利用意向」について、「利用したい」に○をつけた方のみ

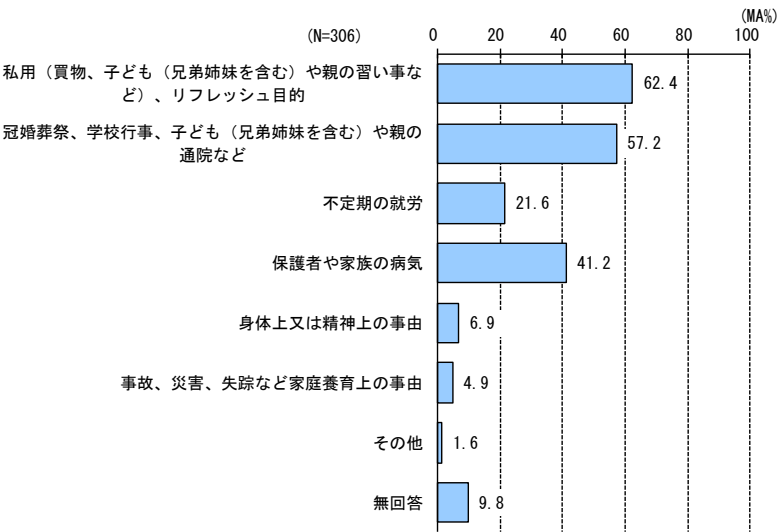
問25-1 ①一時的に教育・保育事業を利用する目的と、②目的別に利用したい日数（年間）をすべてご記入ください。

ア 一時的に教育・保育事業を利用する目的

【全体】

○ 一時的に教育・保育事業を利用する目的について、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」が62.4%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が57.2%、「保護者や家族の病気」が41.2%となっています。

【一時的に教育・保育事業を利用する目的】

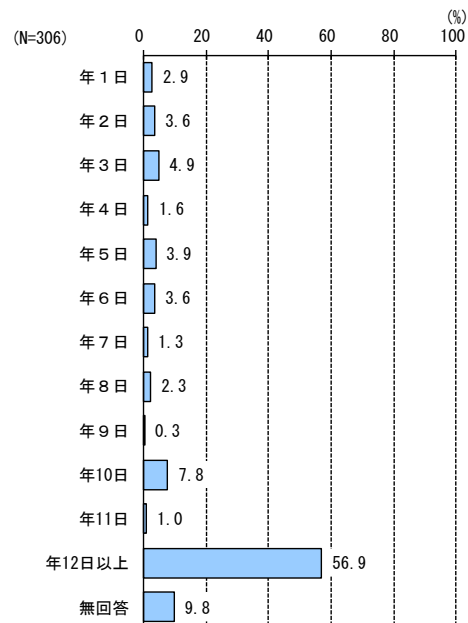


イ 一時的に教育・保育事業を利用する合計日数

【全体】

- 一時的に教育・保育事業を利用する合計日数について、「年 12 日以上」が 56.9%で最も多く、次いで「年 10 日」が 7.8%、「年 3 日」が 4.9%となっています。

【一時的に教育・保育事業を利用する合計日数】

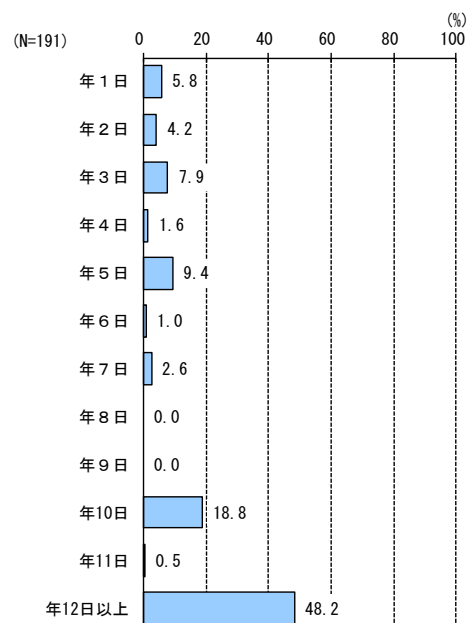


イ 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的で利用した日数（年間）

【全体】

- 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的の日数（年間）について、「年 12 日以上」が 48.2%で最も多く、次いで「年 10 日」が 18.8%、「年 5 日」が 9.4%となっています。

【私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的の日数（年間）】

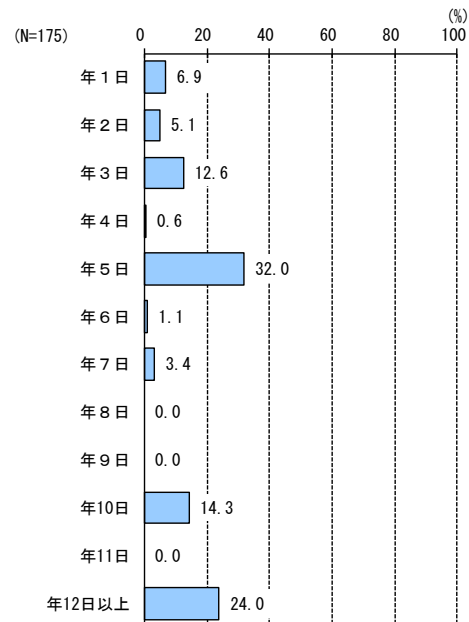


イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などで利用したい日数（年間）

【全体】

- 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などの日数（年間）について、「年5日」が32.0%で最も多く、次いで「年12日以上」が24.0%、「年10日」が14.3%となっています。

【冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などの日数（年間）】

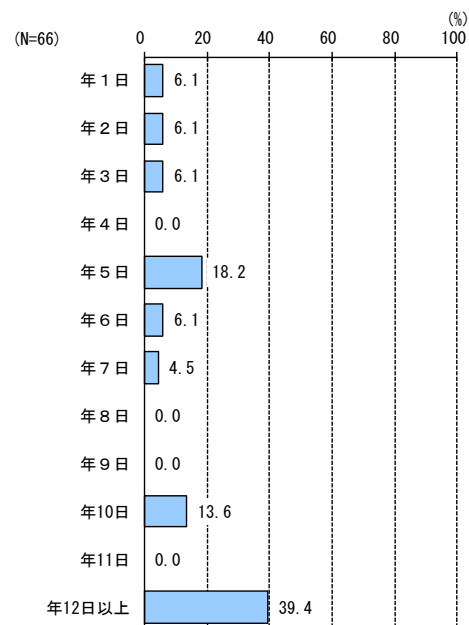


イ 不定期の就労で利用したい日数（年間）

【全体】

- 不定期の就労の日数（年間）について、「年12日以上」が39.4%で最も多く、次いで「年5日」が18.2%、「年10日」が13.6%となっています。

【不定期の就労の日数（年間）】

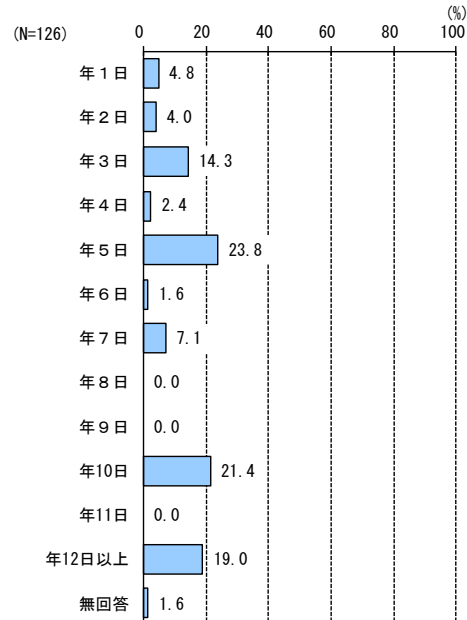


イ 保護者や家族の病気で利用したい日数（年間）

【全体】

- 保護者や家族の病気の日数（年間）について、「年5日」が23.8%で最も多く、次いで「年10日」が21.4%、「年12日以上」が19.0%となっています。

【保護者や家族の病気の日数（年間）】

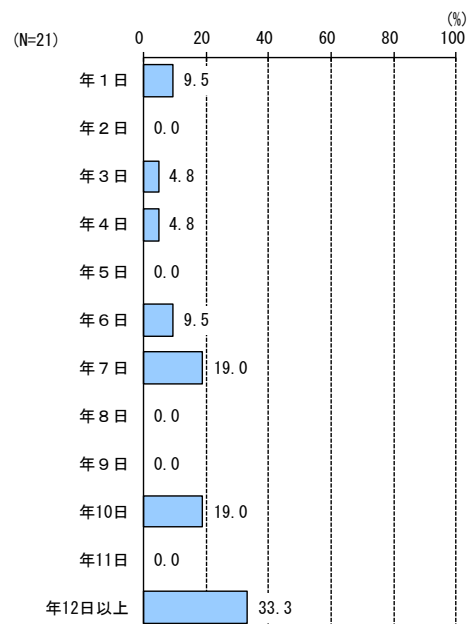


イ 身体上又は精神上の事由で利用したい日数（年間）

【全体】

- 身体上又は精神上の事由の日数（年間）について、「年12日以上」が33.3%で最も多く、次いで「年7日」「年10日」が19.0%、「年1日」「年6日」が9.5%となっています。

【身体上又は精神上の事由の日数（年間）】

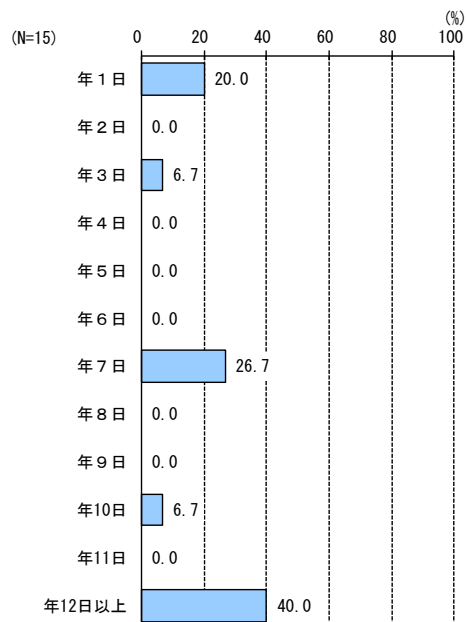


イ 事故、災害、失踪など家庭養育上の事由で利用したい日数（年間）

【全体】

- 事故、災害、失踪など家庭養育上の事由の日数（年間）について、「年 12 日以上」が 40.0%で最も多く、次いで「年 7 日」が 26.7%、「年 1 日」が 20.0%となっています。

【事故、災害、失踪など家庭養育上の事由の日数（年間）】

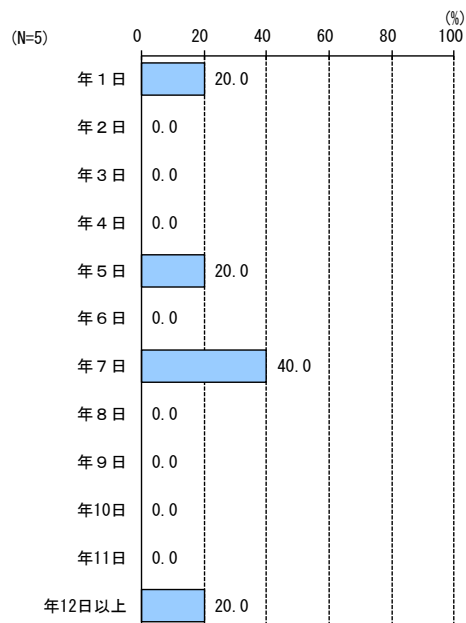


イ その他の目的で利用したい日数（年間）

【全体】

- その他の日数（年間）について、「年 7 日」が 40.0%で最も多く、次いで「年 1 日」「年 5 日」「年 12 日以上」が 20.0%となっています。

【その他の日数（年間）】

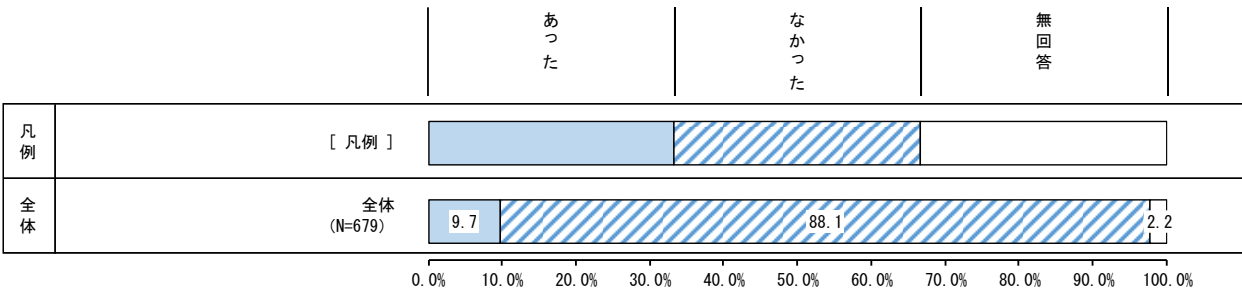


問26 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことはありましたか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 保護者の用事で子どもを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことの有無について、「あった」が9.7%、「なかった」が88.1%となっています。

【保護者の用事で子どもを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことの有無】



★問26 「保護者の用事で子どもを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことの有無」について、「あった」に○をつけた方のみ

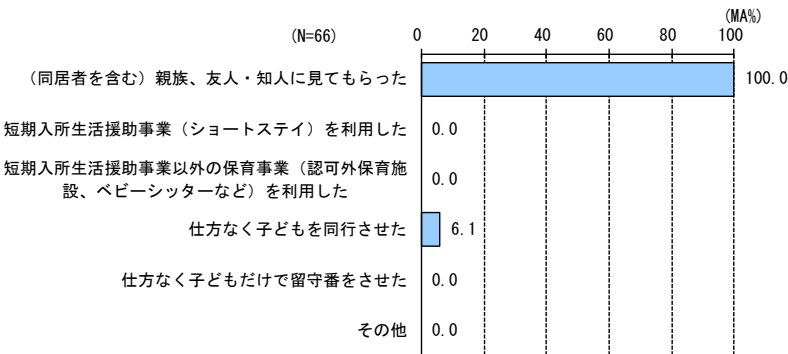
問27 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法と、②対処した際の泊数（年間）をすべてご記入ください。

ア 家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法

【全体】

○ 泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法について、「（同居者を含む）親族、友人・知人に見てもらった」が100.0%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が6.1%となっています。

【泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法】

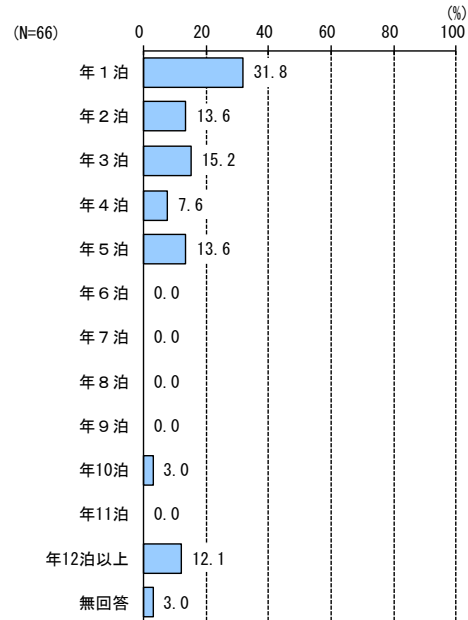


イ （同居者を含む）親族、友人・知人に見てもらった泊数（年間）

【全体】

- （同居者を含む）親族、友人・知人に見てもらった泊数（年間）について、「年1泊」が31.8%で最も多く、次いで「年3泊」が15.2%、「年2泊」「年5泊」が13.6%となっています。

【（同居者を含む）親族、友人・知人に見てもらった泊数（年間）】



イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した泊数（年間）

【該当者なし】

イ 短期入所生活援助事業以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した泊数（年間）

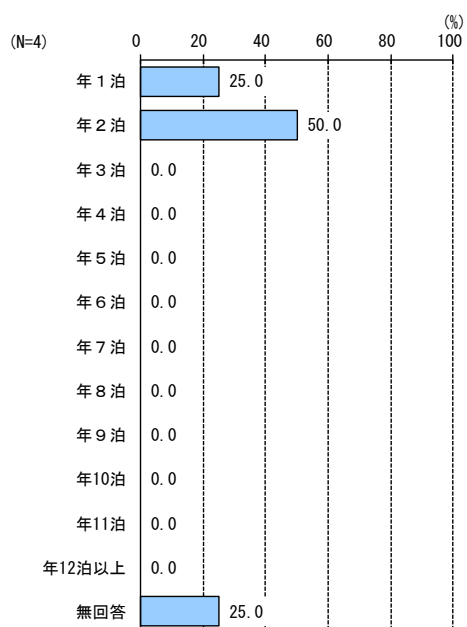
【該当者なし】

イ 仕方なく子どもを同行させた泊数（年間）

【全体】

- 仕方なく子どもを同行させた泊数（年間）について、「年2泊」が50.0%で最も多く、次いで「年1泊」が25.0%となっています。

【仕方なく子どもを同行させた泊数（年間）】



イ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた泊数（年間）

【該当者なし】

イ その他の泊数（年間）

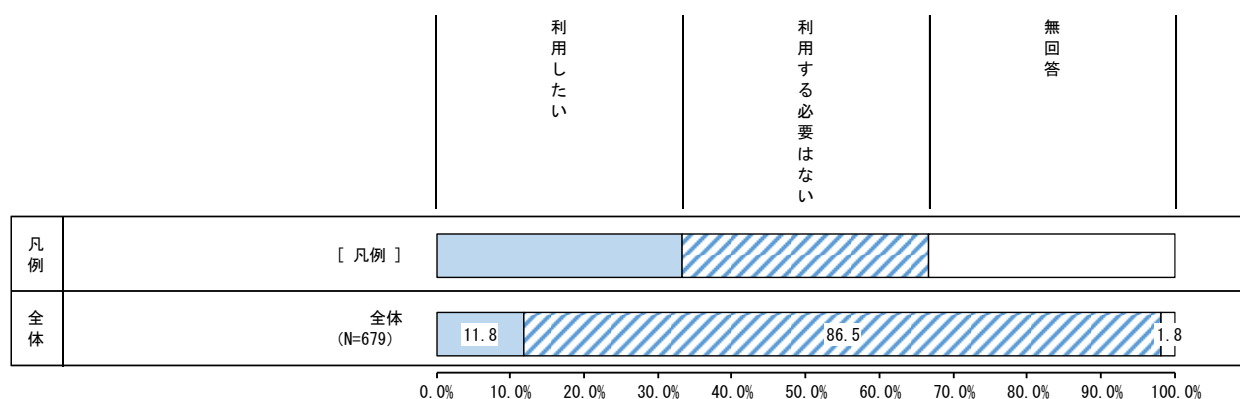
【該当者なし】

問28 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらう必要がある時に、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向について、「利用したい」が11.8%、「利用する必要はない」が86.5%となっています。

【短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向】



★問28「短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向」について、「利用したい」に○をつけた方のみ

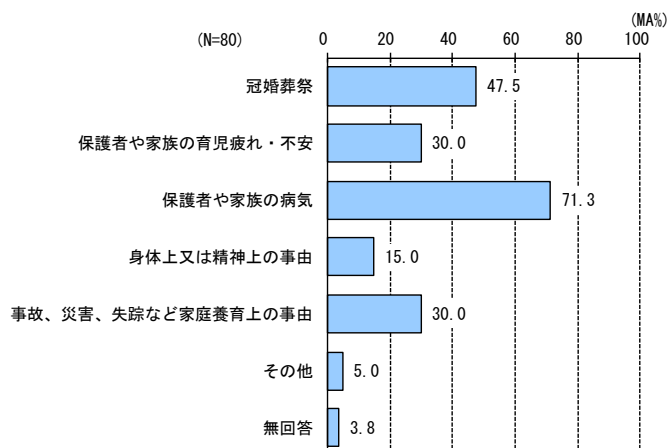
問28-1 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的と、②目的別に利用したい泊数（年間）をすべてご記入ください。

ア 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的

【全体】

○ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的について、「保護者や家族の病気」が71.3%で最も多く、次いで「冠婚葬祭」が47.5%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」「事故、災害、失踪など家庭養育上の事由」が30.0%となっています。

【短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的】

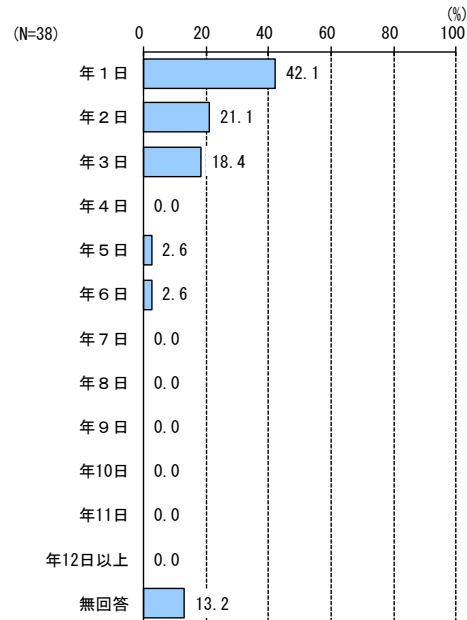


イ 冠婚葬祭で利用したい日数（年間）

【全体】

- 冠婚葬祭による利用希望泊数（年間）について、「年1日」が42.1%で最も多く、次いで「年2日」が21.1%、「年3日」が18.4%となっています。

【冠婚葬祭による利用希望泊数（年間）】

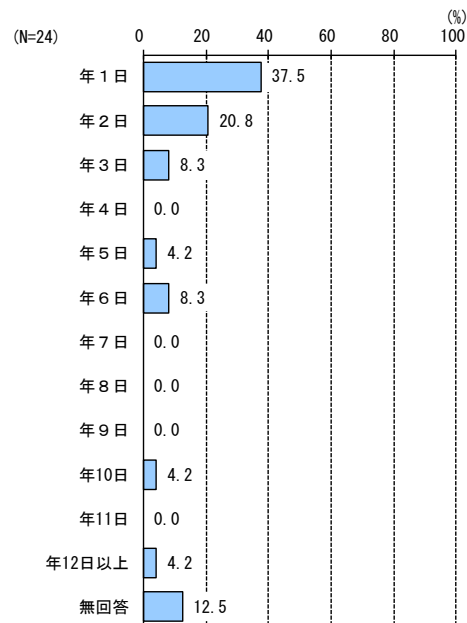


イ 保護者や家族の育児疲れ・不安で利用したい日数（年間）

【全体】

- 保護者や家族の育児疲れ・不安による利用希望泊数（年間）について、「年1日」が37.5%で最も多く、次いで「年2日」が20.8%、「年3日」「年6日」が8.3%となっています。

【保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数（年間）】

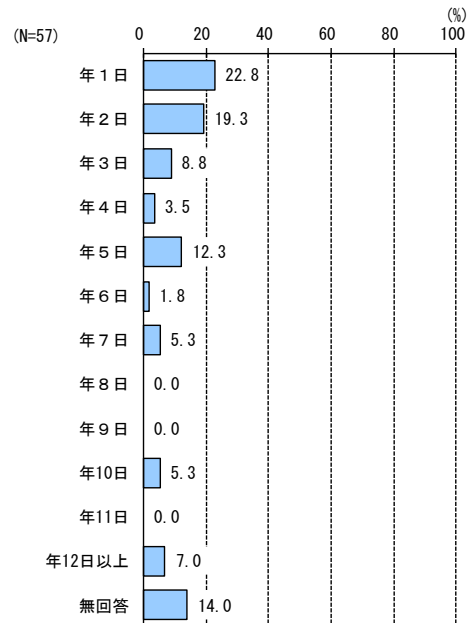


イ 保護者や家族の病気で利用したい日数（年間）

【全体】

- 保護者や家族の病気による利用希望泊数（年間）について、「年1日」が22.8%で最も多く、次いで「年2日」が19.3%、「年5日」が12.3%となっています。

【保護者や家族の病気の泊数（年間）】

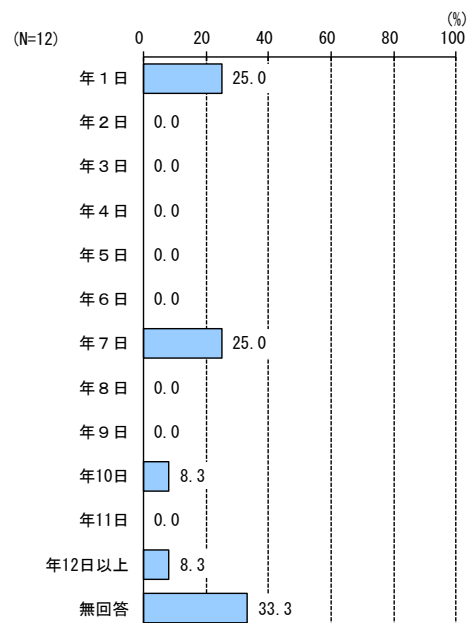


イ 身体上又は精神上の事由による利用したい日数（年間）

【全体】

- 身体上又は精神上の事由による利用希望泊数（年間）について、「年1日」「年7日」が25.0%で最も多く、次いで「年10日」「年12日以上」が8.3%となっています。

【身体上又は精神上の事由の泊数（年間）】

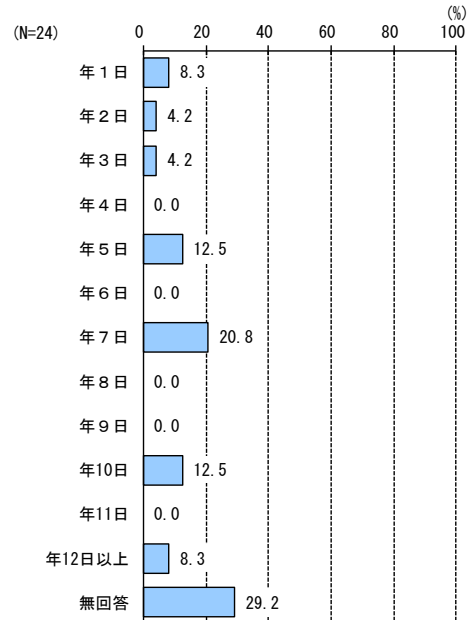


イ 事故、災害、失踪など家庭養育上の事由で利用したい日数（年間）

【全体】

- 事故、災害、失踪など家庭養育上の事由による利用希望泊数（年間）について、「年 7 日」が 20.8%で最も多く、次いで「年 5 日」「年 10 日」が 12.5%、「年 1 日」「年 12 日以上」が 8.3%となっています。

【事故、災害、失踪など家庭養育上の事由の泊数（年間）】

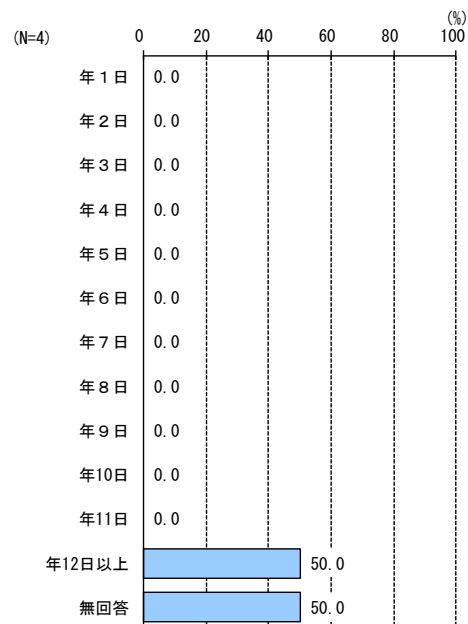


イ その他の目的で利用したい日数（年間）

【全体】

- その他の理由による利用希望泊数（年間）について、「年 12 日以上」が 50.0%で最も多くなっています。

【その他の泊数（年間）】



9 地域子育て支援拠点事業の利用状況について

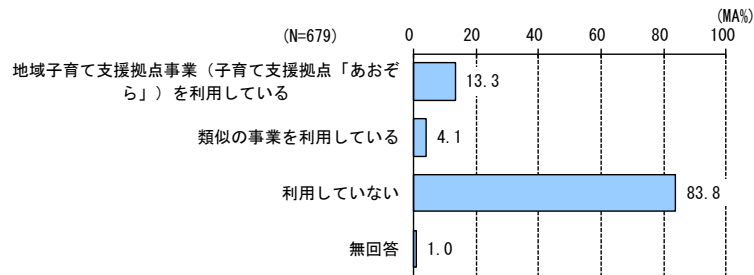
問29 あて名のお子さんは、地域子育て支援拠点事業※¹（子育て支援拠点「あおぞら」）を利用していますか。（あてはまる番号すべてに○）

※¹ 親子が集まって過ごし、相談したり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」などと呼ばれている。

【全体】

○ 地域子育て支援拠点事業（子育て支援拠点「あおぞら」）の利用について、「利用していない」が83.8%で最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業（子育て支援拠点「あおぞら」）を利用して」が13.3%、「類似の事業を利用している」が4.1%となっています。

【地域子育て支援拠点事業（子育て支援拠点「あおぞら」）の利用】



★問29「地域子育て支援拠点事業（子育て支援拠点「あおぞら」）の利用」について、「地域子育て支援拠点事業（子育て支援拠点「あおぞら」）を利用している」または「類似の事業を利用している」に○をつけた方のみ

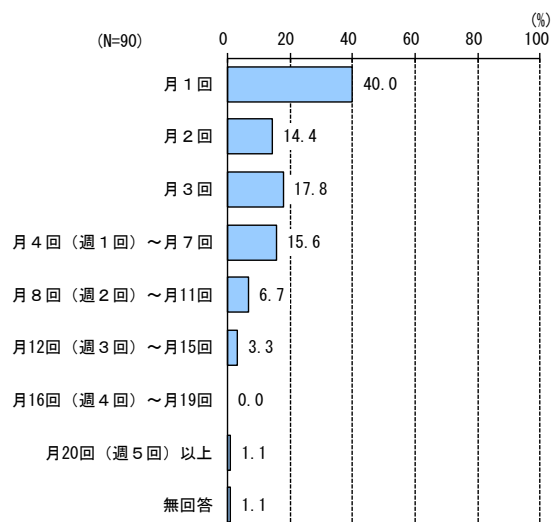
問29-1 地域子育て支援拠点事業（子育て支援拠点「あおぞら」）や類似の事業のおおよその利用回数（頻度）をご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字）

（1）地域子育て支援拠点事業の利用回数

【全体】

○ 地域子育て支援拠点事業の利用回数について、「月1回」が40.0%で最も多く、次いで「月3回」が17.8%、「月4回（週1回）～月7回」が15.6%となっています。

【地域子育て支援拠点事業の利用回数】

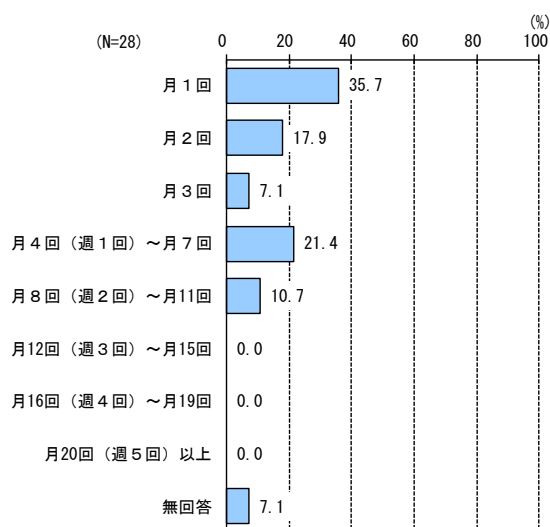


(2) その他当該自治体で実施している類似の事業の利用回数

【全体】

- その他当該自治体で実施している類似の事業の利用回数について、「月1回」が35.7%で最も多く、次いで「月4回（週1回）～月7回」が21.4%、「月2回」が17.9%となっています。

【その他当該自治体で実施している類似の事業の利用回数】



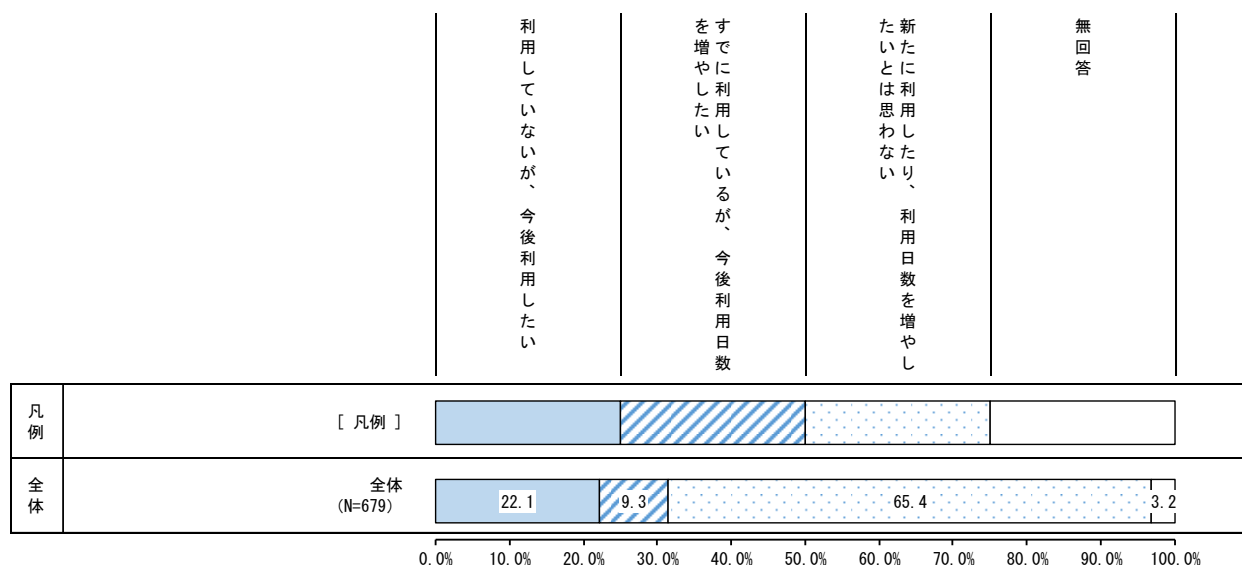
問30 地域子育て支援拠点事業（子育て支援拠点「あおぞら」）や類似の事業について、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか※¹。（あてはまる番号1つに○）

※¹ これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合がある。

【全体】

- 地域子育て支援拠点事業や類似事業の利用意向について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が65.4%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が22.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が9.3%となっています。

【地域子育て支援拠点事業や類似事業の利用意向】



★問30「地域子育て支援拠点事業や類似事業の利用意向」について、「利用していないが、今後利用したい」に○をつけた方のみ

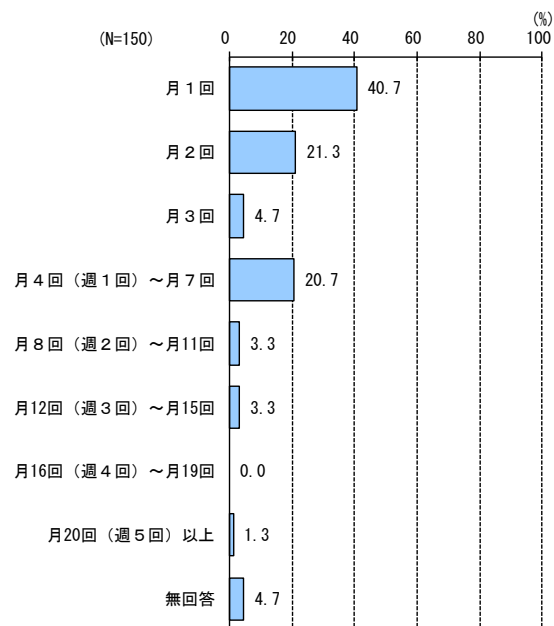
問30-1 地域子育て支援拠点事業（子育て支援拠点「あおぞら」）や類似の事業のおおよその利用希望回数（頻度）をご記入ください。

（1）地域子育て支援拠点事業を利用したい回数

【全体】

○ 地域子育て支援拠点事業を利用したい回数について、「月1回」が40.7%で最も多く、次いで「月2回」が21.3%、「月4回（週1回）～月7回」が20.7%となっています。

【地域子育て支援拠点事業を利用したい回数】



★問30「地域子育て支援拠点事業や類似事業の利用意向」について、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」に○をつけた方のみ

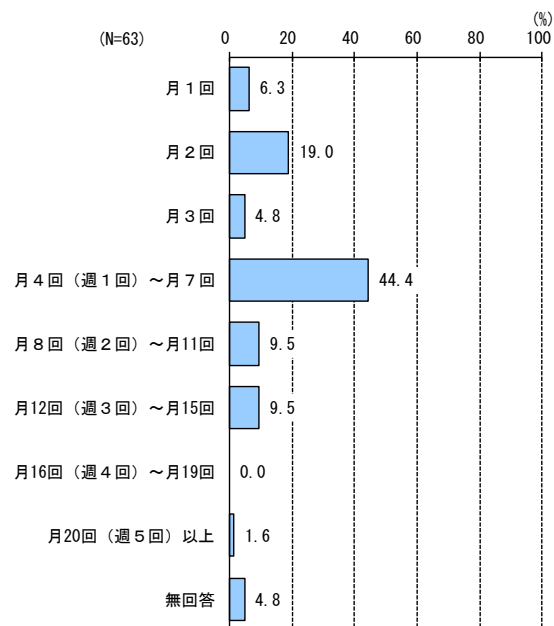
問30-2 地域子育て支援拠点事業（子育て支援拠点「あおぞら」）や類似の事業を更にはどの程度利用したいか、おおよその利用希望回数（頻度）をご記入ください。

（1）地域子育て支援拠点事業の利用を増やしたい回数

【全体】

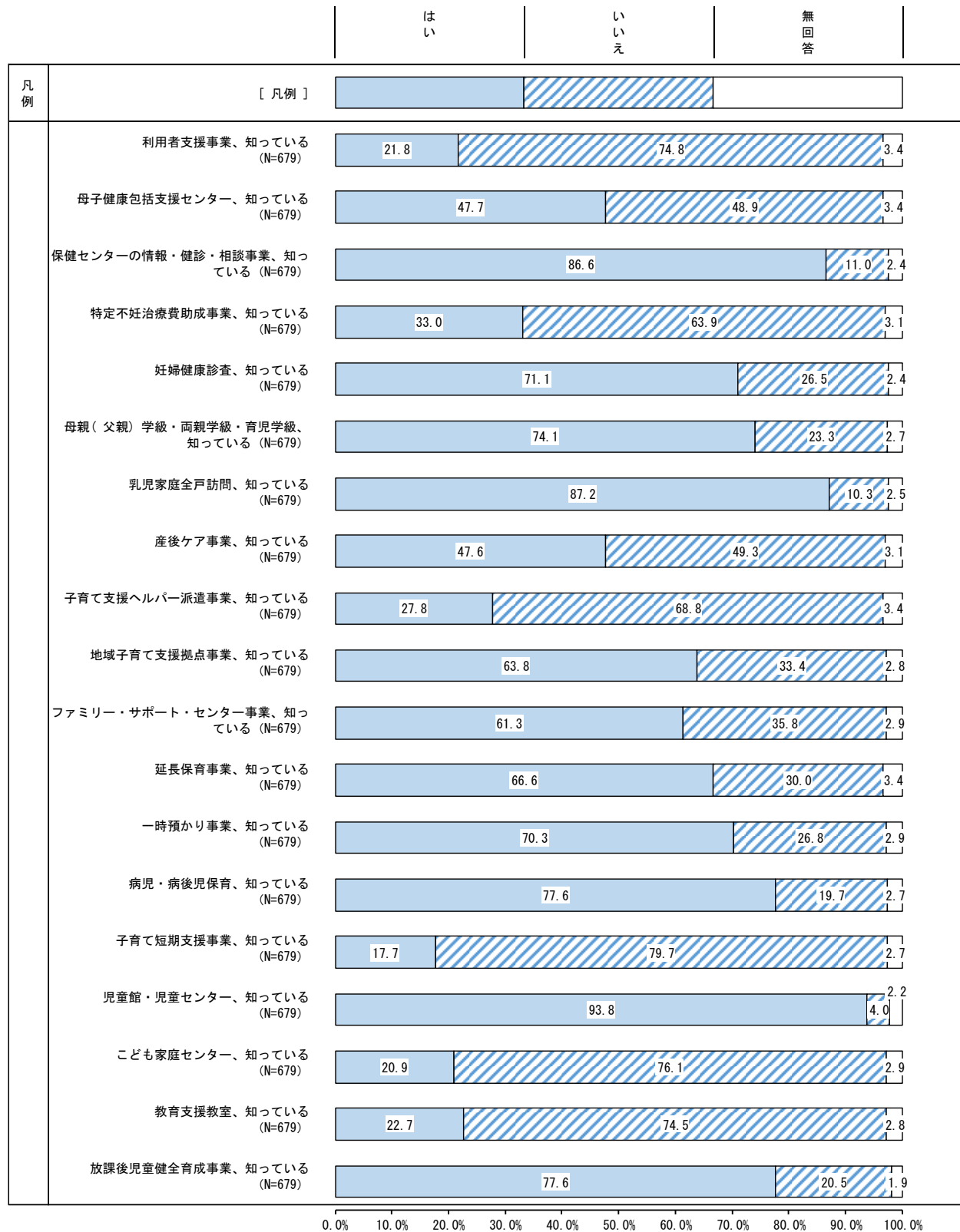
- 地域子育て支援拠点事業の利用を増やしたい回数について、「月4回（週1回）～月7回」が44.4%で最も多く、次いで「月2回」が19.0%、「月8回（週2回）～月11回」「月12回（週3回）～月15回」が9.5%となっています。

【地域子育て支援拠点事業の利用を増やしたい回数】



問31 以下の事業について、「A. 知っている」事業はありますか。1から19の事業について、ご記入ください。（それぞれ、あてはまるもの1つに○）

【「知っている」事業】

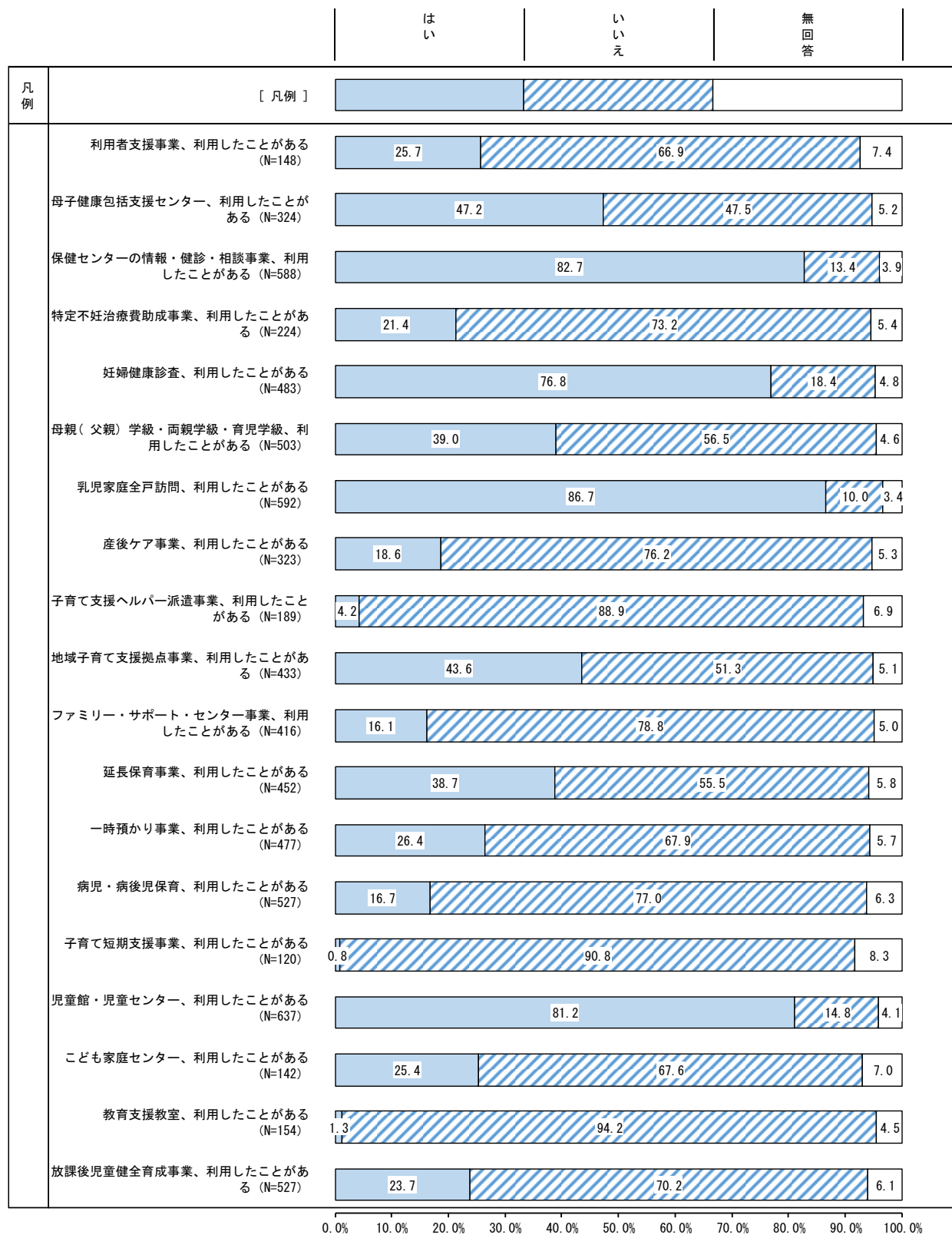


※利用者支援事業：子育て中の保護者に対して、情報提供や相談・助言を行うとともに、必要に応じて関係機関との連絡調整等を行う事業

※子育て支援ヘルパー派遣事業：様々な原因で子育ての支援が必要な家庭に対して、ヘルパーが家庭を訪問し、家事や育児に関する援助を行う事業

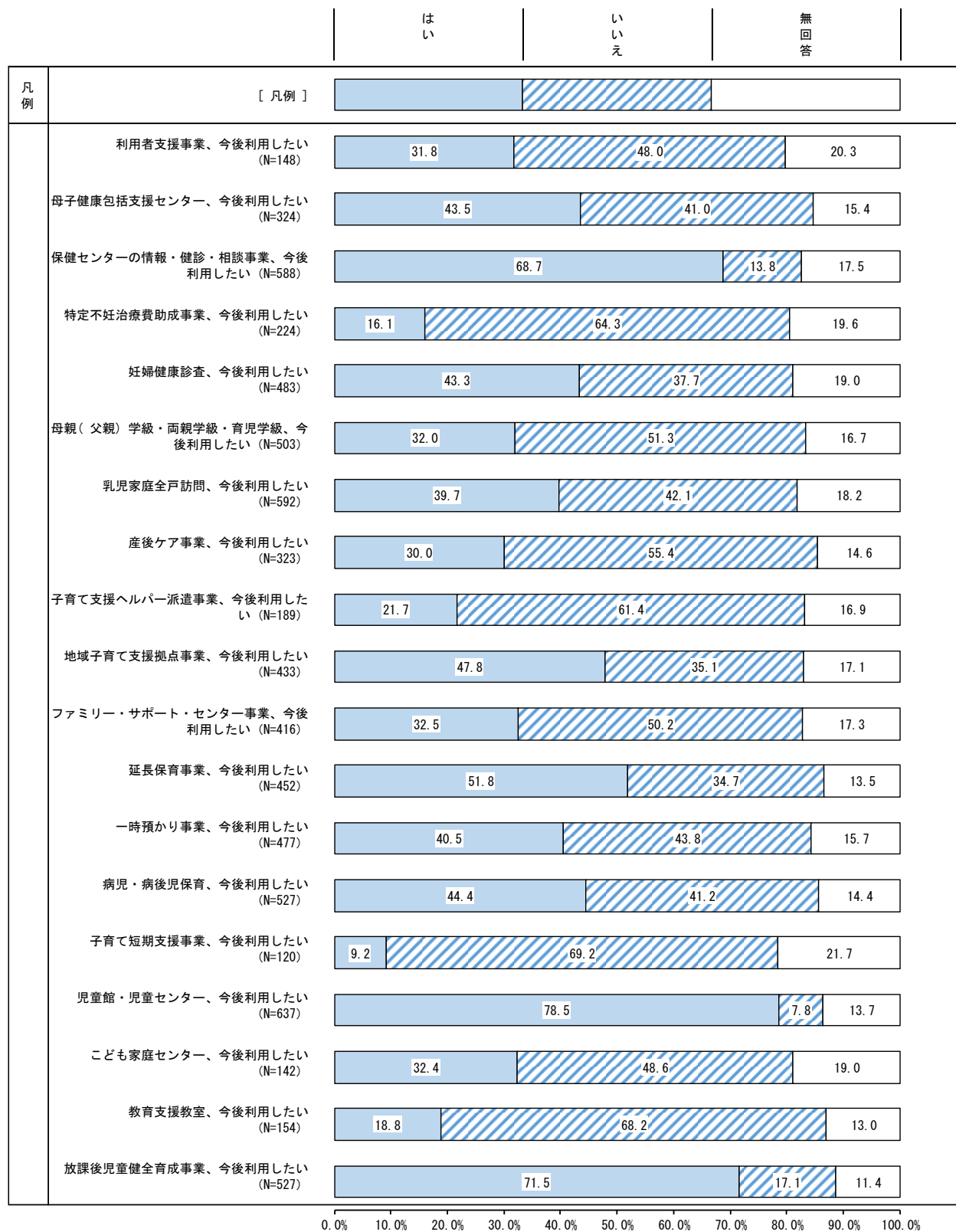
(1) (「知っている」人のみ)「B. 利用したことがある」ものすべてご記入ください。
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

【「利用したことがある」事業】



(2) (知っている人のみ)「C. 今後利用したい」ものすべてご記入ください。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

【「今後利用したい」事業】



10 小学校就学後の放課後の過ごし方について（あて名のお子さんが5歳以上の方のみ）

問32 あて名のお子さんについて、（１）小学校低学年（１～３年生）、（２）小学校高学年（４～６年生）の時に、①放課後（平日の小学校終了後）の時間を過ごさせたい場所と、②利用したい日数（週あたり）をすべてご記入ください※¹。

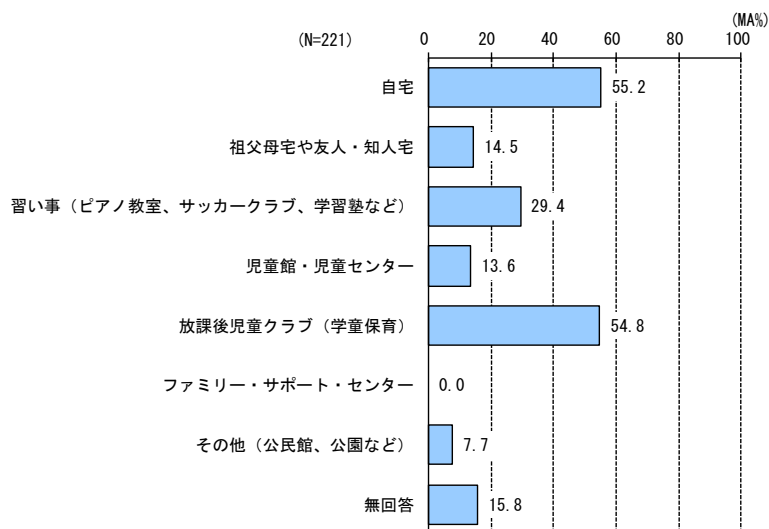
※¹ これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合がある。

（１）放課後を過ごさせたい場所

【全体】

- 放課後を過ごさせたい場所について、「自宅」が55.2%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が54.8%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が29.4%となっています。

【放課後を過ごさせたい場所】

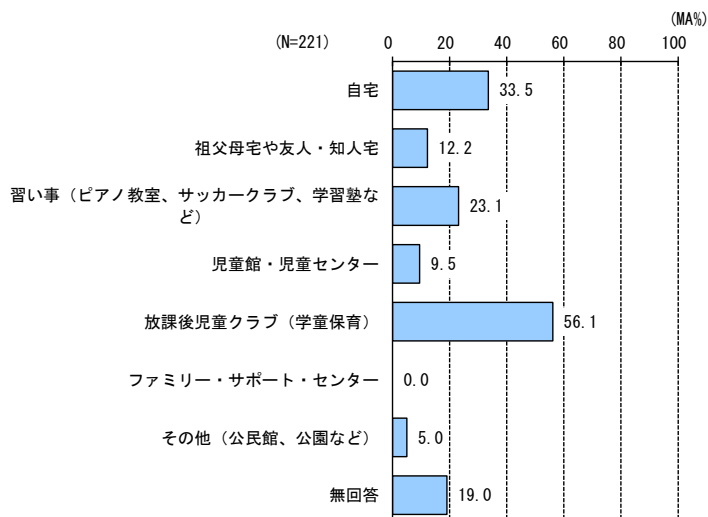


ア 放課後を過ごさせたい場所（低学年）

【全体】

- 低学年時に放課後を過ごさせたい場所について、「放課後児童クラブ（学童保育）」が56.1%で最も多く、次いで「自宅」が33.5%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が23.1%となっています。

【放課後を過ごさせたい場所（低学年）】

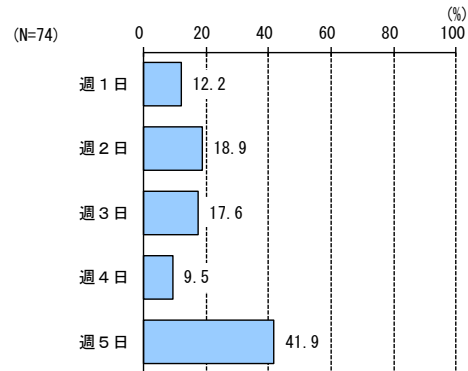


イ 自宅の日数（低学年）

【全体】

- 低学年時に自宅で過ごさせたい日数について、「週5日」が41.9%で最も多く、次いで「週2日」が18.9%、「週3日」が17.6%となっています。

【自宅の日数（低学年）】

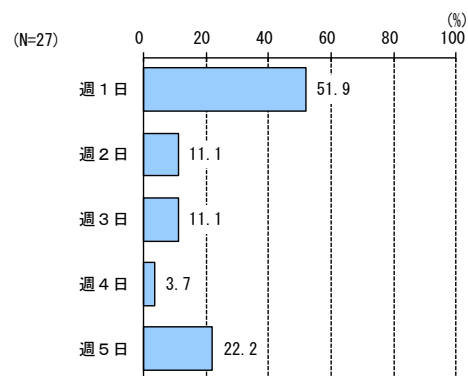


イ 祖父母宅や友人・知人宅の日数（低学年）

【全体】

- 低学年時に祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数について、「週1日」が51.9%で最も多く、次いで「週5日」が22.2%、「週2日」「週3日」が11.1%となっています。

【祖父母宅や友人・知人宅の日数（低学年）】

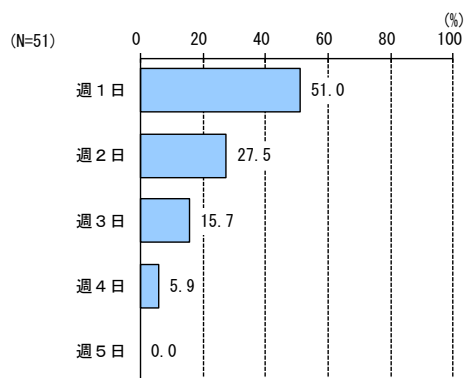


イ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数（低学年）

【全体】

- 低学年時に習い事で過ごさせたい日数について、「週 1 日」が 51.0%で最も多く、次いで「週 2 日」が 27.5%、「週 3 日」が 15.7%となっています。

【習い事の日数（低学年）】

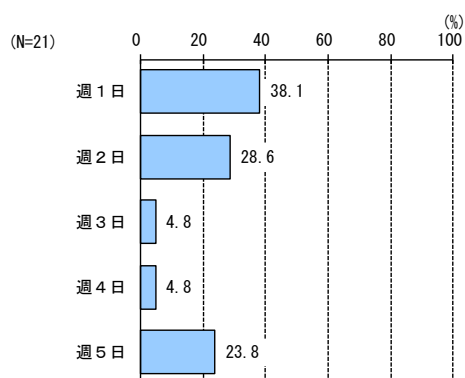


イ 児童館・児童センターの日数（低学年）

【全体】

- 低学年時に児童館で過ごさせたい日数について、「週 1 日」が 38.1%で最も多く、次いで「週 2 日」が 28.6%、「週 5 日」が 23.8%となっています。

【児童館・児童センターの日数（低学年）】



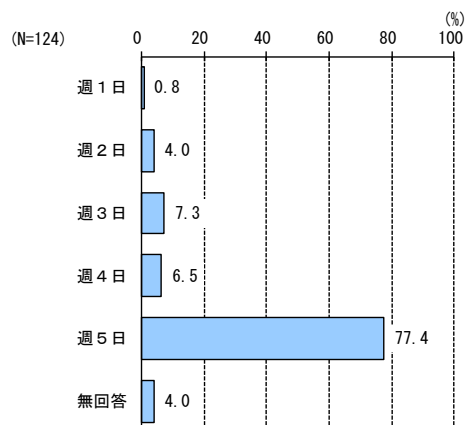
イ 放課後児童クラブ（学童保育）※²の日数（低学年）

※² 保護者が就労などにより昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの。
児童館で実施する場合を含む。

【全体】

- 低学年時に放課後児童クラブ（学童保育）で過ごさせたい日数について、「週 5 日」が 77.4%で最も多く、次いで「週 3 日」が 7.3%、「週 4 日」が 6.5%となっています。

【放課後児童クラブ（学童保育）の日数（低学年）】



イ ファミリー・サポート・センターの日数（低学年）

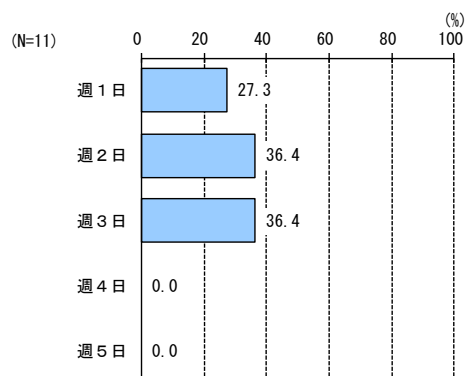
【該当者なし】

イ その他（公民館、公園など）の日数（低学年）

【全体】

- 低学年時にその他で過ごさせたい日数について、「週 2 日」「週 3 日」が 36.4%で最も多く、次いで「週 1 日」が 27.3%となっています。

【その他の日数（低学年）】

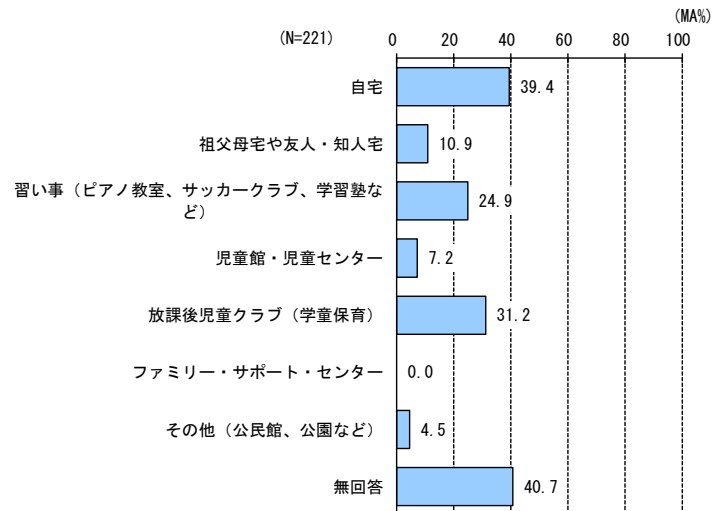


ア 放課後を過ごさせたい場所（高学年）

【全体】

- 高学年時に放課後を過ごさせたい場所で過ごさせたい日数について、「自宅」が39.4%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が31.2%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が24.9%となっています。

【放課後を過ごさせたい場所（高学年）】

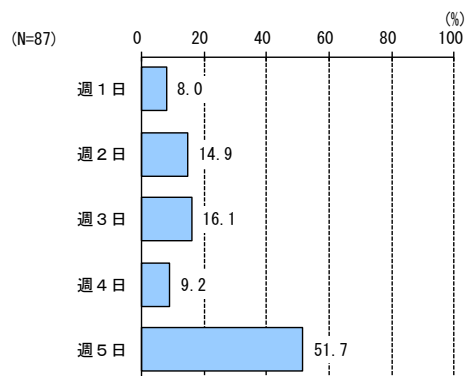


イ 自宅の日数（高学年）

【全体】

- 高学年時に自宅で過ごさせたい日数について、「週5日」が51.7%で最も多く、次いで「週3日」が16.1%、「週2日」が14.9%となっています。

【自宅の日数（高学年）】

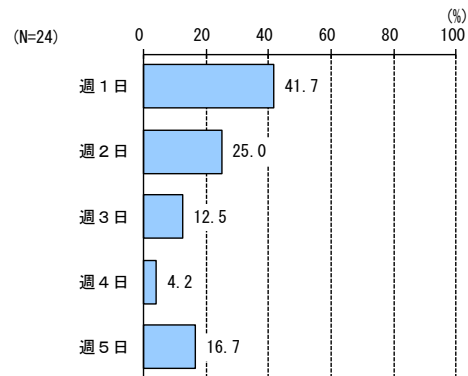


イ 祖父母宅や友人・知人宅の日数（高学年）

【全体】

- 高学年時に祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数について、「週1日」が41.7%で最も多く、次いで「週2日」が25.0%、「週5日」が16.7%となっています。

【祖父母宅や友人・知人宅の日数（高学年）】

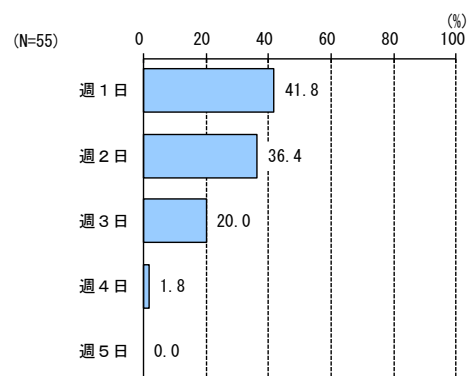


イ 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）の日数（高学年）

【全体】

- 高学年時に習い事で過ごさせたい日数について、「週1日」が41.8%で最も多く、次いで「週2日」が36.4%、「週3日」が20.0%となっています。

【習い事の日数（高学年）】

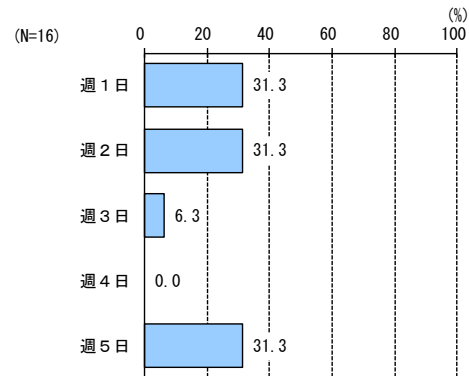


イ 児童館・児童センターの日数（高学年）

【全体】

- 高学年時に児童館で過ごさせたい日数について、「週1日」「週2日」「週5日」が31.3%で最も多く、次いで「週3日」が6.3%となっています。

【児童館・児童センターの日数（高学年）】

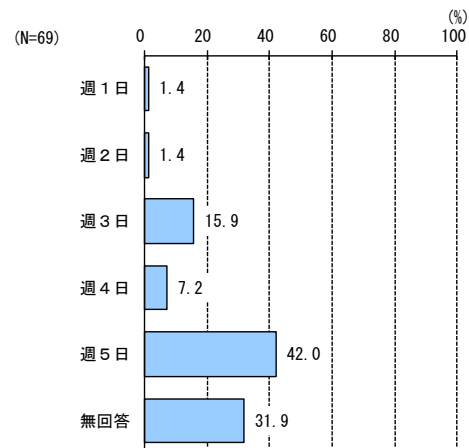


イ 放課後児童クラブ（学童保育）の日数（高学年）

【全体】

- 高学年時に放課後児童クラブ（学童保育）で過ごさせたい日数について、「週5日」が42.0%で最も多く、次いで「週3日」が15.9%、「週4日」が7.2%となっています。

【放課後児童クラブ（学童保育）の日数（高学年）】



イ ファミリー・サポート・センターの日数（高学年）

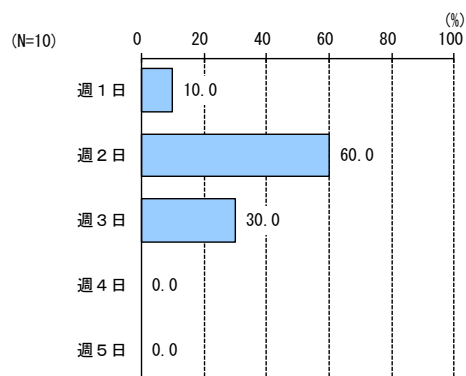
【該当者なし】

イ その他の日数（高学年）

【全体】

- 高学年時にその他で過ごさせたい日数について、「週 2 日」が 60.0%で最も多く、次いで「週 3 日」が 30.0%、「週 1 日」が 10.0%となっています。

【その他の日数（高学年）】



★問32「小学校就学後、放課後を過ごさせたい場所」について、「放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方のみ

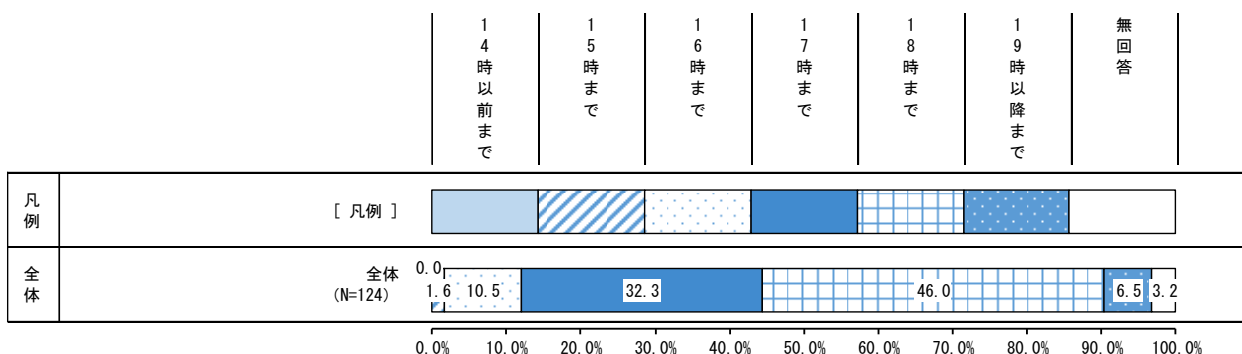
問32-1 放課後児童クラブを利用したい時間帯をご記入ください。

（1）放課後児童クラブの希望時間帯（低学年）

【全体】

- 低学年時に放課後児童クラブの利用を希望する時間帯について、「18 時まで」が 46.0%で最も多く、次いで「17 時まで」が 32.3%、「16 時まで」が 10.5%となっています。

【放課後児童クラブの希望時間帯（低学年）】

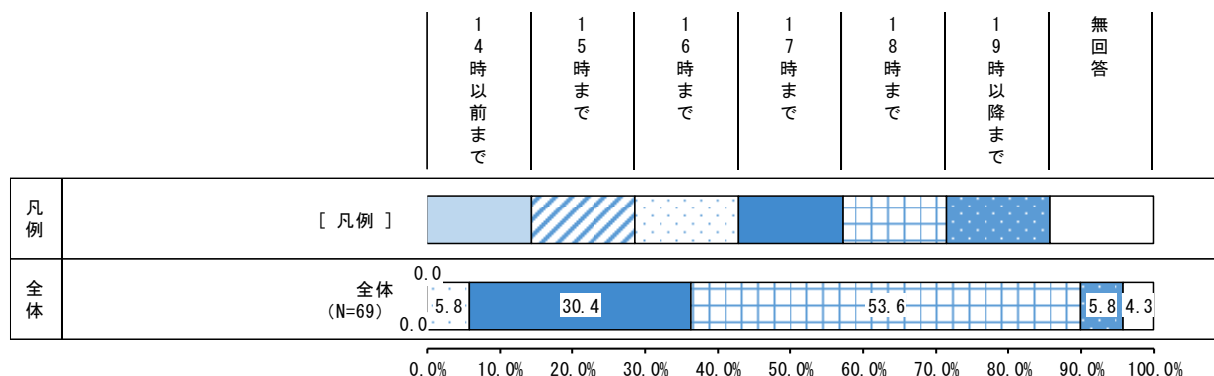


(2) 放課後児童クラブの希望時間帯 (高学年)

【全体】

- 高学年時に放課後児童クラブの利用を希望する時間帯について、「18 時まで」が 53.6%で最も多く、次いで「17 時まで」が 30.4%、「16 時まで」「19 時以降まで」が 5.8%となっています。

【放課後児童クラブの希望時間帯 (高学年)】



★問32「小学校就学後、放課後を過ごさせたい場所」について、「放課後児童クラブ (学童保育)」に○をつけた方のみ

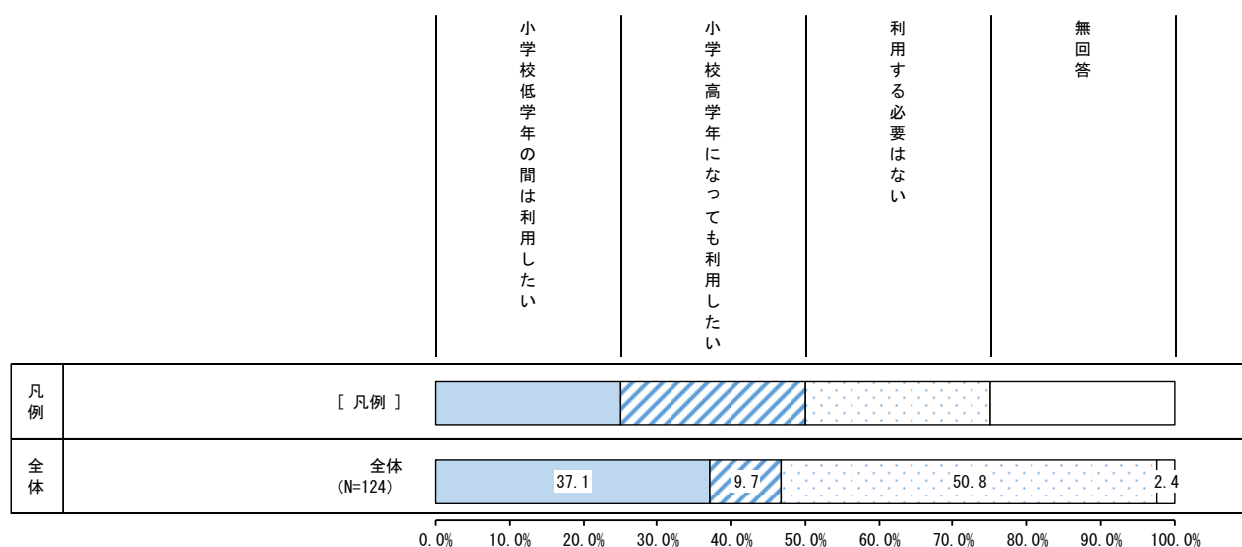
問33 あて名のお子さんについて、(1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日に、放課後児童クラブを利用したいですか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

(1) 土曜日

【全体】

- 土曜日の放課後児童クラブの利用意向について、「利用する必要はない」が 50.8%で最も多く、次いで「小学校低学年の間は利用したい」が 37.1%、「小学校高学年になっても利用したい」が 9.7%となっています。

【土曜日の放課後児童クラブの利用意向】

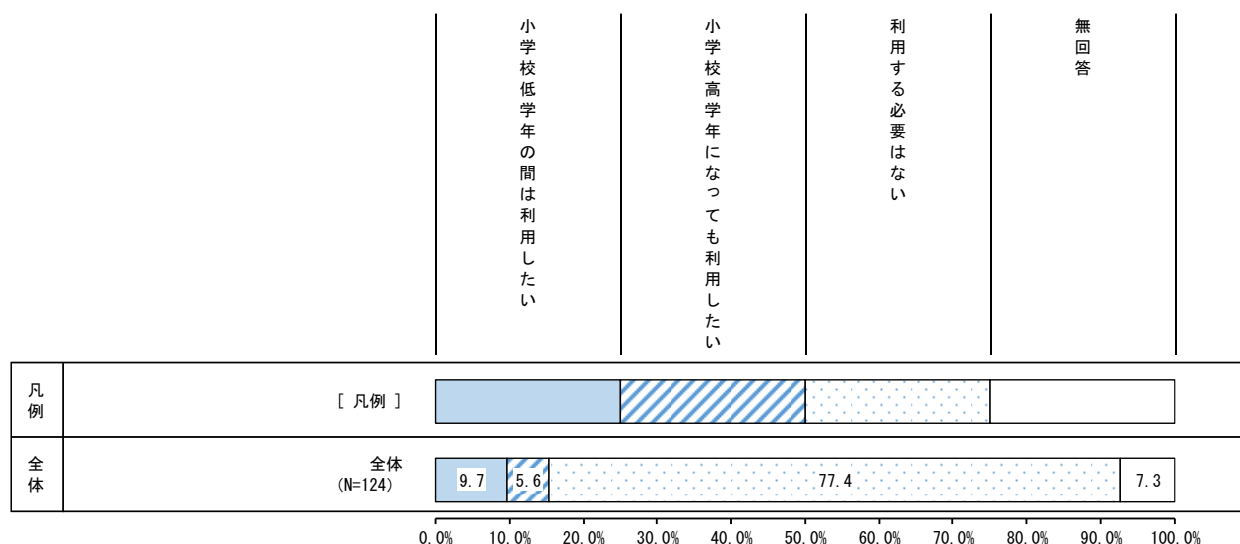


(2) 日曜日・祝日

【全体】

- 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向について、「利用する必要はない」が77.4%で最も多く、次いで「小学校低学年の間は利用したい」が9.7%、「小学校高学年になっても利用したい」が5.6%となっています。

【日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向】



★問33「土曜日・日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向」について、「小学校低学年の間は利用したい」または「小学校高学年になっても利用したい」に○をつけた方のみ

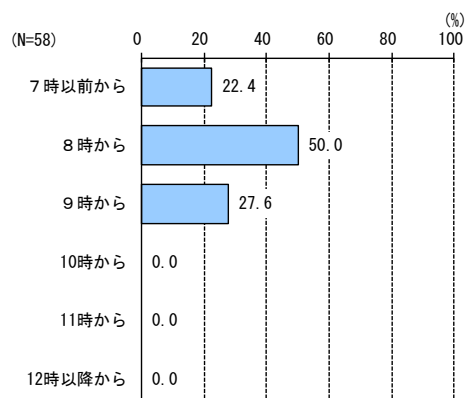
問33-1 (1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日に、放課後児童クラブを利用したい時間帯をご記入ください。

(1) 土曜日の放課後児童クラブの希望開始時間

【全体】

- 土曜日の放課後児童クラブの希望開始時間について、「8時から」が50.0%で最も多く、次いで「9時から」が27.6%、「7時以前から」が22.4%となっています。

【土曜日の放課後児童クラブの希望開始時間】

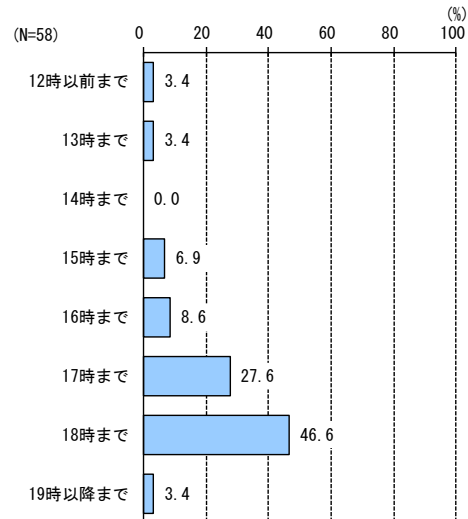


(1) 土曜日の放課後児童クラブの希望終了時間

【全体】

- 土曜日の放課後児童クラブの希望終了時間について、「18 時まで」が 46.6%で最も多く、次いで「17 時まで」が 27.6%、「16 時まで」が 8.6%となっています。

【土曜日の放課後児童クラブの希望終了時間】

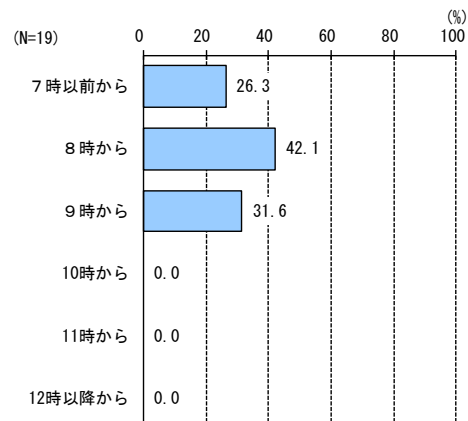


(2) 日曜日・祝日の放課後児童クラブの希望開始時間

【全体】

- 日曜日・祝日の放課後児童クラブの希望開始時間について、「8時から」が 42.1%で最も多く、次いで「9時から」が 31.6%、「7時以前から」が 26.3%となっています。

【日曜日・祝日の放課後児童クラブの希望開始時間】

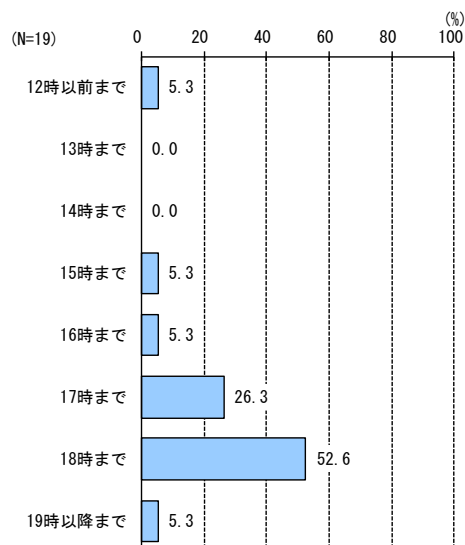


(2) 日曜日・祝日の放課後児童クラブの希望終了時間

【全体】

- 日曜日・祝日の放課後児童クラブの希望終了時間について、「18 時まで」が 52.6%で最も多く、次いで「17 時まで」が 26.3%、「12 時以前まで」「15 時まで」「16 時まで」「19 時以降まで」が 5.3%となっています。

【日曜日・祝日の放課後児童クラブの希望終了時間】

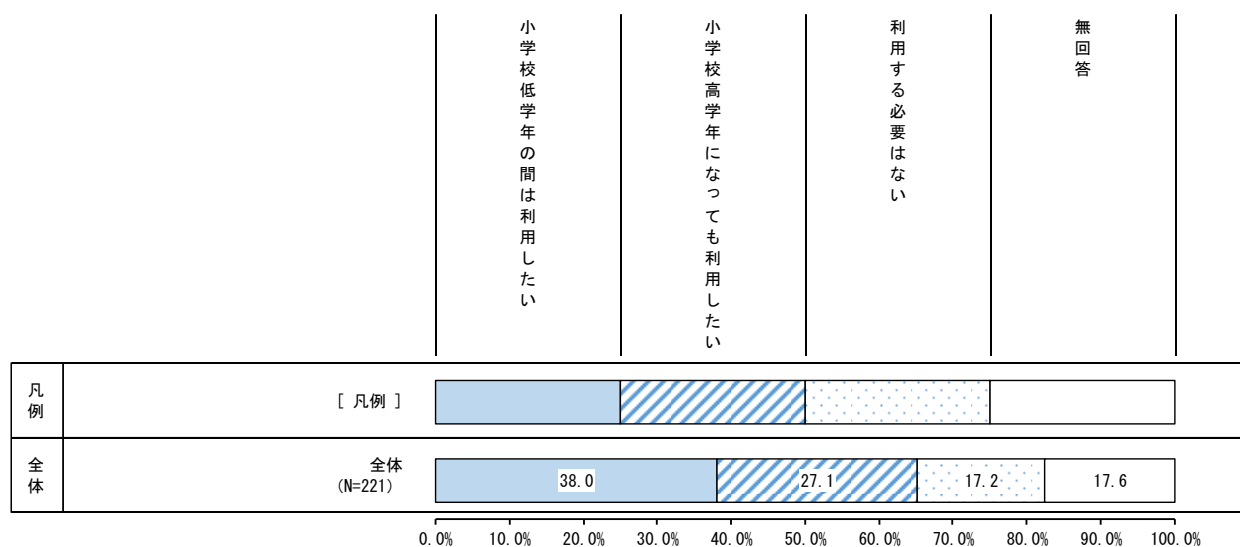


問34 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブを利用したいですか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用意向について、「小学校低学年の間は利用したい」が 38.0%で最も多く、次いで「小学校高学年になっても利用したい」が 27.1%、「利用する必要はない」が 17.2%となっています。

【長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用意向】



★問34「長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用意向」について、「小学校低学年の間は利用したい」または「小学校高学年になっても利用したい」に○をつけた方のみ

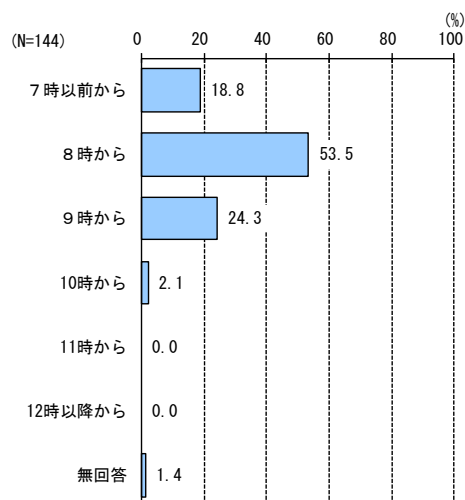
問34-1 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中のみ、放課後児童クラブを利用したい時間帯をご記入ください。

(1) 長期休暇期間中の放課後児童クラブの希望開始時間

【全体】

- 長期休暇期間中の放課後児童クラブの希望開始時間について、「8時から」が53.5%で最も多く、次いで「9時から」が24.3%、「7時以前から」が18.8%となっています。

【長期休暇期間中の放課後児童クラブの希望開始時間】

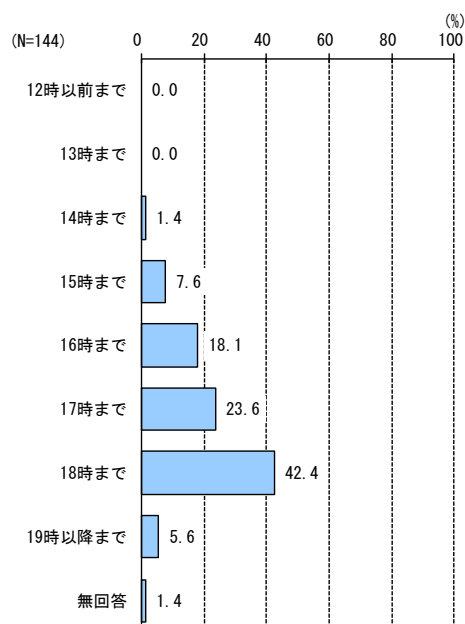


(2) 長期休暇期間中の放課後児童クラブの希望終了時間

【全体】

- 長期休暇期間中の放課後児童クラブの希望終了時間について、「18時まで」が42.4%で最も多く、次いで「17時まで」が23.6%、「16時まで」が18.1%となっています。

【長期休暇期間中の放課後児童クラブの希望終了時間】



11 その他の家庭状況などについて

問35 子育てに関して、日頃悩んでいることや不安なこと、気になることをご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

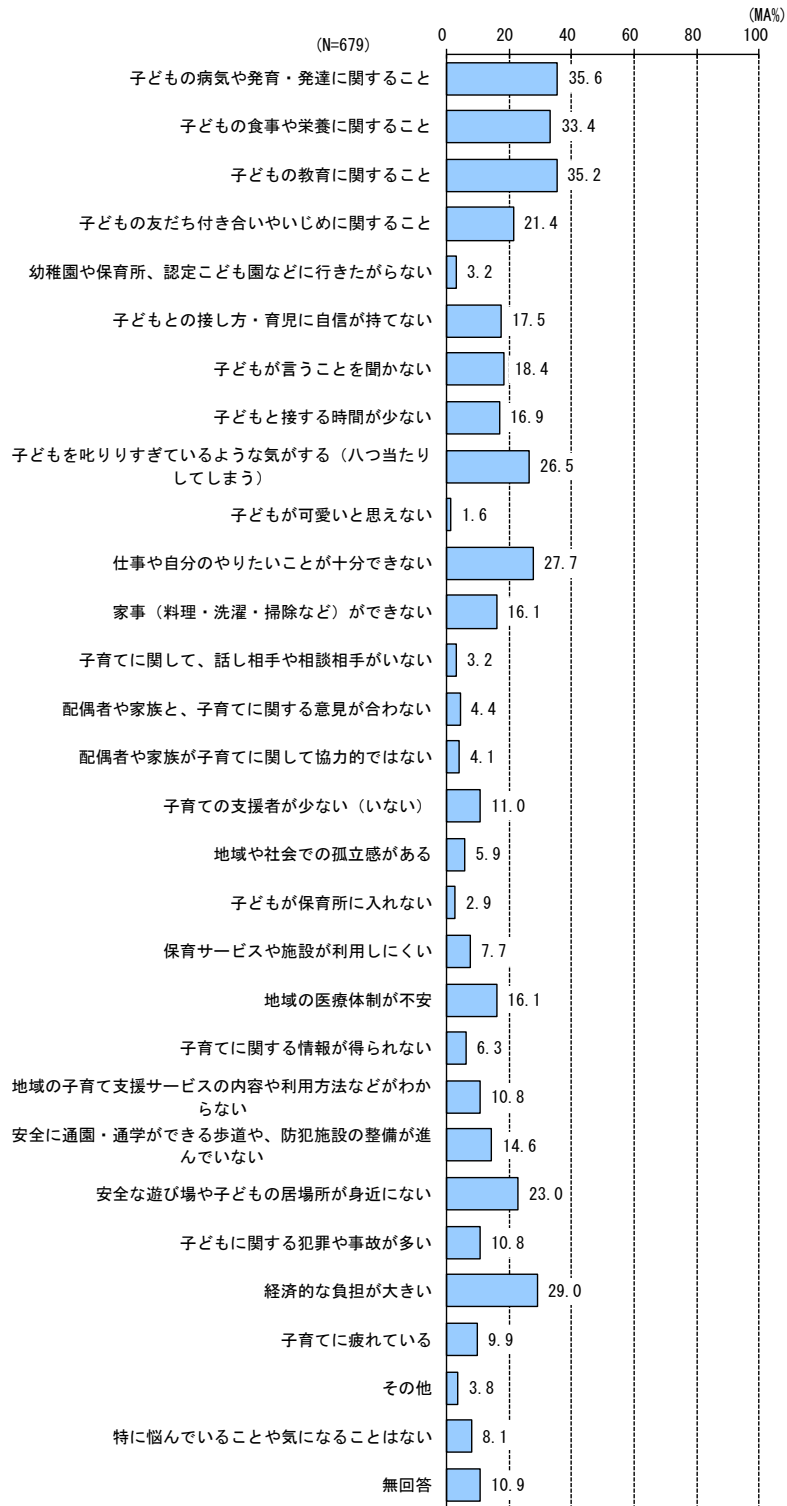
【全体】

- 子育てでの悩みや不安について、「子どもの病気や発育・発達に関すること」が 35.6%で最も多く、次いで「子どもの教育に関すること」が 35.2%、「子どもの食事や栄養に関すること」が 33.4%となっています。

【子どもの年齢】

- 0歳児・1歳児では「子どもの食事や栄養に関すること」、2歳児では「子どもの病気や発育・発達に関すること」「子どもの食事や栄養に関すること」、3歳児では、「子どもの病気や発育・発達に関すること」、4歳児・5歳児では、「子どもの教育に関すること」が最も多くなっています。

【子育てでの悩みや不安】



単位：％

単位：%

		母数 (N)	子育てでの悩みや不安									
			子どもの 病気や発育・ 発達に関するこ	子どもの 食事や栄養に 関すること	子どもの 教育に関するこ	子どもの 友だち付き合 いやいじめに 関すること	幼稚園や保 育所、認定こ ども園などに 行きたがらな い	子どもとの 接し方・育児 に自信が持て ない	子どもが言 うことを聞か ない	子どもと接 する時間が少 ない	子どもを叱 りりすぎてる ような気がする (八つ当たりし てしまう)	子どもが可 愛いと思えな い
	全体	679	35.6	33.4	35.2	21.4	3.2	17.5	18.4	16.9	26.5	1.6
子どもの 年齢	0歳児	81	38.3	44.4	23.5	11.1	1.2	14.8	3.7	8.6	9.9	3.7
	1歳児	83	43.4	45.8	44.6	20.5	7.2	22.9	14.5	16.9	15.7	2.4
	2歳児	86	32.6	32.6	29.1	11.6	1.2	14.0	19.8	16.3	26.7	1.2
	3歳児	96	36.5	33.3	35.4	16.7	3.1	16.7	21.9	24.0	28.1	1.0
	4歳児	104	33.7	30.8	37.5	28.8	6.7	18.3	23.1	13.5	29.8	1.0
	5歳児	221	32.6	26.2	37.6	27.6	1.8	18.1	20.4	19.5	34.4	1.4

単位：％

子育てでの悩みや不安												
	母数 (N)	仕事や自分のやりたいことが十分でない	家事（料理・洗濯・掃除など）ができない	子育てに関して、話し相手や相談相手がない	配偶者や家族と、子育てに関する意見が合わない	配偶者や家族が子育てに関して協力的ではない	子育ての支援者が少ない（いない）	地域や社会での孤立感がある	子どもが保育所に入れない	保育サービスや施設が利用しにくい	地域の医療体制が不安	
全体	679	27.7	16.1	3.2	4.4	4.1	11.0	5.9	2.9	7.7	16.1	
子どもの年齢	0歳児	81	22.2	12.3	1.2	2.5	4.9	8.6	7.4	3.7	8.6	18.5
	1歳児	83	30.1	16.9	4.8	2.4	2.4	14.5	7.2	3.6	10.8	18.1
	2歳児	86	25.6	16.3	4.7	3.5	1.2	10.5	7.0	3.5	9.3	14.0
	3歳児	96	28.1	17.7	3.1	5.2	5.2	13.5	2.1	2.1	6.3	17.7
	4歳児	104	27.9	12.5	1.9	8.7	4.8	10.6	5.8	3.8	7.7	15.4
	5歳児	221	28.5	17.6	3.6	4.1	5.0	10.0	6.3	2.3	6.3	14.5

単位：％

単位：％

		母数 (N)	子育てでの悩みや不安									
			子育てに関する情報が得られない	地域の子育て支援サービスの内容や利用方法などがわからない	安全に通園・通学ができる歩道や、防犯施設の整備が進んでいない	安全な遊び場や子どもの居場所が身近にない	子どもに関する犯罪や事故が多い	経済的な負担が大きい	子育てに疲れている	その他	特に悩んでいることや気になることはない	無回答
	全体	679	6.3	10.8	14.6	23.0	10.8	29.0	9.9	3.8	8.1	10.9
子どもの年齢	0歳児	81	4.9	13.6	13.6	19.8	12.3	28.4	9.9	2.5	14.8	16.0
	1歳児	83	9.6	12.0	14.5	22.9	10.8	32.5	13.3	3.6	4.8	15.7
	2歳児	86	5.8	9.3	10.5	14.0	8.1	27.9	7.0	2.3	5.8	11.6
	3歳児	96	5.2	12.5	12.5	20.8	9.4	29.2	5.2	3.1	6.3	10.4
	4歳児	104	2.9	5.8	14.4	22.1	10.6	27.9	9.6	4.8	5.8	16.3
	5歳児	221	7.2	10.9	16.7	28.5	11.3	29.4	11.8	5.0	10.0	5.0

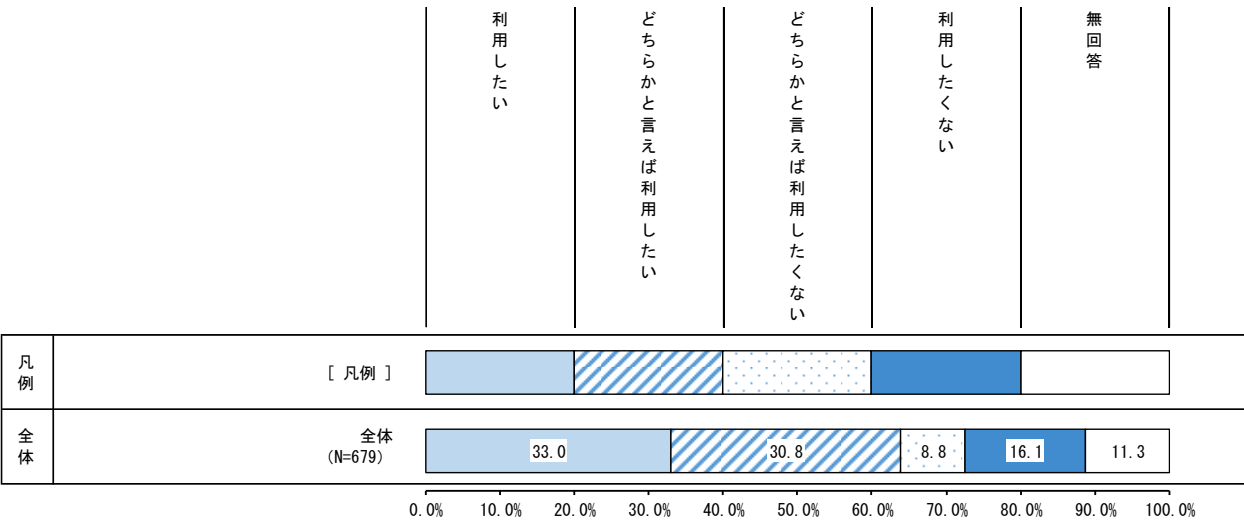
問36 令和6年度より導入される「こども誰でも通園制度（仮称）※1」を利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

※1 「親が就労している」などの要件を満たしていなくても、誰もが定期的に保育施設などへ通えるようにする制度（月10時間までの枠で、時間単位で利用できる仕組みを想定）

【全体】

○ 「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向について、「利用したい」が33.0%で最も多く、次いで「どちらかと言えば利用したい」が30.8%、「利用したくない」が16.1%となっています。

【「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向】



問37 ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年（令和5年）1年間の、ご家族全員の所得（手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか※1, 2, 3。（あてはまる番号1つに○）

※1 ご家族全員の所得（手取り額）は、税金と社会保険料等を差し引いた残りの所得を合わせた「生計を同一にしているご家族全員の合計額（自由に使える手取り額）」を記入

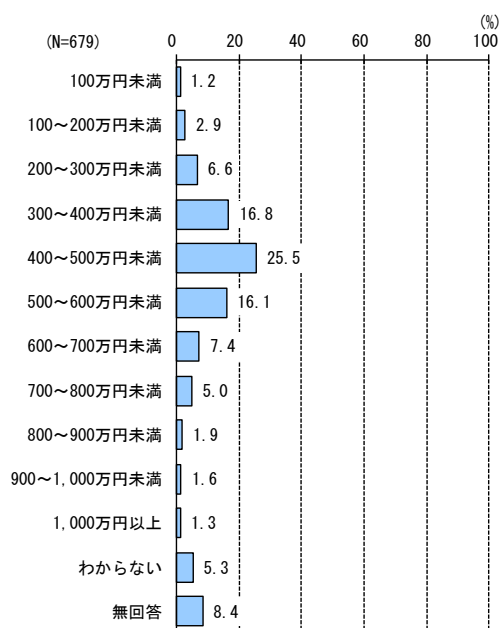
※2 所得（手取り額）には、月給や賞与などの働いて得た収入だけでなく、株式配当や副収入も含む。

※3 児童手当や就学奨励、生活保護などの公的な援助手当は除く。

【全体】

○ 世帯所得の合計額について、「400～500万円未満」が25.5%で最も多く、次いで「300～400万円未満」が16.8%、「500～600万円未満」が16.1%となっています。

【世帯所得の合計額】



問38 あなたの世帯では、過去1年の間に、急な出費などで家計のやりくりができないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

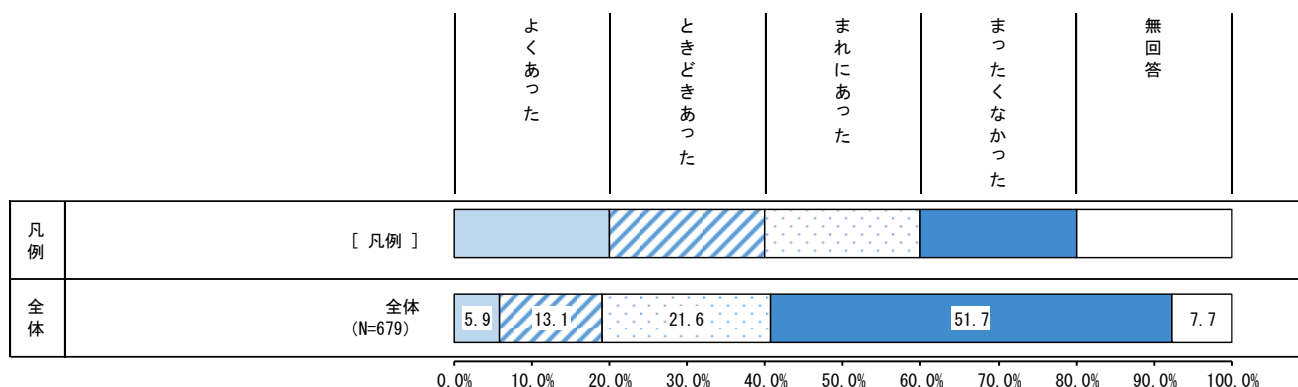
【全体】

- 家計困窮の有無について、「まったくなかった」が 51.7%で最も多く、次いで「まれにあった」が 21.6%、「ときどきあった」が 13.1%となっています。

【経済状況】

- 「あった」(「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の和)は、200 万未満では 75.1%、200～400 万円未満では 57.8%、400～600 万円未満では 39.4%、600～800 万円未満では 40.5%、800～1,000 万円未満では 12.5%、1,000 万円以上では 11.1%となっています。

【家計困窮の有無】



単位：％

		母数 (N)	家計困窮の有無				
			よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	無回答
全体		679	5.9	13.1	21.6	51.7	7.7
経済状況	200万未満	28	42.9	14.3	17.9	21.4	3.6
	200～400万円未満	159	8.8	22.6	26.4	42.1	—
	400～600万円未満	282	4.3	12.1	23.0	60.3	0.4
	600～800万円未満	84	1.2	14.3	25.0	59.5	—
	800～1,000万円未満	24	—	—	12.5	87.5	—
	1,000万円以上	9	—	—	11.1	88.9	—

問39 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で、月々の料金の支払い、家賃住宅ローンの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

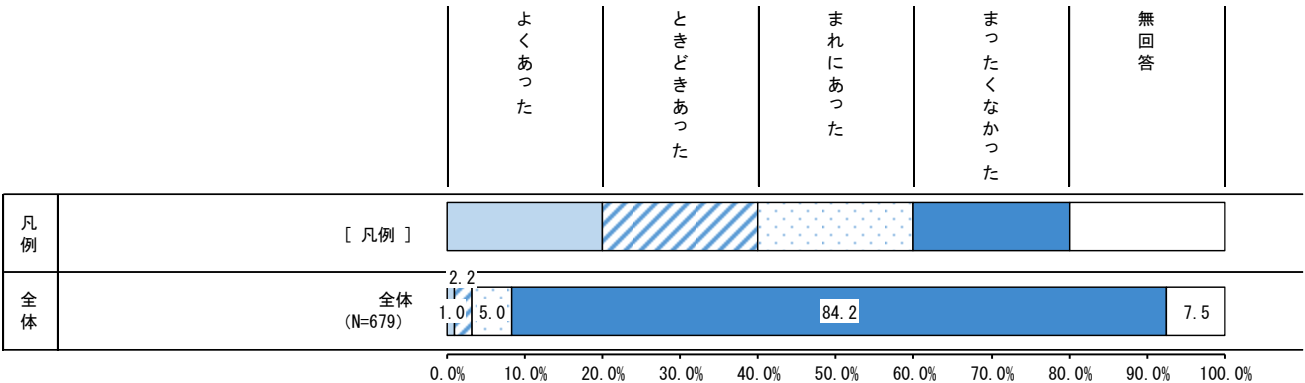
【全体】

○ 返済ができないことの有無について、「まったくなかった」が84.2%で最も多く、次いで「まれにあった」が5.0%、「ときどきあった」が2.2%となっています。

【経済状況】

○ 「あった」（「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の和）は、200万未満では32.1%、200～400万円未満では16.3%、400～600万円未満では5.7%、600～800万円未満では3.6%、800～1,000万円未満・1,000万円以上では0.0%となっています。

【返済ができないことの有無】



単位：％

		母数 (N)	返済ができないことの有無				
			よく あ つ た	と き ど き あ つ た	ま れ に あ つ た	ま つ た く な か つ た	無 回 答
全体		679	1.0	2.2	5.0	84.2	7.5
経済 状 況	200万未満	28	7.1	3.6	21.4	64.3	3.6
	200～400万円未満	159	2.5	6.3	7.5	83.6	—
	400～600万円未満	282	0.4	0.7	4.6	94.3	—
	600～800万円未満	84	—	1.2	2.4	96.4	—
	800～1,000万円未満	24	—	—	—	100.0	—
	1,000万円以上	9	—	—	—	100.0	—

問40 あなたの世帯では、過去5年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありましたか。（あてはまる番号1つに○）

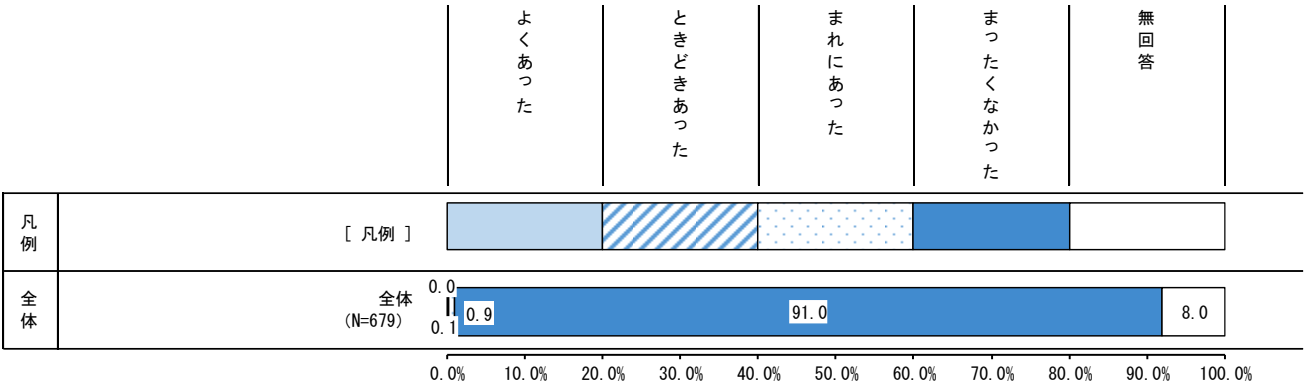
【全体】

○ 電気、ガス、水道が止まったことについて、「まったくなかった」が 91.0%で最も多く、次いで「まれにあった」が 0.9%、「ときどきあった」が 0.1%となっています。

【経済状況】

○ 「あった」（「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の和）は、200万未満では3.6%、200～400万円未満では3.1%、400～600万円未満では0.4%、600～800万円未満・800～1,000万円未満・1,000万円以上では0.0%となっています。

【電気、ガス、水道が止まったこと】



単位：％

		母数 (N)	電気、ガス、水道が止まったこと				
			よくあ った	ときど きあ った	まれに あ った	ま った く な か った	無 回 答
全体		679	－	0.1	0.9	91.0	8.0
経済 状況	200万未満	28	－	－	3.6	92.9	3.6
	200～400万円未満	159	－	0.6	2.5	96.9	－
	400～600万円未満	282	－	－	0.4	99.3	0.4
	600～800万円未満	84	－	－	－	100.0	－
	800～1,000万円未満	24	－	－	－	100.0	－
	1,000万円以上	9	－	－	－	100.0	－

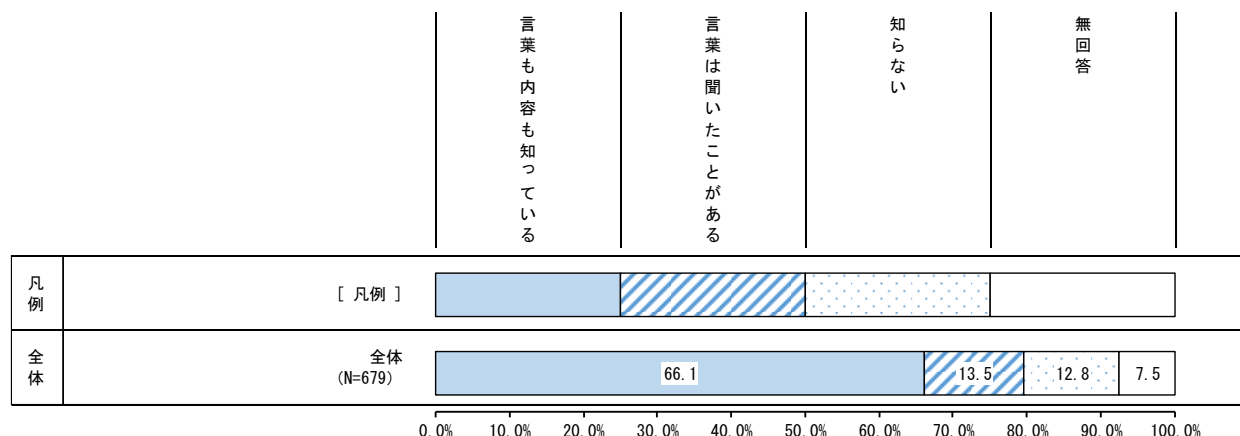
問41 あなたはヤングケアラー※4という言葉を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

※4 本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがある。

【全体】

- ヤングケアラーの認知度について、「言葉も内容も知っている」が 66.1%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」が 13.5%、「知らない」が 12.8%となっています。

【ヤングケアラーの認知度】

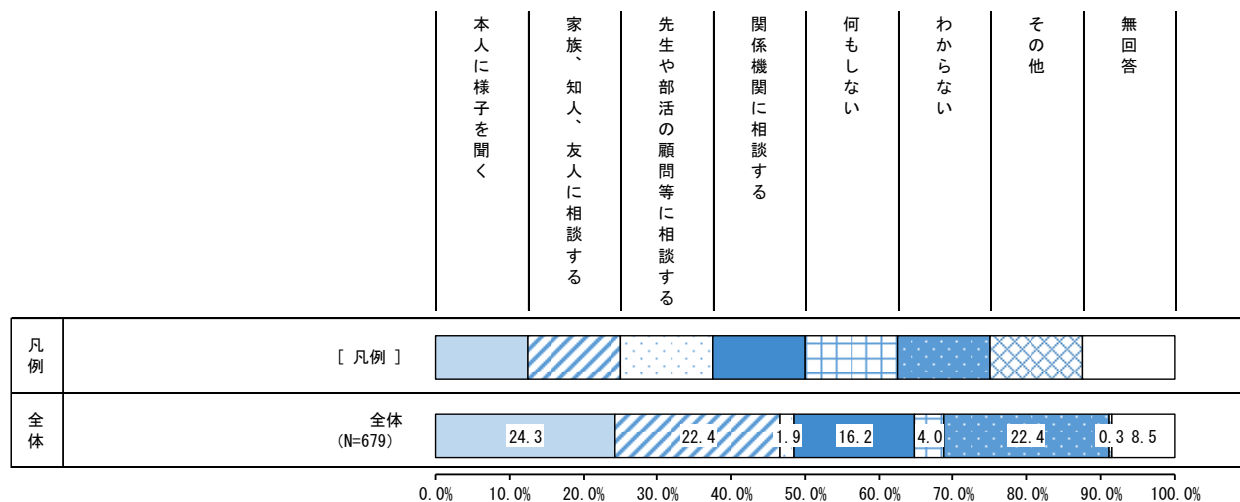


問42 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- ヤングケアラーがいた場合の対応について、「本人に様子を聞く」が 24.3%で最も多く、次いで「家族、知人、友人に相談する」が 22.4%、「わからない」が 22.4%、「関係機関に相談する」が 16.2%となっています。

【ヤングケアラーがいた場合の対応】



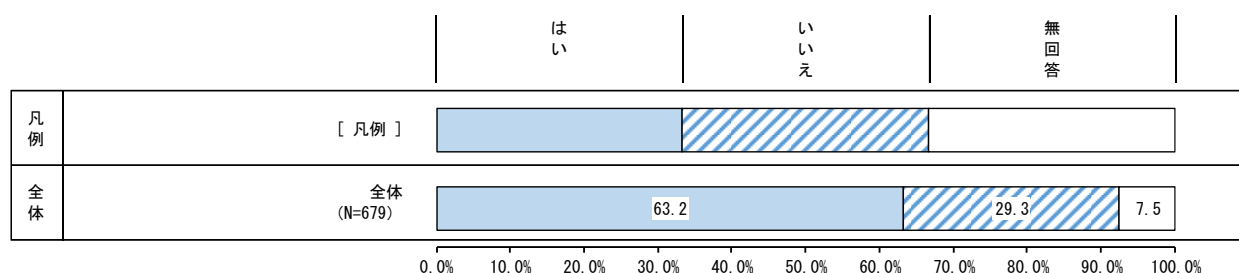
問43 現在、お子さんに対して学校以外の場でグローバル教育※¹を受けられる機会をつくってあげたいと考えていますか。（あてはまる番号1つに○）

※1 世界規模・地球規模で世の中を捉えるための教育のこと。言語習得を目的とした教育（例：英語教育）に限定されない。

【全体】

- グローバル教育の機会づくりの意向について、「はい」が 63.2%、「いいえ」が 29.3%となっています。

【グローバル教育の機会づくり意向】



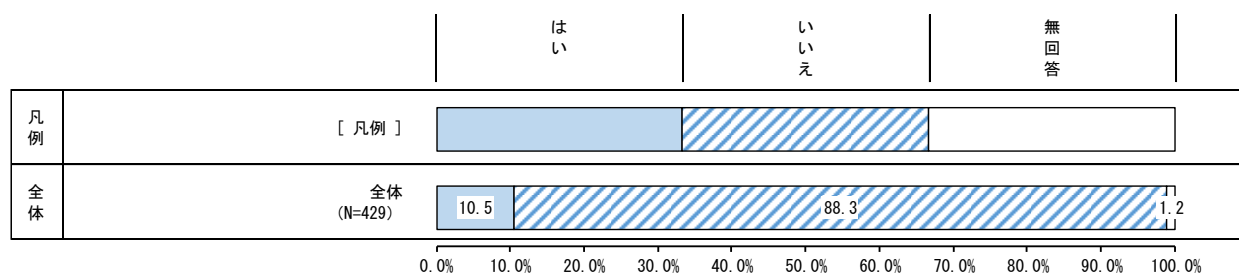
★問43「グローバル教育の機会づくりの意向」について、「はい」に○をつけた方のみ

問43-1 現在、お子さんに対して、学校以外の場でグローバル教育を行っていますか。行っている場合はその内容についてご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 学校以外の場でのグローバル教育の実施の有無について、「はい」が10.5%、「いいえ」が88.3%となっています。

【学校以外の場でのグローバル教育の実施の有無】



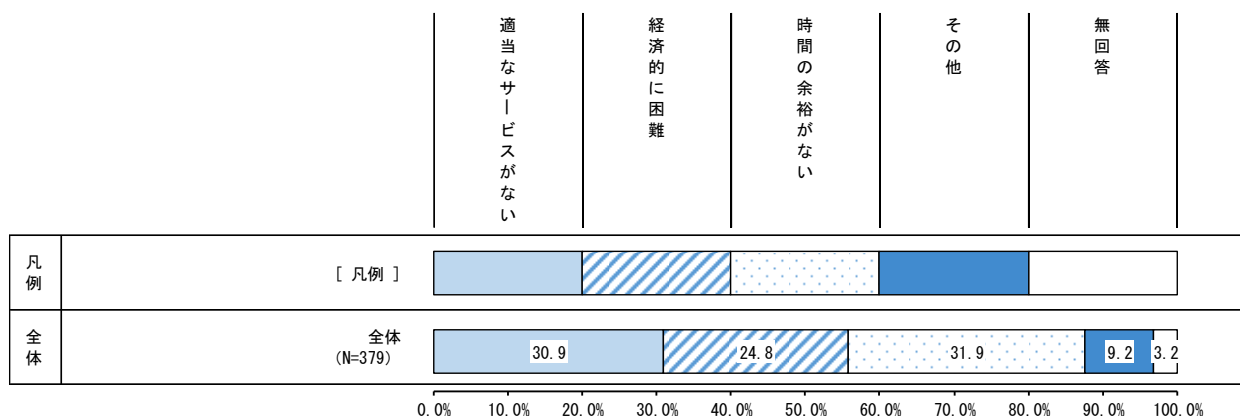
★問43-1 「学校以外の場でのグローバル教育の実施の有無」について、「いいえ」に○
をつけた方のみ

問43-2 グローバル教育に関心がある一方で行っていない理由をご記入ください。（あ
てはまる番号1つに○）

【全体】

- グローバル教育をしていない理由について、「時間の余裕がない」が31.9%で最も多く、次いで「適当なサービスがない」が30.9%、「経済的に困難」が24.8%となっています。

【グローバル教育をしていない理由】



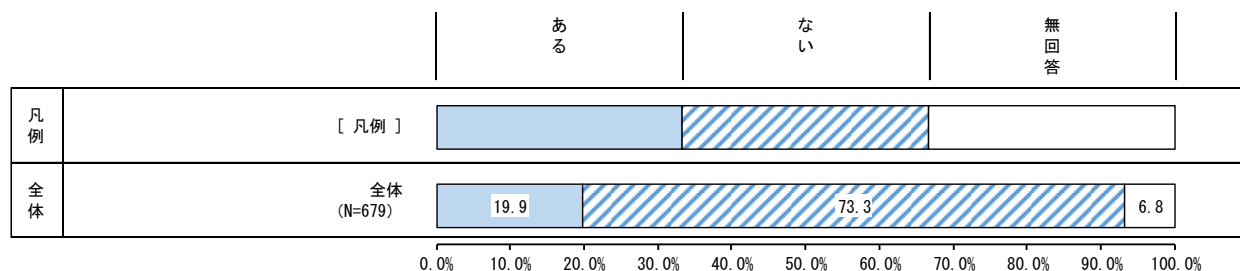
12 子どもの発育・発達について

問44 あて名のお子さんについて、発育・発達面で気になることはありますか。（あては
まる番号1つに○）

【全体】

- 発育・発達面で気になることについて、「ある」が19.9%、「ない」が73.3%となっています。

【発育・発達面で気になること】



★問44「発育・発達面で気になること」について、「ある」に○をつけた方のみ

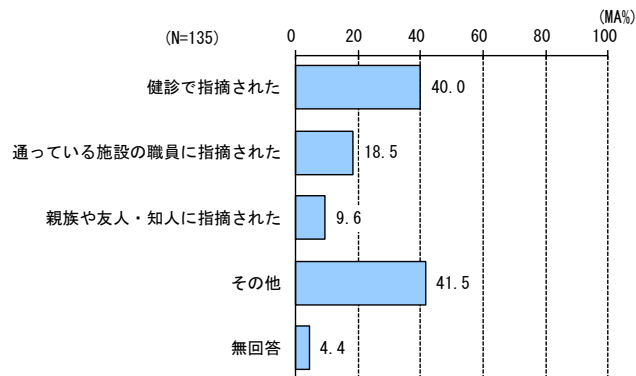
問44-1 あて名のお子さんの発育・発達面が気になったきっかけをご記入ください。

(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

○ 発育・発達面が気になったきっかけについて、「その他」が 41.5%で最も多く、次いで「健診で指摘された」が 40.0%、「通っている施設の職員に指摘された」が 18.5%となっています。

【発育・発達面が気になったきっかけ】

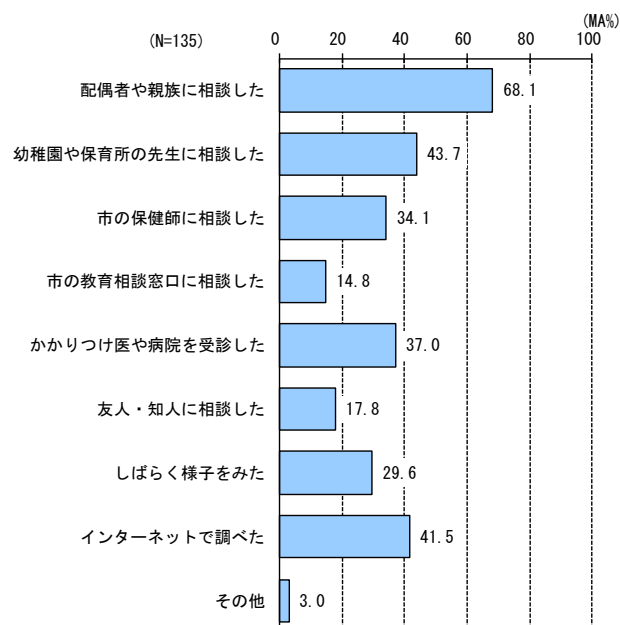


問44-2 お子さんの発育・発達面が気になった時、どのように行動しましたか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

○ 発育・発達面が気になった時の行動について、「配偶者や親族に相談した」が 68.1%で最も多く、次いで「幼稚園や保育所の先生に相談した」が 43.7%、「インターネットで調べた」が 41.5%となっています。

【発育・発達面が気になった時の行動】



13 子ども食堂※¹について

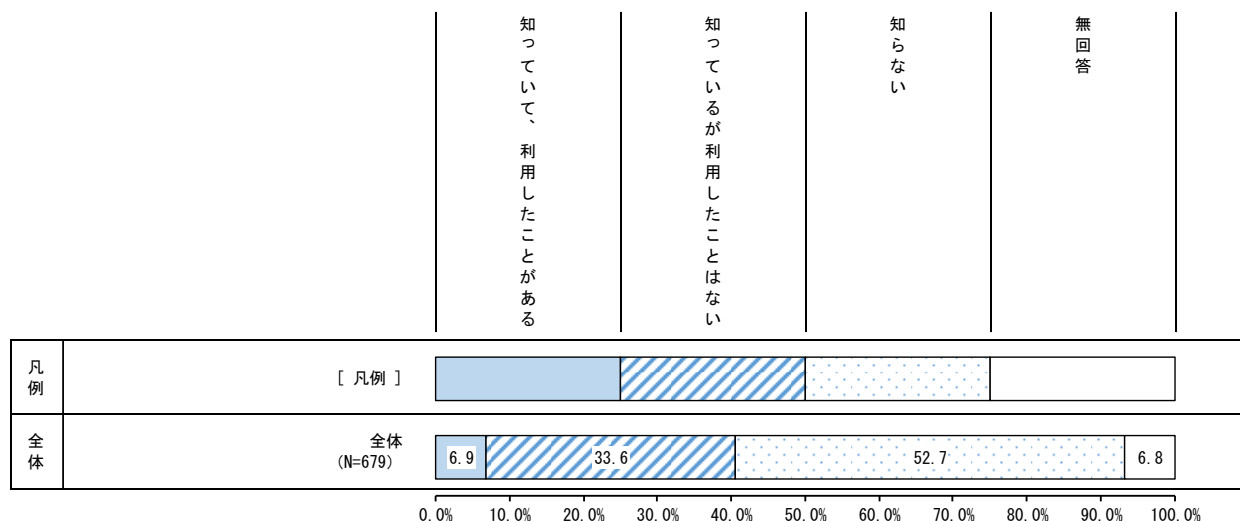
※1 家庭の事情で満足に食事がとれなかったり、1人で食事をしたりする子どもたちに、無料または定額で食事を提供する取組

問45 伊予市内で「子ども食堂」が運営されていることをご存知ですか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 市内「子ども食堂」の認知度について、「知らない」が52.7%で最も多く、次いで「知っているが利用したことはない」が33.6%、「知っていて、利用したことがある」が6.9%となっています。

【市内「子ども食堂」の認知度】



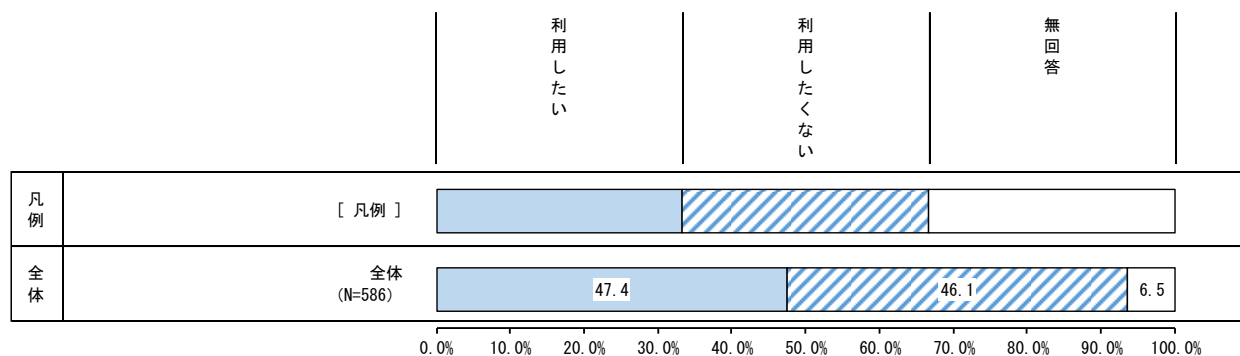
★問45 「市内「子ども食堂」の認知度」について、「知っているが利用したことはない」または「知らない」に○をつけた方のみ

問45-1 「子ども食堂」を利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 「子ども食堂」の利用意向について、「利用したい」が47.4%、「利用したくない」が46.1%となっています。

【「子ども食堂」の利用意向】

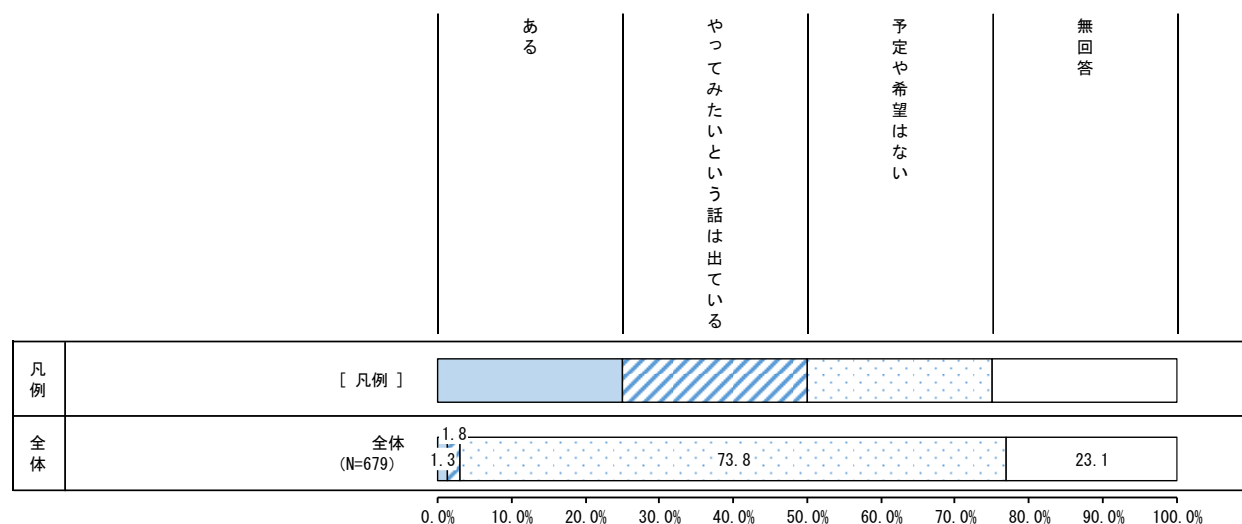


問45-2 あなたご自身やあなたのまわりで、新たに「子ども食堂」のような子どもの居場所をつくる活動の予定や希望がありますか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 子どもの居場所づくりの予定や希望について、「予定や希望はない」が 73.8%で最も多く、次いで「やってみたいという話は出ている」が 1.8%、「ある」が 1.3%となっています。

【子どもの居場所づくりの予定や希望】



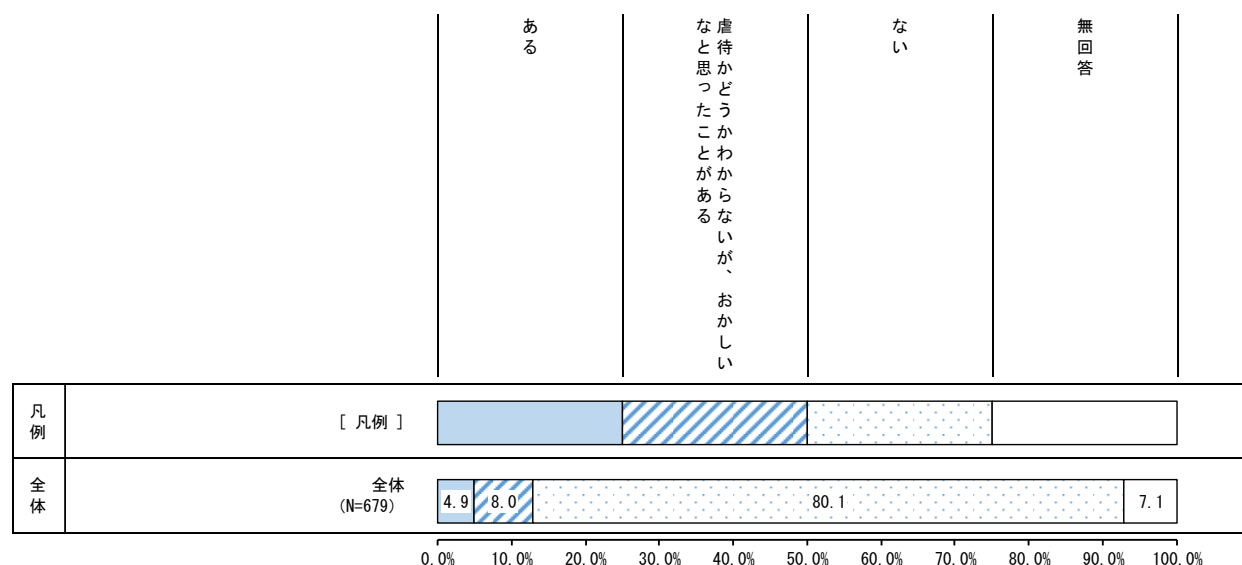
14 児童虐待について

問46 身近なところで、児童虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 児童虐待の認知について、「ない」が 80.1%で最も多く、次いで「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」が 8.0%、「ある」が 4.9%となっています。

【児童虐待の認知】

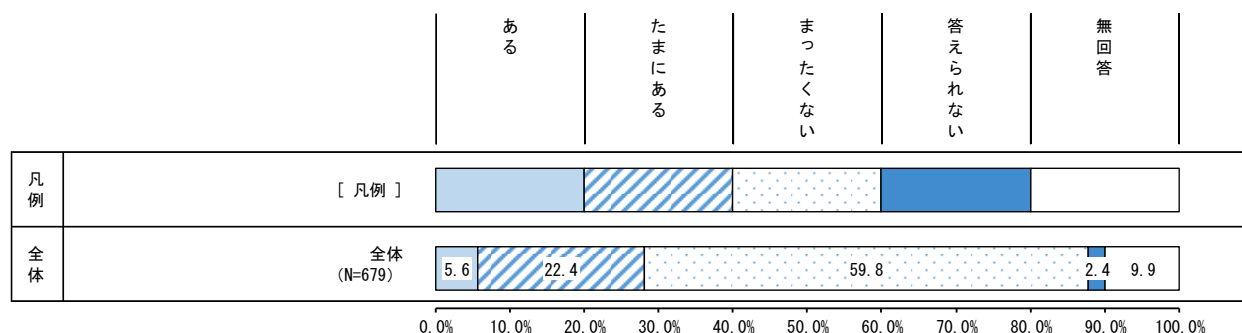


問47 あなた自身が、「子どもを虐待しているのでは」、「虐待にあたるのでは」と思ったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 「児童虐待」を行っているのではないかと思った経験の有無について、「まったくない」が59.8%で最も多く、次いで「たまにある」が22.4%、「ある」が5.6%となっています。

【「児童虐待」を行っているのではないかと思った経験の有無】



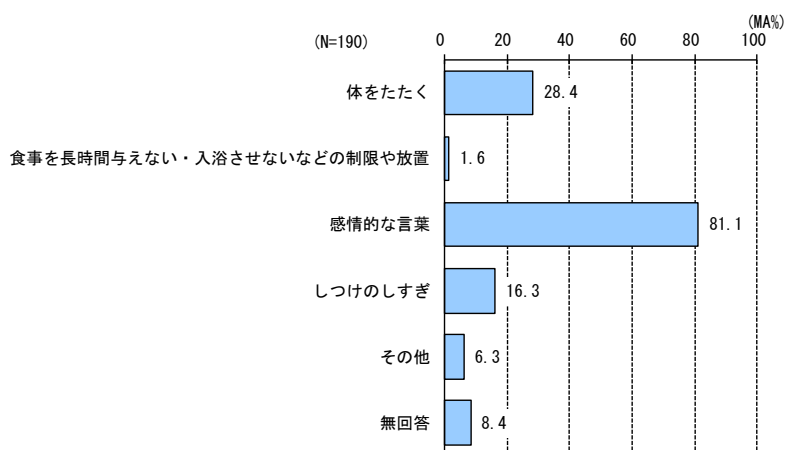
★問47 「児童虐待」を行っているのではないかと思った経験の有無について、「ある」または「たまにある」に○をつけた方のみ

問47-1 「子どもを虐待しているのでは」、「虐待にあたるのでは」と思ったのは、どのような時でしたか。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

○ 「児童虐待をしているのでは」と思った時について、「感情的な言葉」が81.1%で最も多く、次いで「体をたたく」が28.4%、「しつけのしすぎ」が16.3%となっています。

【「児童虐待をしているのでは」と思った時】

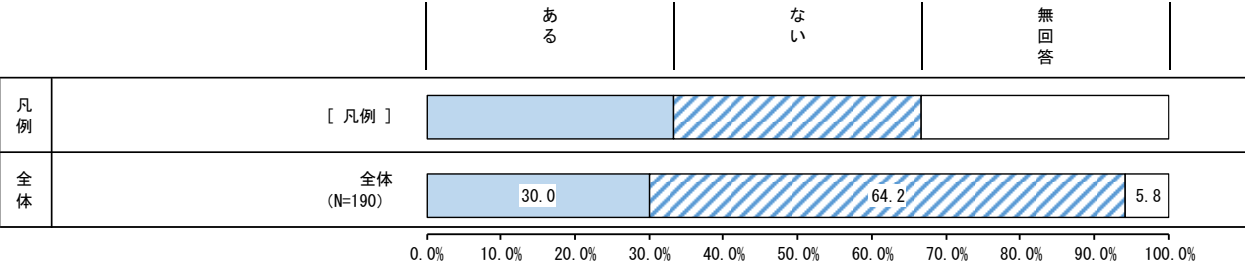


問47-2 虐待だと感じた時に、どこかへ相談しましたか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

○ 虐待だと感じた時の相談経験について、「ある」が30.0%、「ない」が64.2%となっています。

【虐待だと感じた時の相談経験】



Ⅲ 小学生児童保護者調査の結果

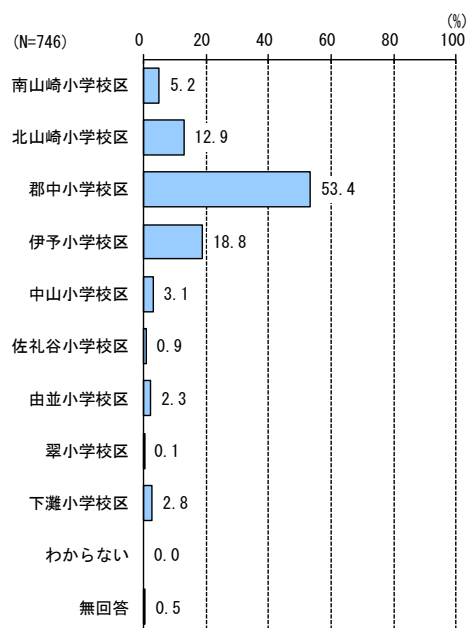
1 あて名のお子さんご家族の状況について

問1 お住まいの小学校区名をご記入ください。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 小学校区について、「郡中小学校区」が53.4%で最も多く、次いで「伊予小学校区」が18.8%、「北山崎小学校区」が12.9%となっています。

【小学校区】

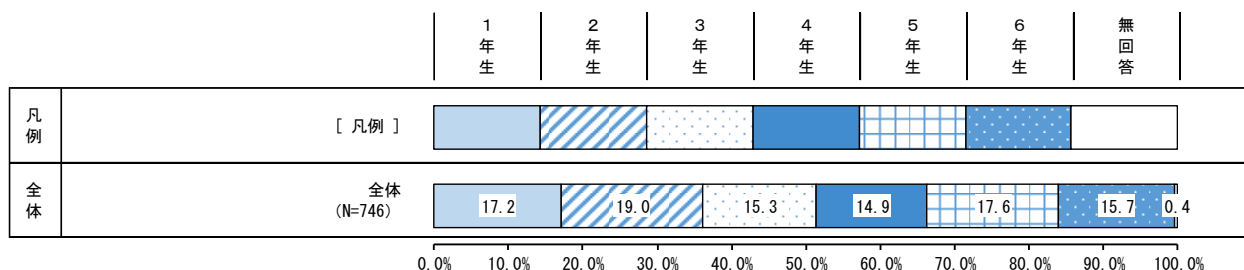


問2 あて名のお子さんは何年生ですか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 子どもの学年について、「2年生」が19.0%で最も多く、次いで「5年生」が17.6%、「1年生」が17.2%となっています。

【子どもの学年】



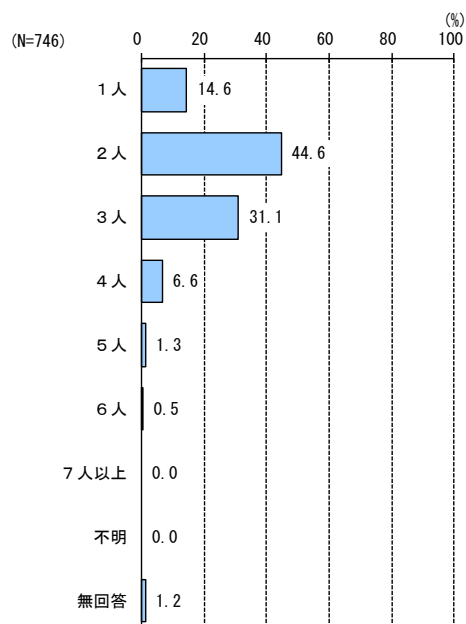
問3 あて名のお子さんのきょうだい数（あて名のお子さんを含む。）をご記入ください。また、あて名のお子さんはきょうだいの中で何番目のお子さんですか。

（1）きょうだい数

【全体】

○ きょうだい数について、「2人」が44.6%で最も多く、次いで「3人」が31.1%、「1人」が14.6%となっています。

【きょうだい数】

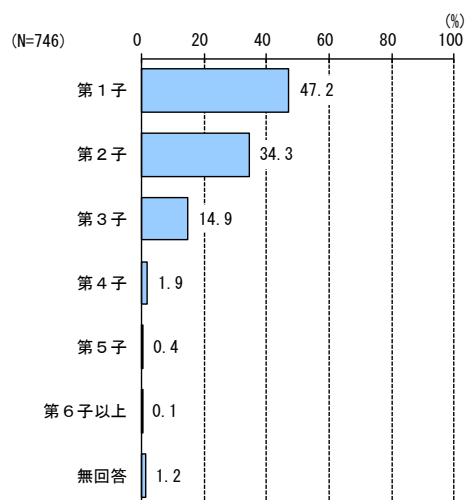


（2）何番目の子どもか

【全体】

○ 何番目の子どもかについて、「第1子」が47.2%で最も多く、次いで「第2子」が34.3%、「第3子」が14.9%となっています。

【何番目の子どもか】

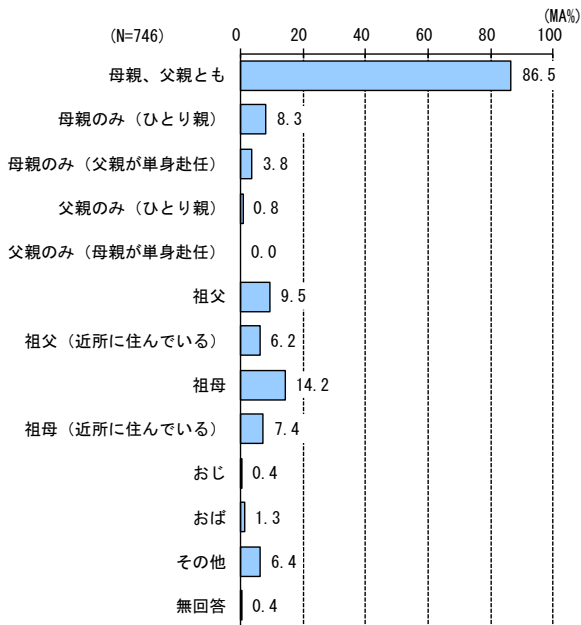


問4 あて名のお子さんと一緒に住んでいる方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

○ 子どもの同居家族について、「母親、父親とも」が 86.5%で最も多く、次いで「祖母」が 14.2%、「祖父」が 9.5%となっています。

【子どもの同居家族】

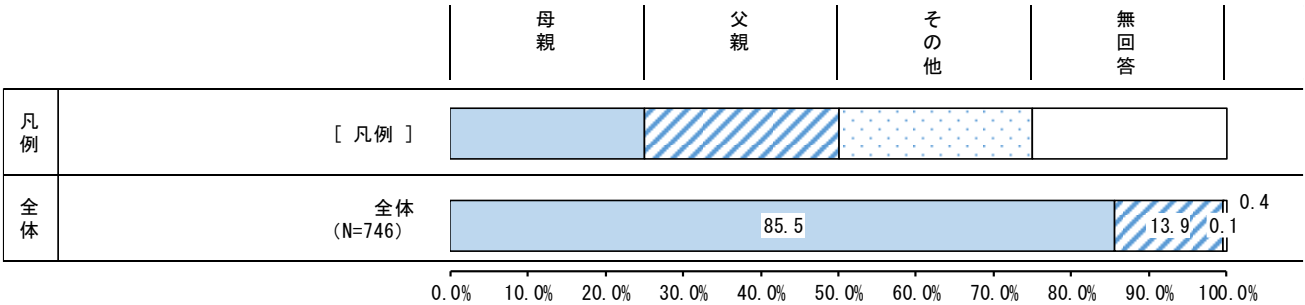


問5 この調査票をご回答いただいている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 子どもと回答者の関係について、「母親」が 85.5%で最も多く、次いで「父親」が 13.9%、「その他」が 0.1%となっています。

【子どもと回答者の関係】

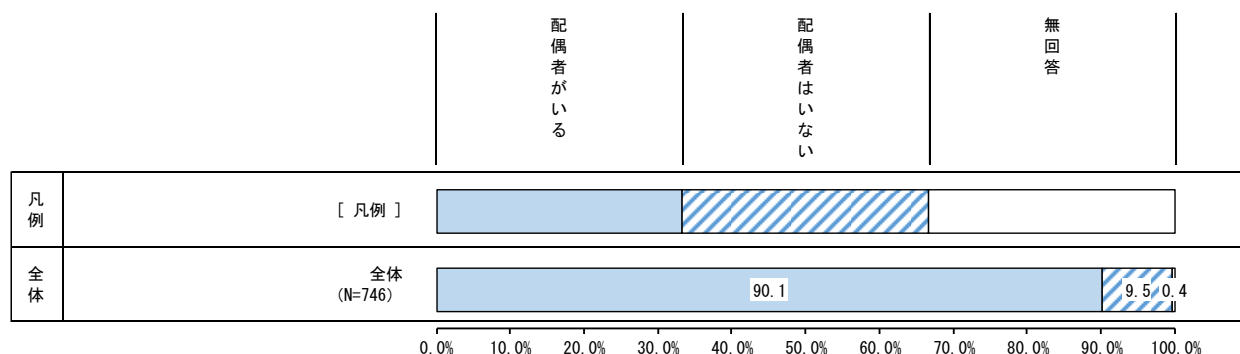


問6 この調査票をご回答いただいている方の配偶関係をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 回答者の配偶関係について、「配偶者がいる」が90.1%、「配偶者はいない」が9.5%となっています。

【回答者の配偶関係】



2 子どもの育ちをめぐる環境について

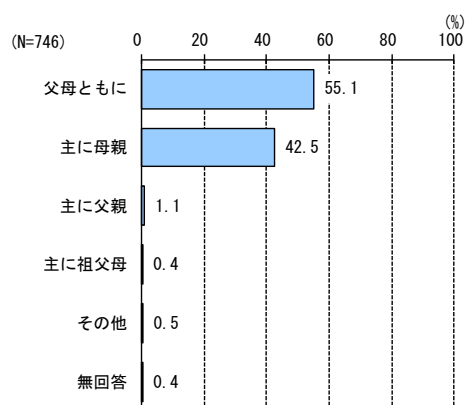
問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む。）を主に行っているのはどなたですか。

あて名のお子さんからみた関係をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

- 子育てを主に行っている人について、「父母ともに」が55.1%で最も多く、次いで「主に母親」が42.5%、「主に父親」が1.1%となっています。

【子育てを主に行っている人】

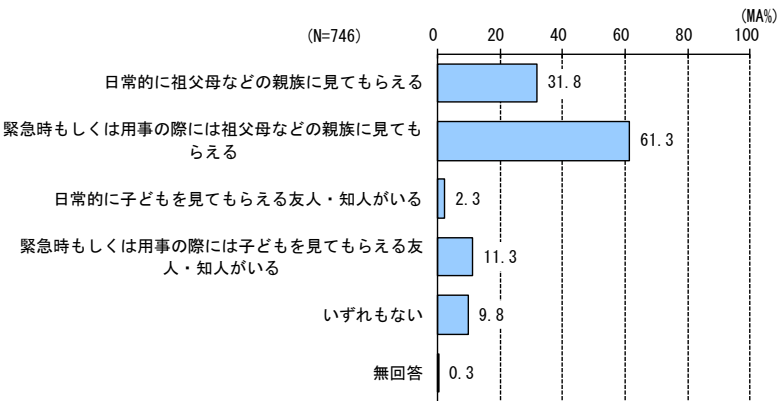


問 8 日頃、あて名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいらっしゃいますか。(あてはまる番号すべてに○)

【全体】

- 日頃、子どもの面倒を見てもらえる親族・知人について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族に見てもらえる」が 61.3%で最も多く、次いで「日常的に祖父母などの親族に見てもらえる」が 31.8%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」が 11.3%となっています。

【日頃、子どもの面倒を見てもらえる親族・知人】

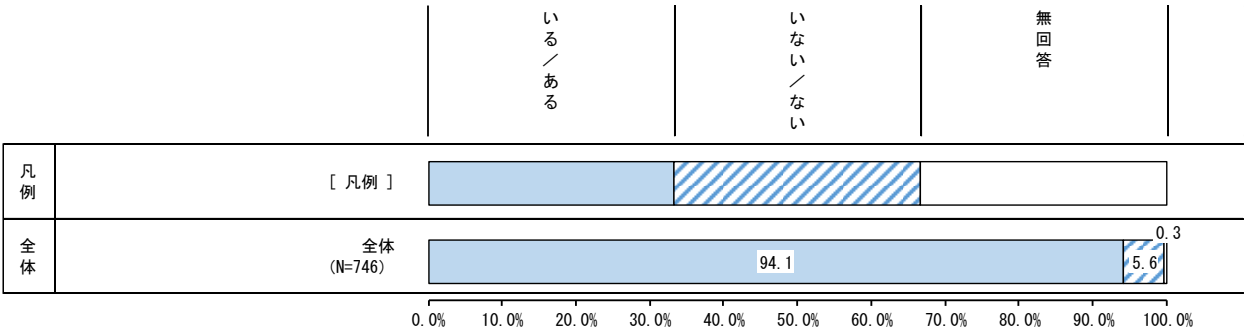


問 9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む。）をする上で、気軽に相談できる先（人・場所など）はありますか。(あてはまる番号 1 つに○)

【全体】

- 子育てでの相談先の有無について、「いる／ある」が 94.1%、「いない／ない」が 5.6%となっています。

【子育てでの相談先の有無】

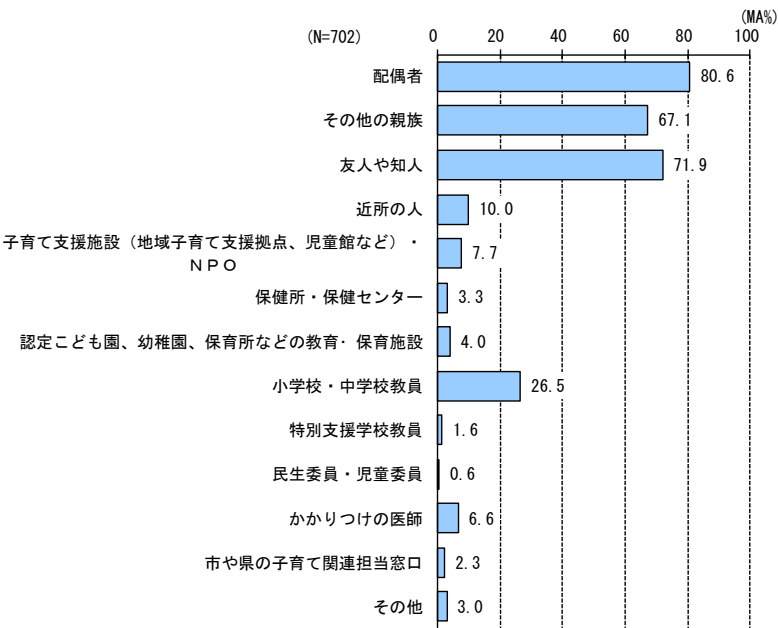


★問9「子育てでの相談先の有無」について、「いる／ある」に○をつけた方のみ
 問9-1 あて名のお子さんの子育て（教育を含む。）に関する相談先をご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

○ 子育てに関する相談先について、「配偶者」が 80.6%で最も多く、次いで「友人や知人」が 71.9%、「その他の親族」が 67.1%となっています。

【子育てに関する相談先】



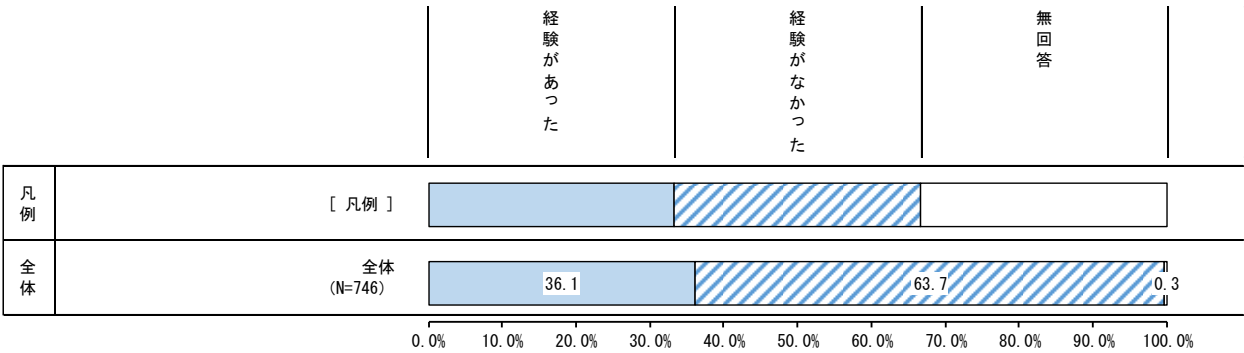
問10 あなたご自身に子どもができる前に、親族・ご近所などの赤ちゃんの世話※1をした経験がありましたか。（あてはまる番号1つに○）

※1 ここで言う「赤ちゃんの世話」とは、おむつかえ、授乳・食事の世話、入浴、泣いている赤ちゃんをあやすことなど

【全体】

○ 乳児の世話をした経験の有無について、「経験があった」が 36.1%、「経験がなかった」が 63.7%となっています。

【乳児の世話をした経験の有無】

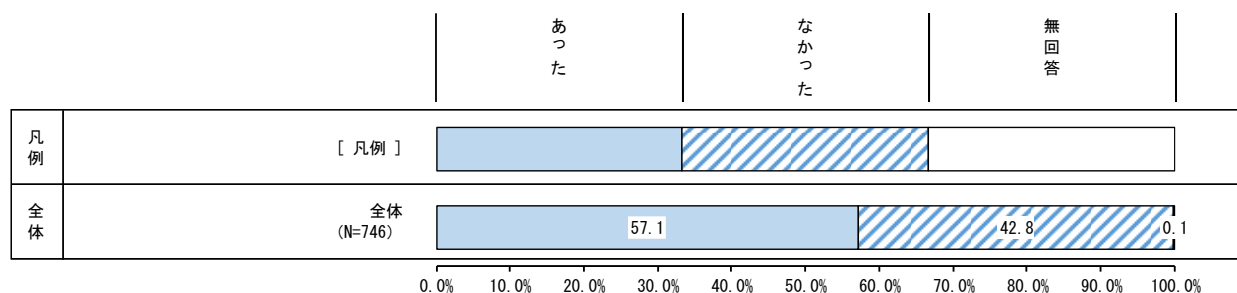


問11 あなたご自身に子どもができる前に、育児に関する知識を得る機会がありましたか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 育児の知識を得る機会の有無について、「あった」が 57.1%、「なかった」が 42.8%となっています。

【育児の知識を得る機会の有無】



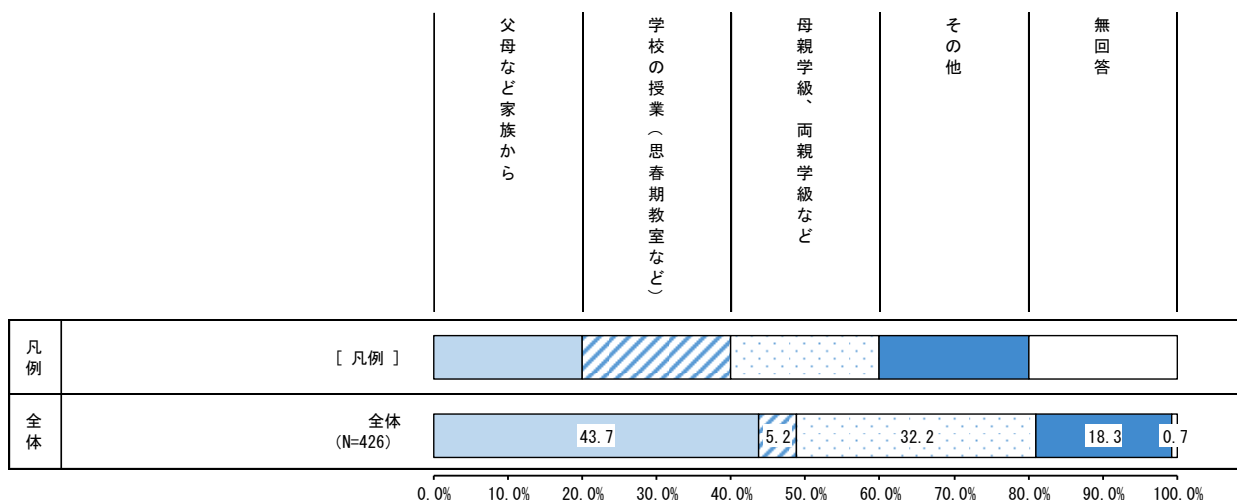
★問11「育児の知識を得る機会の有無」について、「あった」に○をつけた方のみ

問11-1 それはどのような機会でしたか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 育児の知識を得た機会について、「父母など家族から」が 43.7%で最も多く、次いで「母親学級、両親学級など」が 32.2%、「その他」が 18.3%となっています。

【育児の知識を得た機会】



3 あて名のお子さんの保護者の就労状況について

問12 現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む。）をご記入ください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

※「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の就労を指す。

※「パート・アルバイトなど」とは、「フルタイム」以外の就労を指す。

（1）母親

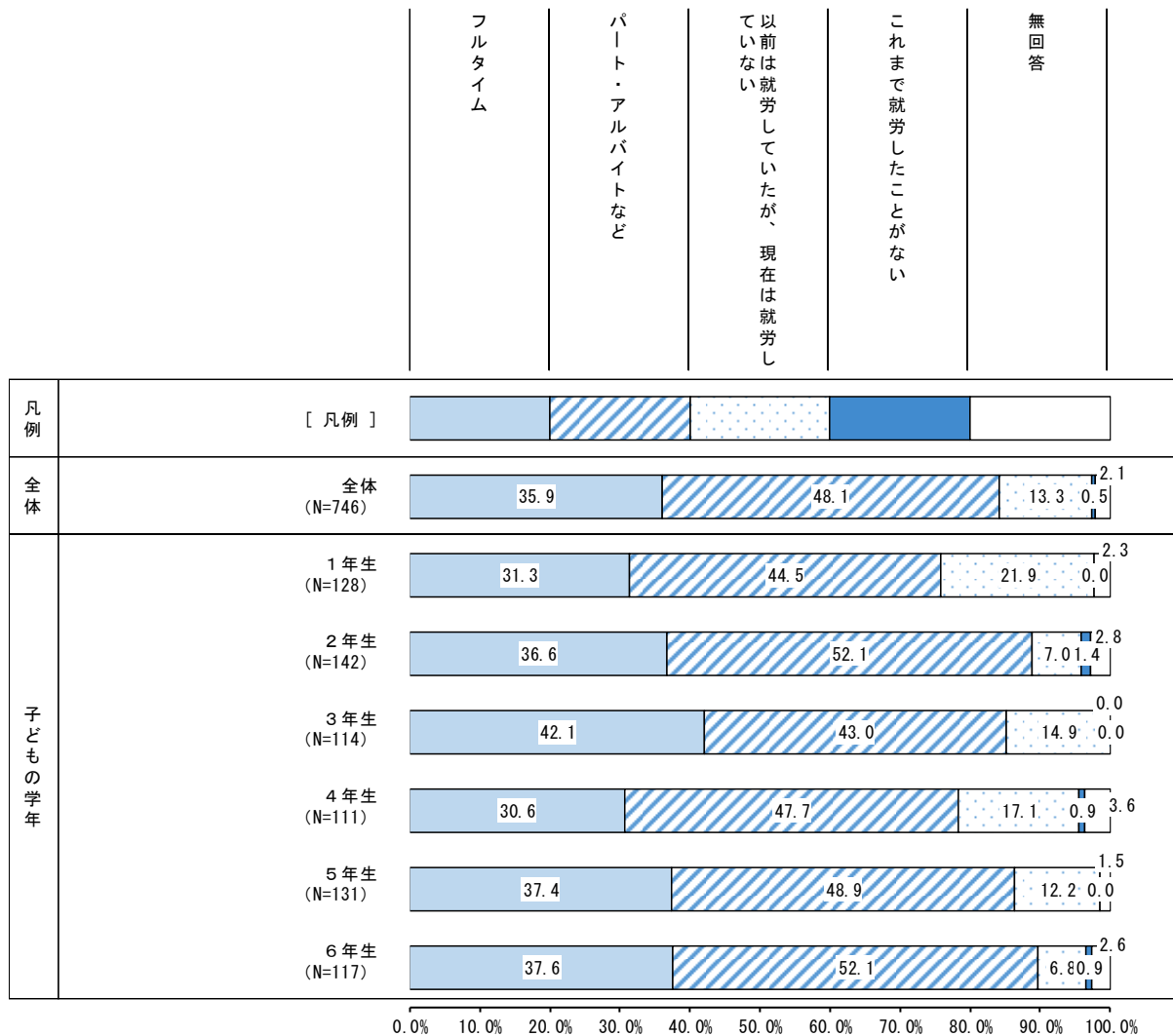
【全体】

- 母親の現在の就労状況について、「パート・アルバイトなど」が48.1%で最も多く、次いで「フルタイム」が35.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が13.3%となっています。

【子どもの年齢】

- すべての子どもの年齢で、「パート・アルバイトなど」が最も多くなっています。

【現在の就労状況（母親）】

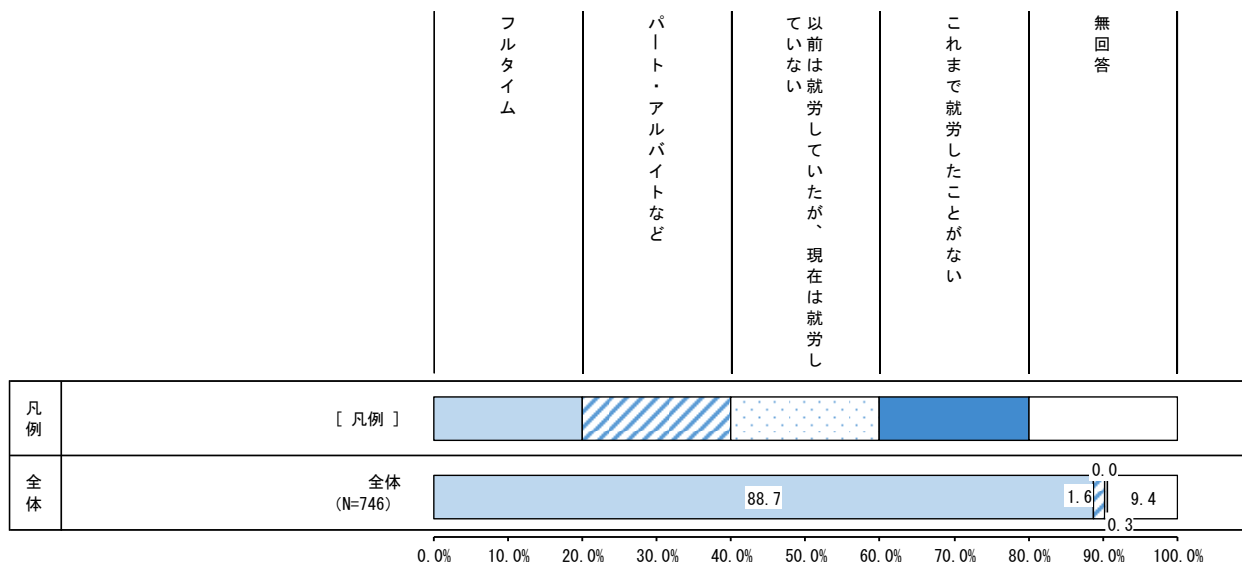


(2) 父親

【全体】

- 父親の現在の就労状況について、「フルタイム」が88.7%で最も多く、次いで「パート・アルバイトなど」が1.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.3%となっています。

【現在の就労状況（父親）】



★問12「現在の就労状況」について、「フルタイム」または「パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

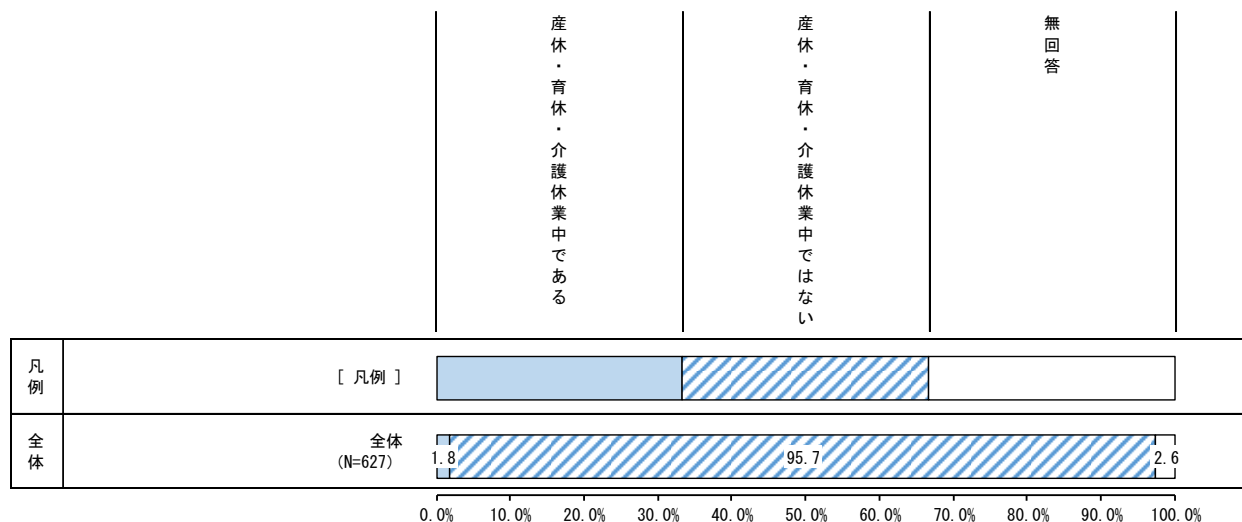
問12-1 就労している方は、現在、産休・育休・介護休業中ですか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

【全体】

- 母親が産休・育休・介護休業中かについて、「産休・育休・介護休業中である」が1.8%、「産休・育休・介護休業中ではない」が95.7%となっています。

【産休・育休・介護休業の状況（母親）】

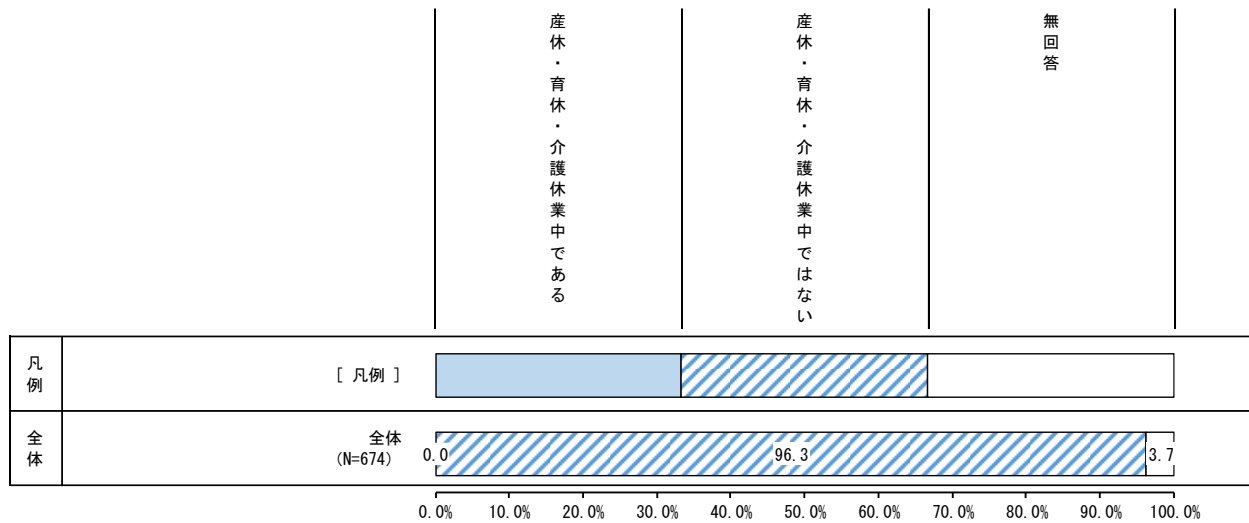


(2) 父親

【全体】

- 父親が産休・育休・介護休業中かについて、「産休・育休・介護休業中ではない」が96.3%となっています。

【産休・育休・介護休業の状況（父親）】



★問12「現在の就労状況」について、「フルタイム」または「パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

問12-2 ①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間（残業時間を含む。）」、③家を出る時間、④帰宅時間をすべてご記入ください。

※1 日数・時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを記入

※2 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況を記入

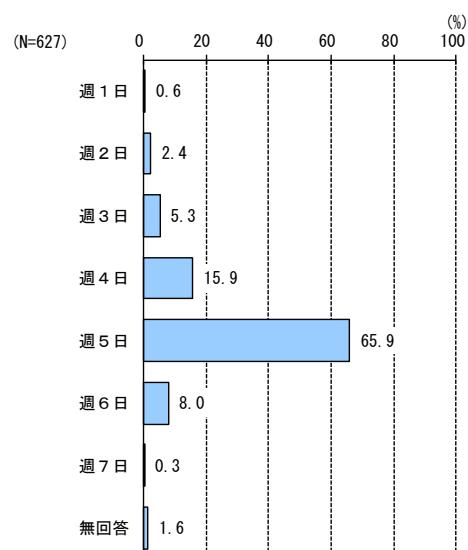
(1) 母親

ア 1週あたり就労日数

【全体】

- 母親の1週あたり就労日数について、「週5日」が65.9%で最も多く、次いで「週4日」が15.9%、「週6日」が8.0%となっています。

【1週あたり就労日数（母親）】

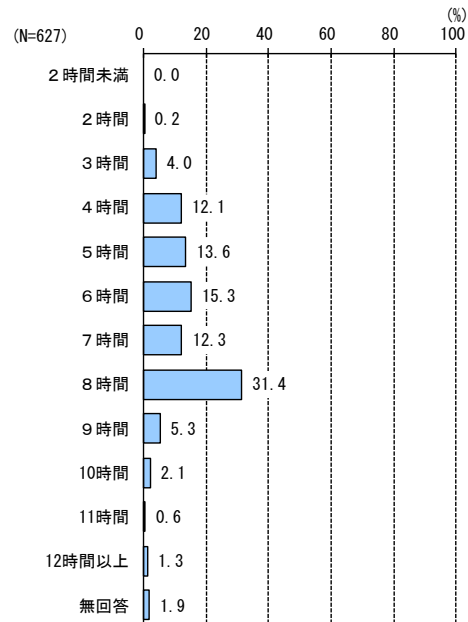


イ 1日あたり就労時間

【全体】

- 母親の1日あたり就労時間について、「8時間」が31.4%で最も多く、次いで「6時間」が15.3%、「5時間」が13.6%となっています。

【1日あたり就労時間（母親）】

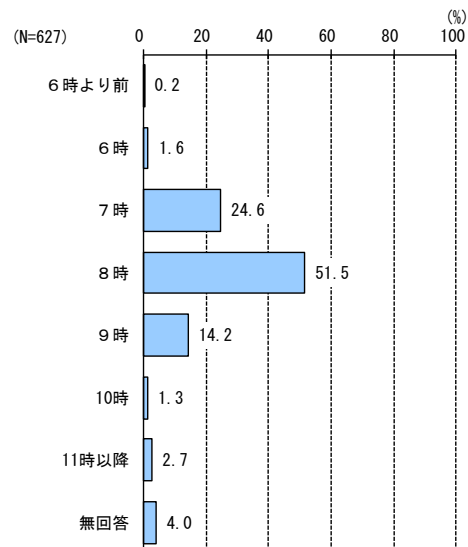


ウ 家を出る時間

【全体】

- 母親の家を出る時間について、「8時」が51.5%で最も多く、次いで「7時」が24.6%、「9時」が14.2%となっています。

【家を出る時間（母親）】

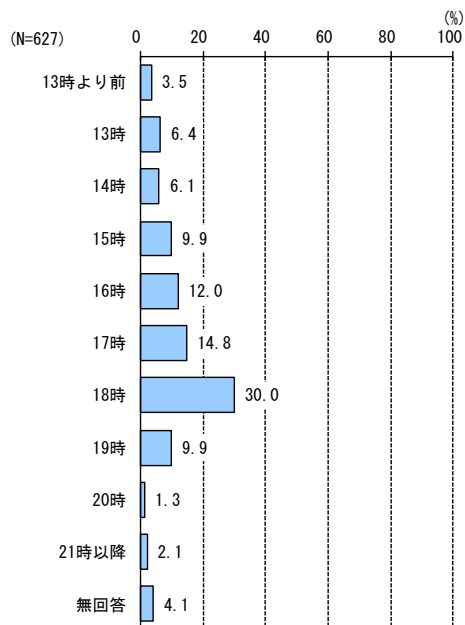


エ 帰宅時間

【全体】

- 母親の帰宅時間について、「18 時」が 30.0%で最も多く、次いで「17 時」が 14.8%、「16 時」が 12.0%となっています。

【帰宅時間（母親）】



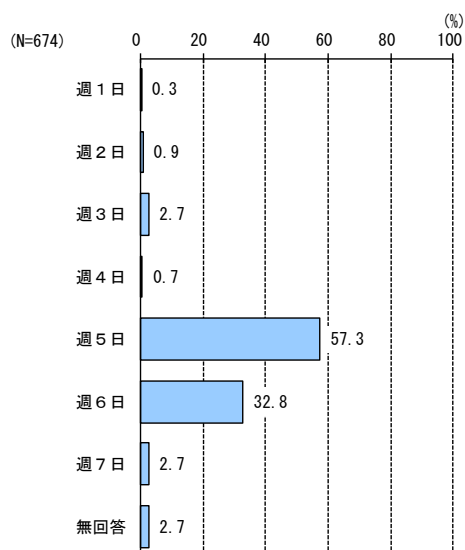
(2) 父親

ア 1週あたり就労日数

【全体】

- 父親の1週あたり就労日数について、「週5日」が 57.3%で最も多く、次いで「週6日」が 32.8%、「週3日」「週7日」が 2.7%となっています。

【1週あたり就労日数（父親）】

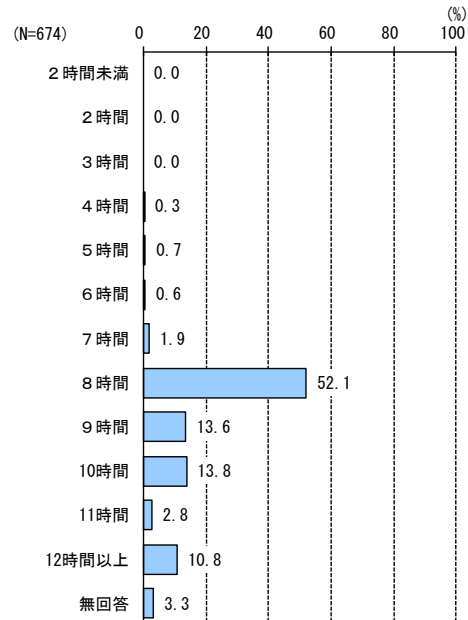


イ 1日あたり就労時間

【全体】

- 父親の1日あたり就労時間について、「8時間」が52.1%で最も多く、次いで「10時間」が13.8%、「9時間」が13.6%となっています。

【1日あたり就労時間（父親）】

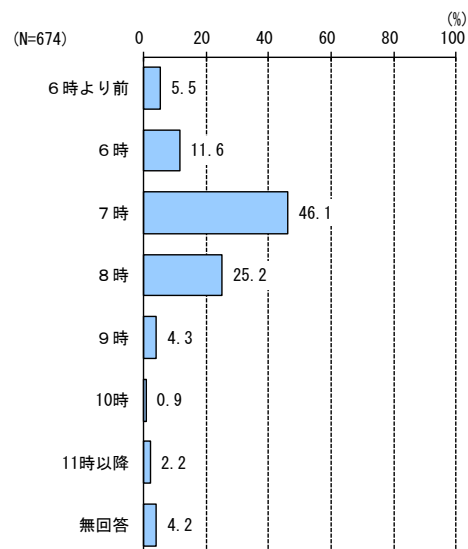


ウ 家を出る時間

【全体】

- 父親の家を出る時間について、「7時」が46.1%で最も多く、次いで「8時」が25.2%、「6時」が11.6%となっています。

【家を出る時間（父親）】

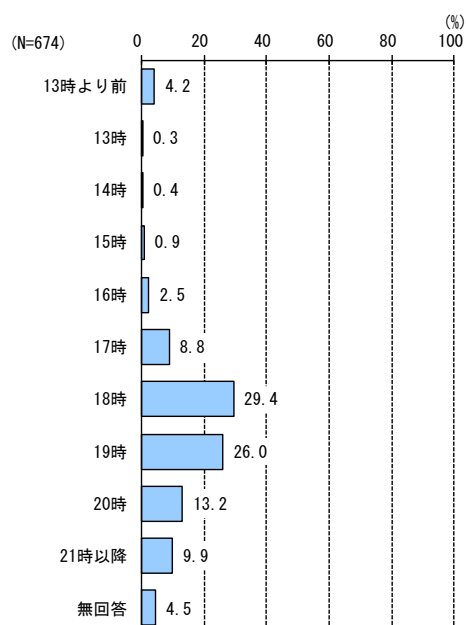


エ 帰宅時間

【全体】

- 父親の帰宅時間について、「18 時」が 29.4%で最も多く、次いで「19 時」が 26.0%、「20 時」が 13.2%となっています。

【帰宅時間（父親）】



★問12「現在の就労状況」について、「パート・アルバイトなど」に○をつけた方のみ

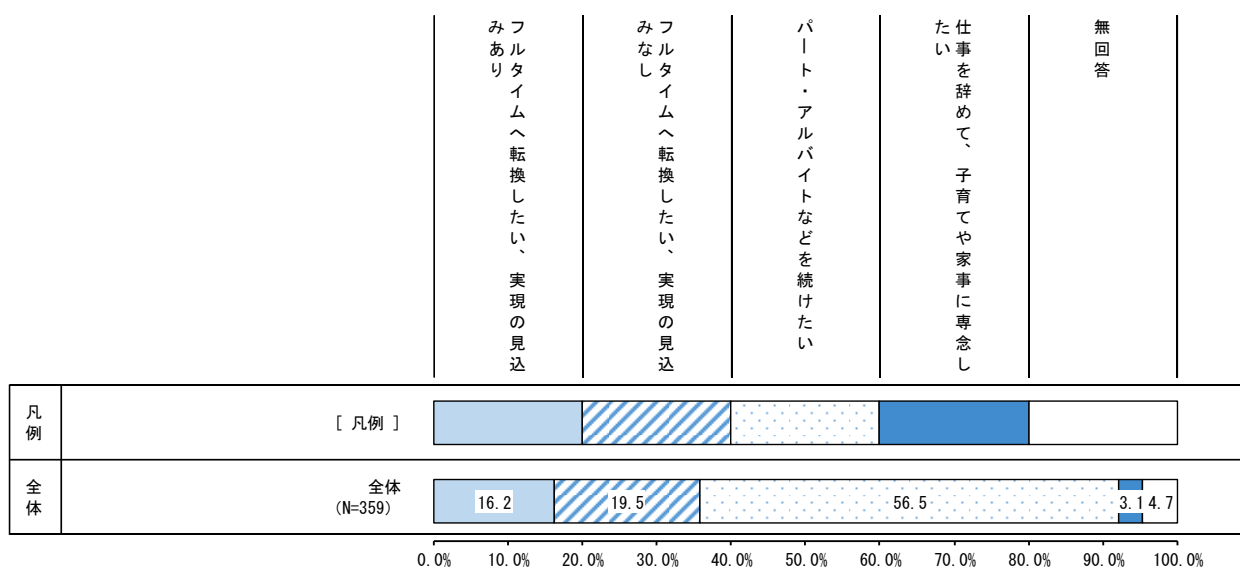
問12-3 パート・アルバイトなどからフルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

【全体】

- 母親のフルタイムへの転換希望について、「パート・アルバイトなどを続けたい」が 56.5%で最も多く、次いで「フルタイムへ転換したい、実現の見込みなし」が 19.5%、「フルタイムへ転換したい、実現の見込みあり」が 16.2%となっています。

【フルタイムへの転換希望（母親）】

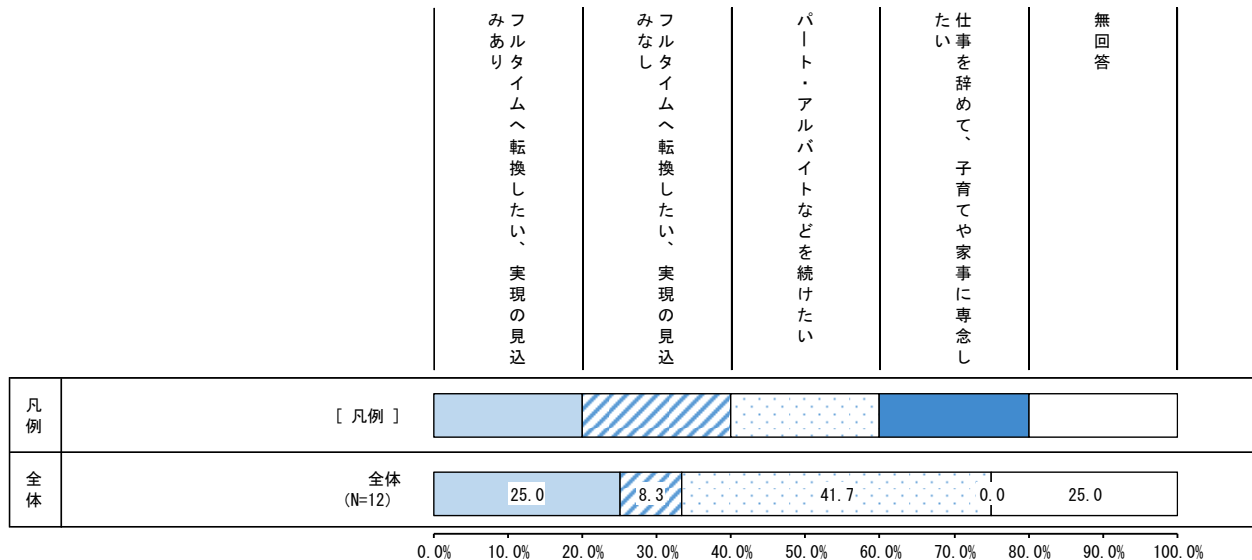


(2) 父親

【全体】

- 父親のフルタイムへの転換希望について、「パート・アルバイトなどを続けたい」が41.7%で最も多く、次いで「フルタイムへ転換したい、実現の見込みあり」が25.0%、「フルタイムへ転換したい、実現の見込みなし」が8.3%となっています。

【フルタイムへの転換希望（父親）】



★問12「現在の就労状況」について、「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方のみ

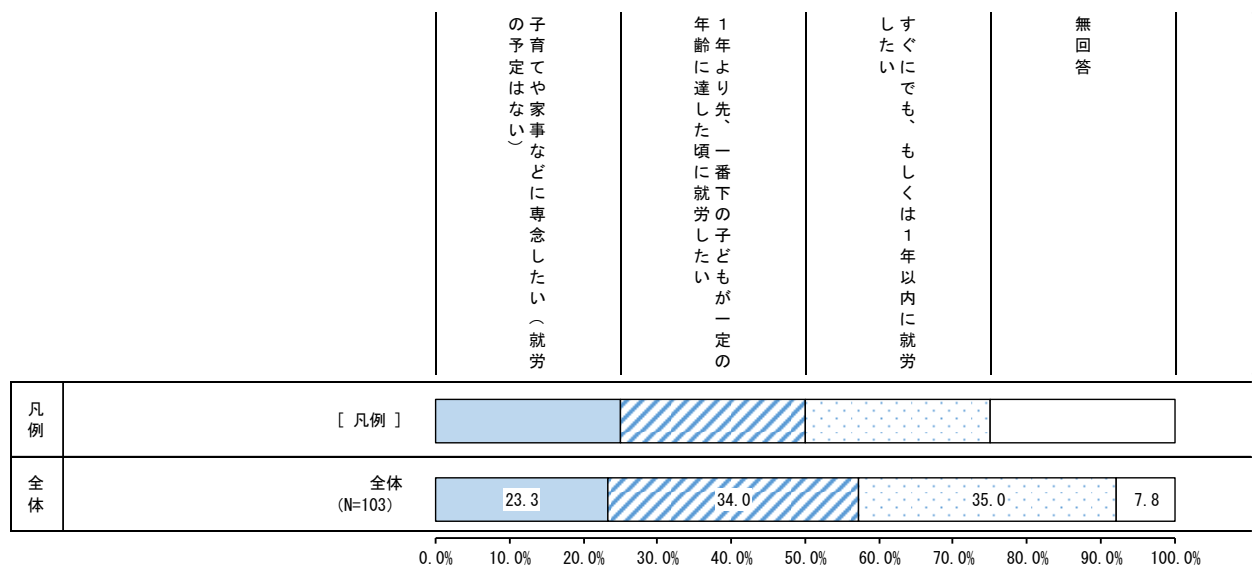
問13 就労したいという希望はありますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

【全体】

- 母親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が35.0%で最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」が34.0%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が23.3%となっています。

【就労希望（母親）】

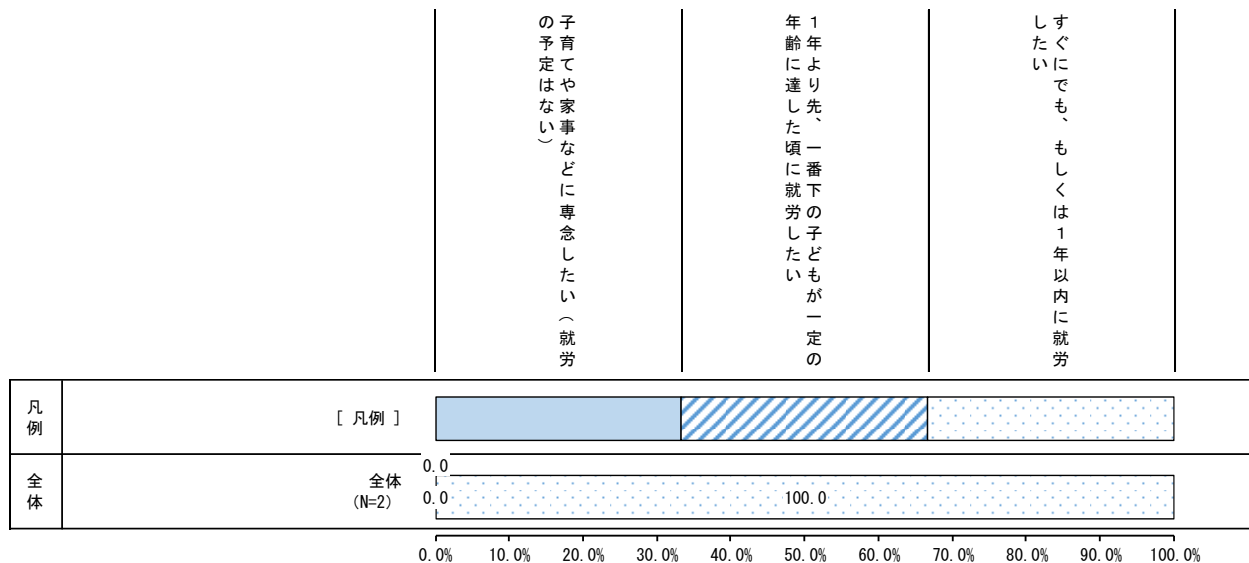


(2) 父親

【全体】

- 父親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 100.0%で最も多くなっています。

【就労希望（父親）】



★問13「就労希望」について、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」に○をつけた方のみ

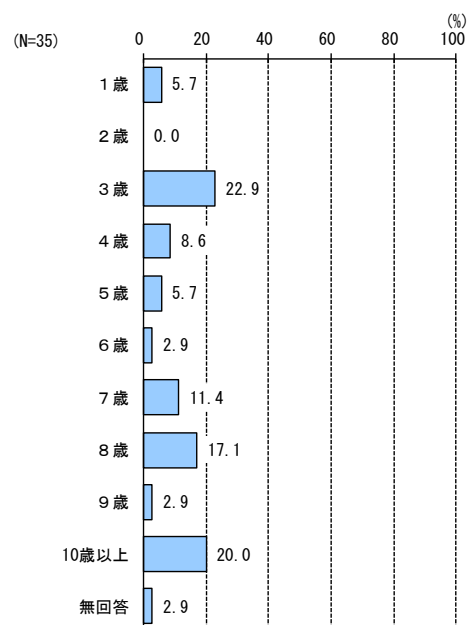
問13-1 一番下の子どもが何歳になった頃に就労したいですか。

(1) 母親

【全体】

- 母親が就労したいと考える子どもの年齢について、「3歳」が 22.9%で最も多く、次いで「10歳以上」が 20.0%、「8歳」が 17.1%となっています。

【就労したいと考える子どもの年齢（母親）】



(2) 父親
【該当者なし】

★問13「就労希望」について、「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢に達した頃に就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方のみ

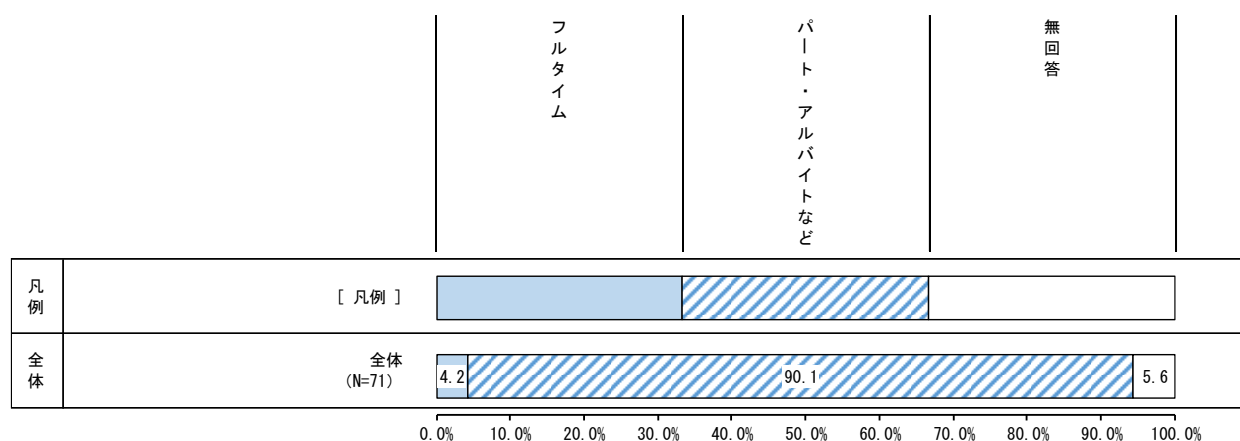
問13-2 希望する就労形態はどれですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

(1) 母親

【全体】

- 母親が希望する就労形態について、「フルタイム」が4.2%、「パート・アルバイトなど」が90.1%となっています。

【希望する就労形態（母親）】

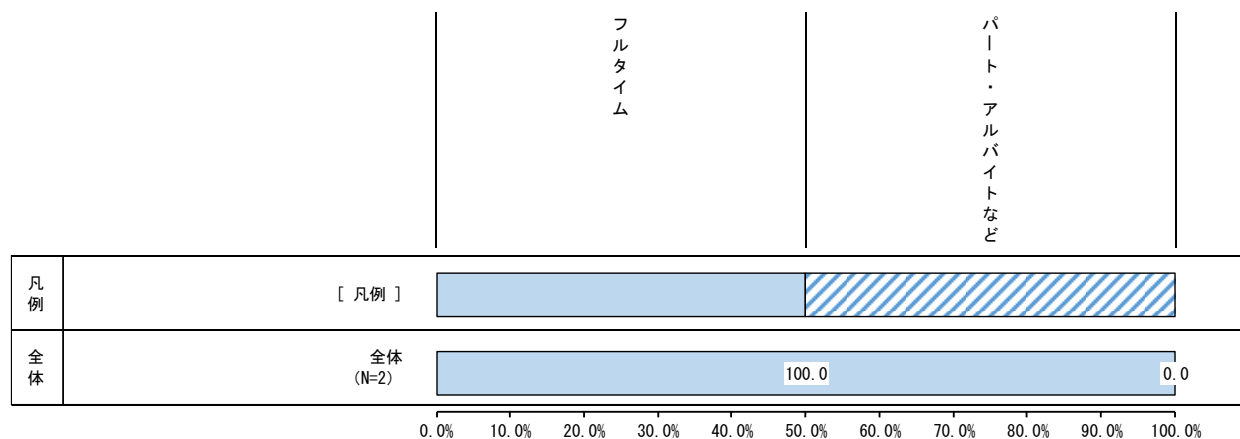


(2) 父親

【全体】

- 父親が希望する就労形態について、「フルタイム」が100.0%となっています。

【希望する就労形態（父親）】



問13-3 希望する就労形態について、① 1 週あたりの「就労日数」、② 1 日あたりの「就労時間」をすべてご記入ください。

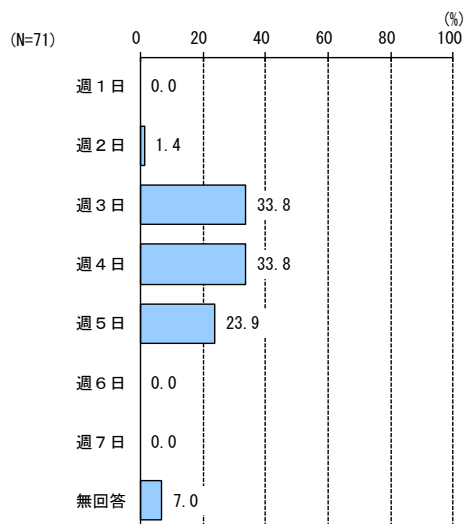
(1) 母親

ア 1 週あたり就労日数

【全体】

- 母親が希望する 1 週あたり就労日数について、「週 3 日」「週 4 日」が 33.8%で最も多く、次いで「週 5 日」が 23.9%、「週 2 日」が 1.4%となっています。

【希望する 1 週あたり就労日数（母親）】

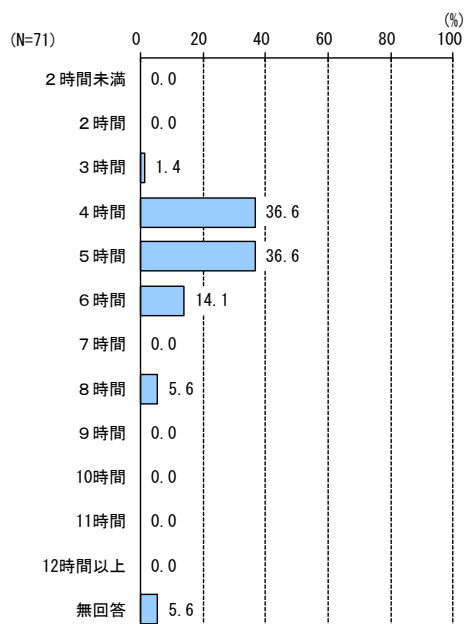


イ 1 日あたり就労時間

【全体】

- 母親が希望する 1 日あたり就労時間について、「4 時間」「5 時間」が 36.6%で最も多く、次いで「6 時間」が 14.1%、「8 時間」が 5.6%となっています。

【希望する 1 日あたり就労時間（母親）】



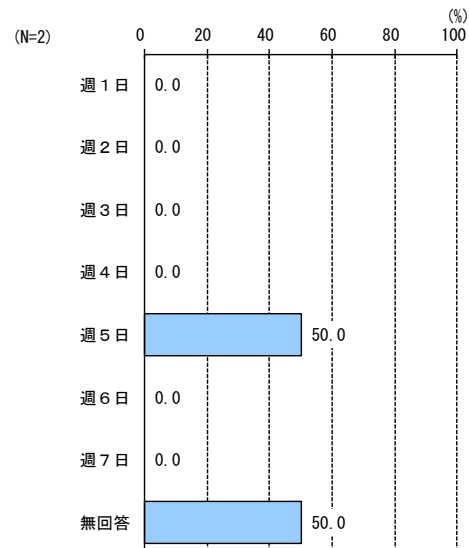
(2) 父親

ア 1週あたり就労日数

【全体】

- 父親が希望する1週あたり就労日数について、「週5日」が50.0%で最も多くなっています。

【希望する1週あたり就労日数（父親）】

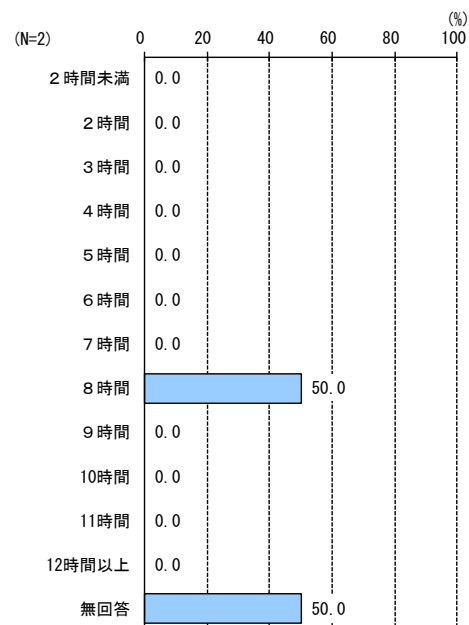


イ 1日あたり就労時間

【全体】

- 父親が希望する1日あたり就労時間について、「8時間」が50.0%で最も多くなっています。

【希望する1日あたり就労時間（父親）】



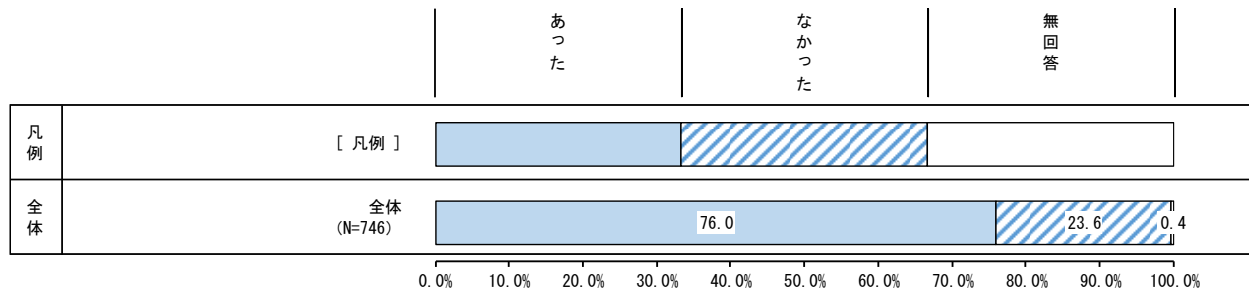
4 病気の際の対応について

問14 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、通学できなかったことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

○ 傷病で通学できなかった経験の有無について、「あった」が76.0%、「なかった」が23.6%となっています。

【傷病で通学できなかった経験の有無】



★問14「傷病で通学できなかった経験の有無」について、「あった」に○をつけた方のみ

問14-1 病気やケガで、通学できなかった時に、①実際に取った対処法と、②対処した際の日数（年間）をすべてご記入ください※¹。

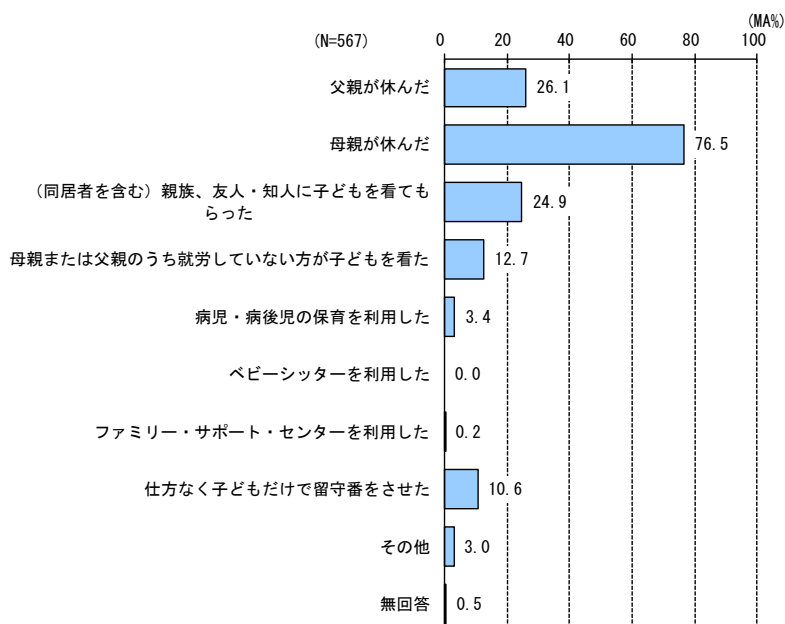
※¹ 半日程度の対応の場合も、1日と数えて記入

ア 実際に取った対処法

【全体】

○ この1年間の対処法について、「母親が休んだ」が76.5%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が26.1%、「(同居者を含む) 親族、友人・知人に子どもを看てもらった」が24.9%となっています。

【実際に取った対処法】

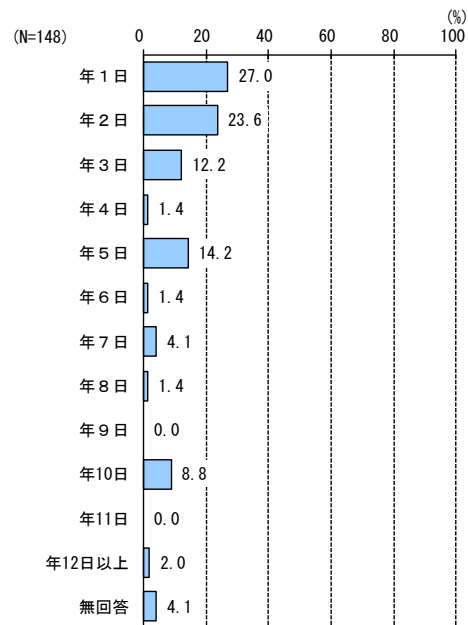


イ 父親が休んだ日数（年間）

【全体】

- 父親が休んだ日数（年間）について、「年1日」が27.0%で最も多く、次いで「年2日」が23.6%、「年5日」が14.2%となっています。

【父親が休んだ日数（年間）】

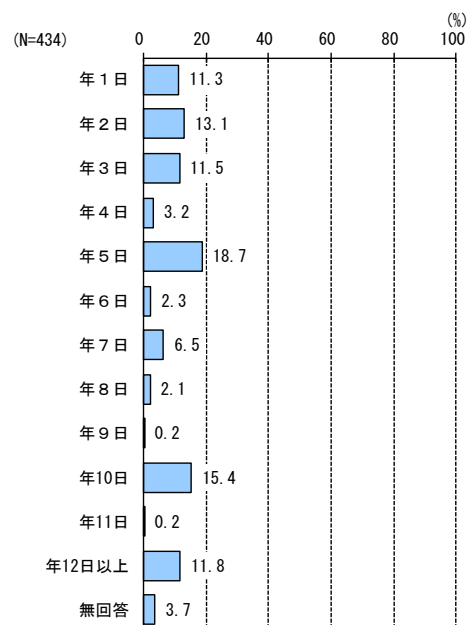


イ 母親が休んだ日数（年間）

【全体】

- 母親が休んだ日数（年間）について、「年5日」が18.7%で最も多く、次いで「年10日」が15.4%、「年2日」が13.1%となっています。

【母親が休んだ日数（年間）】

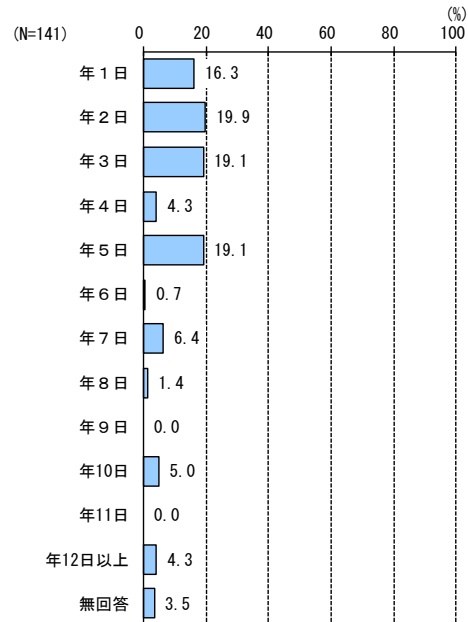


イ (同居者を含む) 親族、友人・知人に子どもを看てもらった日数 (年間)

【全体】

- (同居者を含む) 親族、友人・知人に看てもらった日数 (年間) について、「年2日」が19.9%で最も多く、次いで「年3日」「年5日」が19.1%、「年1日」が16.3%となっています。

【(同居者を含む) 親族、友人・知人に子どもを看てもらった日数 (年間)】

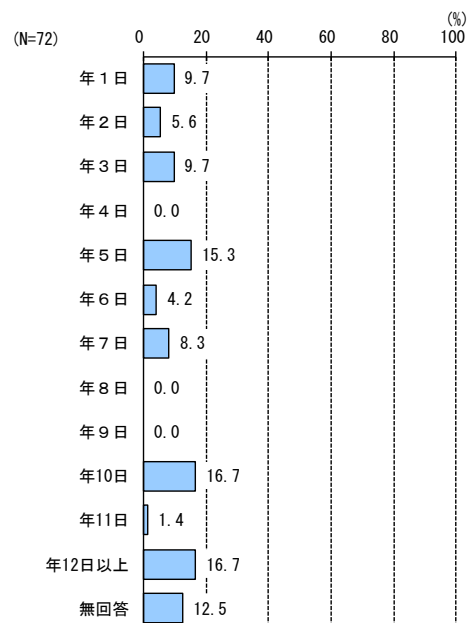


イ 母親または父親のうち就労していない方が子どもを看た日数 (年間)

【全体】

- 就労していない方が看た日数 (年間) について、「年10日」「年12日以上」が16.7%で最も多く、次いで「年5日」が15.3%、「年1日」「年3日」が9.7%となっています。

【就労していない方が看た日数 (年間)】

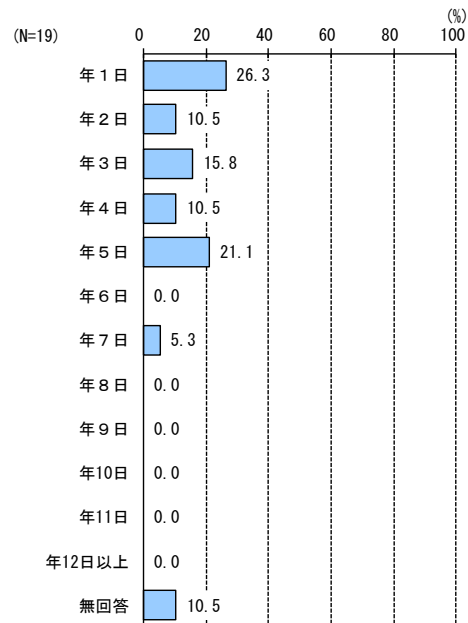


イ 病児・病後児の保育を利用した日数（年間）

【全体】

- 病児・病後児保育の利用日数（年間）について、「年1日」が26.3%で最も多く、次いで「年5日」が21.1%、「年3日」が15.8%となっています。

【病児・病後児保育の利用日数（年間）】



イ ベビーシッターを利用した日数（年間）

【該当者なし】

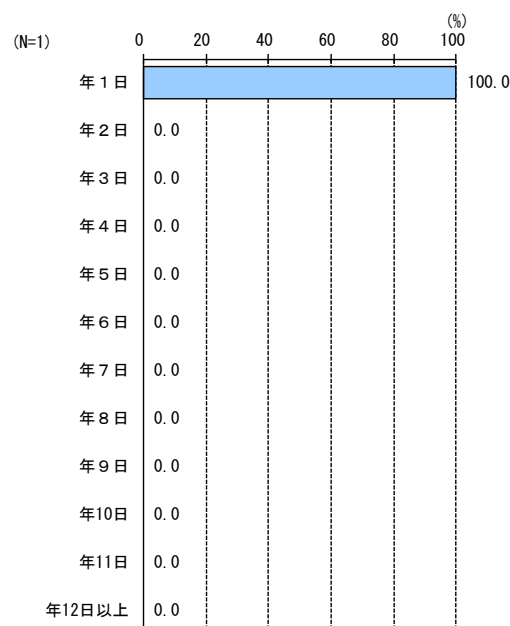
イ ファミリー・サポート・センター※²を利用した日数（年間）

※2 「ファミリー・サポート・センター」は「病児・緊急対応強化事業」による利用も含む。

【全体】

- ファミリー・サポート・センターの利用日数（年間）について、「年1日」が100.0%で最も多くなっています。

【ファミリー・サポート・センターの利用日数（年間）】

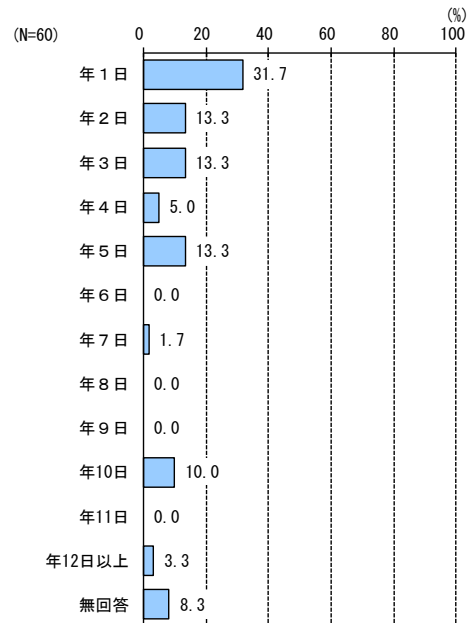


イ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数（年間）

【全体】

- 子どもだけでの留守番日数（年間）について、「年1日」が31.7%で最も多く、次いで「年2日」「年3日」「年5日」が13.3%、「年10日」が10.0%となっています。

【子どもだけでの留守番日数（年間）】

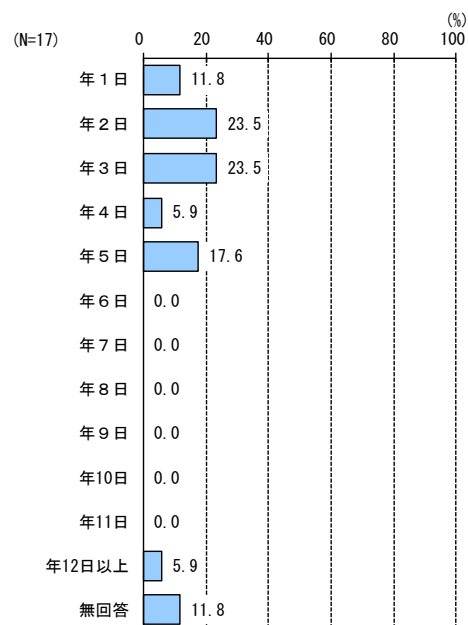


イ その他の日数（年間）

【全体】

- その他の日数（年間）について、「年2日」「年3日」が23.5%で最も多く、次いで「年5日」が17.6%、「年1日」が11.8%となっています。

【その他の日数（年間）】



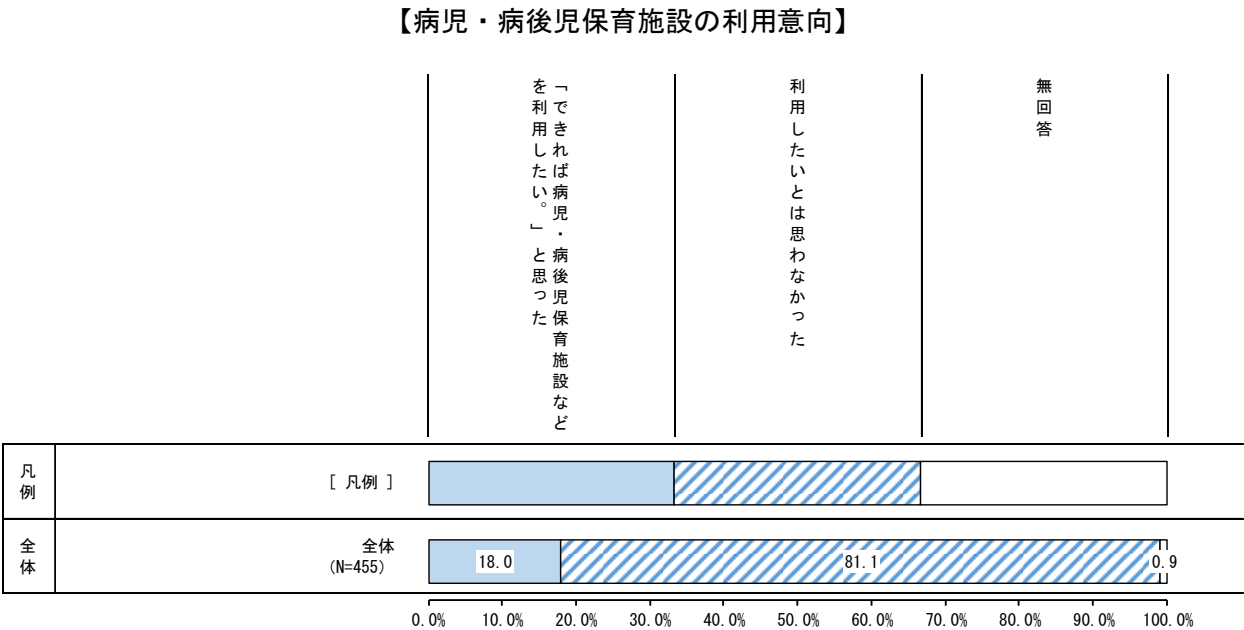
★問14-1「病気やケガで、通学できなかった時」について、「母親が休んだ」または「父親が休んだ」に○をつけた方のみ

問15 母親または父親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい。」と思いましたか※3。（あてはまる番号1つに○）

※3 事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります、また、利用前にかかりつけ医の受診が必要となる。

【全体】

○ 母親または父親が休んだ際の病児・病後児保育施設の利用意向について、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい。」と思った」が 18.0%、「利用したいとは思わなかった」が 81.1%となっています。



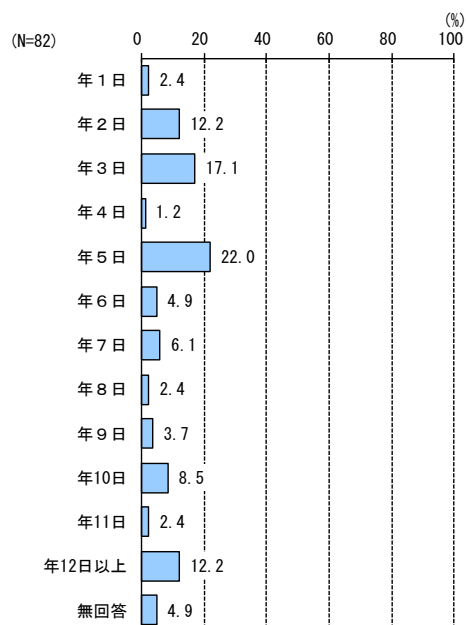
★問15「母親または父親が休んだ際の病児・病後児保育施設の利用意向」について、
「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい。」と思った」に○をつけた
方のみ

問15-1 病児・病後児のための保育施設などを何日間利用したいと思いましたか。

【全体】

- 病児・病後児の保育施設を利用したい日数について、「年5日」が22.0%で最も多く、次いで「年3日」が17.1%、「年2日」「年12日以上」が12.2%となっています。

【希望利用日数】



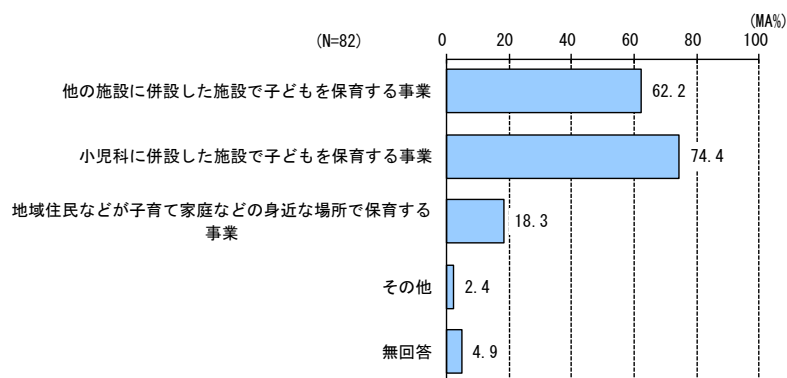
★問15「母親または父親が休んだ際の病児・病後児保育施設の利用意向」について、
「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい。」と思った」に○をつけた
方のみ

問15-2 あて名のお子さんが病気やケガで、通常の教育・保育事業を利用できない時
に、病児・病後児のための保育施設などへ預ける場合、どの事業形態が望まし
いと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

- 病児・病後児の保育施設に預ける際の望ましい事業形態について、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 74.4%で最も多く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 62.2%、「地域住民などが子育て家庭などの身近な場所で保育する事業」が 18.3%となっています。

【望ましい事業形態】



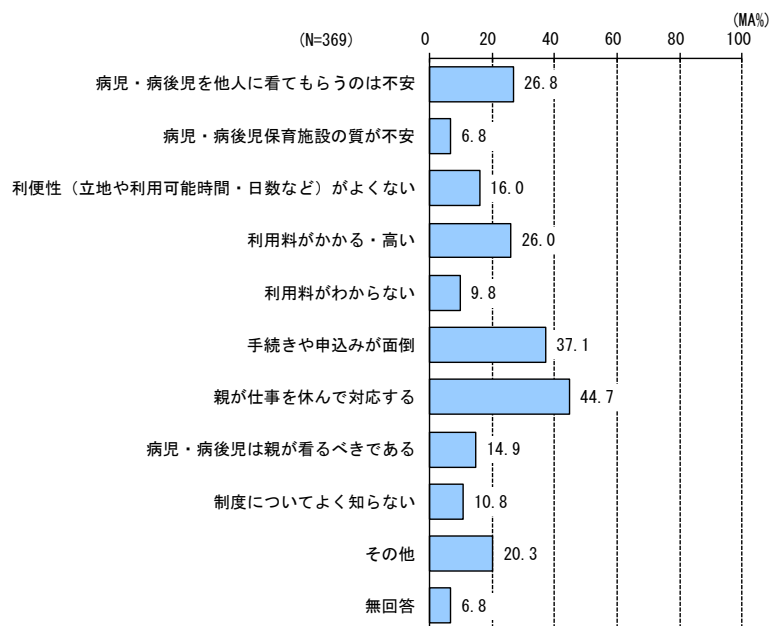
★問15「母親または父親が休んだ際の病児・病後児保育施設の利用意向」について、「利用したいとは思わなかった」に○をつけた方のみ

問15-3 病児・病後児のための保育施設などを利用したいとは思わなかった理由をご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

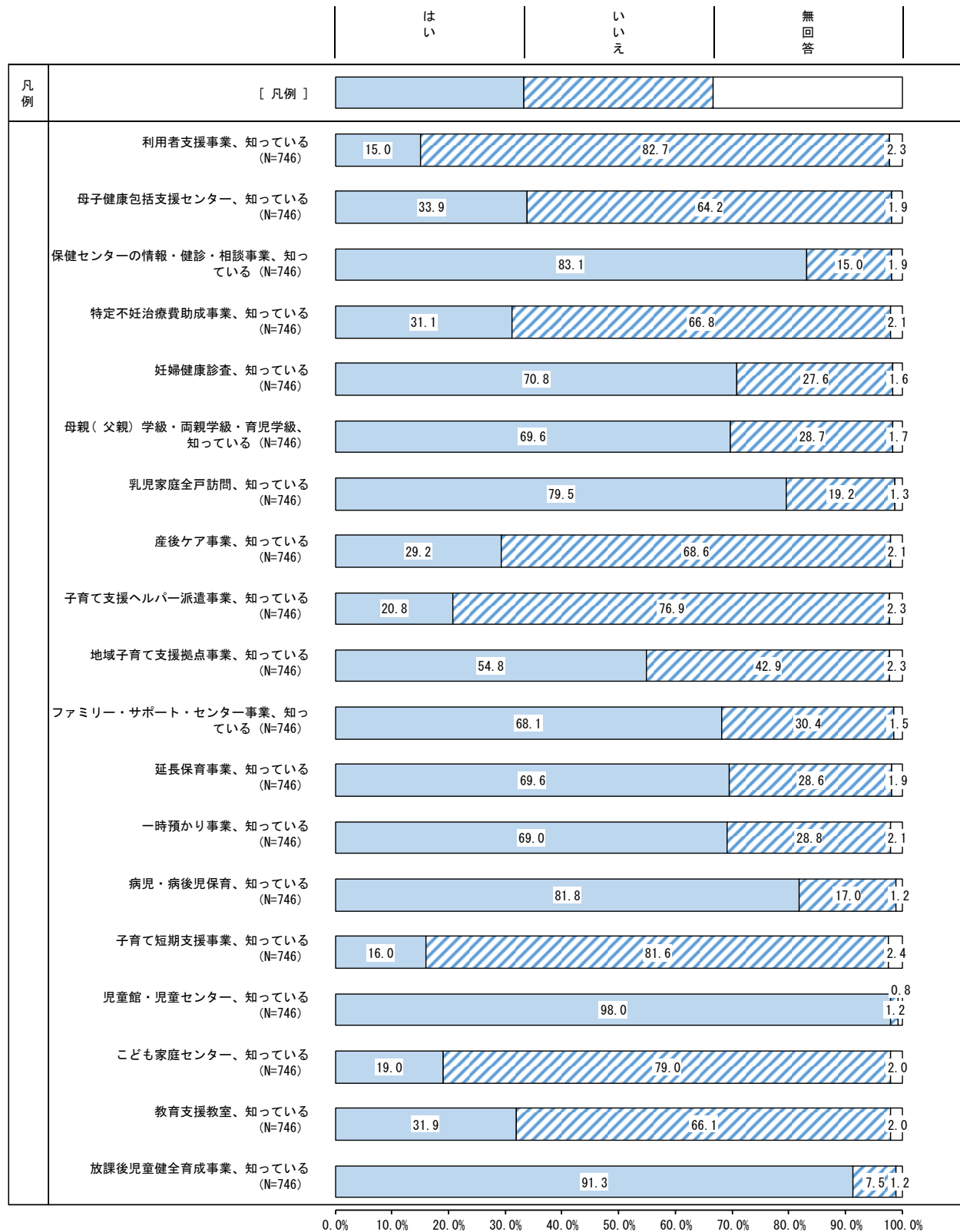
○ 病児・病後児の保育施設を利用したいとは思わなかった理由について、「親が仕事を休んで対応する」が 44.7%で最も多く、次いで「手続きや申込みが面倒」が 37.1%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 26.8%となっています。

【利用したいとは思わなかった理由】



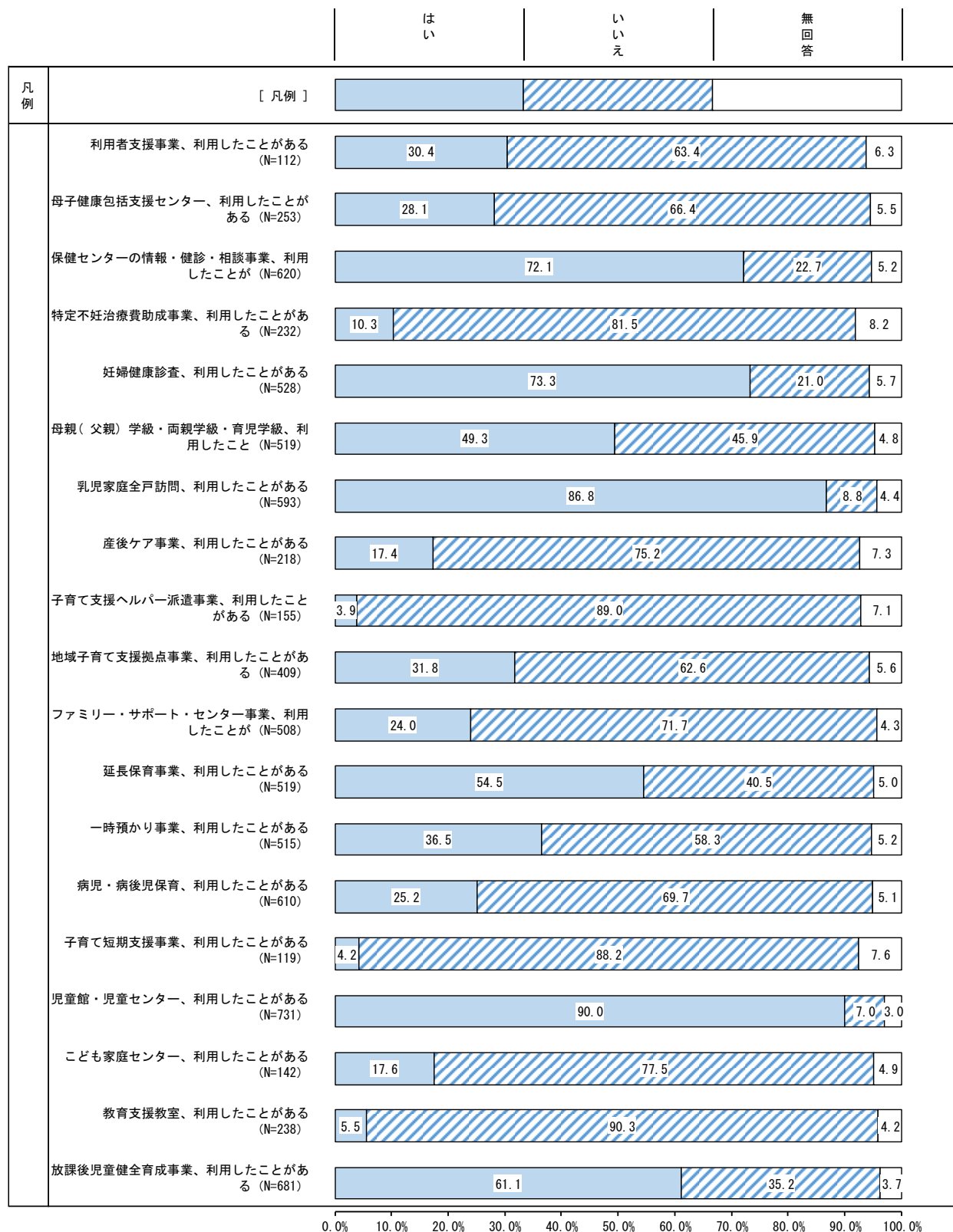
問16 以下の事業について、「A. 知っている」事業はありますか。1から19の事業について、ご記入ください。（それぞれ、あてはまるもの1つに○）

【「知っている」事業】



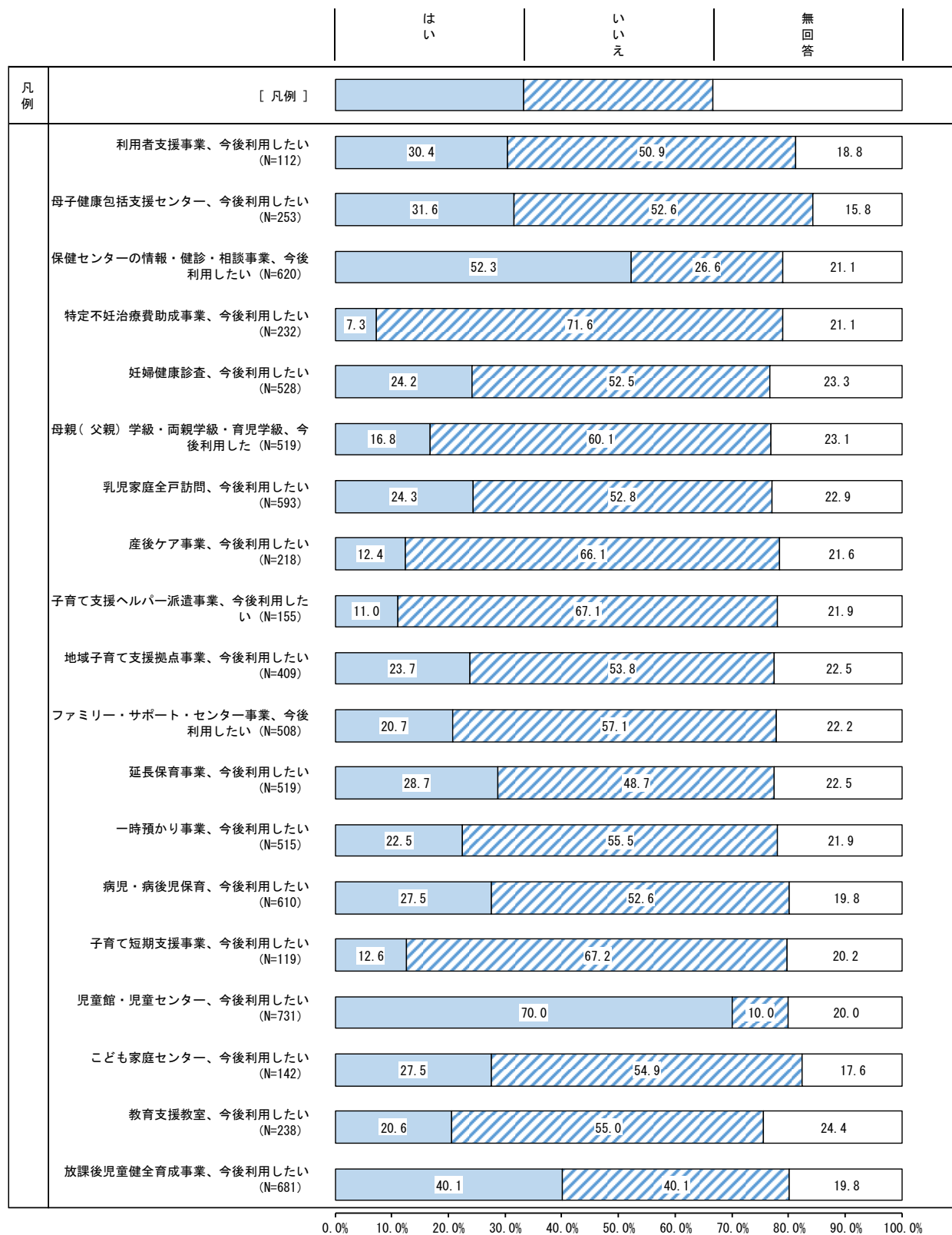
(1) (「知っている」人のみ)「B. 利用したことがある」ものすべてご記入ください。
(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

【「利用したことがある」事業】



(2) (「知っている」人のみ)「C. 今後利用したい」ものすべてご記入ください。(それぞれ、あてはまるもの1つに○)

【「今後利用したい」事業】



5 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問17 あて名のお子さんについて、この1年間で、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、①不定期に利用している教育・保育事業と、②利用している日数（年間）をすべてご記入ください※¹。

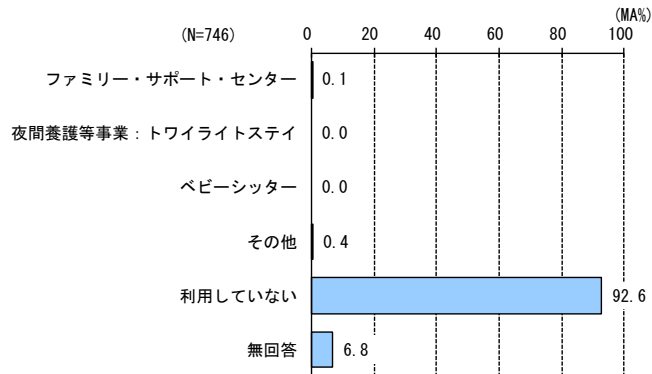
※¹ 半日程度の対応の場合も、1日と数えて記入

ア 不定期に利用している教育・保育事業

【全体】

- 不定期に利用している教育・保育事業について、「利用していない」が92.6%で最も多く、次いで「その他」が0.4%、「ファミリー・サポート・センター」が0.1%となっています。

【不定期に利用している教育・保育事業】

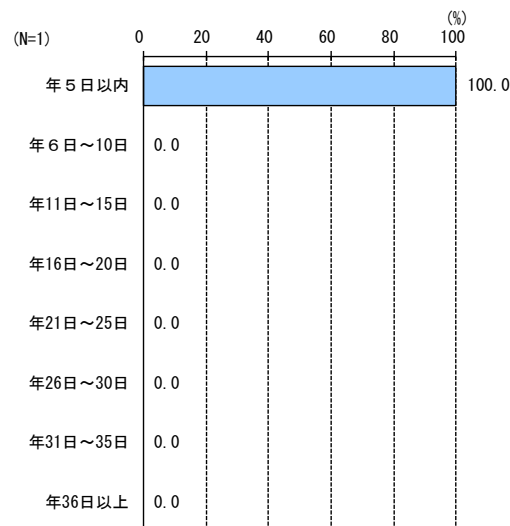


イ 利用している日数（年間）「ファミリー・サポート・センター」※²

【全体】

- ファミリー・サポート・センターの日数（年間）について、「年5日以内」が100.0%で最も多くなっています。

【ファミリー・サポート・センターの日数（年間）】



※² 地域住民が子どもを預かる事業

イ 利用している日数（年間）「夜間養護等事業：トワイライトステイ」※4

【該当者なし】

※4 児童養護施設などで休日・夜間、子どもを保護する事業

イ 利用している日数（年間）「ベビーシッター」

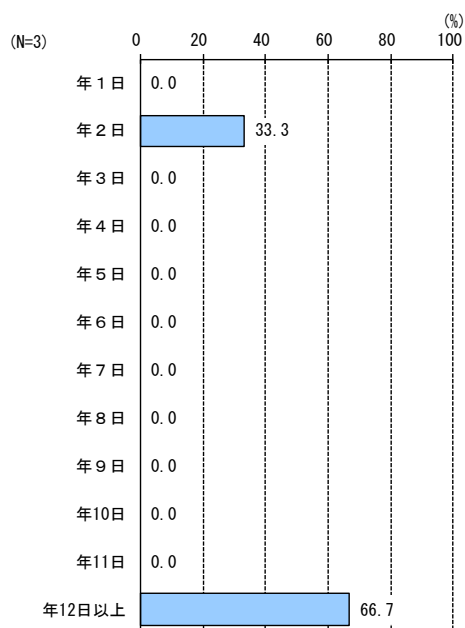
【該当者なし】

イ 利用している日数（年間）「その他」

【全体】

○ その他の日数（年間）について、「年 12 日以上」が 66.7%で最も多く、次いで「年 2 日」が 33.3%となっています。

【その他の日数（年間）】



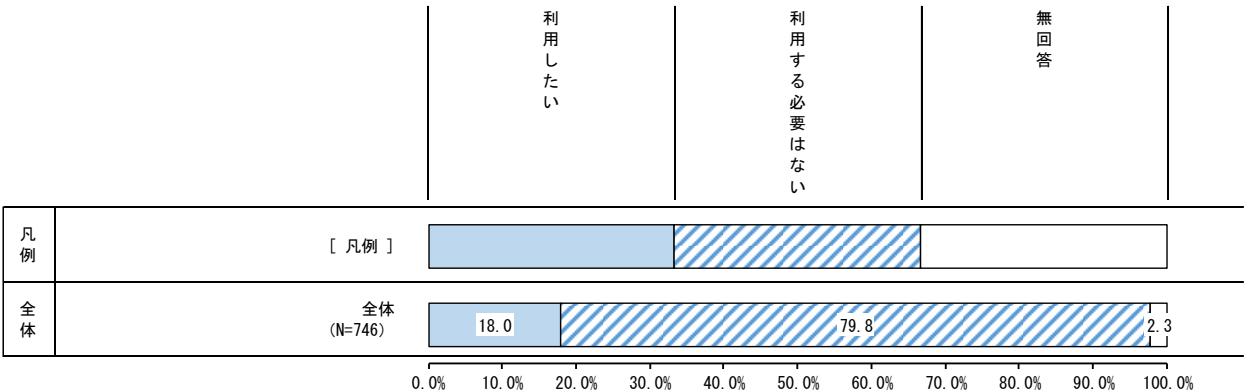
問18 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、一時的に教育・保育事業を利用したいと思いますか※4。（あてはまる番号1つに○）

※4 これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合がある。

【全体】

- 一時的な教育・保育事業の利用意向について、「利用したい」が18.0%、「利用する必要はない」が79.8%となっています。

【一時的な教育・保育事業の利用意向】



★問18 「一時的な教育・保育事業の利用意向」について、「利用したい」に○をつけた方のみ

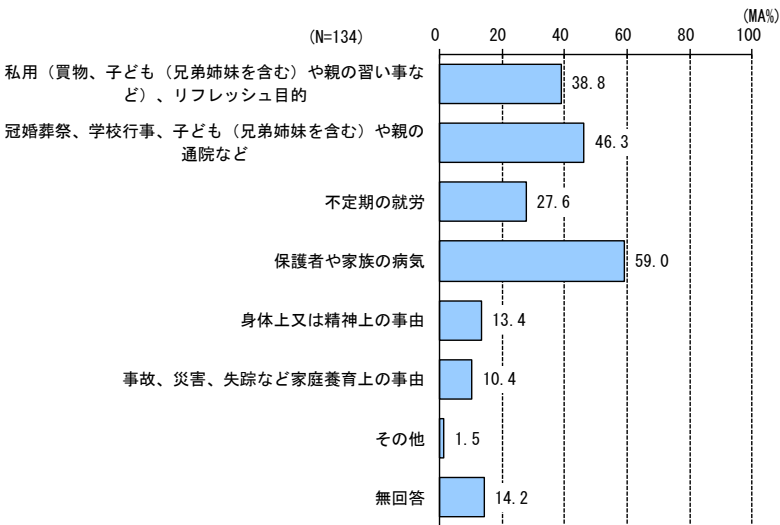
問18-1 ①一時的に教育・保育事業を利用する目的と、②目的別に利用したい日数（年間）をすべてご記入ください。

ア 一時的に教育・保育事業を利用する目的

【全体】

- 一時的に教育・保育事業を利用する目的について、「保護者や家族の病気」が59.0%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が46.3%、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」が38.8%となっています。

【一時的に教育・保育事業を利用する目的】

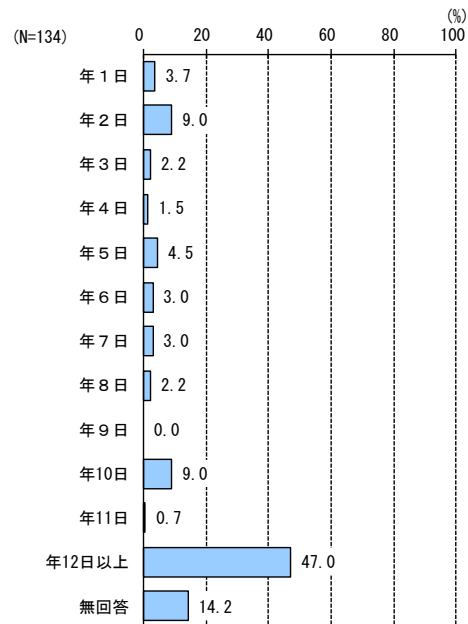


イ 一時的に教育・保育事業を利用する合計日数

【全体】

- 一時的に教育・保育事業を利用する合計日数について、「年 12 日以上」が 47.0%で最も多く、次いで「年 2 日」「年 10 日」が 9.0%、「年 5 日」が 4.5%となっています。

【一時的に教育・保育事業を利用する合計日数】

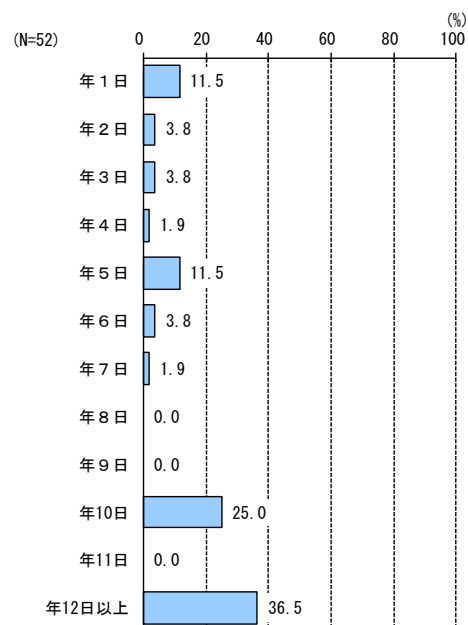


イ 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的で利用したい日数（年間）

【全体】

- 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的の日数（年間）について、「年 12 日以上」が 36.5%で最も多く、次いで「年 10 日」が 25.0%、「年 1 日」「年 5 日」が 11.5%となっています。

【私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的の日数（年間）】

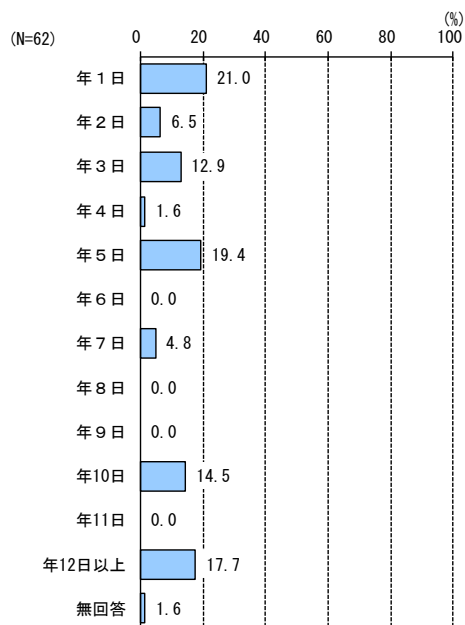


イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などで利用したい日数（年間）

【全体】

- 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などの日数（年間）について、「年1日」が21.0%で最も多く、次いで「年5日」が19.4%、「年12日以上」が17.7%となっています。

【冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院などの日数（年間）】

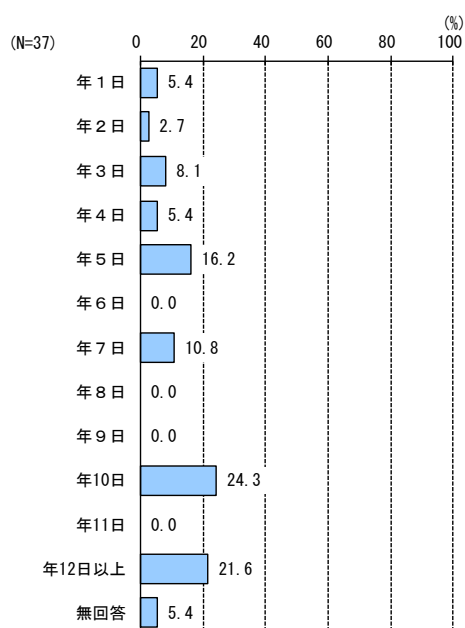


イ 不定期の就労で利用したい日数（年間）

【全体】

- 不定期の就労の日数（年間）について、「年10日」が24.3%で最も多く、次いで「年12日以上」が21.6%、「年5日」が16.2%となっています。

【不定期の就労の日数（年間）】

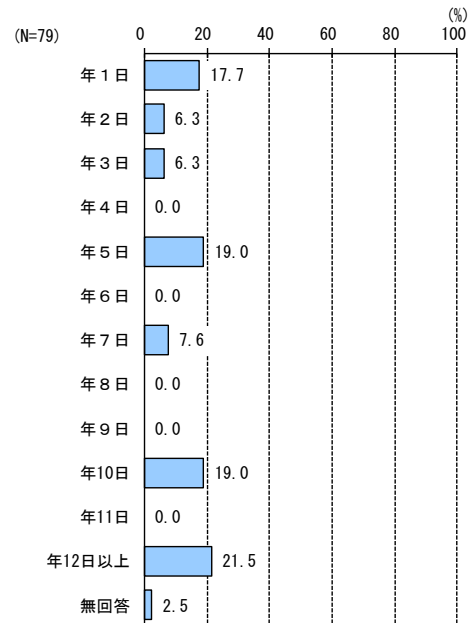


イ 保護者や家族の病気で利用したい日数（年間）

【全体】

- 保護者や家族の病気の日数（年間）について、「年 12 日以上」が 21.5%で最も多く、次いで「年 5 日」「年 10 日」が 19.0%、「年 1 日」が 17.7%となっています。

【保護者や家族の病気の日数（年間）】

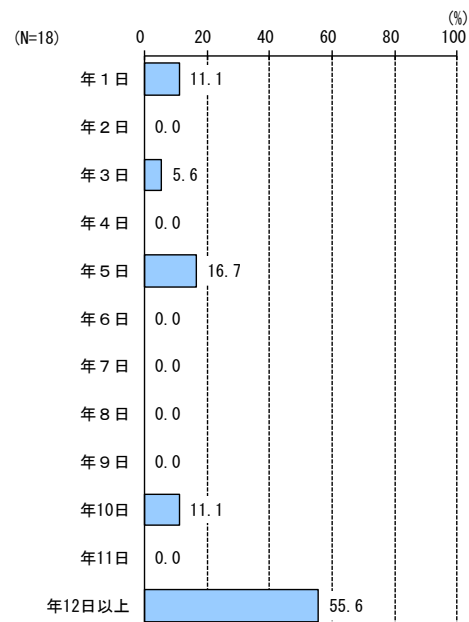


イ 身体上又は精神上の事由で利用したい日数（年間）

【全体】

- 身体上又は精神上の事由の日数（年間）について、「年 12 日以上」が 55.6%で最も多く、次いで「年 5 日」が 16.7%、「年 1 日」「年 10 日」が 11.1%となっています。

【身体上又は精神上の事由の日数（年間）】

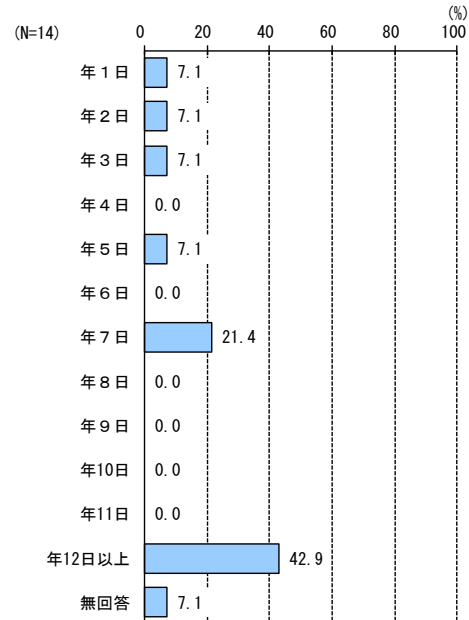


イ 事故、災害、失踪など家庭養育上の事由で利用したい日数（年間）

【全体】

- 事故、災害、失踪など家庭養育上の事由の日数（年間）について、「年 12 日以上」が 42.9%で最も多く、次いで「年 7 日」が 21.4%、「年 1 日」「年 2 日」「年 3 日」「年 5 日」が 7.1%となっています。

【事故、災害、失踪など家庭養育上の事由の日数（年間）】

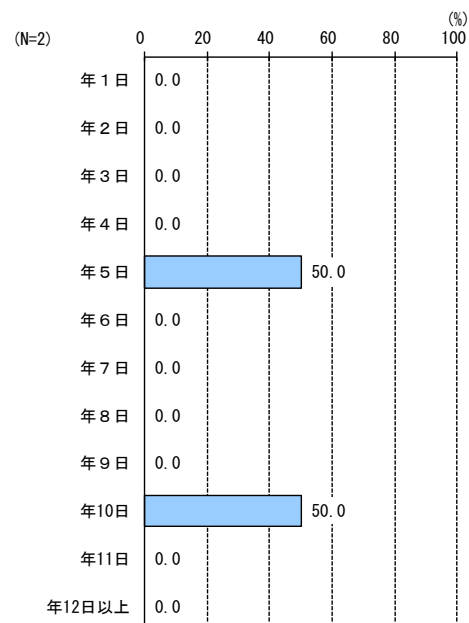


イ その他の目的で利用したい日数（年間）

【全体】

- その他の日数（年間）について、「年 5 日」「年 10 日」が 50.0%で最も多くなっています。

【その他の日数（年間）】

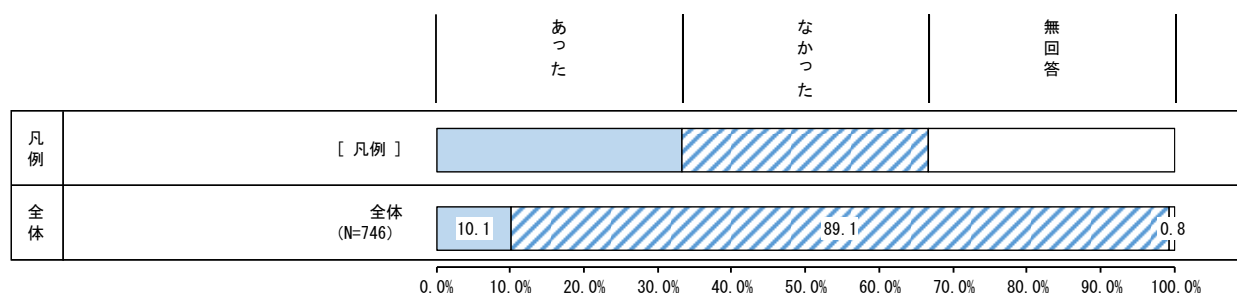


問19 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことはありましたか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 保護者の用事で子どもを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことの有無について、「あった」が10.1%、「なかった」が89.1%となっています。

【保護者の用事で子どもを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことの有無】



★問19「保護者の用事で子どもを家族以外に泊りがけで見てもらわなければならないことの有無」について、「あった」に○をつけた方のみ

問19-1 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法と、②対処した際の泊数（年間）をすべてご記入ください※1。

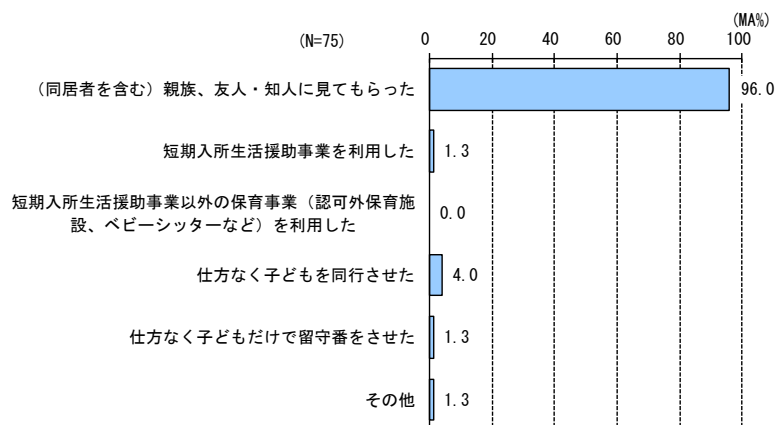
※1 半日程度の対応の場合も、1日と数えて記入

ア 家族以外に泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法

【全体】

○ 泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法について、「（同居者を含む）親族、友人・知人に見てもらった」が96.0%で最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が4.0%、「短期入所生活援助事業を利用した」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」「その他」が1.3%となっています。

【泊りがけで見てもらわなければならなかった時の対処法】

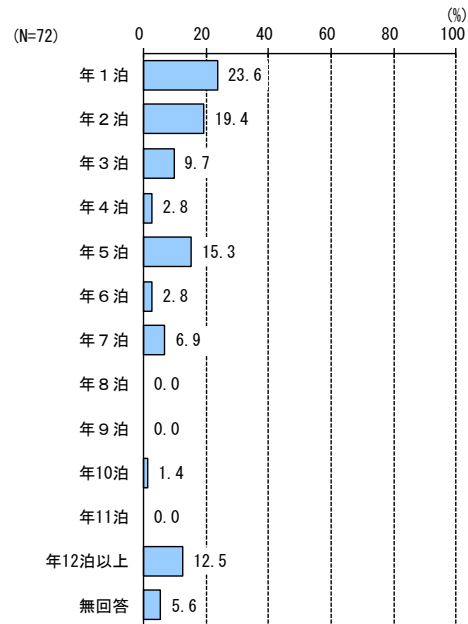


イ （同居者を含む）親族、友人・知人に見てもらった泊数（年間）

【全体】

- （同居者を含む）親族、友人・知人に見てもらった泊数（年間）について、「年1泊」が23.6%で最も多く、次いで「年2泊」が19.4%、「年5泊」が15.3%となっています。

【（同居者を含む）親族、友人・知人に見てもらった泊数（年間）】

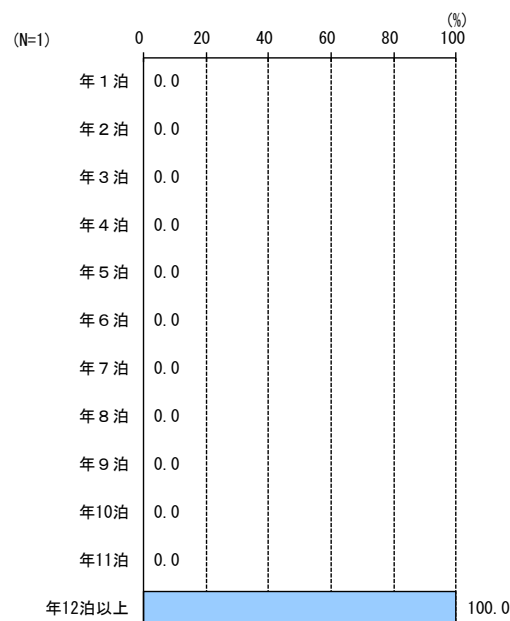


イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）※²を利用した泊数（年間）

【全体】

- 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した泊数（年間）について、「年12泊以上」が100.0%で最も多くなっています。

【短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した泊数（年間）】



※² 児童養護施設などで一定期間、子どもを保護する事業

イ 短期入所生活援助事業以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した泊数（年間）

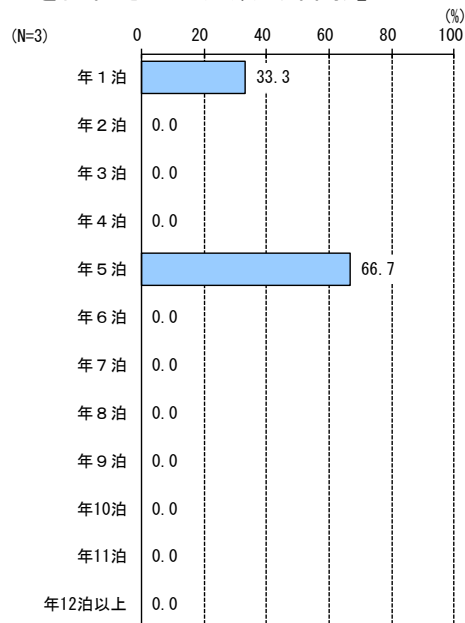
【該当者なし】

イ 仕方なく子どもを同行させた泊数（年間）

【全体】

- 仕方なく子どもを同行させた泊数（年間）について、「年5泊」が66.7%で最も多く、次いで「年1泊」が33.3%となっています。

【仕方なく子どもを同行させた泊数（年間）】

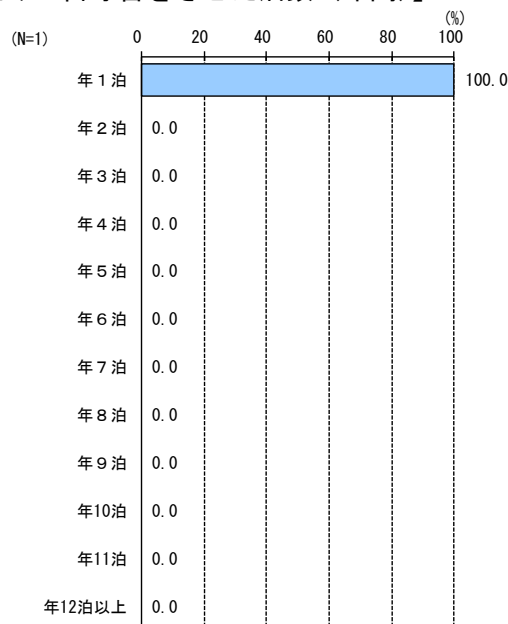


イ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた泊数（年間）

【全体】

- 仕方なく子どもだけで留守番をさせた泊数（年間）について、「年1泊」が100.0%で最も多くなっています。

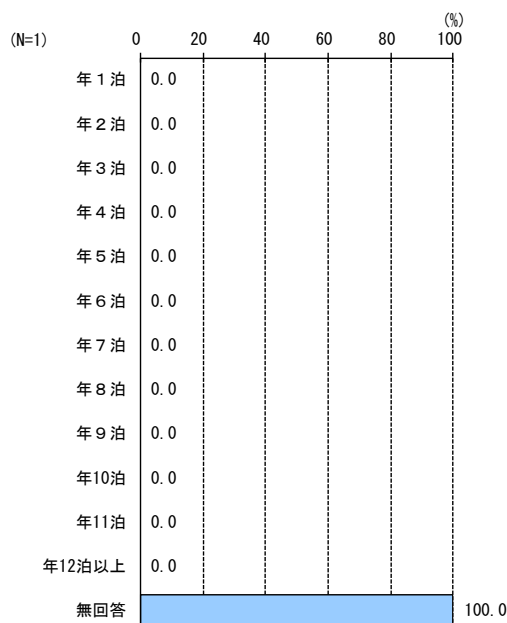
【仕方なく子どもだけで留守番をさせた泊数（年間）】



イ その他の泊数（年間）

【全体】回答者なし

【その他の泊数（年間）】

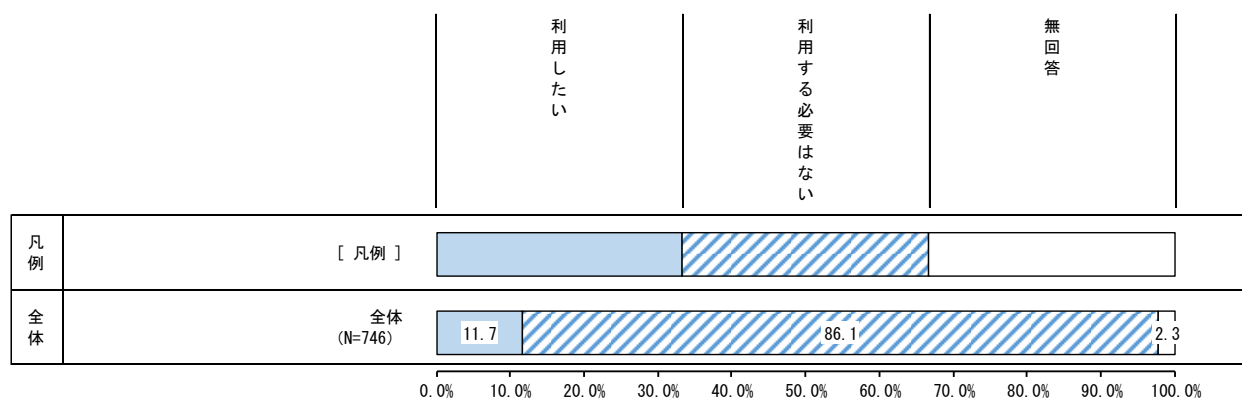


問20 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらう必要がある時に、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向について、「利用したい」が11.7%、「利用する必要はない」が86.1%となっています。

【短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向】



★問20「短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向」について、「利用したい」に○をつけた方のみ

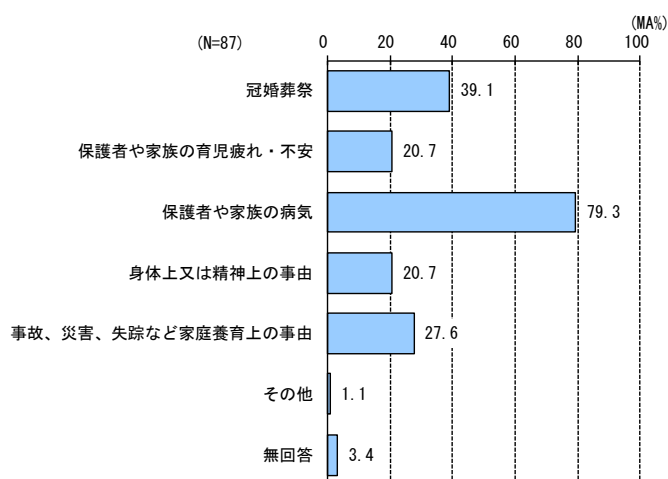
問20-1 保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、①短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的と、②目的別に利用したい泊数（年間）をすべてご記入ください。

ア 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用する目的

【全体】

- 短期入所生活援助事業を利用する目的について、「保護者や家族の病気」が 79.3%で最も多く、次いで「冠婚葬祭」が 39.1%、「事故、災害、失踪など家庭養育上の事由」が 27.6%となっています。

【短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用目的】

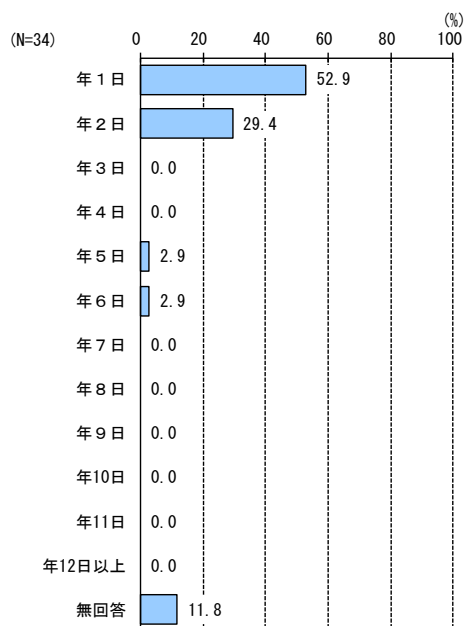


イ 冠婚葬祭で利用したい日数（年間）

【全体】

- 冠婚葬祭の泊数（年間）について、「年1日」が 52.9%で最も多く、次いで「年2日」が 29.4%、「年5日」「年6日」が 2.9%となっています。

【冠婚葬祭の泊数（年間）】

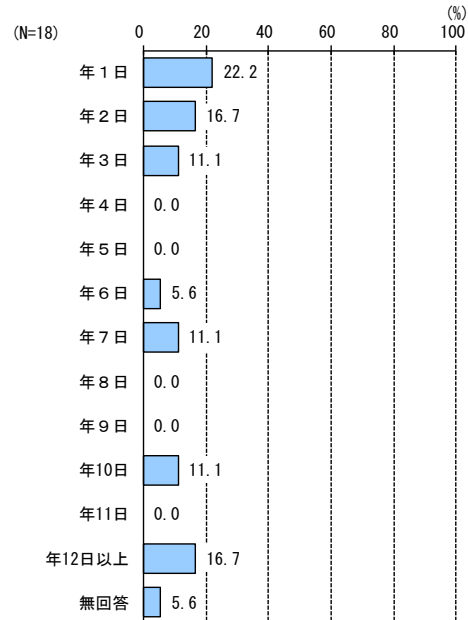


イ 保護者や家族の育児疲れ・不安で利用したい日数（年間）

【全体】

- 保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数（年間）について、「年1日」が22.2%で最も多く、次いで「年2日」「年12日以上」が16.7%、「年3日」「年7日」「年10日」が11.1%となっています。

【保護者や家族の育児疲れ・不安の泊数（年間）】

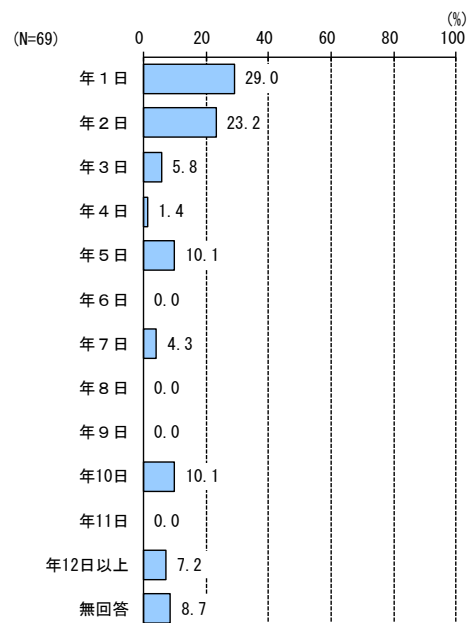


イ 保護者や家族の病気で利用したい日数（年間）

【全体】

- 保護者や家族の病気の泊数（年間）について、「年1日」が29.0%で最も多く、次いで「年2日」が23.2%、「年5日」「年10日」が10.1%となっています。

【保護者や家族の病気の泊数（年間）】

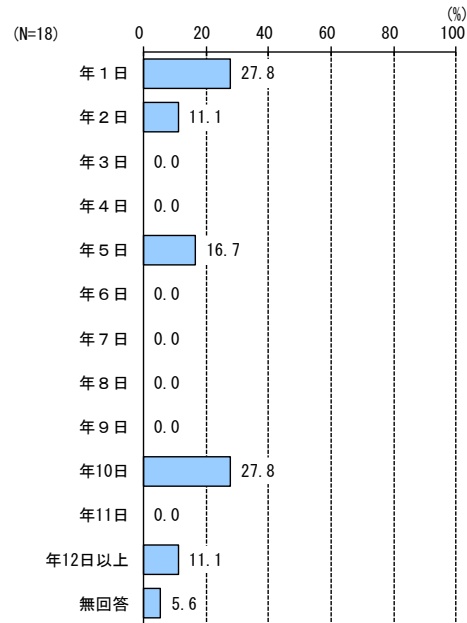


イ 身体上又は精神上の事由で利用したい日数（年間）

【全体】

- 身体上又は精神上の事由の泊数（年間）について、「年1日」「年10日」が27.8%で最も多く、次いで「年5日」が16.7%、「年2日」「年12日以上」が11.1%となっています。

【身体上又は精神上の事由の泊数（年間）】

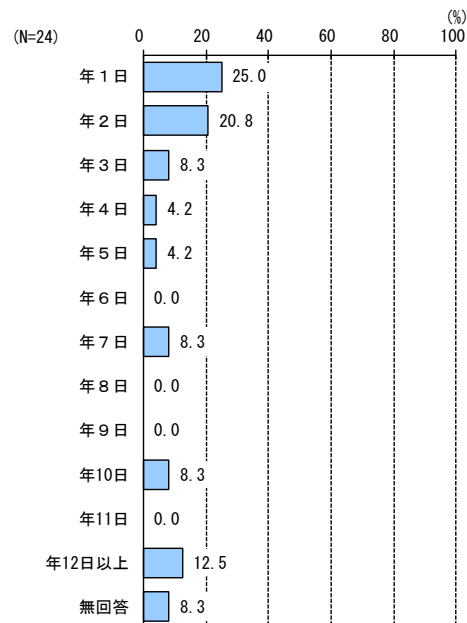


イ 事故、災害、失踪など家庭養育上の事由で利用したい日数（年間）

【全体】

- 事故、災害、失踪など家庭養育上の事由の泊数（年間）について、「年1日」が25.0%で最も多く、次いで「年2日」が20.8%、「年12日以上」が12.5%となっています。

【事故、災害、失踪など家庭養育上の事由の泊数（年間）】

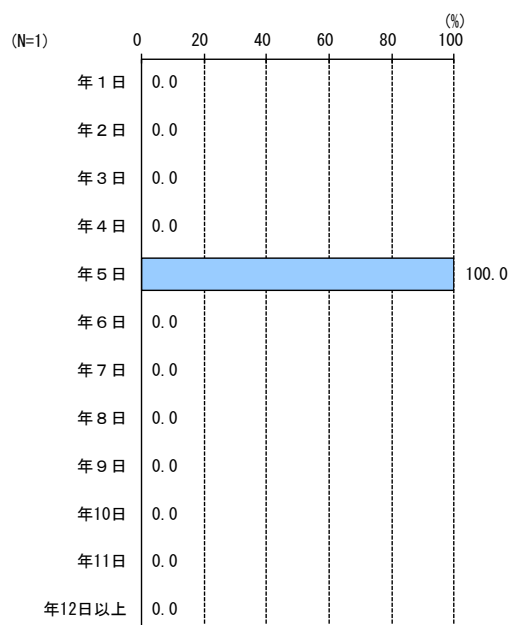


イ その他の目的で利用したい日数（年間）

【全体】

○ その他の泊数（年間）について、「年5日」が100.0%で最も多くなっています。

【その他の泊数（年間）】



6 放課後の過ごし方について

問21 あて名のお子さんは、放課後児童クラブ（学童保育）※¹を利用していますか※^{2, 3}。
（あてはまる番号1つに○）

※¹ 保護者が就労などで昼間、家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するもの。児童館で実施する場合を含む。

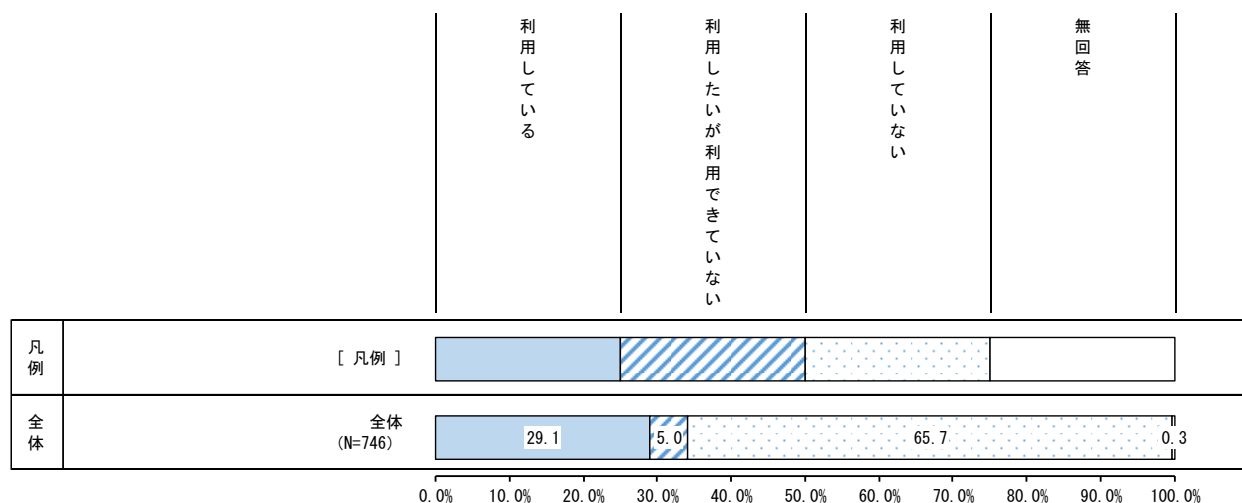
※² 長期休暇のみの利用を含む。

※³ これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する。

【全体】

○ 放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況について、「利用していない」が65.7%で最も多く、次いで「利用している」が29.1%、「利用したいが利用できていない」が5.0%となっています。

【放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況】



★問21「放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況」について、「利用している」に○をつけた方のみ

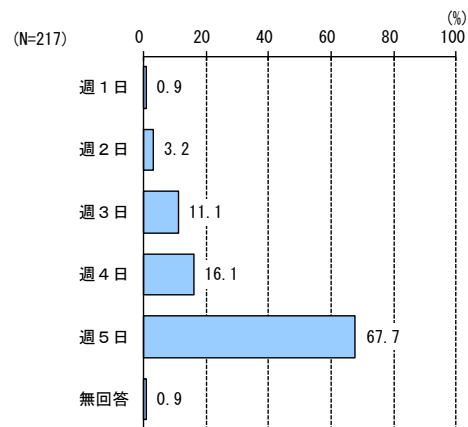
問21-1 放課後児童クラブ（学童保育）の利用日数と利用する時間帯をすべてご記入ください。

（1）利用日数（週あたり）

【全体】

- 放課後児童クラブ（学童保育）の利用日数について、「週5日」が67.7%で最も多く、次いで「週4日」が16.1%、「週3日」が11.1%となっています。

【放課後児童クラブ（学童保育）の利用日数（週あたり）】

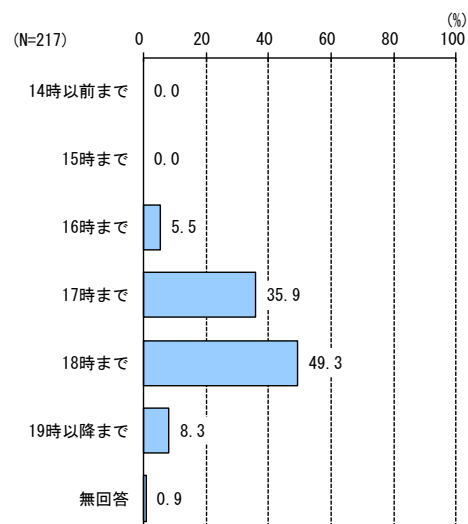


（2）利用したい時間帯

【全体】

- 放課後児童クラブ（学童保育）を利用したい時間帯について、「18時まで」が49.3%で最も多く、次いで「17時まで」が35.9%、「19時以降まで」が8.3%となっています。

【放課後児童クラブ（学童保育）を利用したい時間帯】



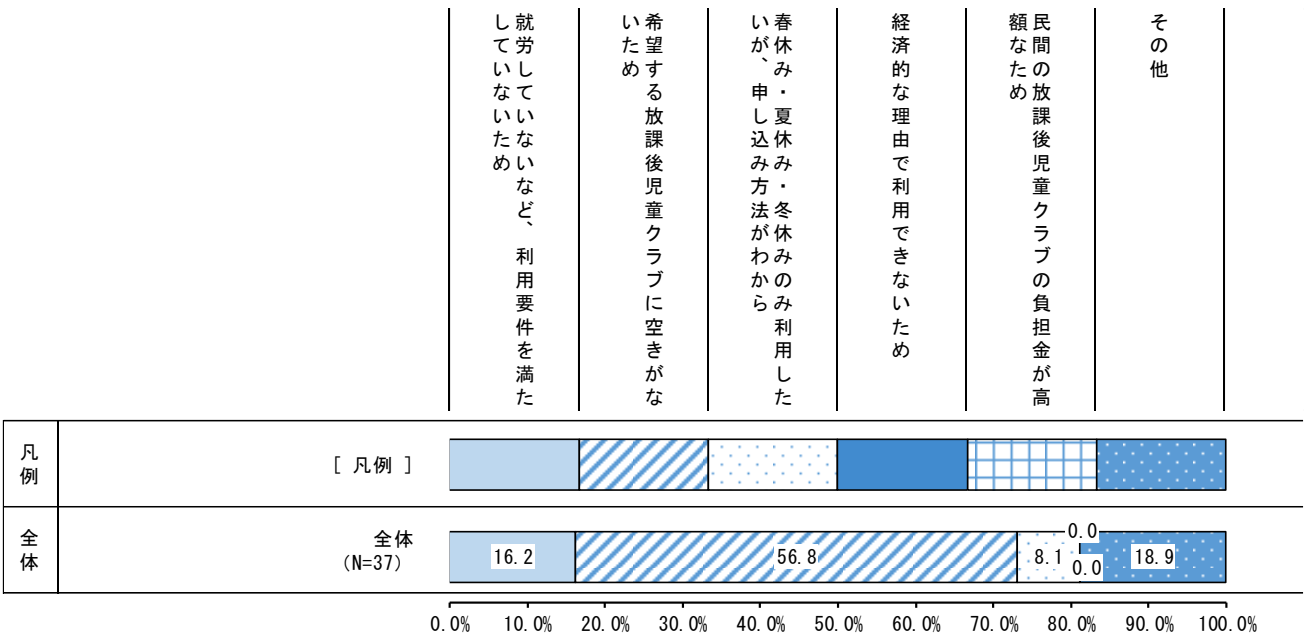
★問21「放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況」について、「利用したいが利用できていない」に○をつけた方のみ

問21-2 放課後児童クラブを利用できていない理由をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 放課後児童クラブを利用できていない理由について、「希望する放課後児童クラブに空きがないため」が 56.8%で最も多く、次いで「その他」が 18.9%、「就労していないなど、利用要件を満たしていないため」が 16.2%となっています。

【放課後児童クラブを利用できていない理由】



★問21「放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況」について、「利用したいが利用できていない」または「利用していない」に○をつけた方のみ

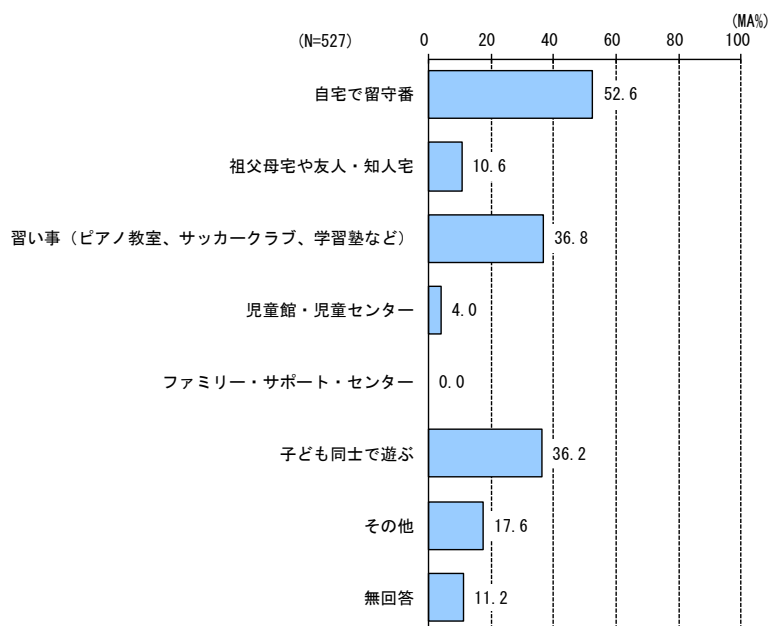
問22 あて名のお子さんについて、①放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方と、②それぞれの過ごし方の日数（週あたり）をすべてご記入ください。

（ア）放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方

【全体】

○ 放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方について、「自宅で留守番」が 52.6%で最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 36.8%、「子ども同士で遊ぶ」が 36.2%となっています。

【放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方】



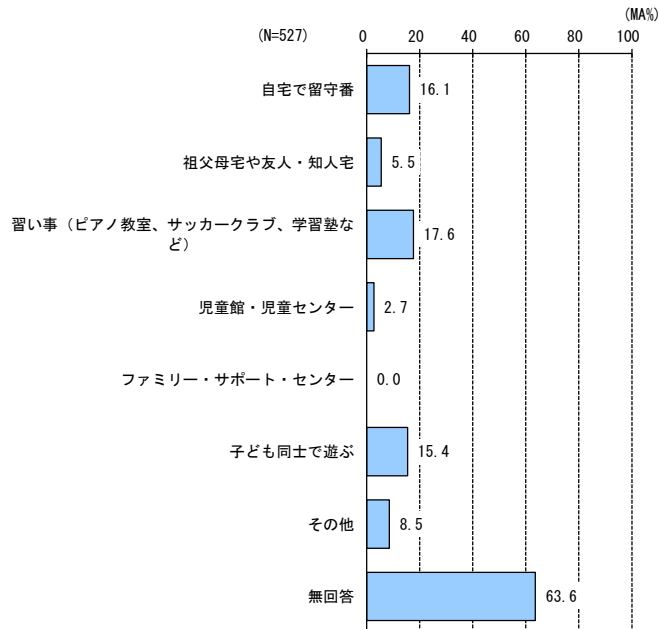
※「ファミリー・サポート・センター」は地域住民が子どもを預かる事業

A 放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方（低学年）

【全体】

- 低学年時の放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方について、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 17.6%で最も多く、次いで「自宅で留守番」が 16.1%、「子ども同士で遊ぶ」が 15.4%となっています。

【放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方（低学年）】

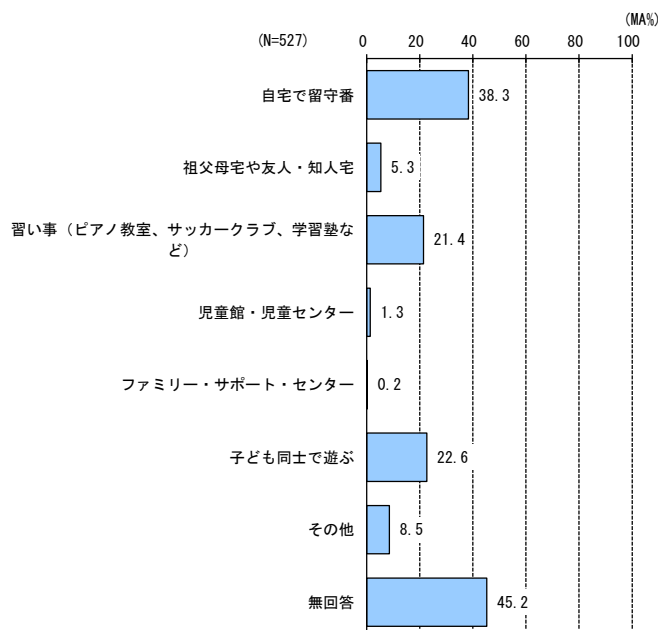


B 放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方（高学年）

【全体】

- 高学年時の放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方について、「自宅で留守番」が 38.3%で最も多く、次いで「子ども同士で遊ぶ」が 22.6%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 21.4%となっています。

【放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方（高学年）】



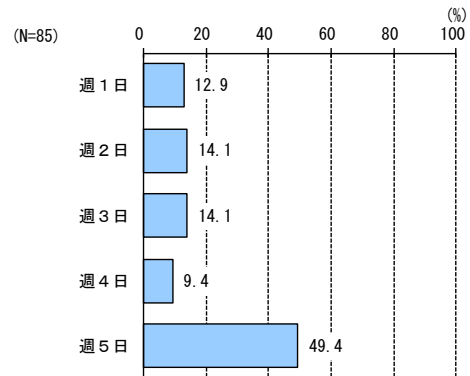
(イ) 自宅で留守番をして過ごす日数（週あたり）

A 小学校低学年

【全体】

- 低学年時に自宅で過ごしている日数について、「週5日」が49.4%で最も多く、次いで「週2日」「週3日」が14.1%、「週1日」が12.9%となっています。

【自宅で過ごしている日数】

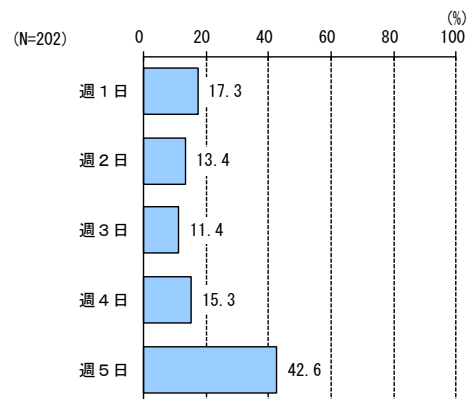


B 小学校高学年

【全体】

- 高学年時に自宅で過ごしている日数について、「週5日」が42.6%で最も多く、次いで「週1日」が17.3%、「週4日」が15.3%となっています。

【自宅で過ごしている日数】



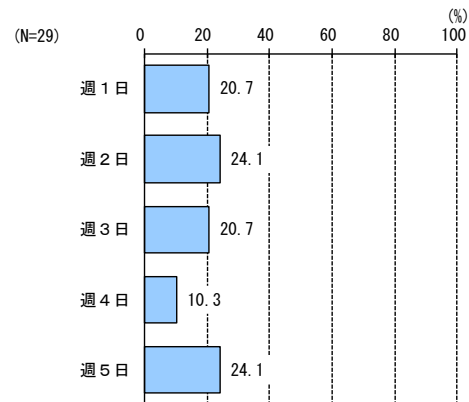
(イ) 祖父母宅や友人・知人宅で過ごす日数（週あたり）

A 小学校低学年

【全体】

- 低学年時に祖父母宅や友人・知人宅で過ごしている日数について、「週2日」「週5日」が24.1%で最も多く、次いで「週1日」「週3日」が20.7%、「週4日」が10.3%となっています。

【祖父母宅や友人・知人宅で過ごしている日数】

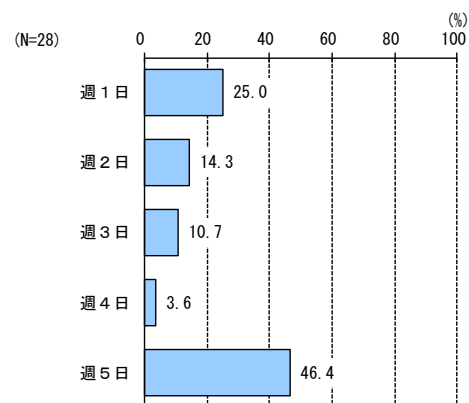


B 小学校高学年

【全体】

- 高学年時に祖父母宅や友人・知人宅で過ごしている日数について、「週5日」が46.4%で最も多く、次いで「週1日」が25.0%、「週2日」が14.3%となっています。

【祖父母宅や友人・知人宅で過ごしている日数】



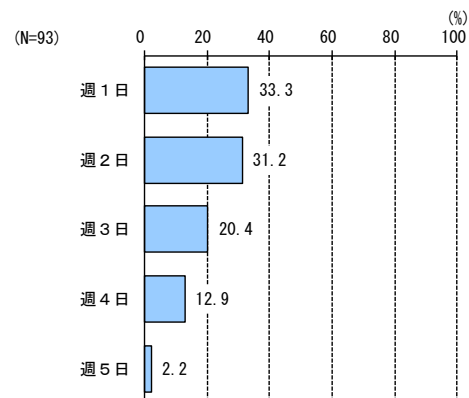
(イ) 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）で過ごす日数（週あたり）

A 小学校低学年

【全体】

- 低学年時に習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）で過ごしている日数について、「週1日」が33.3%で最も多く、次いで「週2日」が31.2%、「週3日」が20.4%となっています。

【習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）で過ごしている日数】

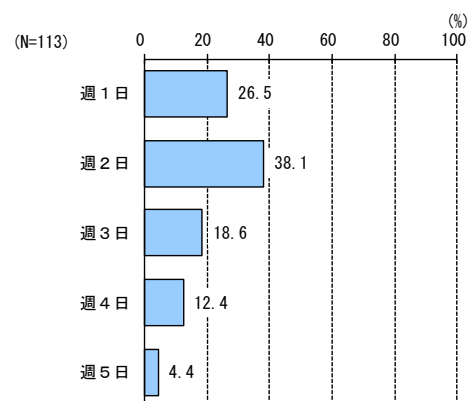


B 小学校高学年

【全体】

- 高学年時に習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）で過ごしている日数について、「週2日」が38.1%で最も多く、次いで「週1日」が26.5%、「週3日」が18.6%となっています。

【習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）で過ごしている日数】



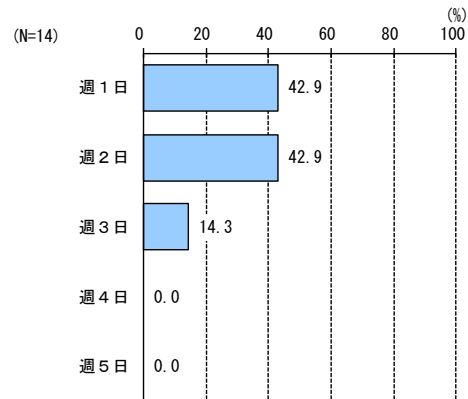
(イ) 児童館・児童センターで過ごす日数（週あたり）

A 小学校低学年

【全体】

- 低学年時に児童館・児童センターで過ごしている日数について、「週1日」「週2日」が42.9%で最も多く、次いで「週3日」が14.3%となっています。

【児童館・児童センターで過ごしている日数】

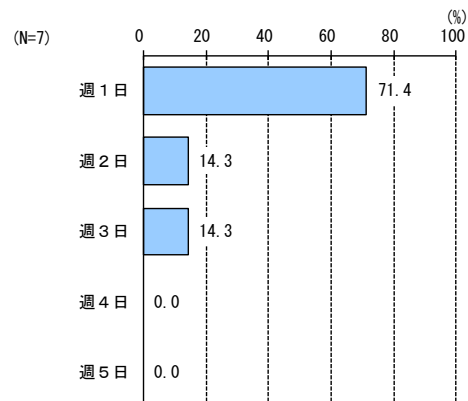


B 小学校高学年

【全体】

- 高学年時に児童館・児童センターで過ごしている日数について、「週1日」が71.4%で最も多く、次いで「週2日」「週3日」が14.3%となっています。

【児童館・児童センターで過ごしている日数】



(イ) ファミリー・サポート・センターで過ごす日数（週あたり）

A 小学校低学年

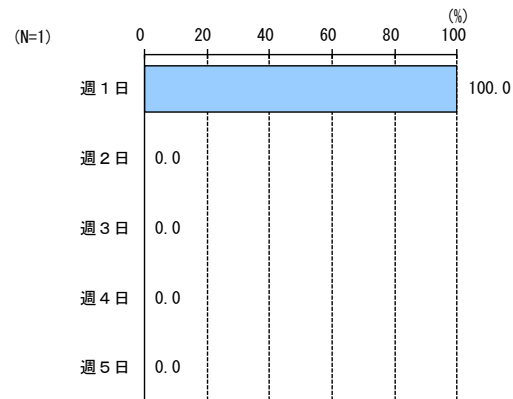
【該当者なし】

B 小学校高学年

【全体】

- 高学年時にファミリー・サポート・センターで過ごしている日数について、「週1日」が100.0%で最も多くなっています。

【ファミリー・サポート・センターで過ごしている日数】



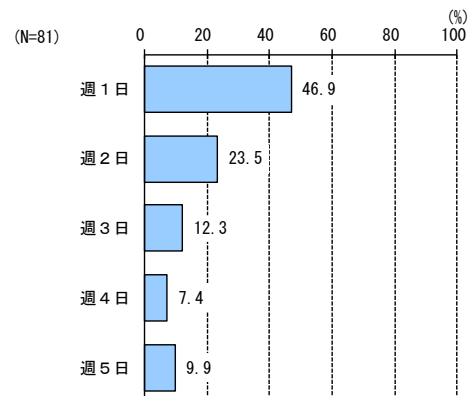
(イ) 子ども同士で遊んで過ごす日数（週あたり）

A 小学校低学年

【全体】

- 低学年時に子ども同士で遊んで過ごしている日数について、「週1日」が46.9%で最も多く、次いで「週2日」が23.5%、「週3日」が12.3%となっています。

【子ども同士で遊んで過ごしている日数】

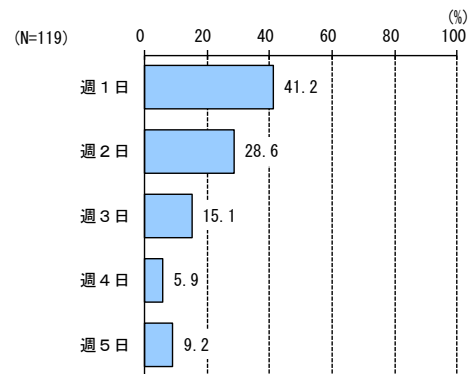


B 小学校高学年

【全体】

- 高学年時に子ども同士で遊んで過ごしている日数について、「週1日」が41.2%で最も多く、次いで「週2日」が28.6%、「週3日」が15.1%となっています。

【子ども同士で遊んで過ごしている日数】



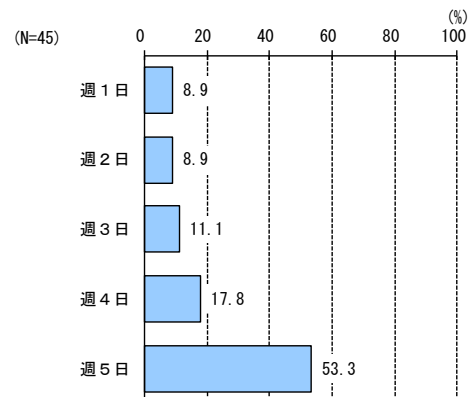
(イ) その他の方法で過ごす日数（週あたり）

A 小学校低学年

【全体】

- 低学年時にその他で過ごしている日数について、「週5日」が53.3%で最も多く、次いで「週4日」が17.8%、「週3日」が11.1%となっています。

【その他で過ごしている日数】

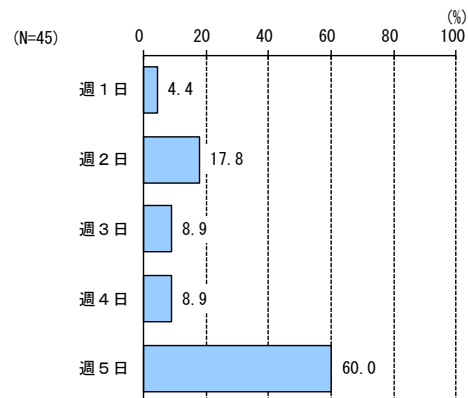


B 小学校高学年

【全体】

- 高学年時にその他で過ごしている日数について、「週5日」が60.0%で最も多く、次いで「週2日」が17.8%、「週3日」「週4日」が8.9%となっています。

【その他で過ごしている日数】



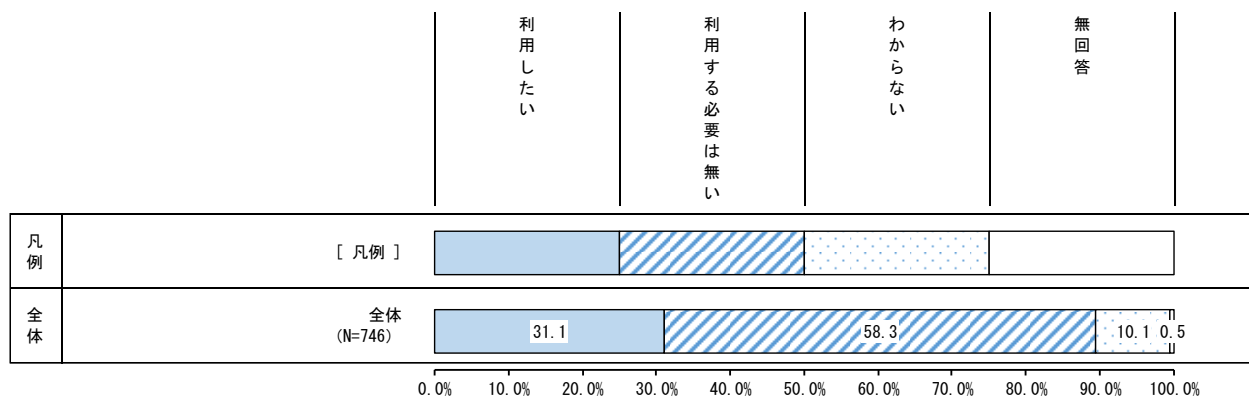
問23 あて名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいですか※¹。(あてはまる番号1つに○)

※¹ これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合がある。

【全体】

- 今後の放課後児童クラブの利用意向について、「利用する必要は無い」が58.3%で最も多く、次いで「利用したい」が31.1%、「わからない」が10.1%となっています。

【今後の放課後児童クラブの利用意向】



★問23「今後の放課後児童クラブの利用意向」について、「利用したい」に○をつけた方のみ

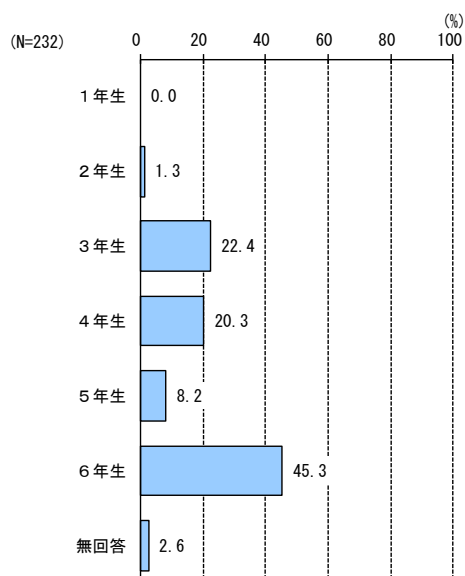
問23-1 放課後児童クラブを何年生まで利用したいですか。また、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望日数と利用したい時間帯をすべてご記入ください。

（1）小学校何年生まで利用したいか

【全体】

○ 小学校の何年生まで利用したいかについて、「6年生」が45.3%で最も多く、次いで「3年生」が22.4%、「4年生」が20.3%となっています。

【利用希望学年（上限）】

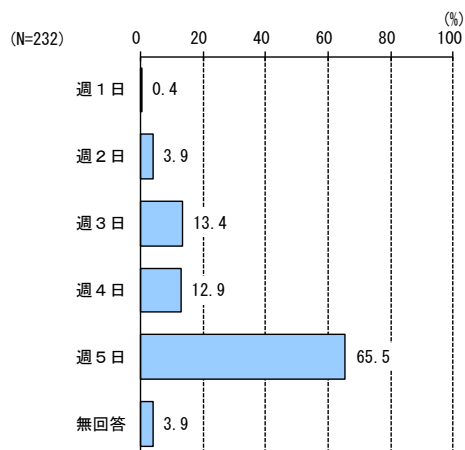


（2）週何日程度利用したいか

【全体】

○ 週に何日程度、利用したいかについて、「週5日」が65.5%で最も多く、次いで「週3日」が13.4%、「週4日」が12.9%となっています。

【週何日程度利用したい】

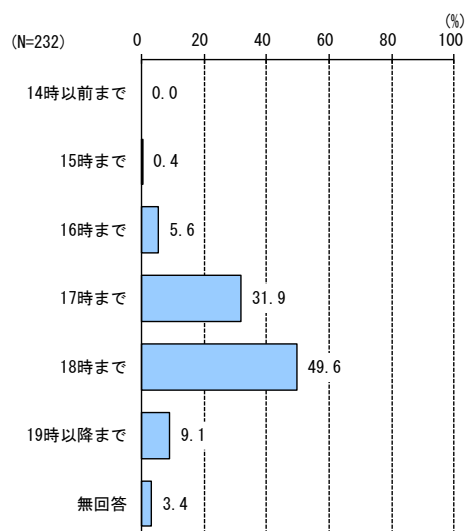


(3) 利用したい時間帯

【全体】

- 下校時から何時まで放課後児童クラブを利用したいかについて、「18 時まで」が 49.6%で最も多く、次いで「17 時まで」が 31.9%、「19 時以降まで」が 9.1%となっています。

【利用希望時間帯】



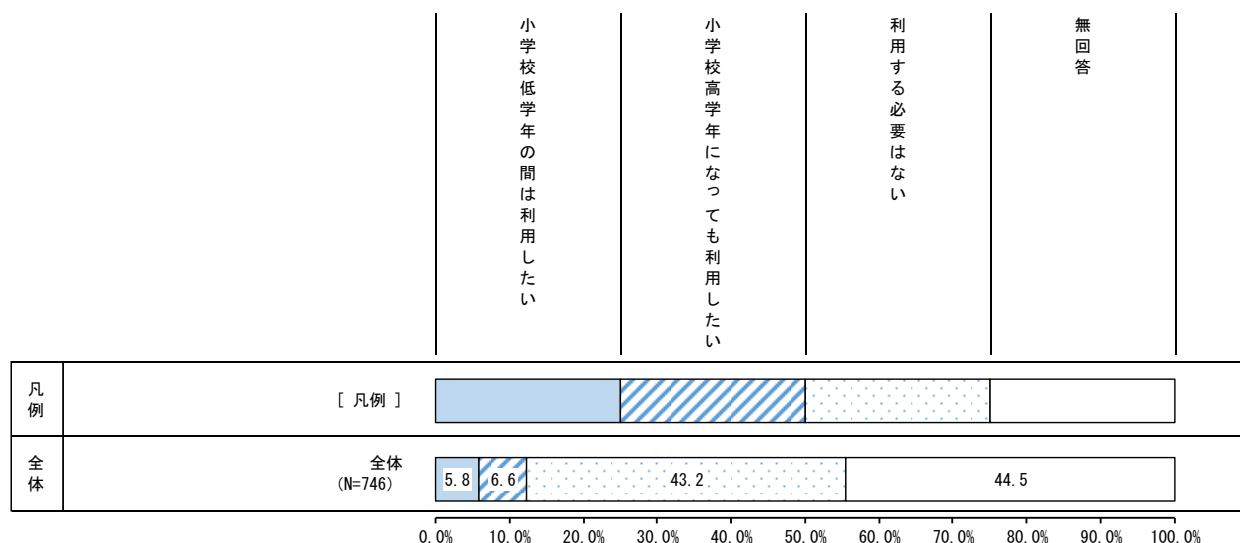
問24 あて名のお子さんについて、(1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日、(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブを利用したいですか。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

(1) 土曜日

【全体】

- 土曜日の放課後児童クラブの利用意向について、「利用する必要はない」が 43.2%で最も多く、次いで「小学校高学年になっても利用したい」が 6.6%、「小学校低学年の間は利用したい」が 5.8%となっています。

【土曜日の放課後児童クラブの利用意向】

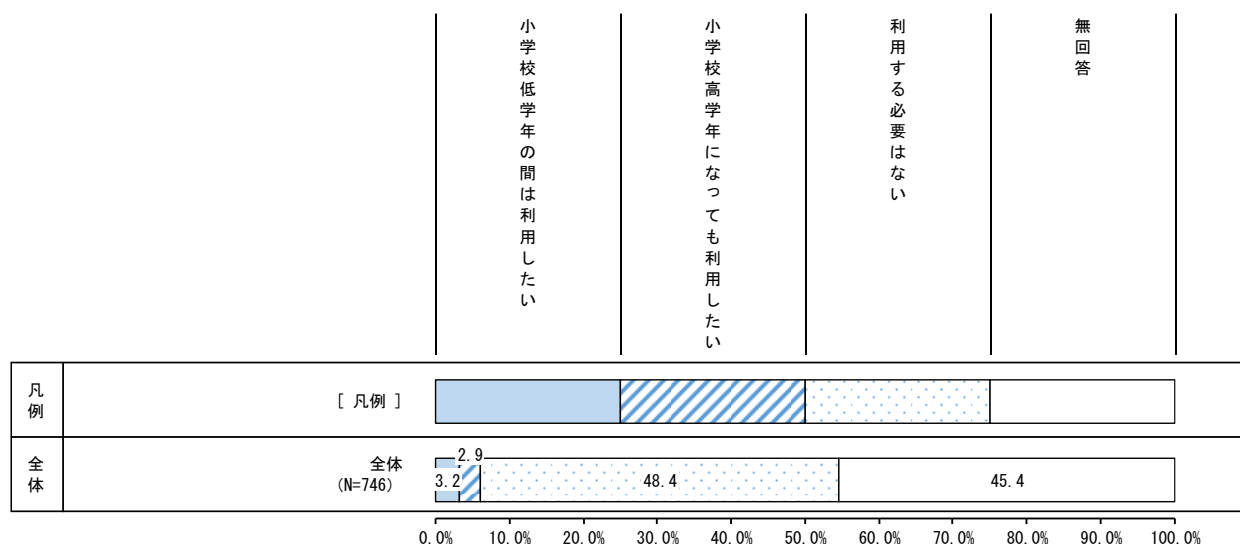


(2) 日曜日・祝日

【全体】

- 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向について、「利用する必要はない」が48.4%で最も多く、次いで「小学校低学年の間は利用したい」が3.2%、「小学校高学年になっても利用したい」が2.9%となっています。

【日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向】

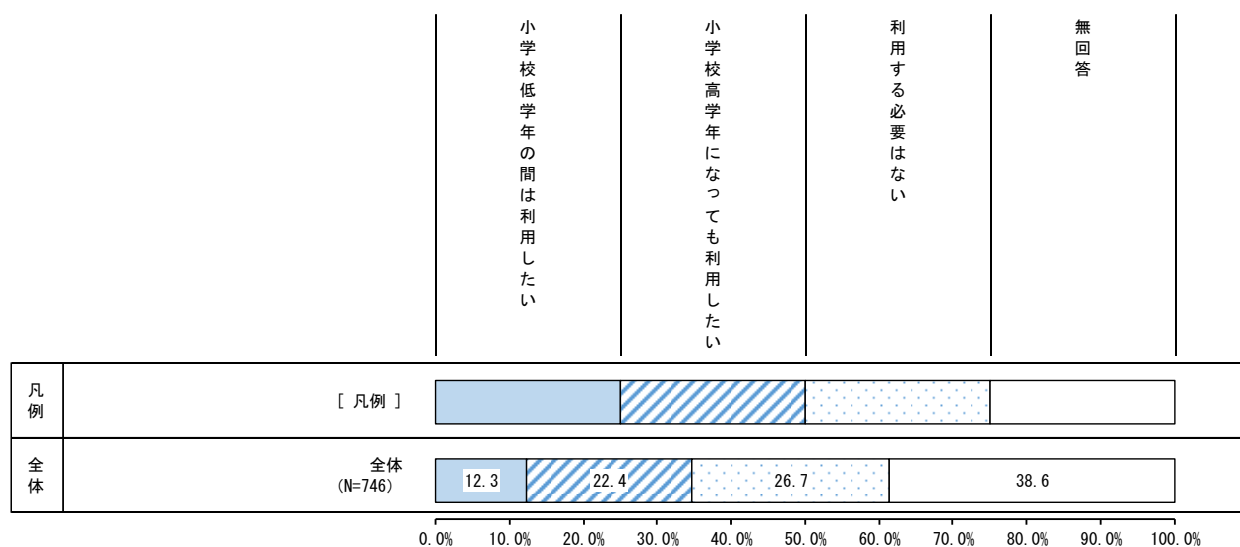


(3) 長期休暇期間中

【全体】

- 長期休暇中の放課後児童クラブの利用意向について、「利用する必要はない」が26.7%で最も多く、次いで「小学校高学年になっても利用したい」が22.4%、「小学校低学年の間は利用したい」が12.3%となっています。

【長期休暇中の放課後児童クラブの利用意向】



★問24「土曜日・日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向」について、「小学校低学年の間は利用したい」または「小学校高学年になっても利用したい」に○をつけた方のみ

問24-1 (1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日、(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブを利用したい時間帯をご記入ください。

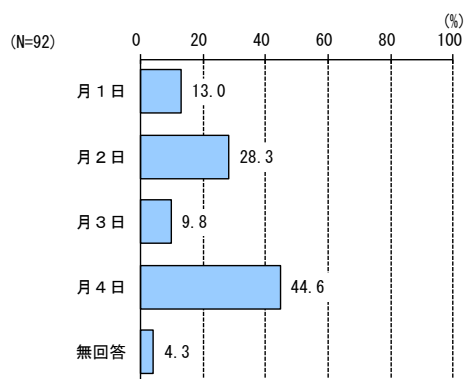
(1) 土曜日

ア 利用したい希望日数（月）

【全体】

○ 土曜日は月に何日程度、放課後児童クラブを利用したいかについて、「月4日」が44.6%で最も多く、次いで「月2日」が28.3%、「月1日」が13.0%となっています。

【土曜日の利用希望日数（月）】

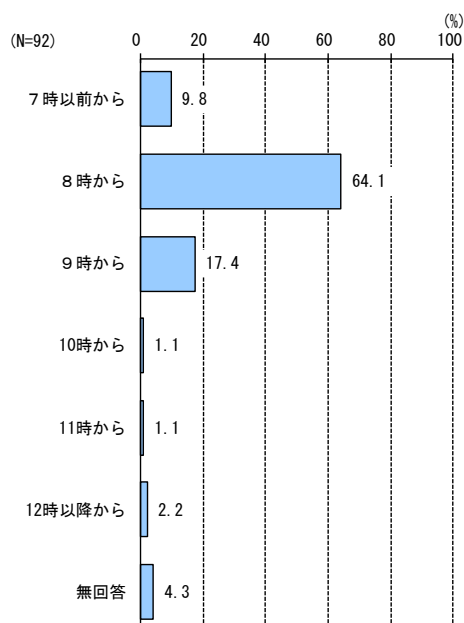


イ 利用したい希望開始時間

【全体】

○ 土曜日は放課後児童クラブを何時から利用したいかについて、「8時から」が64.1%で最も多く、次いで「9時から」が17.4%、「7時以前から」が9.8%となっています。

【土曜日の利用希望開始時間】

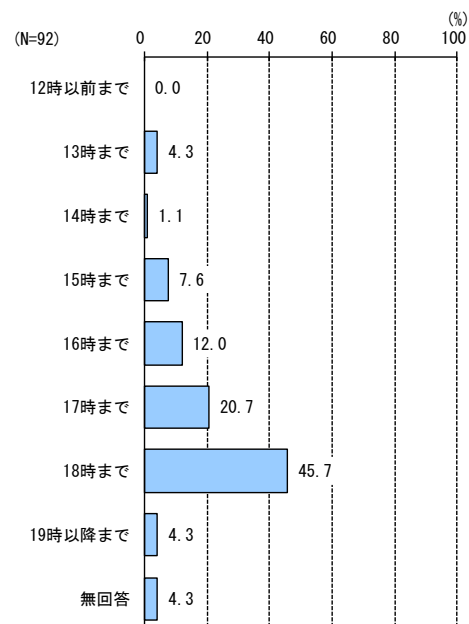


ウ 利用したい希望終了時間

【全体】

- 土曜日は放課後児童クラブを何時まで利用したいかについて、「18 時まで」が 45.7%で最も多く、次いで「17 時まで」が 20.7%、「16 時まで」が 12.0%となっています。

【土曜日の利用希望終了時間】



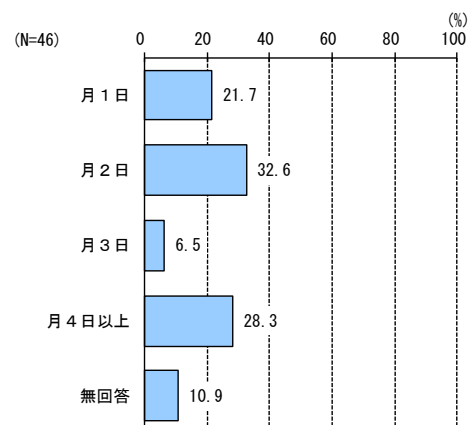
(2) 日曜日・祝日

ア 利用したい希望日数（月）

【全体】

- 日曜日・祝日は月に何日程度、放課後児童クラブを利用したいかについて、「月 2 日」が 32.6%で最も多く、次いで「月 4 日以上」が 28.3%、「月 1 日」が 21.7%となっています。

【日曜日・祝日の利用希望日数（月）】

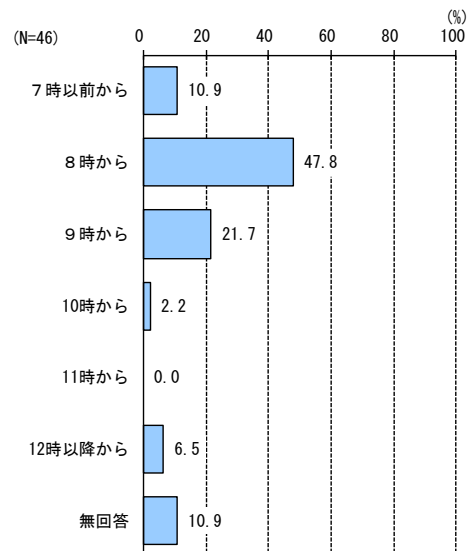


イ 利用したい希望開始時間

【全体】

- 日曜日・祝日は放課後児童クラブを何時から利用したいかについて、「8時から」が47.8%で最も多く、次いで「9時から」が21.7%、「7時以前から」が10.9%となっています。

【日曜日・祝日の利用希望開始時間】

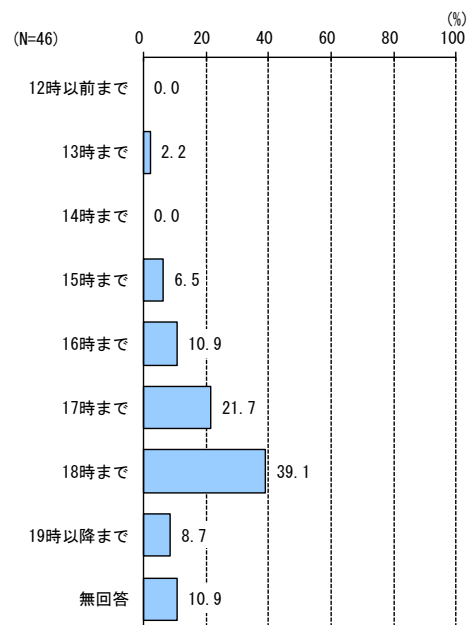


ウ 利用したい希望終了時間

【全体】

- 日曜日・祝日は放課後児童クラブを何時まで利用したいかについて、「18時まで」が39.1%で最も多く、次いで「17時まで」が21.7%、「16時まで」が10.9%となっています。

【日曜日・祝日の利用希望終了時間】



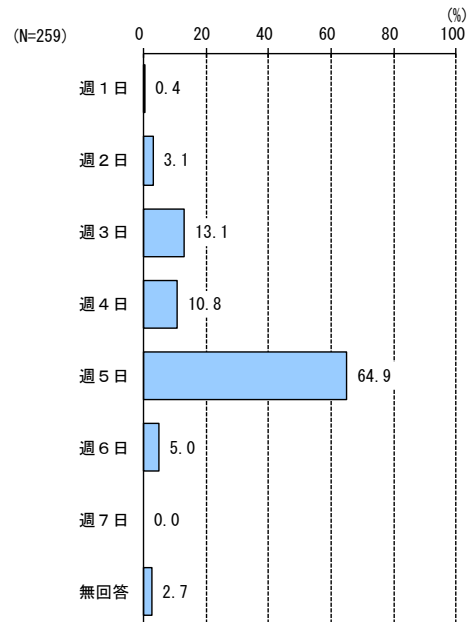
(3) 長期の休暇期間中

ア 利用したい希望日数 (週)

【全体】

- 長期休暇中は週に何日程度、放課後児童クラブを利用したいかについて、「週5日」が64.9%で最も多く、次いで「週3日」が13.1%、「週4日」が10.8%となっています。

【長期休暇中の利用希望日数 (週)】

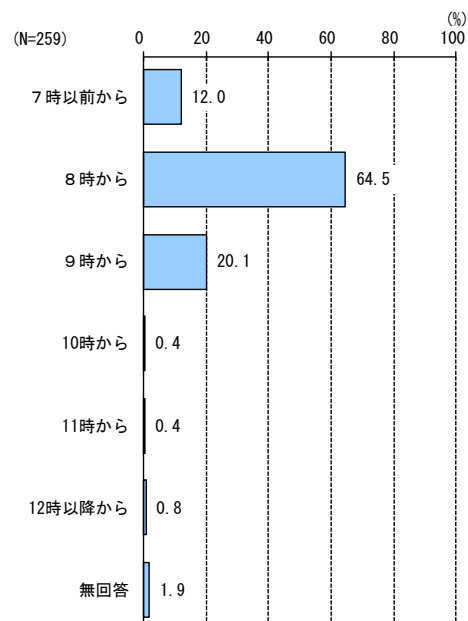


イ 利用したい希望開始時間

【全体】

- 長期休暇中は放課後児童クラブを何時から利用したいかについて、「8時から」が64.5%で最も多く、次いで「9時から」が20.1%、「7時以前から」が12.0%となっています。

【長期休暇中の利用希望開始時間】

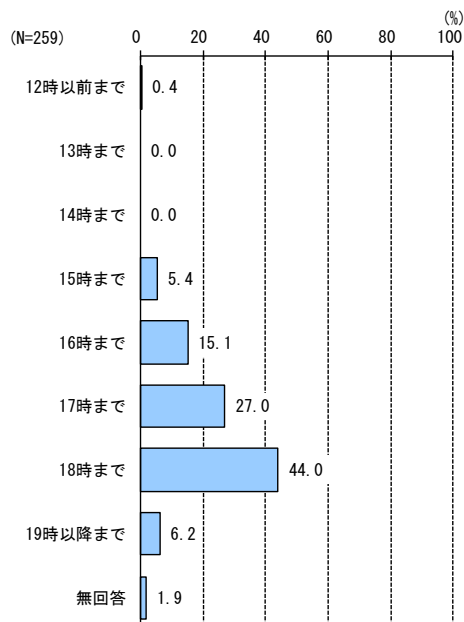


ウ 利用したい希望終了時間

【全体】

- 長期休暇中は放課後児童クラブを何時まで利用したいかについて、「18 時まで」が 44.0%で最も多く、次いで「17 時まで」が 27.0%、「16 時まで」が 15.1%となっています。

【長期休暇中の利用希望終了時間】



7 その他の家庭状況などについて

問25 子育てに関して、日頃悩んでいることや不安なこと、気になることをご記入ください。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

- 子育てでの悩みや不安について、「子どもの教育に関すること」が 37.8%で最も多く、次いで「子どもの友だち付き合いやいじめに関すること」が 37.4%、「安全な遊び場や子どもの居場所が身近にない」が 31.1%となっています。

【子どもの年齢】

- 1年生・2年生・5年生では「子どもの教育に関すること」、3年生・6年生では「子どもの友だち付き合いやいじめに関すること」、4年生では、「安全な遊び場や子どもの居場所が身近にない」が最も多くなっています。

【子育てでの悩みや不安】



単位：％

単位：%

		母数 (N)	子育てでの悩みや不安									
			子どもの病 気や発育・ 発達に関 するこ	子どもの食 事や栄養に 関するこ	子どもの教 育に関す ること	子どもの友 だち付き合 いやいじめに 関	学校など に行きたが らない	子どもとの 接し方・育 児に自信が 持て	子どもが言 うことを聞 かない	子どもと接 する時間 が少ない	子どもを叱 りすぎてい る（八つ当 たりしちゃう）	子どもが可 愛いと思え ない
子どもの 学年	全体	746	23.5	20.2	37.8	37.4	6.6	12.5	16.8	15.1	26.7	0.5
	1年生	128	30.5	21.9	38.3	33.6	6.3	14.8	21.1	21.9	32.0	-
	2年生	142	28.9	23.9	45.1	44.4	4.2	18.3	17.6	18.3	35.2	0.7
	3年生	114	21.1	19.3	28.1	36.0	7.0	13.2	16.7	11.4	23.7	-
	4年生	111	18.9	18.0	36.9	34.2	9.0	13.5	14.4	9.9	26.1	2.7
	5年生	131	18.3	21.4	38.9	36.6	7.6	8.4	13.7	12.2	22.9	-
	6年生	117	21.4	16.2	37.6	38.5	6.0	6.0	17.1	16.2	17.9	-

単位：％

単位：％

		母数 (N)	子育てでの悩みや不安									
			仕事や自分のやりたいことが十分でない	家事（料理・洗濯・掃除など）ができない	子育てに関して、話し相手や相談相手がいない	配偶者や家族と、子育てに関する意見が合わない	配偶者が協力してくれない	子育ての支援者が少ない（いない）	地域や社会での孤立感がある	子どもが保育所に入れない	保育サービスや施設が利用しにくい	地域の医療体制が不安
子どもの学年	全体	746	20.6	11.9	1.7	7.1	5.4	7.9	4.0	0.5	3.1	10.9
	1年生	128	31.3	14.8	1.6	8.6	3.9	7.0	4.7	1.6	5.5	11.7
	2年生	142	26.8	16.9	2.1	10.6	7.0	12.7	4.9	－	4.9	14.1
	3年生	114	12.3	7.0	－	4.4	3.5	7.9	6.1	0.9	3.5	9.6
	4年生	111	23.4	14.4	1.8	8.1	5.4	8.1	1.8	－	0.9	9.0
	5年生	131	13.7	9.9	2.3	4.6	7.6	6.1	3.8	－	3.1	9.2
	6年生	117	13.7	6.8	2.6	6.0	4.3	5.1	2.6	0.9	－	10.3

単位：％

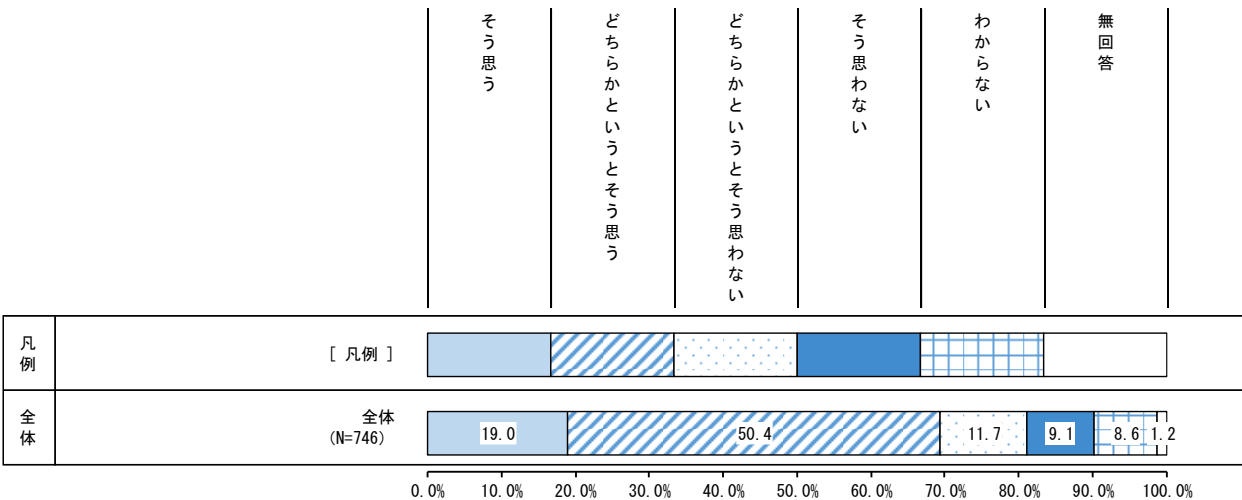
		子育てでの悩みや不安											単位：％
		母数 (N)	子育てに関する情報が得られない	地域の子育て支援サービスの内容や利用方法などがわからない	安全に通園・通学ができる歩道や、防犯施設の整備が進んでいない	安全な遊び場や子どもの居場所が身近にない	子どもに関する犯罪や事故が多い	経済的な負担が大きい	子育てに疲れている	その他	特に悩んでいることや気になることはない	無回答	
全体		746	4.2	5.5	14.6	31.1	9.8	30.7	9.8	4.4	10.6	7.1	
子どもの学年	1年生	128	3.9	7.0	27.3	28.1	11.7	32.8	8.6	4.7	7.8	3.9	
	2年生	142	7.0	7.7	14.8	37.3	9.2	35.2	14.8	4.9	6.3	7.0	
	3年生	114	4.4	8.8	17.5	29.8	13.2	26.3	9.6	2.6	19.3	7.9	
	4年生	111	2.7	1.8	10.8	39.6	9.0	32.4	9.0	7.2	9.0	6.3	
	5年生	131	4.6	4.6	7.6	25.2	6.1	23.7	8.4	3.8	10.7	6.9	
	6年生	117	1.7	2.6	9.4	27.4	10.3	32.5	6.8	3.4	12.0	11.1	

問26 自分自身の子育てが、地域の人々や社会に支えられていると思いますか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 子育てが地域や社会に支えられている実感について、「どちらかというと思う」が 50.4%で最も多く、次いで「そう思う」が 19.0%、「どちらかというと思わない」が 11.7%となっています。

【子育てが地域や社会に支えられている実感】



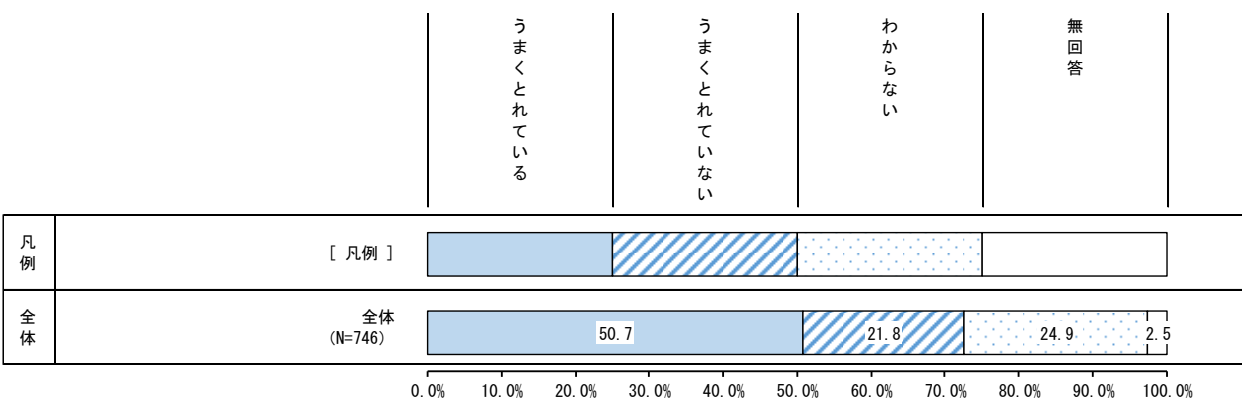
問27 ご家庭では、仕事と仕事以外の生活（家事、子育て、介護、趣味や人付き合いなど）とのバランスが取れていると思いますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

(1) 母親

【全体】

○ 母親が仕事と生活とのバランスとれているかについて、「うまくとれている」が 50.7%で最も多く、次いで「わからない」が 24.9%、「うまくとれていない」が 21.8%となっています。

【仕事と生活とのバランス（母親）】

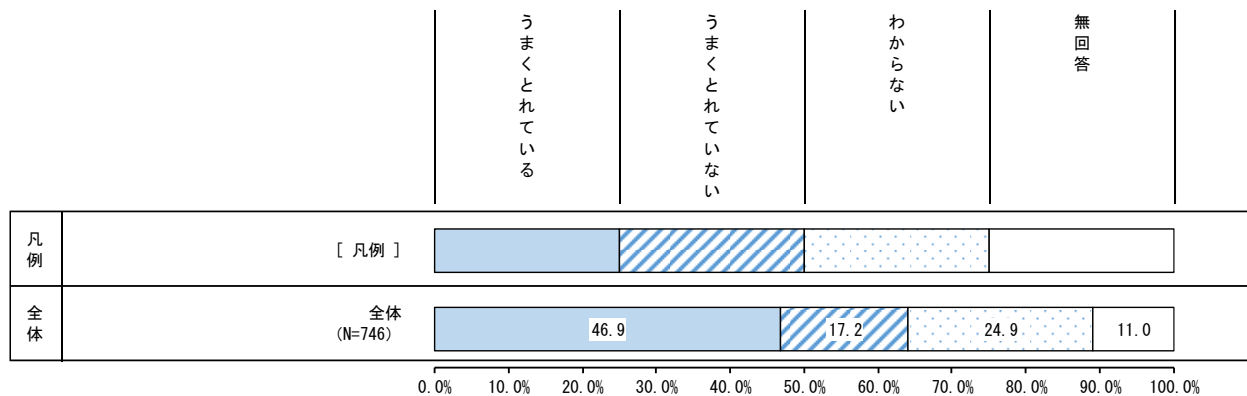


(2) 父親

【全体】

- 父親が仕事と生活とのバランスとれているかについて、「うまくとれている」が46.9%で最も多く、次いで「わからない」が24.9%、「うまくとれていない」が17.2%となっています。

【仕事と生活とのバランス（父親）】

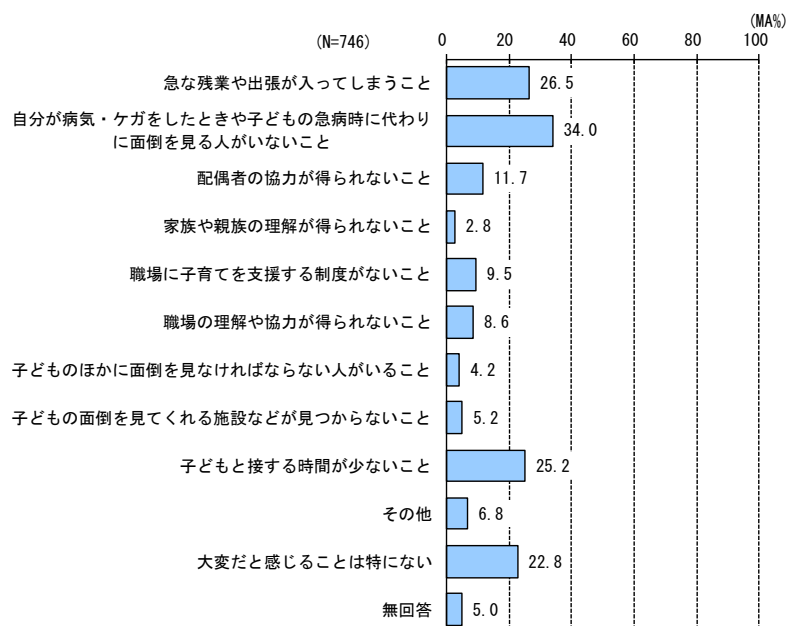


問28 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

- 仕事と子育ての両立で大変と感じることについて、「自分が病気・ケガをしたときや子どもの急病時に代わりに面倒を見る人がいないこと」が34.0%で最も多く、次いで「急な残業や出張が入ってしまうこと」が26.5%、「子どもと接する時間が少ないこと」が25.2%となっています。

【仕事と子育ての両立で大変と感じること】



問29 ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年（令和5年）1年間の、ご家族全員の所得（手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか※1, 2, 3。（あてはまる番号1つに○）

※1 ご家族全員の所得（手取り額）は、税金と社会保険料等を差し引いた残りの所得を合わせた「生計を同一にしているご家族全員の合計額（自由に使える手取り額）」を記入

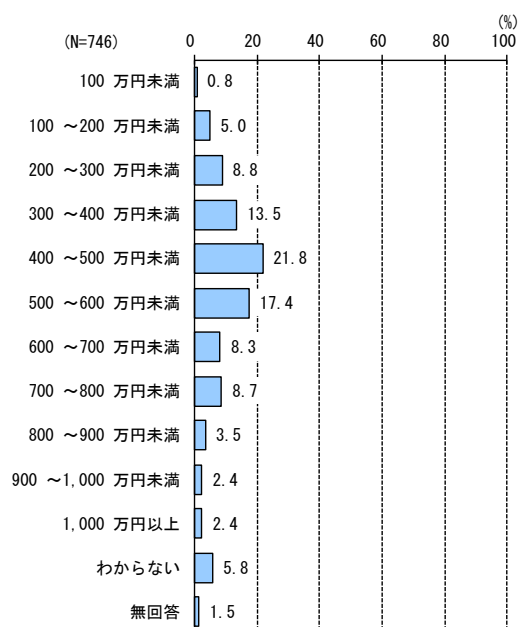
※2 所得（手取り額）には、月給や賞与などの働いて得た収入だけでなく、株式配当や副収入も含む。

※3 児童手当や就学奨励、生活保護などの公的な援助手当は除く。

【全体】

○ 世帯所得の合計額について、「400～500 万円未満」が 21.8%で最も多く、次いで「500～600 万円未満」が 17.4%、「300～400 万円未満」が 13.5%となっています。

【世帯所得の合計額】



問30 あなたの世帯では、過去1年の間に、急な出費などで家計のやりくりができない
 ことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

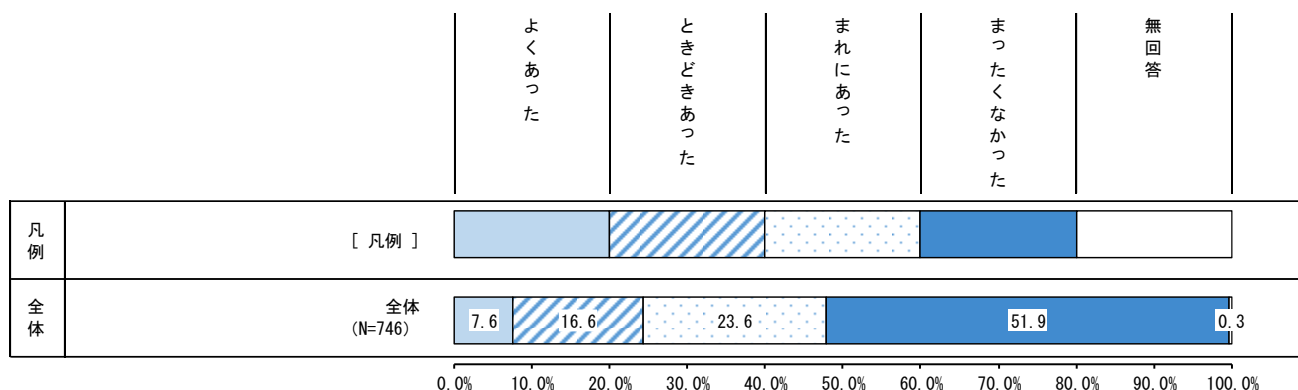
【全体】

- 家計困窮の有無について、「まったくなかった」が 51.9%で最も多く、次いで「まれにあった」が 23.6%、「ときどきあった」が 16.6%となっています。

【経済状況】

- 「あった」(「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の和)は、200 万未満では 58.2%、200～400 万円未満では 72.5%、400～600 万円未満では 45.1%、600～800 万円未満では 40.9%、800～1,000 万円未満では 9.1%、1,000 万円以上では 11.2%となっています。

【家計困窮の有無】



単位：％

		母数 (N)	家計困窮の有無				
			よくあつた	ときどきあつた	まれにあつた	まったくなかった	無回答
全体		746	7.6	16.6	23.6	51.9	0.3
経済状況	200万未満	43	9.3	16.3	32.6	41.9	—
	200～400万円未満	167	19.8	20.4	32.3	27.5	—
	400～600万円未満	293	3.8	17.4	23.9	54.9	—
	600～800万円未満	127	3.1	15.0	22.8	59.1	—
	800～1,000万円未満	44	—	2.3	6.8	90.9	—
	1,000万円以上	18	5.6	—	5.6	88.9	—

問31 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で、月々の料金の支払い、家賃住宅ローンの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

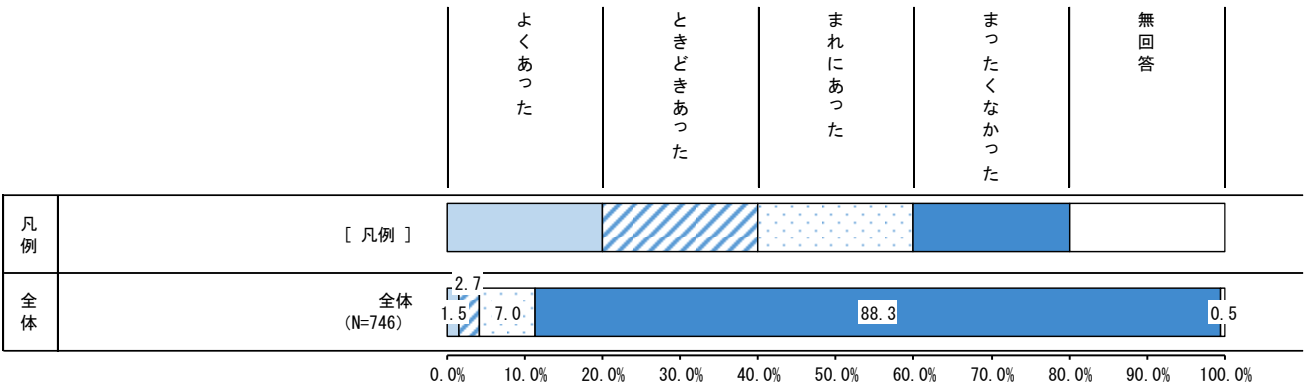
【全体】

○ 返済ができないことの有無について、「まったくなかった」が88.3%で最も多く、次いで「まれにあった」が7.0%、「ときどきあった」が2.7%となっています。

【経済状況】

○ 「あった」（「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の和）は、200万未満では27.9%、200～400万円未満では21.6%、400～600万円未満では4.8%、600～800万円未満では11.1%、800～1,000万円未満・1,000万円以上では0.0%となっています。

【返済ができないことの有無】



単位：％

		母数 (N)	返済ができないことの有無				
			よくあつた	ときどきあつた	まれにあつた	まったくなかった	無回答
全体		746	1.5	2.7	7.0	88.3	0.5
経済状況	200万未満	43	2.3	7.0	18.6	72.1	—
	200～400万円未満	167	3.6	5.4	12.6	78.4	—
	400～600万円未満	293	0.3	1.4	3.1	95.2	—
	600～800万円未満	127	—	2.4	8.7	89.0	—
	800～1,000万円未満	44	—	—	—	100.0	—
	1,000万円以上	18	—	—	—	100.0	—

問32 あなたの世帯では、過去5年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありましたか。（あてはまる番号1つに○）

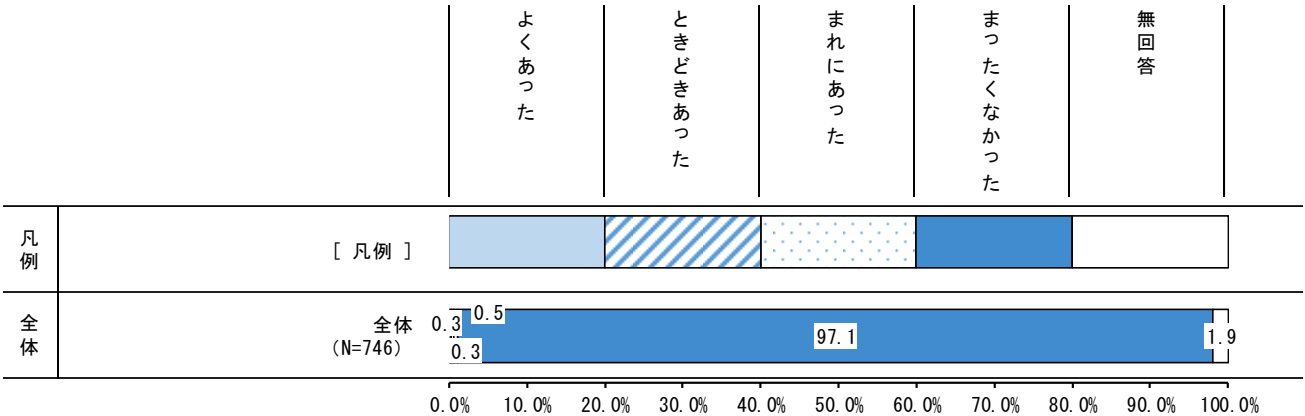
【全体】

○ 電気、ガス、水道が止まったことについて、「まったくなかった」が 97.1%で最も多く、次いで「まれにあった」が 0.5%、「よくあった」「ときどきあった」が 0.3%となっています。

【経済状況】

○ 「あった」（「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の和）は、200万未満では2.3%、200～400万円未満では 3.0%、400～600万円未満・600～800万円未満・800～1,000万円未満・1,000万円以上では 0.0%となっています。

【電気、ガス、水道が止まったこと】



単位：％

		母数 (N)	電気、ガス、水道が止まったこと				
			よくあ った	ときど きあ った	まれに あ った	ま った く な か っ た	無 回 答
全体		746	0.3	0.3	0.5	97.1	1.9
経 済 状 況	200万未満	43	－	－	2.3	97.7	－
	200～400万円未満	167	1.2	1.2	0.6	94.6	2.4
	400～600万円未満	293	－	－	－	99.3	0.7
	600～800万円未満	127	－	－	－	98.4	1.6
	800～1,000万円未満	44	－	－	－	97.7	2.3
	1,000万円以上	18	－	－	－	100.0	－

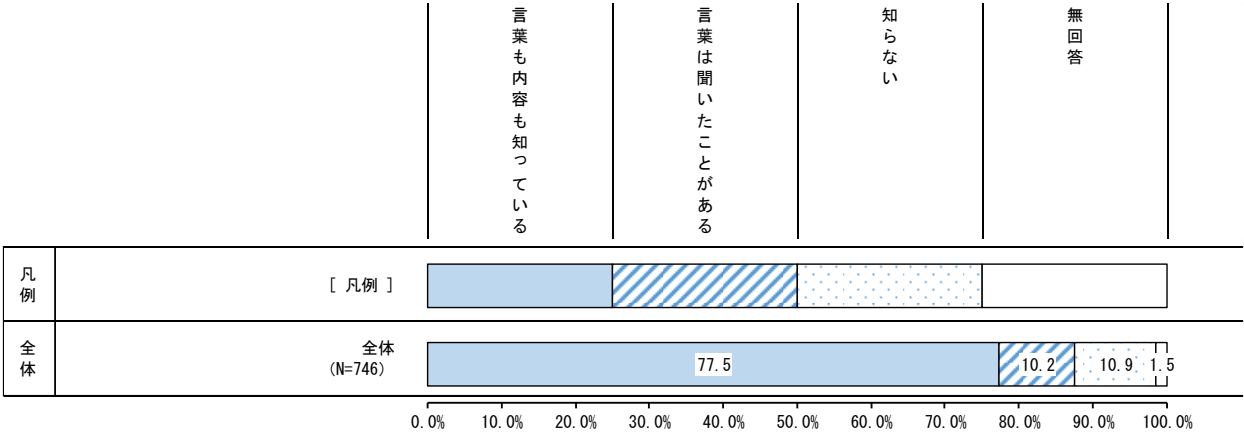
問33 あなたはヤングケアラー※¹という言葉を知っていますか。(あてはまる番号1つに○)

※1 本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがある。

【全体】

- ヤングケアラーの認知度について、「言葉も内容も知っている」が 77.5%で最も多く、次いで「知らない」が 10.9%、「言葉は聞いたことがある」が 10.2%となっています。

【ヤングケアラーの認知度】

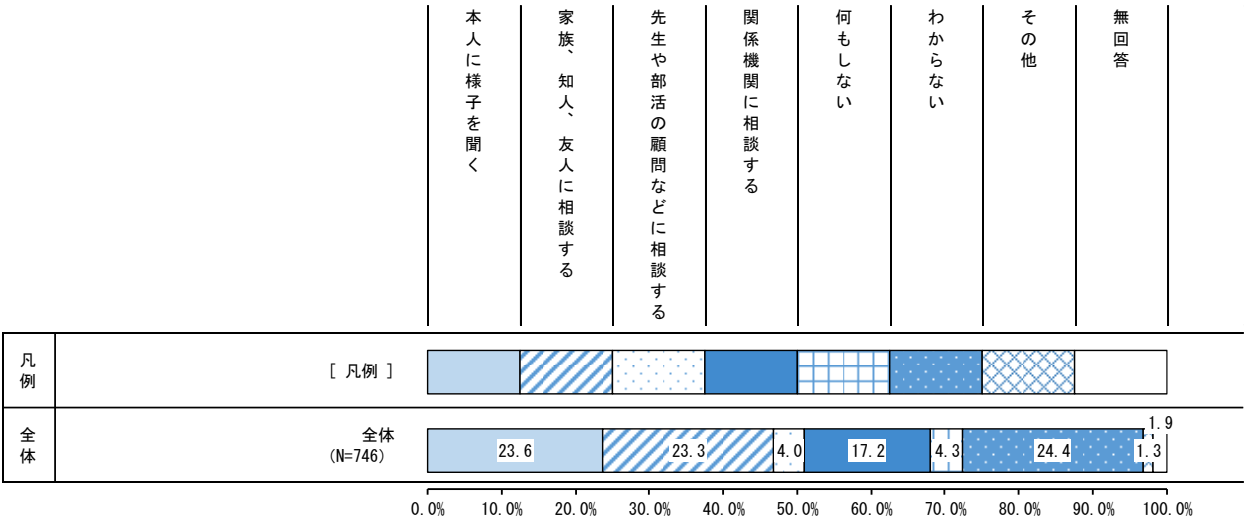


問34 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- ヤングケアラーがいた場合の対応について、「わからない」が 24.4%で最も多く、次いで「本人に様子を聞く」が 23.6%、「家族、知人、友人に相談する」が 23.3%となっています。

【ヤングケアラーがいた場合の対応】



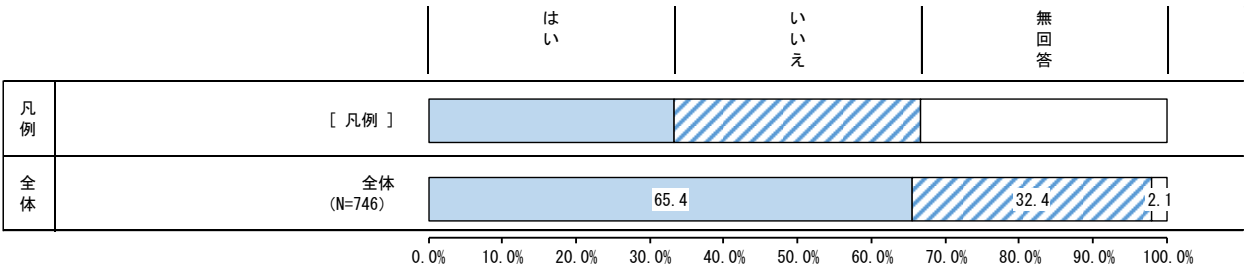
問35 現在、お子さんに対して学校以外の場でグローバル教育※²を受けられる機会をつくってあげたいと考えていますか。（あてはまる番号1つに○）

※² 世界規模・地球規模で世の中を捉えるための教育のこと。言語習得を目的とした教育（例：英語教育）に限定されない。

【全体】

○ グローバル教育の機会づくりの意向について、「はい」が 65.4%、「いいえ」が 32.4%となっています。

【グローバル教育の機会づくりの意向】



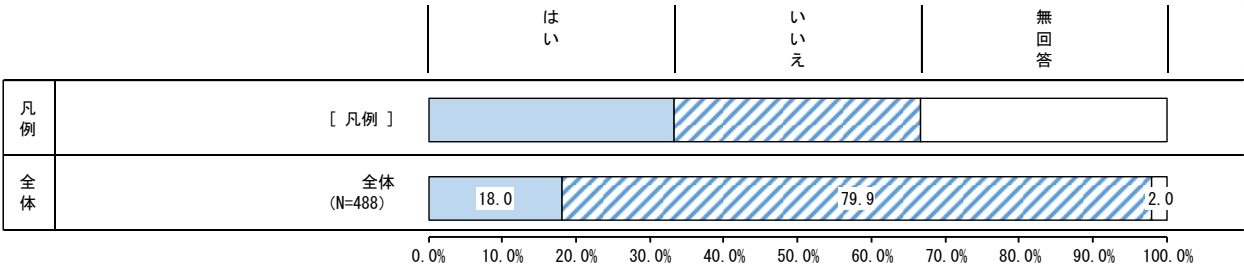
★問35「グローバル教育の機会づくりの意向」について、「はい」に○をつけた方のみ

問35- 1 現在、お子さんに対して、学校以外の場でグローバル教育を行っていますか。行っている場合はその内容についてご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 学校以外でのグローバル教育の実施の有無について、「はい」が18.0%、「いいえ」が79.9%となっています。

【学校以外でのグローバル教育の実施の有無】



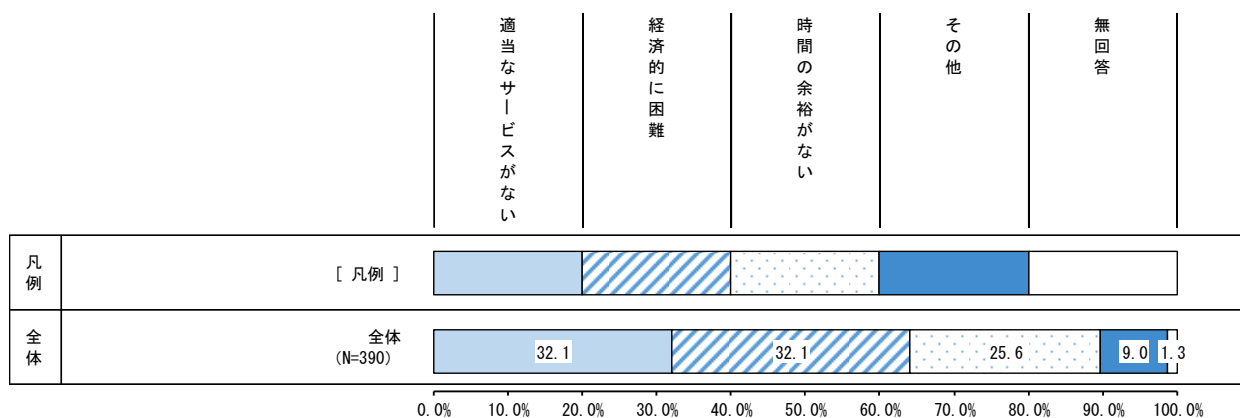
★問35-1 「学校以外の場でのグローバル教育の実施の有無」について、「いいえ」に○をつけた方のみ

問35-2 グローバル教育に関心がある一方で行っていない理由をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ グローバル教育をしていない理由について、「適当なサービスがない」「経済的に困難」が32.1%で最も多く、次いで「時間の余裕がない」が25.6%、「その他」が9.0%となっています。

【グローバル教育をしていない理由】

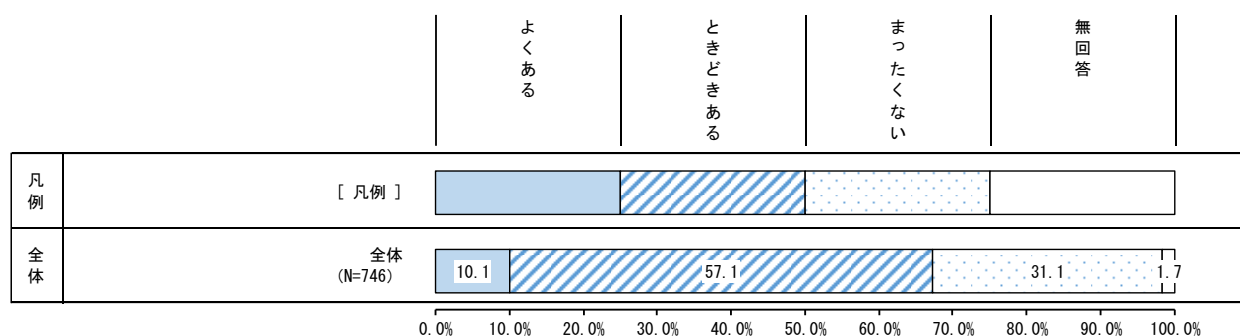


問36 あて名のお子さんは、イライラしたり、ふさぎこんだりすることがありますか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 子どもがイライラしたり、ふさぎこんだりすることについて、「ときどきある」が57.1%で最も多く、次いで「まったくない」が31.1%、「よくある」が10.1%となっています。

【子どもがイライラしたり、ふさぎこんだりすること】

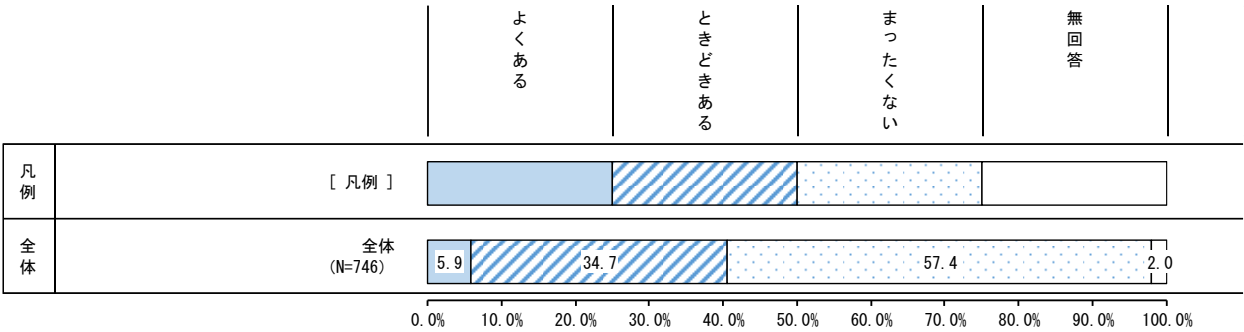


問37 あて名のお子さんは、「学校へ行きたくない。」「学校を休みたい。」と言うことがありますか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 子どもが「学校へ行きたくない」ということについて、「まったくない」が 57.4%で最も多く、次いで「ときどきある」が 34.7%、「よくある」が 5.9%となっています。

【子どもが「学校へ行きたくない」ということ】



8 子ども食堂※¹について

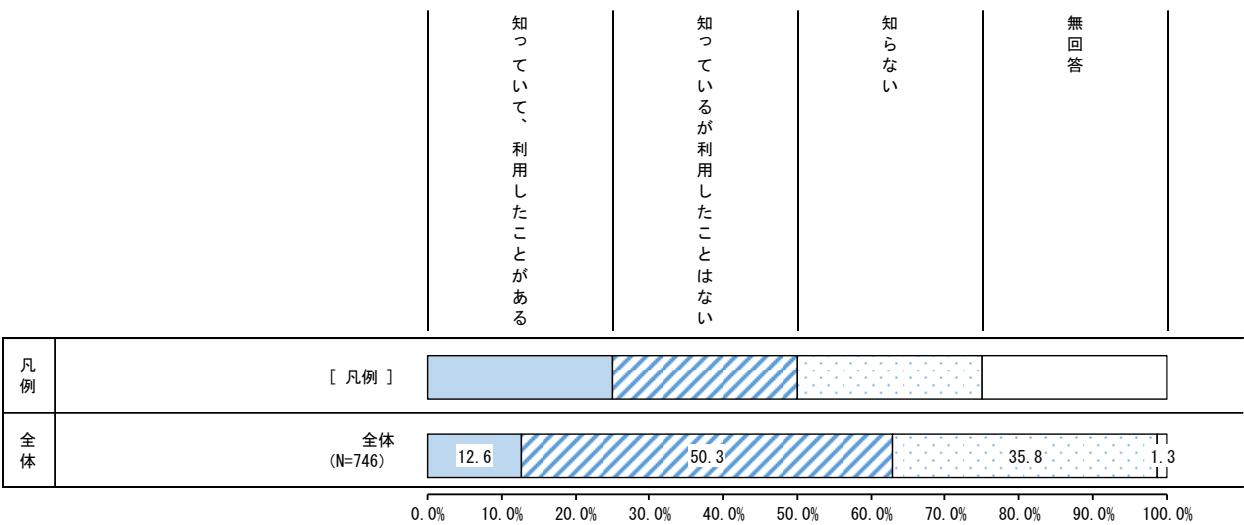
※¹ 家庭の事情で満足に食事がとれなかったり、1人で食事をしたりする子どもたちに、無料または定額で食事を提供する取組

問38 伊予市内で「子ども食堂」が運営されていることをご存知ですか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 市内「子ども食堂」の認知度について、「知っているが利用したことはない」が 50.3%で最も多く、次いで「知らない」が 35.8%、「知っているが、利用したことがある」が 12.6%となっています。

【市内「子ども食堂」の認知度】



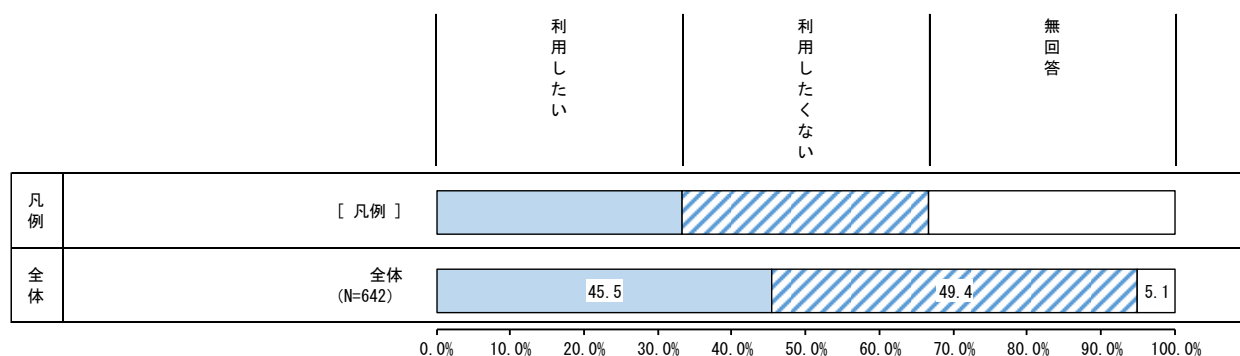
★問38「市内「子ども食堂」の認知度」について、「知っているが利用したことはない」または「知らない」に○をつけた方のみ

問38-1 「子ども食堂」を利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 「子ども食堂」の利用意向について、「利用したい」が 45.5%、「利用したくない」が 49.4%となっています。

【「子ども食堂」利用意向】

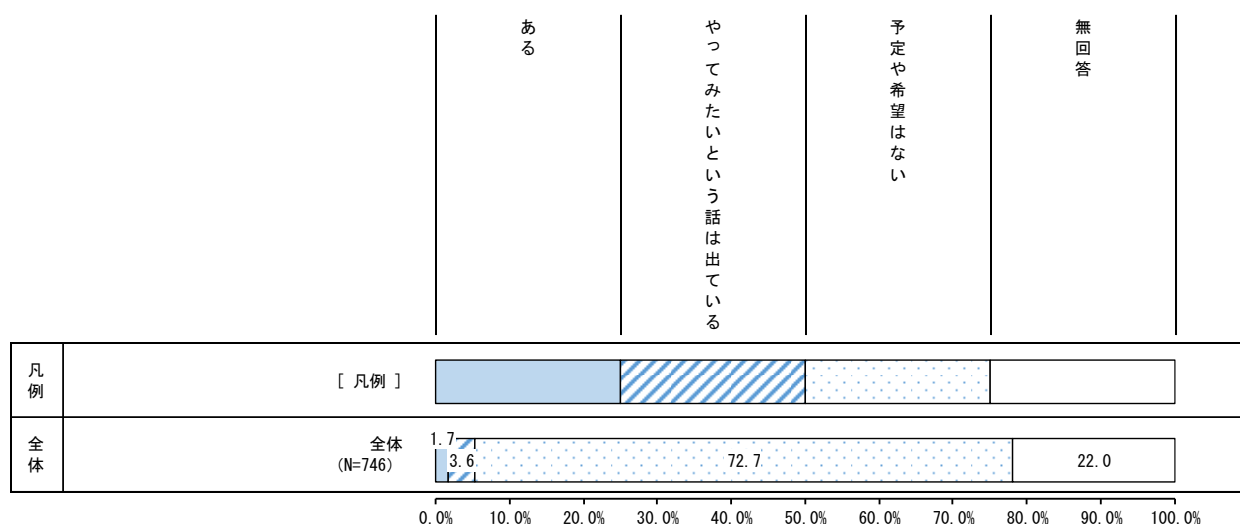


問38-2 あなたご自身やあなたのまわりで、新たに「子ども食堂」のような子どもの居場所をつくる活動の予定や希望がありますか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 子どもの居場所づくりの予定や希望について、「予定や希望はない」が 72.7%で最も多く、次いで「やってみたいという話は出ている」が 3.6%、「ある」が 1.7%となっています。

【子どもの居場所づくりの予定や希望】



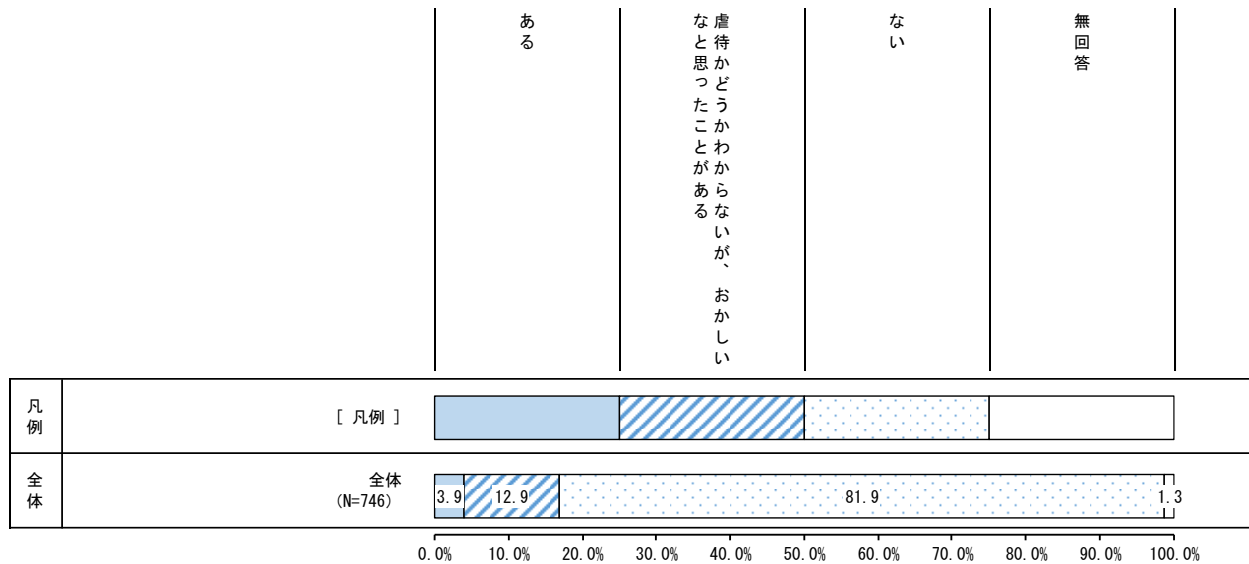
9 児童虐待について

問39 身近なところで、児童虐待を見たり聞いたりしたことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 児童虐待の認知について、「ない」が81.9%で最も多く、次いで「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」が12.9%、「ある」が3.9%となっています。

【児童虐待の認知】

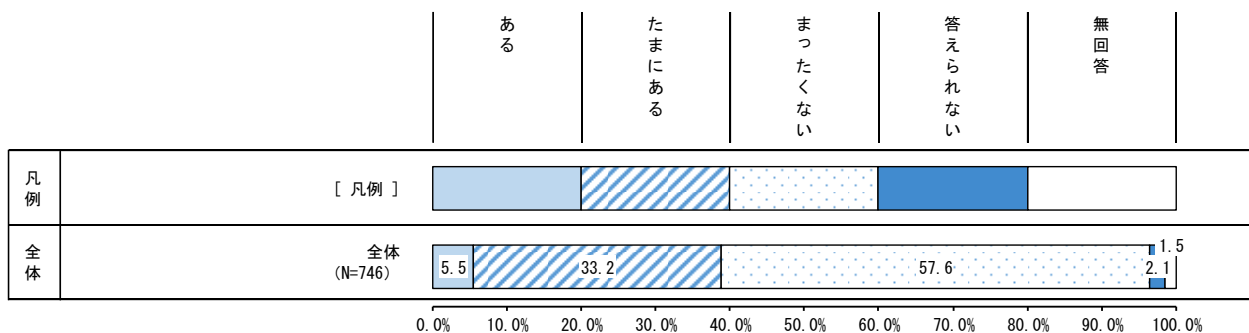


問40 あなた自身が、「子どもを虐待しているのでは」、「虐待にあたるのでは」と思ったことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

【全体】

- 「児童虐待」を行っているのではないかと考えた経験の有無について、「まったくない」が57.6%で最も多く、次いで「たまにある」が33.2%、「ある」が5.5%となっています。

【「児童虐待」を行っているのではないかと考えた経験の有無】



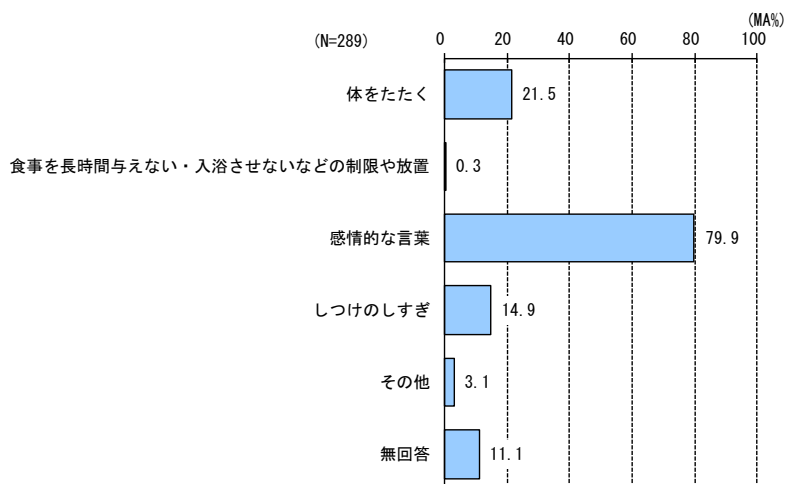
★問40 「「児童虐待」を行っているのではないかと思った経験の有無」について、「ある」または「たまにある」に○をつけた方のみ

問40-1 「子どもを虐待しているのでは」、「虐待にあたるのでは」と思ったのは、どのような時でしたか。（あてはまる番号すべてに○）

【全体】

○ 「児童虐待をしているのでは」と思った時について、「感情的な言葉」が 79.9%で最も多く、次いで「体をたたく」が 21.5%、「しつけのしすぎ」が 14.9%となっています。

【「児童虐待をしているのでは」と思った時】



問40-2 虐待だと感じた時に、どこかへ相談しましたか。（あてはまる番号1つに○）

【全体】

○ 虐待だと感じた時の相談経験について、「ある」が 22.5%、「ない」が 72.3%となっています。

【虐待だと感じた時の相談経験】

